

千葉県外来生物

初版（平成 24（2012）年度）

千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会

はじめに

私たちの身の回りには、ペットや園芸植物、緑化植物を始めとして、多くの外来生物が存在しています。こうした外来生物の中には、野生化して、大繁殖し、在来生物に大きな影響を及ぼしたり、農林漁業に被害を与えたり、なかには人の身体や健康に被害を及ぼすものまであります。

近年、各地でこのような外来生物問題が深刻化しています。このため、国は平成16年に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」を制定し、また生物多様性国家戦略2012－2020において、日本の生物多様性が直面している4つの危機のうち、第3の危機をもたらす原因として外来生物を位置付けています。

外来生物の影響は、千葉県においても既に見過ごすことのできない状況になっています。アライグマ、アカゲザル、キョン、カミツキガメ、ナガエツルノゲトウを始めとして、様々な外来生物による影響が現れてきています。こうした状況に対処するためには、千葉県にどのような外来生物が確認されているのか、その繁殖状況や被害状況等を把握しておく必要があります。

これまで、千葉県における外来生物のリストについては、平成19年に外来動物のリストが、平成22年に外来植物のリストが作成されていますが、今回、「千葉県の希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会」において、動植物を合わせた最新のリストとして、刊行することとなりました。

本書には、私たちが行う様々な活動、行為に際して、外来生物について、どのようなことを心がけていく必要があるのかが記載されています。本書が、外来生物問題を知るきっかけとなるとともに、外来生物問題に取り組む県民・NPO、関係団体、市町村、研究者・事業者等の皆様に幅広く活用されれば幸いです。

もくじ

千葉県外来生物写真館（巻頭カラー）	写真1～8
1 本書作成の背景と目的	1
(1) 外来生物問題	1
(2) 外来生物リストの経緯及び目的	2
(3) 本書の利活用について	3
2 外来生物リストの作成概要	4
(1) 作成体制	4
(2) 対象生物と定義	5
(3) ランク分け方法	5
(4) 記載項目の凡例と解説	6
3 外来生物リストの概要	11
(1) 千葉県における外来生物の現状	11
(2) 各分類群の外来生物の概況	16
(3) A ランクの外来生物の概要	27
4 外来生物対策について	32
(1) 侵入防止対策	32
ア 持ち込まない	32
イ 野外逸出を防止する	32
a) ペットを飼育したり、園芸植物を栽培する時	33
b) 釣りをする時	33
c) 野生鳥獣を捕獲する時	33
d) ペット・園芸植物などを販売する時（販売店などの方へ）	33
e) 農林水産業を行う時	33
f) 緑化・植樹事業を行う時	36
g) ビオトープを整備する時	36
h) 自然再生・里山活動に際して	37
(2) 定着後の防除対策	38
(3) 情報基盤の整備と運用	39
5 千葉県の外来生物 平成 24（2012）年度版	40
6 注意喚起種リスト 平成 24（2012）年度版	301
7 要検討種リスト 平成 24（2012）年度版	302
8 引用文献	305
9 索引	321

1 本書作成の背景と目的

(1) 外来生物問題

20世紀以降、全世界的に物流が盛んになり、さまざまな生き物も、意図的に、または図らずも移動させられ、その種の自然分布拡大能力を超えて、野外に生息・生育するようになってきています（これを「侵入」といいます）。千葉県内ではペットとして輸入されたアライグマが野外で繁殖して農作物に被害を及ぼしたり、廃業した動物園からキョンが逃走して軒並み花壇の花を加害したり、庭で栽培していた園芸植物から種子が拡散して在来植物の生育場所を奪い、斜面の土を押さえるために植栽された緑化植物が管理地以外でも生育するようになっていきます。

千葉県の各地域に古来より独自の生態系を形づくってきた「在来生物」とは異なり、このような他の地域から人間によって連れてこられた生きものを「外来生物」といいます（詳しい定義は5ページ）。このように外来生物は多くの侵入経路をたどって千葉県内でみられるようになっています（侵入経路のまとめは14ページ）。そして、その内のいくつかは、在来生物や人間に大きな影響を及ぼすいわゆる「侵略的外来生物」となり、軋轢（あつれき）を生んでいます（これを「外来生物問題」ということにします）。

生物多様性条約事務局による「地球規模生物多様性概況第3版」においても、絶滅危惧種の減少要因として、「外来生物種の侵入」があげられており、日本の「生物多様性国家戦略2012-2020」でも、日本の生物多様性が現在直面している問題として、開発や里山の管理放棄などと並んで外来生物による脅威が認識されているほどです。

このような外来生物の侵入に対応するため、平成16年に外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）が公布され、特定外来生物に指定された種については、飼養、栽培、保管・運搬、輸入、譲渡し、野外に放つこと、植えること、播くこと等が禁止されるようになりました。しかし、外来生物法は国家レベルでの対策（輸入規制など）が主な観点で、また、明治元年以降に海外から導入された「種」を対象にしておらず、地域個体群や国内外来生物を対象としていません。さらに、指定されている種は少なく（2013年10月現在、全国で107種類、県内で30種）、すでに野外で定着している種については防除が追いついていない状態といえます。

(2) 外来生物リストの経緯及び目的

千葉県の外来生物リストについては、外来動物に関して、平成 16 年度から千葉県外来種対策（動物）検討委員会が開催され、平成 18 年度に「外来種（動物）の現状等に関する報告書」として外来動物リストと今後の取組の基本的方向性などについて報告されました。また、外来植物に関して、平成 20 ～ 21 年度にかけて、千葉県外来種対策（植物）検討委員会が開催され、平成 21 年度に「千葉県の外来種（植物）の現状等に関する報告書」として報告がされました。

外来生物をとりまく状況は日々刻々と変化し、新たに侵入してくる外来生物があるため、この外来生物に関するデータベースを定期的に更新していく必要があります。また「生物多様性ちば県戦略」においても、「実態を把握し、公表します。」と明記しています。このデータベースに基づいた外来生物情報を広く県民に周知し、県や市町村、事業者、NPO などの各主体における自主的な取り組みを推進することを目的として外来生物リストを作成しました。

外来生物コラム 1

生物多様性条約 「愛知目標」

2010 年 10 月に愛知県名古屋市で生物多様性条約第 10 回締約国会議（CBD・COP10）が開催されました。そこにおいて採択された 2020 年までに達成すべき保全目標とする新戦略計画（「愛知目標」もしくは「2020 年目標」と呼ばれています）の目標 9 に外来生物についての下記の記述があります。

「2020 年までに、侵略的外来種とその定着経路が特定され、優先順位付けられ、優先度の高い種が制御され又は根絶される、また、侵略的外来種の導入又は定着を防止するために定着経路を管理するための対策が講じられる。」

(3) 本書の利活用について

本書は、最新の千葉県内の外来生物情報を網羅的に掲載し、外来生物問題を解説することで、県民、行政担当者、NPO、施設管理者、土地所有者、事業者などに理解を深めてもらい、具体的な対策を行う際の参考となることを目指しています。

外来生物問題の状況は、その人間側の対策の状況も含めて、日々刻々と変化しています。このため、本書は今後、定期的に改訂していく予定です。最新情報は、千葉県生物多様性センターのサイト (<http://www.bdcchiba.jp/>) で御覧ください。

外来生物問題は、外来の生き物そのものが悪者なのではなく、それを放逐したりすることで

問題を発生させてしまった人間が原因で、人間側の社会問題なのです。このことをまず理解し、具体的にどのような問題が発生し、なにが解決への道なのかを理解しましょう。32 ページ以降に、具体的な場面別の外来生物対策をあげていますので、参考にしてください。

千葉県で確認されている外来生物はすべて本書後半のリストに掲載しましたが、このリストの全ての種が大きな問題を起こしているわけではありません。また、時と場所の違いで、同じ種でも問題が大きく異なる場合もあります。このため、潜在的な危険性も含めて、後で詳述するように優先順位を決めて対策をすることが肝要です。

外来生物コラム 2

千葉県内でみつかった「特定外来生物」

2013 年 10 月 1 日現在

(哺乳類)	アカゲザル、マスクラット、アライグマ、キョン
(鳥 類)	ソウシチョウ、ガビチョウ、カオジロガビチョウ カオグロガビチョウ
(爬虫類)	カミツキガメ
(両生類)	ウシガエル
(魚 類)	チャネルキャットフィッシュ、カダヤシ、ブルーギル、 コクチバス、オオクチバス、ストライプトバス
(甲殻類)	ウチダザリガニ
(昆虫類)	セイヨウオオマルハナバチ
(クモ類)	セアカゴケグモ
(貝 類)	カワヒバリガイ
(植 物)	オオキンケイギク、ミズヒマワリ、オオハンゴンソウ、 オオカワヂシャ、ナガエツルノゲイトウ、アレチウリ、 オオフサモ、ボタンウキクサ、ナルトサワギク、 アメリカオオアカウキクサ (アゾラ・クリスタータ)

2 外來生物リストの作成概要

(1) 作成体制

このような背景を踏まえ、平成 23 年度から、県内の外來生物の生息及び生育状況に詳しい専門家によって「千葉県希少生物及び外來生物に係るリスト作成委員会」を組織し、外來生物リストの更新を行ってきました（委員会事務局：千葉県生物多様性センター 齋木健一（23 年度）・由良浩（24 年度）・浅田正彦（23～24 年度））。専門分野のうちいくつかについては、県内外の専門家による分科会を組織し、情報の収集・検討を行いました。分科会のメンバーは次の通りです：村田威夫、倉俣武男、中村建爾、岩瀬徹、木村陽子、岩槻秀明、御巫由紀、谷口優子、都築章二、立川浩之、山下博由、多留聖典、

石井清、布村昇、石綿進一、井上尚武、倉西良一、須田博久、松木和雄、山崎秀雄、内田正吉、宮内博至、浅間茂、高橋学、鈴木 裕、藤平暁、和田一郎、石鍋壽寛、間瀬浩子、田中正彦、坂本勝一、棗田孝晴、今津健志、八木幸市、田中一行、笠原孝夫、三沢博志、箕輪義隆、嶋田哲郎、高木武、山口誠、木本祥太、落合啓二、矢竹一穂、繁田真由美、萩原光（順不同、敬称略）。

千葉県希少生物及び外來生物に係るリスト作成委員会委員

専門	氏名	所属
植生	大場達之	元千葉県立中央博物館
藻類	宮田昌彦	千葉県立中央博物館 分館海の博物館
種子植物	天野誠	千葉県立中央博物館 植物学研究科
シダ植物	谷城勝弘	千葉県立佐原高等学校
蘚苔類	古木達郎	千葉県立中央博物館 植物学研究科
地衣類	原田浩	千葉県立中央博物館 植物学研究科
大型菌類	吹春俊光	千葉県立房総のむら
哺乳類	成田篤彦	千葉県生物学会
鳥類	桑原和之	千葉県立中央博物館 環境教育研究科
両生爬虫類	小賀野大一	千葉県立市原高等学校
魚類	望月賢二	元千葉県立中央博物館（23 年度）
魚類	藍澤正宏	宮内庁侍従職（24 年度）
生物地理	高桑正敏	神奈川県立生命の星・地球博物館
昆虫類	斉藤明子	千葉県立中央博物館 資料管理研究科
甲殻類	駒井智幸	千葉県立中央博物館 資料管理研究科
多足類	萩野康則	千葉県立中央博物館 生態学・環境研究科
貝類	黒住耐二	千葉県立中央博物館 動物学研究科

*所属は平成 24 年度当時

(2) 対象生物と定義

本報告では、植物・菌類（藻類、種子植物、シダ類、蘚苔類、地衣類、大型菌類）および動物（哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫類、甲殻類、多足類、貝類）における外来生物を対象としました。また、下記のように用語を定義することにします。

「外来生物」とは、意図、非意図を問わず人為によって、過去あるいは現在の自然分布域外である千葉県に導入された種、亜種、変種、品種、雑種、地域個体群であり、生存し、繁殖することができる種子、孢子、配偶子、むかご、その他の繁殖可能な植物の部分を含むもので、国内の別の地域から持ち込まれた種(国内外来生物といいます)や、遺伝子レベルで在来のものとは異質な「在来種」、野外での繁殖が確認されていない未定着^{*}種を含みます。導入時期は基本的には明治時代以降とし、それ以前では史実がはっきりしているものも含めます。有史以前の縄文時代～弥生時代などに農耕文化とともに渡来したいわゆる史前帰化植物などは除外します。千葉県外にいる国外由来の外来生物（国外外来生物といいます）から派生して、自力で千葉県に移動してきたものも含めます。また、野外であっても、圃場や庭園、植林地などにおいて、生息・生育が管理されている個体および個体群は除外します。

^{*}「定着」とは、野外の自然環境に人間の関与なく繁殖し、次世代が再生産されている状態をいいます。

(3) ランク分け方法

1) 生態系又は人に対する影響度

- A：生態系又は人に対し、回復が困難となる深刻な影響が認められる、あるいは予測される。（※生態系の回復が困難となる深刻な影響は、競争、交雑等による在来種の絶滅等）
- B：生態系又は人に対し、深刻な影響が認められる、あるいは予測される。
- C：生態系に対し、明らかな影響が認められる、あるいは予測される。
- D：生態系に対し、明らかな影響はあまり認められない、あるいは予測されない。
- DD：現時点では、上記A～Dの影響度ランクを判定する情報が得られていない。

2) 根絶の可能性を考慮した防除の緊急度

- A：非常に高い。
- B：高い。
- C：低い。

動物について、現状の分布範囲が狭い場合、根絶の可能性が高いと考えられるため、分布範囲も含めて判断しました。

3) 外来生物リストに追加するか検討を要する種および注意を喚起すべき種のリスト（6 注意喚起種リストおよび 7 要検討種リスト参照）

野外の生息・生育状況について、必ずしも正確な情報が得られているとは限りません。例えば、その生物が千葉県内での在来生物なのか、外来生物なのかの判別が確定しないものもあります。このようなものは外来生物リストに追加する候補の生物として、将来、情報が集積し、取り扱いが明確になるまで、要検討種リストとして掲載しておくことにしました。

また、近隣の都県の状況などを勘案すると近

い将来県内に侵入するおそれが高い外來生物もあり、注意喚起種としてリストにしました。

なお、この二つのリストの外來生物については、取り扱いが未定なので、影響度や緊急度のランク付けは行いませんでした。

(4) 記載項目の凡例と解説

1) 関連法規制などの区分

タイトル生物名の右側に記載しました。

「特定外來生物」は、外來生物法による特定外來生物に指定されている種を示し、「要注意外來生物」は、同法による下記の要注意外來生物を示します。

要注意外來生物 (適否検討) :

被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外來生物

要注意外來生物 (情報不足) :

被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外來生物

要注意外來生物 (注意喚起) :

選定の対象とならないが注意喚起が必要な外來生物

要注意外來生物 (緑化植物) :

別途総合的な取組みを進める緑化植物

「国 RDB」は、環境省第 4 次レッドリスト (2012) のランクを示し、CR は絶滅危惧 IA 類、EN は IB 類、VU は絶滅危惧 II 類、NT は準絶滅危惧を示します。

「IUCN100」は国際自然保護連合 (IUCN) の外來種専門家グループ (ISSG) 選定の世界の外來種ワースト 100 (http://www.issg.org/worst100_species.html 2013.2.1 確認) の掲載種を、「生態学会 100」は日本生態学会選定の日本の侵略的外來種ワースト 100 (文献番号 210) の掲載種を示します。

「CITES:I, II, III」はワシントン条約附属書 (I, II, III) の掲載種を示します。

「国内外來生物」は、日本のある地域には在來生物として存在するが、他県や県内の地域などから人為によって自然分布域外に導入された外來生物を示します。その他、関連法令の指定状況を示しました。

2) 【原産】 原産地の地域名あるいは国名。「-」は不明を示す (以下、同じ)。

3) 【国内分布】 日本国内での分布

4) 【県内分布】

千葉県内に分布する市町村名などを示しました。また、防除の容易性を判断するために植物は生育状況について、生育が確認されているメッシュ数 (約 1km 四方の国土地理院 3 次メッシュ) をもとに分類し、繁殖の形態 (種子繁殖か栄養繁殖か) や除草しやすさ、在來生物の回復の可能性をもとに調整しました。

分布度 a : 10 メッシュ未満

分布度 b : 10 メッシュ ~ 99 メッシュ

分布度 c : 100 メッシュ以上

さらに、ひとつの生育場所内での量的評価を行いました。侵入初期には量がすくないと思われるので、県内で現在みられる平均 ~ 最大規模の表記をするように努め、次の目安基準に基づきました。

極多 : 数百個体以上

多い : 百数十個体

中程度 : 数十個体

少ない : 十数個体

極少 : 10 個体以下

5) 【形態・生態】【繁殖】

各種の基本的な生態情報を記載するため、植物の場合は生活形、花粉の媒介様式や栄養繁殖の状況などについての繁殖形態、種子などの散布形態と、季節を示しました。動物の場合は体重や食性、生息環境を示しました。植物の生活形の分類は下記のように千葉県植物誌（千葉県史料研究財団 2003）に準拠しました。

生活形：

常緑：年中緑の葉をもち、葉の寿命が1年以上

半常緑：1年のある時期、緑葉の数や面積が著しく減るが、通年緑葉をもつ

夏緑：春から夏を経て秋までの間、葉が緑

春緑：早春から春の終わりまで葉が緑

冬緑：秋から冬を経て春の終わりまで葉が緑

連緑：年中緑の葉をもち、個々の葉の寿命は1年未満

高木：10m 以上

亜高木：5 ～ 10m

低木：5m 未満

藤本：つる性の木本

1 年草：個体の寿命が1年未満の草本

2 年草：個体の寿命が1～2（3）年の草本

多年草：個体の寿命が3年以上の草本

繁殖形態：植物の場合、花粉媒介型

虫媒：昆虫によって受粉

鳥媒：鳥類によって受粉

風媒：風によって受粉

水媒：水流によって受粉

自媒：同花受粉、閉鎖花を含む

無融合：受精せずに結実

複数の受粉方法を伴う場合は併記、2 型の花をつける場合は「+」を介して連記

散布形態：果実または種子の散布型

自散：自力で種子を飛ばすもの

重散：重力による落下

風散：風による散布で、翼や毛によって風に乗るものや、きわめて微細な種子、親個体が風に揺れて種子が放出するものを含む。

食散：種実が動物に食べられることによる散布で、食べ残された貯食による散布を含む。

水散：淡水による散布

海散：海流による散布

雨滴散：雨粒にはじかれて飛び散る

アリ散：アリによる散布

虫散：昆虫による散布

着散：動物に付着して散布

2つの散布様式が複合している場合は「+」を介して連記、複数の散布様式が考えられる場合は併記しました。

外部計測値などの略号：

BW: 体重、TL: 全長もしくは体長、HBL: 頭胴長、TLL: 尾長、CW: 甲幅、CL: 甲長、SH: 殻高、SL: 殻長、SB: 殻径、↑：以上、↓：以下、ca.: おおよその値

6) 【国内侵入】【県内侵入】

日本および千葉県への侵入経路と侵入年を示しました。経路を分類し、下記の分類番号で記し、個別の情報を記述しました。分類番号は3桁で示し、2・3桁目でグループ化した。詳細不明な場合は、より上位の番号を記入しました。

外来生物の侵入経路分類

- 100 栽培種・飼育個体などの個体の逸出・侵入
 - 110 農林水産漁業など経済活動のための個体導入
 - 120 水質浄化目的などによる水生植物の拡散
 - 130 環境緑化植物の拡散
 - 131 法面・空き地緑化植物の拡散
 - 132 公園・街路に植樹された個体の拡散
 - 140 動物園など展示施設飼育個体の逸出
 - 150 狩猟、遊漁目的の個体導入
 - 160 一般家庭などでの栽培飼育個体の侵入
 - 161 園芸植物の侵入
 - 162 ペットなど飼育個体の逸出
 - 163 観賞用水生生物の逸出
- 200 産業や人の移動に随伴した個体の拡散
 - 210 農林水産業などに随伴した個体の拡散
 - 211 バラスト水に混入した個体の拡散
 - 220 環境緑化植物に随伴した個体の拡散
 - 230 栽培飼育個体に随伴した個体の拡散
 - 240 人の移動に付着・随伴した個体の拡散
 - 250 産業原料またはその製品に随伴した個体の拡散
- 300 気候変動などの人為による環境変動に伴う分布拡大による拡散
- 400 県外に侵入した外来生物の自力での分布拡大

7) 【影響】

侵入による影響を分類し、下記の分類番号で記し、個別の情報を記述しました。分類番号は3桁で示し、2・3桁目でグループ化しました。詳細不明な場合は、より上位の番号を記入しました。

8) 【緊急性】

防除の緊急性に関する備考を記入しました。

9) 【対策】

特に検討していくことが望ましい対策について記入しました。

10) 【備考】

和名の別名などの情報のほか、参考となる標本や写真の所蔵場所なども記載しました（CBM：千葉県立中央博物館収蔵標本を示す）。

11) 【文献全般】および【文献千葉】

関連する文献について、種全般に関するもの（文献全般）と、千葉県の情報に関するもの（文献千葉）に分けて、主に文献番号で記しました（「8 引用文献」参照）。

外来生物の侵入による影響分類

100 在来生物への影響

110 食物連鎖を通じた影響

111 食樹・食草の衰退

112 捕食

113 採食

120 競争による排除

121 生活空間・繁殖空間をめぐる競争

122 食物資源をめぐる競争

123 アレロパシーによる影響

130 寄生生物・感染症を伝播する

140 遺伝子浸透による影響

141 亜種間の遺伝子浸透

142 種間の遺伝子浸透

150 生態系の物理的基盤の変化

200 人の生命・身体・生活への影響

210 有毒による食中毒

220 刺咬被害・棘や化学物質による皮膚炎症などを引き起こす

230 寄生生物・感染症を伝播する

240 花粉症を引き起こす

250 臭気・騒音被害

260 飼育動物への影響

270 栽培植物への影響

280 景観への影響

300 産業への影響

310 農業への影響

320 畜産業への影響

330 林業への影響

340 水産業への影響

350 利水障害

外來生物コラム 3

生物多様性国家戦略 2012-2020

～豊かな自然共生社会の実現に向けたロードマップ～（抜粋）

第3部 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する行動計画

第2章 横断的・基盤的施策

第3節 外來種等の生態系を攪乱する要因への対応

（基本的考え方）

（中略）外來種による被害の防止には、まず、侵略的外來種を特定するとともに、その導入・定着を未然に防ぐことが重要です。また、飼養等されている外來種等については適切に管理し、逸出を防ぐことが必要です。既に定着している外來種については、定着初期・分布拡大期・まん延期の各段階に応じた対策を優先度に基づき、科学的知見や費用対効果も踏まえて、根絶や封じ込め等の各目標に向けて、計画的・効率的に進めていくことが必要です。特に、定着初期のものについては、被害が顕在化する前に、早期に防除を行うことが効果的です。さらに、外來種は私たちの生活と密接に関係していることから、地域住民や関係者に理解と協力を求め、連携して対策を進めることが求められます。（中略）

1 外來種対策

（具体的施策）

○ 外來生物法施行後5年が経過していることから、生物多様性条約第10回締約国会議の成果も踏まえ、同法の施行状況の検討を行い、必要に応じて所要の措置を講じます。（環境省、農林水産省）

○ 特定外來生物の輸入、飼養などの規制など、外來生物法の適切な施行を通じ、農林水産業や生態系などへの影響の防止を図るとともに、多様な分野と連携しながら普及啓発を強化し、外來種問題への認識と外來生物対策への理解を深めます。（環境省、文部科学省、農林水産省）

○ 「外來種被害防止行動計画（仮称）」を策定することにより、防除の優先度を踏まえた計画的な防除等を推進するとともに、各主体の役割分担を整理し、各主体における外來種対策に関する行動を促します。（環境省、農林水産省）

○ 法規制の対象となっていない外來種も含めて、特に侵略性が高く、わが国の生態系等への被害を及ぼしている外來種や、今後被害を及ぼすおそれのある外來種のリストとして、「外來種ブラックリスト（仮称）」を作成し、掲載種について分布や定着経路、対策の方向性などの情報を整備します。

これによって普及啓発や計画的な防除等の外來種対策を推進します。（環境省、農林水産省）

（中略）

○ 生物多様性保全推進支援事業による地域の取組支援や国立公園等民間活用特定自然環境保全活動（グリーンワーカー事業）による国立公園内での取組などにより、地域住民などが主体となった効果的な外來種対策を推進します。（環境省）

○ 外來魚による食害防止に向けた効果的な駆除手法を開発します。（農林水産省）

（中略）

○ 例えば外來の牧草などの外來緑化植物や外国産在来緑化植物による生態系影響についてデータを収集・分析するとともに、地域産在来種による緑化を推進するため、在来緑化植物の遺伝的多様性についての実態把握を推進します。（環境省）

○ 近年の外來種の河川内における急速な分布拡大は、一部の河川で大きな問題となっており、引き続き河川における外來種対策を進めていくとともに、外來植生や外來魚などについて調査研究を進め、効果的な対策を検討します。（国土交通省）

○ 非意図的な導入を含めて、外來種の導入・定着を防ぐより効果的な水際対策についての調査・検討を進めます。（環境省）

○ 国内の他地域から持ち込まれる外來種や遺伝的形質の異なる在来種がもたらす問題については、「外來種被害防止行動計画（仮称）」や「外來種ブラックリスト（仮称）」の作成等により、基本的な考え方を整理し、多様な主体に対して注意を喚起するとともに、自然公園法や自然環境保全法の適正な運用をはじめ、生物多様性保全上重要な地域における防除対策、飼養動物の適正管理などを進めます。（環境省）

○ バラスト水管理条約の発効に向けた国際海事機関（IMO）の議論に、引き続き積極的に参加します。（国土交通省、外務省、環境省）

3 外来生物リストの概要

(1) 千葉県における外来生物の現状

本リストから、平成24年度時点における千葉県内の外来生物は、953種の植物と352種の動物の計1,305種確認されていることになります。分類群別（類別）の種数の比率をみると（下左図）、種子植物が外来生物全体の約3/4（929種）を占めており、昆虫類（142種）、軟体動物（59種）、鳥類（54種）の外来生物も多いことがわかりました。

千葉県内の野生生物種に占める外来生物種数の比率は、全体では9.1%でした（下右図、県内の野生生物種数は文献366を参考にしました）。分類群別にみても、爬虫類や哺乳類で野生生物の約4割が外来生物（爬虫類：43.8%、哺乳類：38.9%）で、維管束植物（シダ植物と種子植物）（33.6%）や魚類（30.8%）も外来生物の比率の多い分類群でした。

外来生物のうち、国内の他都道府県から千葉県に侵入した「国内外来生物」は、植物52種、動物53種の計105種で、全体の8.1%を占めていました（詳細は15ページ参照）。

この千葉県内の外来生物のうち、生態系又は人に対する影響度がAランク（生態系又は人に対し、回復が困難となる深刻な影響が認められる、あるいは予測される）のものは、植物32種、動物32種の計64種で、外来生物全体の5.1%にあたります（右ページの表参照。一覧は26ページ）。さらにこのうち、防除の緊急度がAランク（非常に高い）の種は50種でした。さらに外来動物では影響度に関する情報が不足している（DD）種は100種あり、この中には影響度や緊急度の高い種も含まれている可能性があるため、早急な現状調査が必要と考えられます。

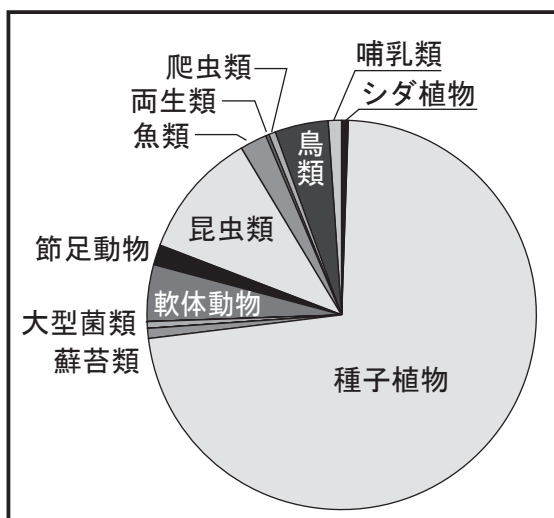


図 千葉県における外来生物の類別比率
類別の種数比率を示した。

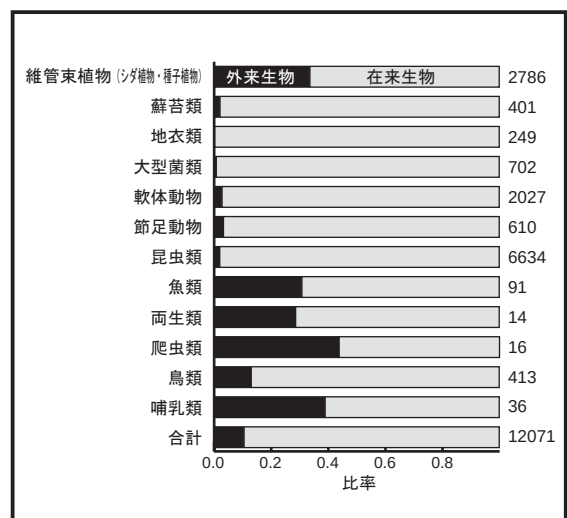


図 千葉県における野生生物に占める外来生物の類別比率。
図右の値は野生生物種数（文献366の集計）を示す。

表 千葉県における外來植物の種数

類別	影響度	緊急度			合計
		A	B	C	
シダ植物	A	2	0	0	2
	B	0	0	0	0
	C	0	0	0	0
	D	0	0	6	6
	DD	0	0	0	0
	合計	2	0	6	8
種子植物	A	27	3	0	30
	B	3	89	37	129
	C	1	17	209	227
	D	1	2	540	543
	DD	0	0	0	0
	合計	32	111	786	929
鮮苔類	A	0	0	0	0
	B	0	1	1	2
	C	0	1	1	2
	D	0	0	5	5
	DD	0	0	0	0
	合計	0	2	7	9
地衣類	A	0	0	0	0
	B	0	0	0	0
	C	0	0	0	0
	D	0	0	1	1
	DD	0	0	0	0
	合計	0	0	1	1
大型菌類	A	0	0	0	0
	B	0	0	0	0
	C	0	0	0	0
	D	0	0	6	6
	DD	0	0	0	0
	合計	0	0	6	6
外來植物計	A	29	3	0	32
	B	3	90	38	131
	C	1	18	210	229
	D	1	2	558	561
	DD	0	0	0	0
	合計	34	113	805	953

表 千葉県における外來動物の種数

類別	影響度	緊急度			合計
		A	B	C	
線虫類	A	1	0	0	1
	B	0	0	0	0
	C	0	1	0	1
	D	0	0	0	0
	DD	0	0	0	0
	合計	1	1	0	2
軟体動物	A	2	2	0	4
	B	4	5	6	15
	C	4	4	29	37
	D	0	0	3	3
	DD	0	0	0	0
	合計	10	11	38	59
節足動物	A	0	0	1	1
	B	0	0	0	0
	C	0	6	2	8
	D	0	0	11	11
	DD	0	0	1	1
	合計	0	6	15	21
昆虫類	A	2	1	1	4
	B	0	11	3	14
	C	0	3	84	87
	D	0	0	3	3
	DD	0	0	34	34
	合計	2	15	125	142
魚類	A	8	0	4	12
	B	0	1	1	2
	C	0	0	9	9
	D	0	0	4	4
	DD	0	0	22	22
	合計	8	1	40	49
両生類	A	1	1	0	2
	B	0	1	0	1
	C	1	0	0	1
	D	0	0	0	0
	DD	0	0	0	0
	合計	2	2	0	4
爬虫類	A	2	1	0	3
	B	0	4	0	4
	C	0	0	0	0
	D	0	0	0	0
	DD	0	0	0	0
	合計	2	5	0	7
鳥類	A	0	0	0	0
	B	4	2	0	6
	C	0	1	0	1
	D	0	0	5	5
	DD	0	0	42	42
	合計	4	3	47	54
哺乳類	A	5	0	0	5
	B	0	3	0	3
	C	0	1	4	5
	D	0	0	0	0
	DD	0	0	1	1
	合計	5	4	5	14
外來動物計	A	21	5	6	32
	B	8	27	10	45
	C	5	16	128	149
	D	0	0	26	26
	DD	0	0	100	100
	合計	34	48	270	352

参考) 外來生物の影響度と緊急度のランク分け基準

1) 生態系又は人に対する影響度

- A：生態系又は人に対し、回復が困難となる深刻な影響が認められる、あるいは予測される。
- B：生態系又は人に対し、深刻な影響が認められる、あるいは予測される。
- C：生態系に対し、明らかな影響が認められる、あるいは予測される。
- D：生態系に対し、明らかな影響はあまり認められない、あるいは予測されない。
- DD：現時点では、上記A～Dの影響度ランクを判定する情報が得られていない。

2) 根絶の可能性を考慮した防除の緊急度

- A：非常に高い。
- B：高い。
- C：低い。

侵入の年代と経路

千葉県内への侵入年代を、それぞれの種ごとに示されている県内で初めて記録された年代などから集計すると、外来植物では、江戸時代以前からすでに多くの侵入が起こっていましたが、戦後に特に多くなり、平成になっても年間10種以上が継続的に発見されていることがわかります（下左図）。一方、外来動物では戦後の昭和中期から後期にかけて大量侵入したことがわかりましたが、平成の12年間に新たに県内に侵入した種は比較的少なくなっていました。特定外来生物の取り扱いを規制する外来生物法が平成17（2005）年に施行されましたが、少なくとも外来植物に関しては明らかな効果がみられていないようです。

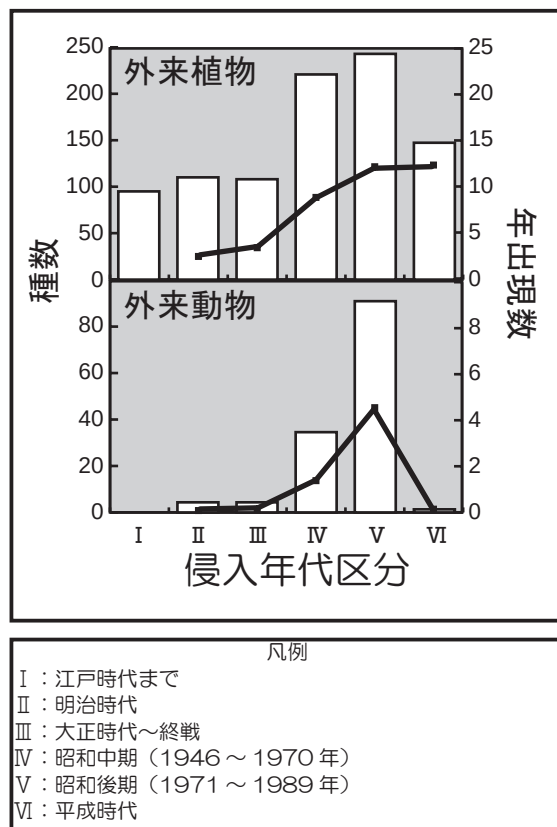


図 千葉県における外来植物（上図）および外来動物（下図）の侵入年代別種数（棒グラフ、左軸）と各年代区分ごとの年出現数（折れ線グラフ、右軸）。年代は凡例の通りとした。年出現数は、種数を各年代区分の年数（II：45年、III：32年、IV：25年、V：20年、VI：12年）で除したものを示した。

外来生物の県内への侵入経路（下右図）は全体のほぼ半分が「栽培種・飼育個体などの逸出・導入」で、ほぼ半分が「産業や人の移動に伴った個体の拡散」でした。それぞれの内訳（下図）を見てみると、一般家庭などでの栽培・飼育個体（360種）が最も多く、外来生物の栽培や飼育に関して、一般県民にむけた外来生物問題の周知が水際対策として重要であることがわかります。また、農林水産業などでの利用個体（145種）およびそれに随伴した侵入（188種）や、環境緑化植物（およびそれに随伴した拡散）、産業原料またはその製品に随伴した拡散も多種にわたってみられることから、産業活動における外来生物問題の普及啓発、規制のあり方の検討が不可欠であることもわかります。

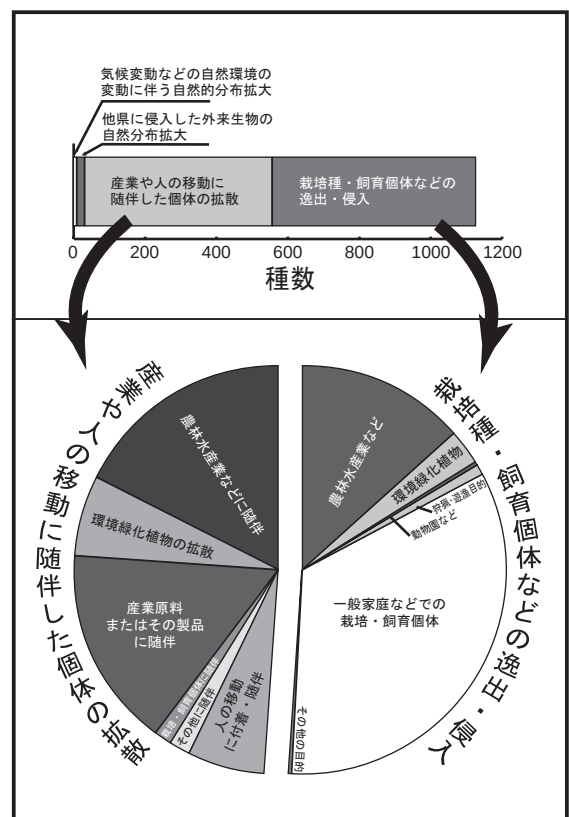


図 千葉県の外来生物の県内侵入経路。複数の侵入経路をもつ53種については、それぞれの経路毎に重複加算している。

国内外来生物

前述したように、国内の他都道府県から県内に侵入した「国内外来生物」は、植物 52 種、動物 53 種の計 105 種で、全体の 8.1% を占めていました（下左図）。この中には、個人的な趣味により県内に放された外来生物があります。さらにこの中には意図的に「身近な自然の中でいてほしい」と願った「善意」に基づくものもあると思われます。しかし、在来種（あるいは近縁種、近縁亜種）がすでに県内に生息・生育する場合、結果として在来種への遺伝的汚染が発生していることもあります。

また、国内には都道府県や地方を越えて生きものが流通する仕組みが数多く存在します。植木や土砂などの輸送と利用、水産資源の増殖のための商業利用などがそれにあたります。利用する対象自体が「外来生物問題」の原因にならないか、それらの移動にともなう随伴生物が非意図的に「国内外来生物」として問題になることはないかなど、実施主体が問題に加担しないよう、慎重に行う配慮が必要です。

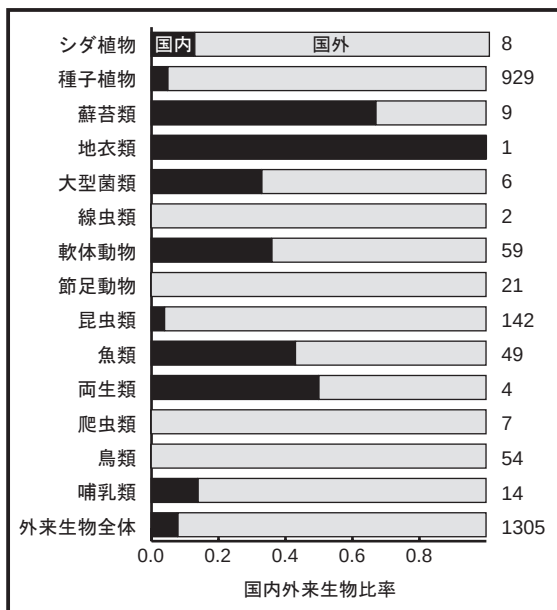


図 千葉県の外來生物に占める国内外来生物比率。図右の値は外來生物種数を示す。

気候変動と外來生物

「気候変動に関する政府間パネル（世界の専門家による地球温暖化についての科学的な研究の収集整理のための政府間機構）」によると、地球温暖化による気候変動は人為による結果であり、今後地球規模で阻止しなければならない問題として社会的に認知されました。この地球温暖化に伴い新たな外來生物の分布拡大が起こる可能性があります。地球温暖化による気候変動の年変化はとても小さく、10 年以上、場合によっては 100 年単位でのデータ比較によって明らかになる場合が多いと考えられます。

しかし、外來生物の対策は、予防原則にのっとって行われるべきで、ある程度可能性が認められる場合は、先手を打って対策にのりだすべき問題でもあります。要するに、因果関係が科学的に完全に証明されてから初めて対策をとるのでは、被害が拡大して手遅れになることがあるのです。

今回の外來生物リストでは「気候変動などの人為による環境変動に伴う分布拡大による拡散」による侵入可能性があるものとして、シダ植物 1 種、種子植物 3 種、昆虫類 6 種の計 10 種掲載されました。現状では少ない種数ですが、今後増加することも予想され、出現分布地域のモニタリングや因果関係の調査が課題です。

「気候変動などの人為による環境変動に伴う分布拡大による拡散」が侵入経路のもの

オシダ科	イヌケホシダ
ヒルガオ科	ノアサガオ
ツクサ科	マルバツクサ
イネ科	コツブキンエノコロ
ヘリカメムシ科	ミナミトゲヘリカメムシ
カメムシ科	ミナミアオカメムシ
スズメガ科	クロメンガタスズメ
アゲハチョウ科	ナガサキアゲハ
シジミチョウ科	クロマダラソテツシジミ
タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン

人や生態系などへの影響

外来生物の影響を 11 ページのように分類して集計すると、在来生物への影響のあるものは 443 種（影響がわかっている種の 46.2%, 以下同様）、人の生命・身体・生活への影響のあるものが 282 種（29.4%）、産業への影響があるものが 234 種（24.4%）でした。それぞれの内訳（下図）から、在来生物の生活空間、繁殖空間、食物資源を競争によって排除してしまう影響（288 種）が最も多く、次いで農業への影響（190 種）、景観への影響（130 種）が多いことがわかりました。

在来生物への影響に関して、特記すべきこととして、遺伝子浸透による影響があり、亜種間や種間の遺伝子浸透をあわせると 39 種が掲載されています。遺伝子浸透は、“遺伝子汚染”とも呼ばれ、在来個体群に近縁の（同種の場合と異種の場合があります）外来生物が侵入し、房総半島の長い歴史の中で育まれた固有の遺伝的組成を持つ地域個体群が、遺伝子のレベルで変質してしまい、絶滅してしまう可能性がある

現象です。例えば、ニホンザルに近縁なアカゲザルによって、一部の生息地が天然記念物にも指定されている遺伝的固有性の高いニホンザル地域個体群の中に交雑個体がみられるようになっており、「サル」の個体数が目にみえて減少しているわけではないにもかかわらず、千葉県のカニザル地域個体群が絶滅の危機に瀕する状況になっている事例もあります。

近年、急速に悪影響がでている外来生物に熱帯地方由来の水生植物であるナガエツルノゲイトウ、オオフサモ、ミズヒマワリがあげられます。これらは、県内河川の一部で大繁殖しており、水の流れを阻止するだけでなく、船の運航や水中に日光が差し込まなくなるための水生生物への影響もみられ、一部は水田へも侵入して被害を及ぼしています。また、淡水貝のカワヒバリガイは、利根川から両総用水路などのパイプラインなどを経由して県中部や京葉工業地域へも分布が拡大しており、今後の被害拡大が懸念されます。

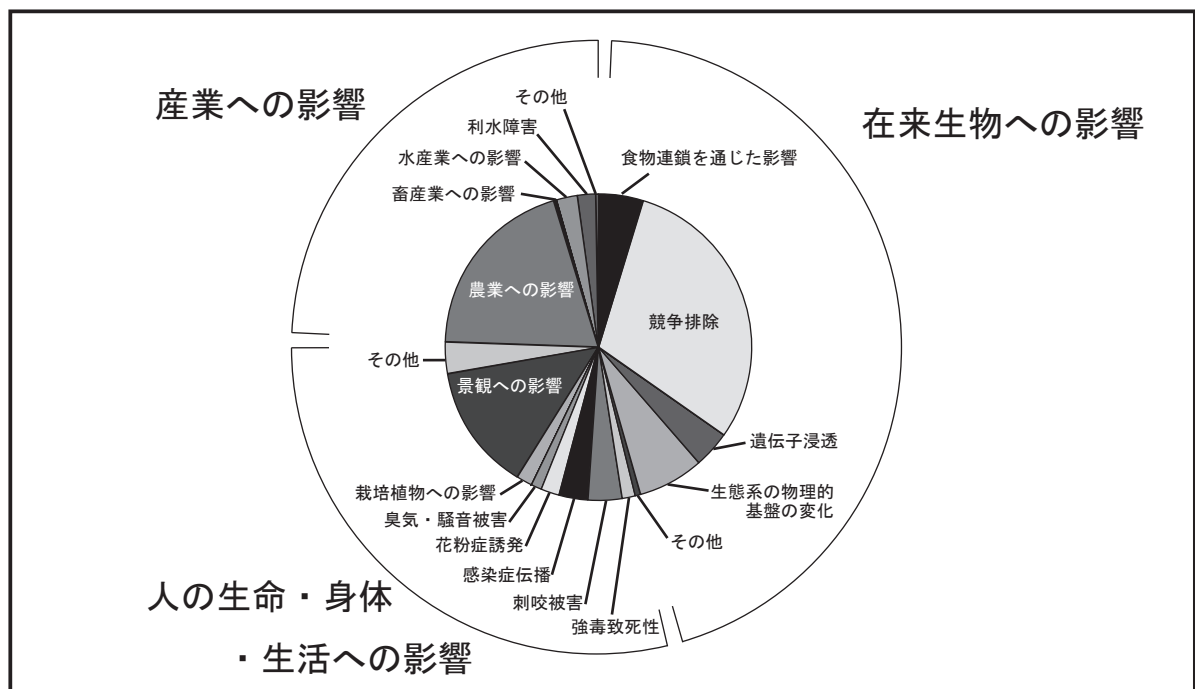


図 千葉県の外来生物の人や生態系などへの影響。種数の内訳を示した。複数の影響があるものは、それぞれ重複して集計した。

(2) 各分類群の外来生物の概況

千葉県の外来シダ類

千葉県立佐原高等学校 谷城勝弘

シダ植物は、胞子で分布を広げるため、分布域が急激に遠隔地に及ぶことがある。千葉県の外来種 8 種は、いずれも熱帯域に分布の中心をもつもので、国内分布はほとんどが本州～九州にわたる。イヌカタヒバ、コンテリクラマゴケ、ホウライシダ、コバホウライシダ、タマシダの 5 種は栽培植物として明治～昭和に日本に侵入した。アメリカオオアカウキクサと人工交雑種

のアイオオアカウキクサはアゾラ農法の効率化やアイガモ農法の普及に伴って各地に分布を拡大している。近年の温暖化は、これらの外来種が容易に定着、繁殖しやすい条件となっている。しかしながら、少なくとも県内ではこれまでに外来のシダ植物が生物多様性の保全にかかわる重大な事態を引き起こす事例は確認されていない。

千葉県の外来種子植物

千葉県立中央博物館 天野 誠

種子植物の外来生物は、人が意図せずに持ち込む狭義の帰化植物と有用植物や鑑賞用植物として持ち込まれたものが野生化した逸出植物の 2 つの区分がある。

狭義の帰化植物にも、一時帰化のものと千葉県に定着しているものがある。また、特定の場所に定着しているが、それ以上分布を広げないものもある。自然にやさしい素材として利用されたココナッツ繊維由来の土壌改良材から、ベニズメガヤやモンパミミナグサモドキの熱帯の雑草などが一時帰化した例がある。また、かつて毛織物工場の周りに羊毛に付着した種子由来のシベナガムラサキのような帰化植物が生育していた事例もある。千葉県に定着している帰化植物もヒメジョオンやヒメムカシヨモギのように古くから定着しているもの、セイタカアワダチソウのように戦後分布を広げたもの、ナガミヒナゲシやイヌコハコベのように近年になって分布を広げたものもある。広く分布し定着したものは、駆除が著しく困難であるし、今後分

布を急速に広げる可能性も高くはない。このような外来植物については、必要に応じて駆除をすることが現実的である。ナルトサワギクのような特定外来生物で、千葉県にはまだ完全に広まっておらず、完全駆除の可能性のあるものに関しては、積極的に啓発活動をするとともに、繰り返し駆除をして、完全駆逐を目指すべきであろう。また、家畜の飼料、西洋芝に混じる雑草などの繁茂が所々に見られる。これらについては、種子が輸入された時点での対処が重要と思われる。

逸出植物に関しては、人的な管理の及ばない所に放置しないことが必要であり、オオフサモ、ナガエツルノゲイトウのようなアクアリウム・プランツで、特定外来生物に指定されているものは、特に注意が必要である。この 2 種については、すでに分布が広まっており、定着した所での根絶は非常に困難であり、これ以上生育地を広げないように注意を喚起する必要がある。ミズヒマワリについては、利根川流域で分

布を広げつつあり、水路を塞ぐ等の実害が出てきており、県内外の関係部署が密接に連携して、駆除する必要がある。これらの植物は、栄養繁殖をするために、駆除する際には、周囲に栄養体分散しないような慎重なやり方が必要である。

千葉県では特に牧草の逸出が著しい。通常環境ではそれら自然植生を著しく阻害する事は少ないが、河原、海岸等の草原性の群落では、配慮が必要な所もある。

国内帰化植物問題あるいは、植え戻しによる遺伝的かく乱については、絶滅危惧植物に対する正しい保護の方法を啓蒙するとともに、素性のわからない植物を植え戻すなど、少なくとも行政が安易な植え戻しに関わるような事のないようにすることが肝要である。

緑化と称して、故意に栽培植物を自然に残っている場所に植え込む事は今後慎むべきである。

特に千葉県では現在の所は、冬期に枯死しているもので、大きな問題にはなっていないが、ホテイアオイとボタンウキクサについては、今後野外で栽培しないように嚴重な注意が必要である。西日本の各地では、これらの植物で、水面が覆われてしまい、植物のみならず、水生動物にも大きな影響を及ぼしている池沼がある。逸出植物の中でも、特にトキワツユクサやツルニチニチソウのように地面を一面に被い、在来植物を排除する侵略的要素の高い逸出植物については、今後の動向を見守る必要がある。

700余種に及ぶすべての外来植物について、一律に完全駆除をすることはもはや不可能であり、故意に分布を広げないこと、必要に応じて駆除すること、何よりよそから持ち込まないことについての細かい配慮と市民への啓蒙が必要である。

千葉県の外来蘚苔類

千葉県立中央博物館 古木達郎

蘚苔類は、小さい孢子や無性芽を散布体として分布を広げているため、分布域が種子植物よりも一般的に広いことで知られている。日本の蘚苔類は、北半球の冷温帯に広く分布する周北要素やヒマラヤから中国、日本にかけて分布する東アジア要素、東南アジアから西太平洋岸に沿って分布する東南アジア要素がほとんどであり、他に東アジアと北アメリカ東部に分布する東アジア・北アメリカ東部要素のような不連続分布要素（隔離分布ともいう）が僅かに知られている。従って、日本固有生物は約8パーセントに過ぎず、国外外来生物も数種しか知られていない。

千葉県からは、これまでに約400種が報告

されているが、全体的に東アジア要素が多く、房総丘陵には東南アジア要素も知られている。一方、国外外来生物は3種が知られているに過ぎない。これら外来生物は、地面に生育しているタイ類ゼニゴケ目の種である。一方、国内外来生物であろうと推定される蘚苔類は少ない。これらの多くは、花崗岩や安山岩上だけに生育し、県内の自然な環境には生育していないことから、国内外来生物である可能性が高い。しかし、その由来は、岩に付着して持ち込まれた場合と、後から孢子などの散布体が飛来してきた場合が考えられる。ここでは後者の場合も元来は千葉県にはない生育基物の上だけに生育していることから、人為的な影響による国内外

来生物であると見なした。但し、その由来時期がはっきりしている種は少なく、社寺の境内に生育している種も多く、有史以前の外来種であると思われる種も多い。また、社寺の境内や公園、人家の庭などの人工的な房州石に生育している種の中には、自然な房州石には確認されていない種もあり、要検討種とすることにした。

蘚苔類の外来生物による影響は、国外外来生

物では大きく、国内外来生物では小さいと思われる。国外外来生物の3種は、地面を埋め尽くすように広く覆うことがあり、在来生物の蘚苔類や維管束植物の生育に与える影響は大きい。しかし、国内外来生物は、本来、千葉県になかった生育基物上に生育していることから、在来生物に対する影響はほとんどないと思われる。

千葉県の外来藻類

千葉県立中央博物館分館・海の博物館 宮田昌彦

現在、千葉県に外来生物法（2004）で指定された特定外来生物、未判定外来生物に該当する藻類の分布は確認されていない。これまで千葉県に移入された藻類は、（1）非意図的に国内外から移入される浮遊性または非浮遊性の微細藻類がある。主に船のバラストタンク水に混入し、また、アサリ種苗など移入動物に付着、寄生、共生する、珪藻、鞭毛藻、大型藻類の配偶体などである。また、（2）意図的に国内から養殖を目的に移入される大型藻類（紅藻アマノリ類、褐藻マコンブ、ワカメなど）がある。特に東京湾のノリ養殖において、有明海など国内の他の海域から、紅藻スサビノリ系ナラワスサビノリやアサクサノリ系の野生選抜品種、人為的に改良した優良品種が移入されている。そして、（3）渡り鳥（カモ類など）など、野生生物を介して移入される淡水藻（シャジクモ類など）がある。

一般に生態系サービス（生態系がもつ機能のうち、食糧など人類にとって恩恵のあるもの）として水産資源があり（Costanza et al. 1997）、移入種苗の利用と沿岸域の生態系機能の持続性を確保するためには、生物多様性の保全が必要である。検討すべき主な課題として、

（1）養殖した移入種から胞子が広域に分散し、競争を介して在来種の野生個体群を減少、絶滅させ、生態系の物質循環や水分・エネルギー収支等を改変して生態系機能を攪乱させる沿岸生態系全体に対する影響と（2）遺伝子浸透を介した遺伝的多様性の低下、在来種または近縁種と雑種を形成して種を消滅させ、同種の場合は局所個体群の地域性の消失がある。これらのことは、生態系機能の破壊を引き起し、水産資源の持続的な利用にとって重要な問題となる。これまでに東京湾岸の河口域、岩礁域、干潟などの浅海域において、紅藻アマノリ属のアサクサノリ、マルバアマノリ、スサビノリ、カイガラアマノリ（Miyata & Kikuchi, 1997）の野生個体群の分布が確認され、コスジノリ（Ueda, 1932）が報告されている。しかし、東京湾において紅藻アマノリ類の移入に注目した、これらの問題についての詳細な調査研究はない（Niwa & Aruga 2006）。そして、紅藻スサビノリ系ナラワスサビノリの様々な品種の東京湾への移入については、千葉県の奈良輪（袖ヶ浦市）で最初に選抜育種されたナラワスサビノリの母種であるスサビノリが、元来東京湾に分布せず、昭和30年代に東北や北海道から東京湾に養殖

を目的に移入されたことが、さらに議論を複雑なものにしている。すなわち、半世紀以上にわたる東京湾の紅藻アマノリ類に注目した生物多様性変動の把握が必要である。

このように移入種の利用と生物多様性保全という一見矛盾する内容をすすめることが、生物多様性条約（1992）で確認された海洋における資源の持続的な利用に関わっている。一般に浅海域における生物多様性が、局所個体群の集合であるメタ個体群レベルで形成維持されることから、メタ個体群の集合であるメタ群集レベルで生物多様性の管理を行うことで、異なる個々の海域で水産資源を利用することが可能である。しかし、浅海域におけるメタ個体群に注目した移入種管理を含む生態系管理の手法は十分に議論されていない。実際に生態学的基準、人間活動に関わる基準、管理的基準など多様な側面から考慮された基準をもとに（Arkema et al. 2006）、生態系レベルの管理計画を立案して保護区を設定し、長期モニタリングと順応的管理を行い、改変した生物多様性の自然再生を行うという、生態系維持管理システムの検討が必要である。

引用文献

- Costanza, R., d'Arge, R., de Groot, R., Farber, S., Grasso, M., Hannon, B., Limburg, K., Naeem, S., O'Neill R.V., Paruelo, J., Raskin, R.G., Sutton, P. and van den Belt, M. 1997. The value of the world's ecosystem services and natural capital. *Nature* 387: 253-260.
- Miyata, M. and Kikuchi, N. 1997. Taxonomic study of *Bangia* and *Porphyra* (Bangiaceae, Rhodophyta) from Boso Peninsula, Japan. *Nat. Hist. Res., Special Issue 3*: 19-46.
- Ueda, S. 1932. Systematic study of the genus *Porphyra*. *Suikou Kenkyu Hokoku* 28(1): 1-45.
- Niwa, K. and Aruga, Y. 2006. Identification of currently cultivated *Porphyra* species by PCR-RELF analysis. *Fisheries Science*, 72: 143-148.
- Arkema, K.K., Abramson, S.C. and Dewsbury, B. M. 2006. Marine ecosystem-based management: from characterization to implementation. *Front. Ecol. Environ.* 4: 525-532.

千葉県の外来地衣類

千葉県立中央博物館 原田 浩

地衣類は、胞子か栄養繁殖器官の粉芽など、いずれも小さな散布体により分布を広げるため、分布域が広い種類が多いと考えられている。千葉県など暖温帯に分布するウメノキゴケなど多くの種は、世界的にみると低緯度では世界中の山地に、中緯度では低地に分布する。より寒冷的な地域にみられる種は、東アジアに分布する、あるいは更に北米東部に分布する、北米西部に分布する、北半球に広く分布する種などに類別される。高山に生育する種の中には、更に、北半球と南半球の周極地域に分布する種も含まれる。その一方で、情報が断片的であり、分布が十分に解明されていない種も多い。現段階で、国外からの外来生物は確認されていない。

植木や岩石を移動するときに、これらに付着していた地衣類が不作為に移動させられる事態が日常的に行われている。植木が県外から持ち込まれる場合には、似通った気候の場所に由来することが多いため、着生する地衣類の種は県内産と同一である場合が多く、判別は難しい。

千葉県にはもともと硬い岩石がほとんど無い

ため、岩石が持ち込まれる場合には、付着する地衣類の種が県内には見られないものである可能性が、樹木上に生える地衣類より高くなる。また、より寒冷的な場所から持ち込まれる可能性もあることで、持ち込まれる地衣類の種組成が異なる可能性が更に高まる。県外から、岩とともに持ち込まれたと疑われる例が幾つか確認されている。このうち、明らかに県外産と断定できるものは、石灰岩生のウスバイシバイワノリの例のみである。

地衣類の種内の遺伝的多様性についてまだほとんど明らかにされていないため、植木や岩石の移動に伴う地衣類の県外からの移入によるのか、遺伝的なかく乱がどの程度起こっているのか、全く分かっていない。また、他の種への影響も不明である。一方、これらの地衣類は、樹皮上や岩上など特殊環境に生育するため、地衣類以外に競合する生物がほとんどいないことから、地衣類以外の生物への影響はほとんど無いと考えてよいだろう。

千葉県外来きのこ類

千葉県立房総のむら 吹春俊光

大型の子実体をつくる菌類（きのこ）は、その栄養摂取様式により2つの散布方法をもつ。腐生性の菌類は、胞子や菌糸片が散布体として広がることにより、温度・湿度が生育に適切で有機物などの基質があれば比較的容易に広がり、植生帯をこえて、ときに汎世界的に分布するものもある。一方、外生菌根性の菌類は、根の部分で植物と栄養共生しているため、原則、共生相手の植物とともに移動しなければ分布を拡大することができない。そのため外生菌根性の菌類は植生帯に依存して分布し、あるいは地域限定型の分布域をもった種類が多い。すなわち東アジア分布要素、ユーラシア分布要素という具合に分布域は限定的であることが多い。

後者の外生菌根菌類は、分布域がはっきりしているため外来種として特定することが比較的容易である。たとえば、北半球にのみ分布していたベニテングタケという種は、マツ科やカバノキ科の植物の苗や土壌とともに、南半球にもちこまれた。初期の段階では、公園や街路、造林地などの植栽林地内に限定的にみられるだけであったが、寄主の乗り換え現象がおこり、南半球に分布するナンキョクブナ林でもみられるようになった。ニュージーランドやオーストラリアでは、ベニテングタケは在来外生菌根菌の生息域を脅かす有害な菌として認識されはじめている。

外来種として認識が容易な種がある一方、判断が困難な場合もある。その理由は、日本産の菌類の目録作成が遅れていることにある。日本産の大型菌類は約2500種とされているが、それは日本全体の約三分の一程度とされている。すなわち日本に生育する菌類の正体がはっきりせず、外来種なのかどうかの判断が難しい場合

が多い。千葉県では県立中央博物館の約20年以上の調査により県内産の大型菌は700種以上が目録化されており、千葉県は比較的菌類相が知られている県ではあるが、完全な目録は未整備であり外来種の判定は難しい。今回の目録にあげたトゲウラベニガサは、最近になり日本新産ということが判明したこと、産地は日本で1カ所であること、生育地が人為的な場所であること、などの理由で外来種と判定したものである。

また、外生菌根菌は植物と栄養共生するため、植栽した苗の生育を補助する目的で積極的に菌類を接種する場合もある。たとえば、海岸にマツ類を植栽する場合に、今回目録にあげたショウロなどの胞子の懸濁液を積極的に散布し人為接種して植栽する手法が最近とられるようになってきた。この場合、接種源の吟味は通常なされない。

また植栽された樹木に（県外からの）外来種が発生していても、その菌がその地域の菌類の生息をおびやかしているかどうかの判断は難しい。珍しい樹木を植栽する場合（見本園など）、その植物の生育を助けるためには、県外からの外来種としての菌根菌類の助けを借りるしかない。今回目録にあげたシロヌメリイグチ（寄主はカラマツ）がこの例にあたる。

以上のような理由で、千葉県にみられる菌類（きのこ）で、県外・国外からの外来種とおもわれる種を目録化したが、外来種としての判断には以上のような曖昧さがのこり、また明瞭に外来種と判断された場合でも、以上のような理由で排除する積極的な理由は、現段階ではない。また土壌中の菌類を排除することは、ほとんどの場合困難である。

千葉県の外来貝類

千葉県立中央博物館 黒住耐二

千葉県の外来貝類として、今回は 59 種をリストアップした。外来生物の定義にもよるが、この種数と確認された種は、日本の暖温帯域で記録されているものの大部分に相当し、陸・淡水・海と貝類の生息環境が全て存在していること、また千葉県が現在の物流の中心である東京に隣接した都市部を形成していることも外来生物の多い大きな要因である。

陸域では、22 種が確認され、明治期の文明開化による国外からの物資に伴って国内で定着し、その後、千葉県へ二次的に人為分散してきたもの、太平洋戦争後に国外から入ってきたもの、昭和期の終わりから平成期にかけて確認されたもの等、いくつかの画期が認められるようである。特に、平成期には、様々な物の移動が多くなり、西日本の植物由来の国内外来生物も増加する傾向にある。他の生物群と同様であろうが、外来生物が自然度の高い森林内に分布を拡大している状況は、貝類でもほとんど認められていない。

淡水域に生息する種は 16 種で、明治期のは少なく、昭和期後半から平成期に増加している。特に、ジャンボタニシ（スクミリンゴガ

イ）やシジミ類のように食用に関連したものと、モノアラガイ類等の水草に付着して分散してきたと考えられるものが目立つ傾向にある。昭和期後半における淡水域（水田等）での農薬散布・水質汚染・水田の乾田・埋立・周辺の開発等によって、在来生物の多くが激減する中、これらに置き換わってタイワンシジミの急激な分布拡大・モノアラガイ類の増加が顕著である。また、ホタルの餌としての外来のカワニナ類や他の巻貝類の移入も、このままでは更に進行すると考えられる。

東京湾を中心とした海域では、平成期になってからの外来生物の増加が著しい。貝類では、バラストタンク水中の幼生由来よりも、潮干狩りや食用貝類由来の種数が多いと考えられる。前者ではウメノハナガイモドキ、後者ではホンビノスガイ等が想定され、個体数増加も著しい。これまでも指摘してきたが、今後、減少の著しい水産有用種の他地域からの導入・養殖等に関しては、早急に外来生物をどのように定義するか（遺伝的距離等）を決め、産業と自然保護と両立させねばならないであろう。

千葉県の外来昆虫

齊藤明子（千葉県立中央博物館）

高桑正敏（元神奈川県立生命の星・地球博物館）

今回は 9 目 142 種を掲載したが、昆虫は発見が容易でない種や、千葉県での発見が人為による結果なのか、それとも次に述べるように自然分布によるものかどうか不明な種も多く、調査が進むことによってさらに多数の外

来生物がリストアップされるものと想定される。また掲載種についても、ツマグロヒョウモンのように外来生物と見なすのが妥当かどうか、検討を要するものもあろう。

外来生物には、原産地が国外の種（国外外来

生物)と、国内の自然分布域から人為を介して千葉県に侵入した種(国内外来生物)とがある。ただし、昆虫には一部のチョウ類やトンボ類に代表されるように飛翔による分散能力が非常に高い種があり、とくに国内外来生物の場合には本目録に掲載したものであっても、それが実際になんらかの人為を介して千葉県に持ち込まれたものか、そうではなくて自力あるいは自然の作用で進出したものかの判断が難しいケースも見られる。本目録では国内外来生物数が少ないが、潜在的にはさらに多数に上ると考えられる。また昆虫の場合は、自然分布域からの分散個体が自然史における環境ではなく、人為が創り出した環境(農地や樹林地など)だけに依存して生活する種もあり、これらを外来生物という視点からどのように扱うのか問題が残されている。

移入経路については、害虫駆除目的や密放流(放虫)のように意図的に導入したケースと、農業害虫や屋内害虫となっている種のように非意図的に侵入したケースとがあるが、昆虫ではほとんどが後者である。このため、その原産地や侵入の年代・過程なども明らかでないものが多い。たとえば、日本のモンシロチョウは一般に大陸から物資に随伴して運ばれた外来生物とされるが、東シナ海を越えて集団飛翔してきた可能性も指摘されており、ここでは要検討種として扱っている。

いわゆる外来生物法によって特定外来生物に指定された昆虫(合計8種群)は、現在未定着と考えられるセイヨウオオマルハナバチ1種であるが、アルゼンチンアリが横浜市と東京都の湾岸で発見されており(防除対策が講じられている)、近い将来に本県にも侵入の可能性がある。同じく要注意外来生物に指定された昆虫(合計7種群)では神奈川県湘南地方発のアカボシゴマダラと海外産クワガタムシ2種が記録されており、前種は2008年に千葉県で

初めて確認され、現在定着したと見られている。

ごく最近になって確認され、定着したと考えられる外来生物には上記アカボシゴマダラのほか、マツヘリカメムシ、ケブカトラカミキリ、ユーカリハムシ、タバコノミハムシなどがある。このうち、マツヘリカメムシは北米原産で、カメムシ類では珍しくマツ類に依存し、南関東一帯に広がりつつある。ユーカリハムシはオーストラリア原産のハムシ科の大型種で、同じくオーストラリア原産の移植樹ユーカリに依存し、やはり南関東の各地から確認されている。

国内外来生物で注目される種にはクロイワツクツクがまず挙げられる。本種はツクツクボウシ属のセミで、九州南端~沖縄諸島を自然分布域とするが、1970年代初めに南房総で発生が確認され、現在も旺盛に定着している。ケブカトラカミキリは四国南部~大隅諸島を自然分布域とする希少種だが、2008年に千葉県北東部で発生が確認され、イヌマキ農園に多大な被害を与えている。これら2種とも本州では今のところ千葉県だけから知られる外来生物である。

昆虫の場合、農林業や家庭内の害虫として問題視される外来生物は数多いが、生態系に大きな被害を与えている外来生物は千葉県ではとくに知られていない。ただし、前述のアカボシゴマダラは侵入後数年で在来種ゴマダラチョウを激減させた例が東京都下で報告されており、本県でもオオムラサキともども注意が必要である。また、クロイワツクツクの発生地では在来種のセミ類の鳴き声が聞かれないという情報もあり、生態的競争の結果の可能性もある。

外来生物は一般に、都市部や農耕地など人為の干渉が強い環境に定着する一方で、自然度の高い環境には入り込めないと考えられているが、昆虫の場合は必ずしもそうではない。アカボシゴマダラはすでに神奈川県各地でオオムラサキの生息する良好な樹林環境にも入り込み、同じ1枚の葉裏から両種の越冬幼虫が同時に

発見されることもある。アオマツムシも都市部ばかりでなく、里山環境から照葉樹林環境までふつうに見かける。加えるなら、アオマツムシ

の鳴き声の喧騒さは在来の鳴く虫の声をはるかに凌ぐもので、鳴く虫の声を愛するという日本独特な文化は望むべくもない。

千葉県の外来魚類

千葉県生物多様性センター 尾崎真澄

千葉県の外来魚類として、55種が今回のリストに掲載された。このうち、海外起源のものが31種、国内外来種が24種であった。さらに、国内外来種のうち、琵琶湖を含む西日本から移入されたと考えられるものが18種に及んだ。また、外来生物法における特定外来生物が5種、要注意外来生物が13種掲載された。

千葉県に侵入した外来魚類の導入経緯について整理すると、まず、海外起源のものは、主として水産用途（養殖・放流等）として意図的に持ち込まれたもの（ハクレン、ソウギョ、カルムチー、チャネルキャットフィッシュ等）が多く、そのほかに遊漁対象として利用されているもの（ニジマス、オオクチバス等）、随伴生物として非意図的に持ち込まれたもの（タイリクバラタナゴ、オオタナゴ等）、観賞用に持ち込まれ、野外に遺棄されたもの（マダラロリカリア、グッピー等）などに分類された。

次に、国内外来種の多くは、琵琶湖や近畿圏

からのアユやコイ・フナ類などの放流用種苗の随伴生物として非意図的に持ち込まれたものと考えられる（ツチフキ、ワタカ、スゴモロコ、ビワヒガイ等）。また、放流用種苗として持ち込まれたコイ、ゲンゴロウブナ、ワカサギなどは、漁業権魚種であり、増殖義務の対象として放流されてきた経緯がある。

最近では、市中の観賞魚店では、数多くの日本産淡水魚が販売され、野外でも県外産タナゴ類やヒメダカ（メダカ改良品種）などが確認されている。

以上のように、千葉県にはこれまでに、さまざまな経緯のもとに数多くの外来魚類が侵入してきた。近年は遺伝子分析の技術が発達し、同種でも地理的変異を高度に検出できるようになってきた。このため、同種間の国内外来生物についても、注視していくとともに、正しい知識の普及啓発に努めていく必要がある。

千葉県外来爬虫両生類

市原高等学校 小賀野大一

これまでに記載されていた外来爬虫両生類 8 種の中から、千葉県では野外での確認がないグリーンアノールを外し注意喚起種に変更した。一方、新たな外来種として、クサガメ、ハナガメ、キバラガメ、ワニガメの 4 種を加えた。その結果、爬虫類 7 種、両生類 4 種となり、爬虫類の全てが淡水性カメ類で占めることになった。また、スッポンとニホンヤモリを要検討種として取り上げた。

新たに外来種リストに加えたカメ類のうち、クサガメは最近の研究から江戸時代後期以降に朝鮮半島から九州地方北部に持ち込まれた可能性が高いとされた。関東地方への移入はさらに後のことと考えられているが、千葉県ではすでに多くの水系で生息が確認されている。千葉県の野外で確認されている個体の多くは、一般的に西日本で見られる個体と比較して小型であること、腹甲の色彩に変異が多いこと、甲羅の高さが長さに対し低いこと等の形態的な違いが見られ、中国からペットとして大量に流通したものが遺棄や逸失により野外に広がったものと考えられている。その後の遺伝子解析の研究からも、中国由来の割合が高いという結果が得られている。

一方、ハナガメ、キバラガメ、ワニガメは、県内の複数地点から確認されているが、いずれも 1 個体での回収であったり、閉鎖的な都市公園の池での目撃であったりすることから、野外での繁殖及び定着は現時点では無いものと思われる。しかし、ハナガメ、キバラガメは現在もペットショップ等で販売されており、今後も飼育個体が遺棄されることが考えられ定着も時間の問題といえる。これら 3 種のカメ類は、環境省の要注意外来生物に指定されており、野

外に定着し分布を拡大すれば生態系に悪影響を及ぼす可能性があることから、早期の発見と排除に力を入れなければならない。

要検討種として取り上げたスッポンは、全国的に養殖用や食用、及びペットとしても流通していることから、多くの地域で在来か外来かがわからないという混乱した状況である。環境省のレッドリストでも情報不足 (DD) として扱われている。近年、千葉県ではスッポンの確認件数が増えていることや、遺跡資料の検討から関東地方には生息していなかった可能性も指摘されており、今後の遺伝子研究や遺跡の再調査等の研究成果の進展を待ちたい。また、ニホンヤモリに関しては、クサガメ同様にこれまでは在来種として扱われてきた種であるが、やはり遺伝子研究と古文書での記載内容から古い時代に日本に侵入した外来種の可能性が指摘されている。県内での生息状況をみると、船橋市や千葉市、香取市などの市街地を中心に、飛び地的で不自然な分布を示していることから外来種である可能性は否定できない。

ペットショップでは、多くのカメ類が比較的手に入れやすい価格で販売されている。外来種としてすでに全国的に定着しているミシシippアカミミガメや新たに外来種として取り上げたクサガメは、現在でもペットショップ等の常連でしかも安価である。そのため、飼育個体が遺棄され続けることが十分に考えられることから、さらなる分布拡大が懸念される。千葉県の外来爬虫両生類は、ペットとしての流通量や販売価格、飼育の容易さ、房総半島の土地利用や自然環境などから予測すると、今後もカメ類の記載が増えていくものと思われる。

千葉県の外来哺乳類

千葉県生物学会

成田篤彦

千葉県生物多様性センター

浅田正彦

千葉県の外来哺乳類として、14 種がリストに掲載された。これまでに、千葉県内の陸生哺乳類は 36 種（「千葉県の保護上重要な野生生物 - 千葉県レッドデータブック - 動物編 2011 年改訂版, 千葉県発行」）掲載の生息種 34 種に、オグロプレーリードッグとフェレットを含めた）確認されており、その 41% が外来生物となる。全国では、生息している 134 種のうち 27 種（20%）が外来生物なので（阿部 2005）、千葉県は外来哺乳類の多い県であるといえる。

外来哺乳類の侵入経路を見てみると、マスカラットとハクビシンは毛皮をとるために輸入された個体が野外に逸出したもので、アカゲザルとキョンは動物園などの展示施設から逸出したものである。また、ペットとして飼育されていた個体が逸出したものとして、カイウサギ、オグロプレーリードッグ、アライグマ、イヌ、フェレット、ネコが上げられる。さらにイノシシは県内で在来個体群が絶滅した後に、複数回、複数個所で狩猟目的の放逐が行われた。2012 年度現在、マスカラット、アライグマ、アカゲザ

ル、キョンは外来生物法の特定外来生物に指定されており、野外放逐が禁止されている。しかし、その他については、野外放逐を禁ずる法規制がなく、法的整備が緊急課題となっている。

外来哺乳類の侵入による影響は、アカゲザル、キョン、イノシシ、アライグマ、ハクビシンでは農作物被害が大きい。また、アライグマやハクビシンは住宅や寺社建造物をねぐらとし、その際に柱や屋根板、壁、襖などの汚損被害を発生させる。さらには、アライグマやイノシシによる在来の生態系への影響も大きく、希少生物（特に爬虫両生類）への影響が懸念される。

平成 19 年発行の「外来種（動物）の現状等に関する報告書」に掲載されている外来哺乳類のうち、ワラビー類については、今後、県内への再侵入の危険性が低いと判断し、「要検討種リスト」へ移行させた。また、近県で侵入が確認されているが千葉県内での情報がないクリハラリス（タイワンリス）については、注意喚起種リストに掲載し、今後の情報収集に努めることとした。

(3) A ランクの外来生物の概要

生態系又は人に対する影響度が A ランク（生態系又は人に対し、回復が困難となる深刻な影響が認められる、あるいは予測される）の侵略性が高い外来生物は、植物 32 種、動物 32 種の計 64 種で、外来生物全体の 5.1% にあたり、

これらの種を一覧表にまとめました。これらの影響が大きい種は侵略的外来生物として、緊急に外来生物対策を講じる必要があります。

表 生態系又は人に対する影響度 A ランクの種一覧

行頭の数値は種番号を示します。

7	シダ植物	サンショウモ科	アメリカオオアカウキクサ	<i>Azolla cristata</i> Kaulf.
	影響度情報	121,150(水中の酸欠,光量不足。静岡県,岡山県ではため池のフナが死んだ)		
	緊急度:	A	分布度 a	
8	シダ植物	サンショウモ科	アイオオアカウキクサ	<i>Azolla cristata</i> x <i>A. filiculoides</i>
	影響度情報	121,150(水中の酸欠,光量不足。静岡県,岡山県ではため池のフナが死んだ)		
	緊急度:	A	分布度 a	
118	種子植物	ヒユ科	ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i> (Mart.) Griseb.
	影響度情報	350,121		
	緊急度:	A	分布度 a	
152	種子植物	スイレン科	フサジュンサイ	<i>Cabomba caroliniana</i> A.Gray
	影響度情報	121		
	緊急度:	A	分布度 b	
164	種子植物	モウセンゴケ科	ナガエモウセンゴケ	<i>Drosera intermedia</i> Hayne
	影響度情報	121		
	緊急度:	A	分布度 a	
167	種子植物	ケシ科	ハカマオニゲシ	<i>Papaver bracteatum</i> Lindl.
	影響度情報	210, 麻薬及び向精神薬取締法指定種		
	緊急度:	A	分布度 a	
173	種子植物	ケシ科	アツミゲシ	<i>Papaver setigerum</i> L.
	影響度情報	210, あへん法指定種。麻薬成分がある		
	緊急度:	A	分布度 a	
188	種子植物	アブラナ科	オニハマダイコン	<i>Cakile edentula</i> (Bigel.) Hook.
	影響度情報	121,280		
	緊急度:	A	分布度 a	
208	種子植物	アブラナ科	オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i> R.Br.
	影響度情報	121,350		
	緊急度:	A	分布度 c	
216	種子植物	アブラナ科	ノハラガラシ	<i>Sinapis arvensis</i> L.
	影響度情報	210(有毒)		
	緊急度:	A	分布度 b	

表 生態系又は人に対する影響度 A ランクの種一覧 (つづき)

273	種子植物	マメ科	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i> L.
	影響度情報	120,121,123		
	緊急度:	B	分布度 c	
342	種子植物	ツリフネソウ科	アカボシツリフネ	<i>Impatiens capensis</i> Meerb.
	影響度情報	121, 繁殖力強く, 大型になるので, 他の湿生植物を駆逐?		
	緊急度:	A	分布度 a	
372	種子植物	ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i> L.
	影響度情報	121,350,150,280		
	緊急度:	A	分布度 a	
390	種子植物	アリノトウグサ科	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i> (Vell.) Veldc.
	影響度情報	121,350		
	緊急度:	A	分布度 a	
399	種子植物	セリ科	ドクニンジン	<i>Conium maculatum</i> L.
	影響度情報	210(有毒)		
	緊急度:	A	分布度 a	
422	種子植物	アカネ科	シラホシムグラ	<i>Galium aparine</i> L.
	影響度情報	121		
	緊急度:	A	分布度 a	
539	種子植物	ゴマノハグサ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.
	影響度情報	350,100,121		
	緊急度:	A	分布度 a	
573	種子植物	キク科	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i> L.
	影響度情報	121, 繁殖力が強い,240, 花粉症の原因になる,120		
	緊急度:	A	分布度 a	
614	種子植物	キク科	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i> L.
	影響度情報	280,121, かなり繁殖している		
	緊急度:	A	分布度 a	
640	種子植物	キク科	ミズヒマワリ	<i>Gymnocoronis spilanthoides</i> DC.
	影響度情報	350,111,121,150, 水辺で大繁殖のおそれ		
	緊急度:	A	分布度 a	
662	種子植物	キク科	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i> L.
	影響度情報	121, 湿地や河原に侵入し, 在来希少種と競合		
	緊急度:	A	分布度 a	
665	種子植物	キク科	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i> Poir.
	影響度情報	320(家畜に毒性あり),121,123 アレロパシー作用		
	緊急度:	A	分布度 a	
672	種子植物	キク科	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.
	影響度情報	121,123,120, 繁殖力は極めて強い, アレロパシー作用, 秋冬季の蜜源にも		
	緊急度:	B	分布度 c	

表 生態系又は人に対する影響度 A ランクの種一覧 (つづき)

674	種子植物	キク科	メリケントキンソウ	<i>Soliva sessilis</i> Ruiz et Pav.
	影響度情報	220,310, 瘦果により人体を傷付け, 発芽率がよく, ひろがるため, 早急な撤去が必要		
	緊急度:	A	分布度 a	
693	種子植物	トチカガミ科	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i> Planch.
	影響度情報	121,350		
	緊急度:	A	分布度 b	
694	種子植物	トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i> (Planch.) St. John
	影響度情報	121,350		
	緊急度:	A	分布度 b	
719	種子植物	ユリ科	アツバキミガヨラン	<i>Yucca gloriosa</i> L.
	影響度情報	280,121		
	緊急度:	A	分布度 a	
731	種子植物	ミズアオイ科	ホテイアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i> (Mart.) Solms-Laub.
	影響度情報	121,350,150,280		
	緊急度:	A	分布度 a	
751	種子植物	ツクサ科	トキワツクサ	<i>Tradescantia fluminensis</i> Vell.
	影響度情報	121,120,150		
	緊急度:	A	分布度 a	
768	種子植物	イネ科	オオハマガヤ	<i>Ammophila breviligulata</i> Fernald.
	影響度情報	150,280, 海岸植生をこわす問題植物		
	緊急度:	A	分布度 a	
907	種子植物	サトイモ科	ボタンウキクサ	<i>Pistia stratiotes</i> L.
	影響度情報	121,120,350		
	緊急度:	A	分布度 a	
912	種子植物	ウキクサ科	ヒメウキクサ	<i>Spirodela punctata</i> (G.F.W.) Thomson
	影響度情報	121,310		
	緊急度:	B	分布度 a	
955	線虫類	アフレンコイデス科	マツノザイセンチュウ	<i>Bursaphelenchus xylophilus</i>
	影響度情報	330(防風林マツ)		
	緊急度:	A		
958	軟体動物	タニシモドキ科	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>
	影響度情報	113,310(イネ),250(大量死亡時の水質悪化等?),230(広東住血線虫)		
	緊急度:	A		
965	軟体動物	タマガイ科	サキグロタマツメタ	<i>Laguncula pulchella</i>
	影響度情報	112(貝類),340(二枚貝)		
	緊急度:	B	有用貝類の捕食が認められるが、個体数増加中で駆除等困難	
966	軟体動物	タマガイ科	ゴマフタマ	<i>Natica tigrina</i>
	影響度情報	112(貝類),310		
	緊急度:	A	個体が増加すると影響がでそうなので、早期対策必要	

表 生態系又は人に対する影響度 A ランクの種一覧（つづき）

997	軟体動物	イガイ科	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>
	影響度情報	121(在来種),340(船底や養殖施設などへ付着),350(発電所取排水管付着)		
	緊急度:	B	IUCN ワースト 100, 駆除等困難	
1017	節足動物	ハダニ科	マンゴーツメハダニ	<i>Oligonychus coffeae</i> (Nietner)
	影響度情報	310(マンゴー)		
	緊急度:	C	高温性の施設栽培果樹園で定着, 被害拡大する懸念があり	
1047	昆虫類	カメムシ科	ミナミアオカメムシ	<i>Nezara viridula</i>
	影響度情報	310(豆類、休他各種作物の子実を吸汁加害)		
	緊急度:	A	発生量に年次間差あり, 発生時期予測しにくい, 防除適期の判定困難	
1054	昆虫類	コナジラミ科	チャトゲコナジラミ	<i>Aleurocanthus camelliae</i>
	影響度情報	310(葉の吸汁加害, すず病, 不快害虫)		
	緊急度:	B	繁殖力高く, 短期間に高密度となる. また, 成虫は農薬が効きにくい	
1069	昆虫類	ボクトウガ科	ヒメボクトウ	<i>Cossus insularis</i>
	影響度情報	310(果樹, ポプラ, ヤナギ類)		
	緊急度:	C	発生量は多くないが, 樹を衰弱させるので防除が必要	
1172	昆虫類	ミツバチ科	セイヨウオオマルハナバチ	<i>Bombus terrestris</i>
	影響度情報	122,121,142 野生植物・栽培植物の盗蜜		
	緊急度:	A	県内定着未確認だが, 影響が大きいので, 確認され次第すぐに排除, 逸出防止策継続	
1180	魚類	コイ科	イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>
	影響度情報	121(タナゴ類産卵母貝), 在来タナゴ生息地以外は影響度 DD		
	緊急度:	A		
1181	魚類	コイ科	オオタナゴ	<i>Acheilognathus macropterus</i>
	影響度情報	121(タナゴ類産卵母貝), 在来タナゴ生息地以外は影響度 DD		
	緊急度:	A		
1182	魚類	コイ科	カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>
	影響度情報	121(タナゴ類産卵母貝), 在来タナゴ生息地以外は影響度 DD		
	緊急度:	C		
1188	魚類	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>
	影響度情報	141(養殖個体や人工品種)112(底生動物)230(ジメノ病, 2003 年県内発生), 150(底質攪乱)		
	緊急度:	C		
1198	魚類	コイ科	カゼトゲタナゴ	<i>Rhodeus atremius atremius</i>
	影響度情報	121(タナゴ類産卵母貝), 在来タナゴ生息地以外は影響度 DD		
	緊急度:			
1201	魚類	コイ科	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>
	影響度情報	A(ミヤコタナゴ生息地), その他 B~D, 142(ニッパンバラタナゴ), 121(ミヤコタナゴ)		
	緊急度:	A	A(ミヤコタナゴ生息地), その他 B~C	
1204	魚類	コイ科	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>
	影響度情報	121(産卵母貝), 142(県北部個体群) 在来タナゴ生息地以外は D		
	緊急度	A		

表 生態系又は人に対する影響度 A ランクの種一覧 (つづき)

1205 魚類	コイ科	ミヤコタナゴ	<i>Tanakia tanago</i>
影響度情報	140 (在来ミヤコタナゴ個体群), 121 (在来タナゴ類生息地)		
緊急度	A 取り扱いについて検討が必要		
1215 魚類	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>
影響度情報	在来メダカ生息地以外は B, 121 (メダカ), 112		
緊急度	C		
1217 魚類	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>
影響度情報	在来メダカ生息地以外は DD, 141 (在来メダカ)		
緊急度	C		
1227 魚類	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>
影響度情報	112 (在来魚), 340, 340 (在来漁業対象種・入網による作業効率低下), または B, C (情報不足)		
緊急度:	A または B, 時に C (情報不足)		
1229 魚類	サンフィッシュ科	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>
影響度情報	または B, C, 112 (魚類を中心, 特に溜池や小規模水域において影響大), 340 (在来漁業対象種)		
緊急度:	A または B		
1237 両生類	ピパ科	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i>
影響度情報	130 (ツボカビ), 112 (在来カエル類など水生生物)		
緊急度:	A		
1238 両生類	アカガエル科	ウシガエル	<i>Rana (Aquarana) catesbeiana</i>
影響度情報	112, 250 (騒音被害)		
緊急度:	B 個体群制御手段として、商業的利用を促進		
1241 爬虫類	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>
影響度情報	または B, C, 110 (雑食性), 121 (在来カメ類), 220 (大型個体の咬傷被害)		
緊急度:	B 生息範囲の把握と駆除方法の確立が先決		
1244 爬虫類	イシガメ科	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>
影響度情報	120 (ニホンイシガメ), 142 (ニホンイシガメ)		
緊急度:	A ニホンイシガメ生息地以外は B		
1246 爬虫類	カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>
影響度情報	112 (水生生物), 220 (農作業中に咬傷被害)		
緊急度:	A 定着個体群の総個体数・分布が限られているうちに駆除		
1302 哺乳類	オナガザル科	アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>
影響度情報	142 (ニホンザル), 310		
緊急度:	A ニホンザルとの交雑が進行中のため、危機的状況		
1309 哺乳類	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>
影響度情報	112, 122, 121 (フクロウ類), 310, 250 (糞尿騒音), 340 (飼育魚), 200 (文化財損傷) 230 (アライグマ回虫), 260 (イヌディステンパー)		
緊急度:	A 被害の増大が予測。定着初期の早急対策が必須		

表 生態系又は人に対する影響度 A ランクの種一覧（つづき）

1312 哺乳類	ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>
影響度情報	110,122,310(ミカン,ピワ,ナシなど),250(糞尿騒音)		
緊急度:	A	全県的に果樹等食害増大中	
1314 哺乳類	イノシシ科	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>
影響度情報	112(特に両生ハ虫類),310(蛙掘りおこし),200(道や斜面崩壊),220(山中などでの出会い)		
緊急度:	A	緊急に総合的な対策が必要	
1315 哺乳類	シカ科	キョン	<i>Muntiacus reevesi</i>
影響度情報	113,122(ニホンジカ),270(芝,花卉類)		
緊急度:	A	効果的な捕獲方法の開発が望まれる	

4 外来生物対策について

それぞれの外来生物の対策にさきがけ、対策目標を設定する必要があります。防除目標は、基本的には侵入していないものについては、「侵入の阻止」であり、定着しているものについては、「新たな個体の侵入の阻止」と「野外からの完全排除（根絶）」とすることが望ましいですが、技術的な可能性や在来生物への影響などを勘案し、重要な地域を対象とした「部分除去」もしくは「低密度状態での継続的管理」による「群落・生態系の復元」とする場合もあります。

具体的な外来生物対策は（１）侵入防止対策、（２）定着後の防除対策、（３）情報基盤の整備と運用の３つに分けることができます。

外来生物対策を実施するにあたり、下記の４つの視点を踏まえる必要があります。

- １）対策に「優先順位」と「目標設定」を行う
- ２）多様な主体が「連携」することで３つの対策（侵入阻止、定着後の防除、情報収集）を「早期に」実施する
- ３）対策の評価や外来生物の現状把握といった「モニタリング」を実施する
- ４）再び１）の目標設定を見直すという「順応的管理」を行う

３つの対策に際して、必要な考え方を次に紹介します。

（１） 侵入防止対策

水際で外来生物の侵入を防止するため、外来生物被害予防三原則である「入れない、捨てない、拡げない」を守ることが大事です。

ア 持ち込まない

野外逸出の可能性を考慮し、むやみに新たな外来生物を県内に持ち込まないことが重要です。

イ 野外逸出を防止する

意図的な、あるいは非意図的な野外逸出を防止するために、少なくとも次にあげる行為を行う際には、注意して対策することが必要です。

a) ペットを飼育したり、園芸植物を栽培する時

多くの外来生物は、14 ページで示したように、ペットや園芸植物に由来するものです。ペットなどを、安易な気持ちで購入して、飼育や栽培に飽きたり、難しくなると野外に放逐、放棄してきたために、今日の外来生物の問題が起こっています。このことを十分に理解し、飼育や栽培を始める時に、その生物について勉強をし、飼育や栽培を続けたときに、どの程度の大きさまで生長（成長）し、飼育・栽培しつづけていくことがどのくらい大変なのかについて十分に検討し、生きものを最期まで（死ぬまで）面倒をみる覚悟の上で飼育・栽培を始めて下さい。また、万が一、飼育や栽培を中止せざるを得ない事態になったときは、決して野外に放逐したり、放置することはやめましょう。外来生物を野外に放逐することは、その個体だけでなく、他の在来生物の命も危険に迫りやる行為であると十分認識しておく必要があります。

b) 釣りをする時・生きものを野外採集・採取する時

オオクチバスやブルーギルなどの特定外来生物を他の場所（自宅の庭や他の池など）まで移動させたり、飼育することは禁止されています。千葉県では、特定外来生物をその場ですぐに放すことは規制の対象とはなりません（釣りという「キャッチアンドリリース」も規制対象とはなりません）が、他県では禁止されている地域もあります。また、特定外来生物以外の外来魚についても、移動させると、異なる場所での新たな野外放逐の危険性があり、外来生物の分布拡大につながります。

また、これらの特定外来生物以外の生きものを採集・採取する場合においても、生きものを移動させることで、異なる場所への野外放逐の

危険性が生まれ、外来生物の分布拡大につながりかねません。一度野外から家庭内などに持ち込んだ生きものについては、採集・採取場所以外への逸出に十分な注意を払う必要があります。

c) 野生鳥獣を捕獲する時

イノシシやハクビシンなどの外来生物を野外で捕獲した際（捕獲には許可が必要）は、他の場所（自宅の庭や他の池など）まで移動させると、異なる場所での新たな野外放逐の危険性があり、外来生物の分布拡大につながります。

d) ペット・園芸植物などを販売する時（販売店などの方へ）

特定外来生物のアライグマ、カミツキガメ、ナガエツルノゲイトウ、オオフサモ、ミズヒマワリをはじめ、多くの外来生物は、14 ページで示したように、ペットや園芸植物に由来するものです。ペットなどを、安易な気持ちで購入して、飼育や栽培に飽きたり、難しくなると野外に放逐、放棄するために、今日の外来生物の問題が起こっています。このことを十分に理解してもらうため、外来生物を販売する際に、購入者に対して成長した時の大きさや寿命、飼育や栽培方法などを十分に説明し、最期まで面倒をみる覚悟の上で購入してもらうようにする必要があります。

e) 農林水産業を行う時

農林水産業では外来生物を資源として利用している場合もありますが、圃場・漁場などの管理区域の外部へ逸出しないよう十分な配慮が必要です。また、農林水産業で利用する資材や原料に混入して拡散する場合もあるので、そのようなことがないように管理することも必要です。

外來生物コラム 4

農林水産省外來生物対策指針

平成 20 年 3 月

農林水産省農村振興局企画部資源課農村環境保全室

第 1 目的

本指針は、農業用排水路、ため池、調整池及びその周辺（以下「農業用排水路等」という。）において通水障害や維持管理面での障害等の影響を及ぼす外來植物に対して、その影響を軽減・除去するための望ましい方策等を示し、外來植物による被害を防止することを主な目的とする。

第 2 指針の利用対象者

本指針は、農業用排水路等において、通常、見回りや除草作業等の維持管理活動を行っている土地改良区（その他管理団体を含む。）及び農家が利用するものである。

第 3 外來植物対策

1 外來植物対策の基本的考え方

外來植物は、一旦、侵入・定着すると、その根絶は、非常に困難であり、侵入を防止、早期発見・防除することが重要である。外來植物は、土地改良区及び農家が管理する農業用排水路等においても広く生育することから、通常行なわれている農業用排水路等の維持管理活動において、外來植物の監視を行い、早期発見、防除を行なうことが望ましい。

なお、繁茂の状況により、通常の維持管理活動で対処できない場合は、通常の維持管理活動以外に外來植物対策を実施することが望ましい。また、防除を実施する際には、対象とする外來植物の生態的特性から以下の点に留意する。

(1) 水生・湿生植物

水路内で水生・湿生植物を防除する際、植物体の断片からも増殖する種については、網等を用いて、下流部へ拡散しないように処置することが重要である。

(2) 陸生植物

陸生植物を防除する際、種子によって増える種については種子が成熟する前に抜き取り又は刈り取りを行ない、地下茎でも増える多年生の植物については地上部だけではなく地下茎から抜き取るか、生長期間中繰り返し刈り取りを行なう必要がある。

2 監視

土地改良区は、外來植物に関する情報収集を行い、これを農家にも周知し、通常行われている農業用排水路等の維持管理活動において、効果的な発見に努める。また、外來植物が侵入、定着しやすい場所は、特に注意して監視を行うことが重要である。

3 対策計画の策定

対策を行う上では、実施内容を明確にし、着実に実施していくことが望ましく、土地改良区は、農業用排水路等の見回りなど維持管理活動について記載した計画に、監視、発見時の防除を内容とする外來植物対策を取り入れたり、通常の維持管理活動で対処できない等の場合は、新たに対策計画を策定することが望ましい。

なお、策定する際は、植物等の専門家の助言を得ることが望ましい。

4 体制の整備

通常の維持管理活動において、外來植物の早期発見・防除を効果的に行なうため、土地改良区は、農家を含め監視、防除の実施体制を整備する。また、通常の維持管理活動で対処できない等の場合において、農家、環境活動を行っている団体、行政等の関係機関を含めて対策を行なうことが望ましい場合は、植物等の専門家を含め検討会等を設置し、対策計画を検討・策定の上、対策を実施することが望ましい。

第 4 植物を利用した水質浄化における対策

今後、水質浄化に植物を用いる場合は、求められる水質浄化能力や施設の構造、設置場所等の諸条件を検討の上、可能な限り地域の在來植物を用いることが望ましい。また、既に外來植物を用いている場合も同様に変更を検討することが望まれる。なお、地域の在來植物を用いる場合でも、基本的には、植物が水質浄化施設外に拡がらないよう適切な管理等を行うことが望ましい。また、既に外來植物を用いている水質浄化施設において、引き続き外來植物を用いる場合は、その植物が水質浄化施設外に拡がることを防ぐため、適切な管理等を行うことが望ましい。

第 5 その他

1 その他外來生物への対応

土地改良区は、外來生物を発見した旨の情報があつた場合は、必要に応じて行政機関等に連絡を行い、速やかに対応を検討することが望ましい。

2 啓発

地域内への新たな外來生物の侵入防止や発見時の通報、初期の防除作業において地域住民の協力が得られることが望ましく、土地改良区は、地域住民への外來生物の情報提供や飼育・栽培生物の野外への遺棄の防止、防除の必要性などについて啓発活動を行なうことが望ましい。

外来生物コラム5

農林水産省生物多様性戦略

平成24年2月2日改定
農林水産省

Ⅱ. 農林水産業と生物多様性

(3) 生物多様性への農林水産業による負の影響

経済性や効率性を優先した(中略)外来生物の導入による生態系破壊など生物多様性への配慮に欠けた人間の活動が野生生物種の生育・生息環境を劣化させ、生物多様性に大きな影響を与えてきた。

Ⅳ. 地域別の生物多様性保全の取組

農林水産業・農山漁村と生物多様性をとりまく状況に的確に対応するため、次に掲げる生物多様性を保全する施策を総合的に推進する。

3. 里海・海洋の保全

(6) 生物多様性に配慮した増殖と持続的な養殖生産及び内水面の保全の推進

河川・湖沼等の内水面は(中略)国民生活にとって欠かせないものとなっている。しかしながら、近年、河川工作物の影響や水質の低下などによる水産動植物の生育・生息環境の悪化に加え、ブラックバスなど外来生物(中略)により、内水面漁業・養殖業を取り巻く環境は厳しい状況にある。特に侵略的外来種については、愛知目標9においてもその対策を講じることが掲げられている。このため、内水面の生態系や漁業に影響を与える外来生物については、その生息状況と駆除効果の関係を整理し、外来生物の生息状況等に応じた効果的な駆除手法の開発及び駆除活動を行い、内水面における生物多様性の保全をより一層推進する。

外来生物コラム6

千葉県林地開発行為等に関する

緑化技術指針

平成22年10月
千葉県農林水産部森林課

緑化の基本方針(抜粋)

早期の緑化を図るためには、外来草本の使用が効果的であるが、地域の自然環境との調和を図るためには、在来の草本や木本類も適切に組み合わせて使用することが必要であり、また、環境省が公表している「要注意外来生物リスト」に掲げられている種は使用しないなど生物多様性の保全にも配慮しなければならない。

外来生物コラム7

外来生物法 要注意外来生物(別途総合的な検討を進める緑化植物)

和名	学名
イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>
ギンネム	<i>Leucaena leucocephala</i>
ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>
トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>
ハイイロヨモギ	<i>Artemisia sieversiana</i>
シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>
オニウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>
カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>
シバムギ	<i>Elymus repens</i>
ネズミムギ・ホソムギ	<i>Lolium multiflorum</i> ・ <i>L. perenne</i>
キシュウスズメノヒエ	<i>Paspalum distichum</i> var. <i>distichum</i>
オオアワガエリ	<i>Phleum pratense</i>

外来生物コラム8

公共施設における緑地等の整備及びその管理、並びに市民参加型自然環境調査手引き書

平成21年3月
環境省 自然環境局

1章 生態系保全に資するための公共施設における緑地や水辺等の整備及び管理

1-2-2 整備方針の具現化手法

(2) 緑地の質

公共施設緑地において緑地の質を高めるためには、樹林に階層構造を持たせることや、多様性のある樹種構成にするなどの他に、基盤(表面処理)のあり方が生物の多様性等に基づいているかといったことが重要である。以下に、緑地の質を高める手法を示す。

■樹種構成

(中略)これらの樹種は、遺伝子の攪乱を防止し、地域に根ざした生態系の創出や保全を図るためにも、その地域に生育する種(郷土種)であることが望ましい。

f) 緑化・植樹事業を行う時

道路や河川などの社会資本整備に際し、法面などを緑化したり、植樹する事業が行われています。外来生物対策の側面からこの事業を考えると、周囲からの在来植物の自然な侵入に任せる方法や、その土地の埋土種子を使用する方法、現地の樹木を移植利用する方法などが考えられます。とくに管理地域以外へ外来生物の種子を拡散させない配慮が必要です。また、国内種(郷土種)を利用する際は、遺伝的な多様性保全のために、出所不明なものは避けるべきでしょう。

外来生物コラム 9

広葉樹の種苗の移動に関する遺伝的ガイドライン

平成 23 年 3 月 1 日
独立行政法人森林総合研究所

本来、天然の樹木集団は長期的な気候変動に対応してその分布域を変遷させながら生き残ってきたので、同一種でも地理的に遺伝的な違いが生じていることが多いといえます。(中略) 遺伝的に異なる集団を人為的に混ぜてしまうことは、これまでに長い年月をかけて自然が作り上げた遺伝構造を壊してしまうことになります。(中略)

広葉樹の遺伝的ガイドライン

近年、広葉樹の植林が日本各所で行われています。(中略) しかしながら、由来の全く異なる苗木を大量に植栽すると、自生している同種の植物が本来持っている遺伝的な多様性や適応的な遺伝子を攪乱してしまう可能性があります。このような危険性を避けるために、植林用の種苗の移動に関するガイドラインを作成しました。(略)

g) ビオトープを整備する時

特に都市部において、いわゆるビオトープの存在は、地域の生態系保全にとって大きな意味があります。また、学校のビオトープには教育的意味があります。しかし、継続的な管理が不十分であったり、外来生物に対する認識が不足して、外来生物が生息・生育している場所も見受けられます。このためビオトープの存在意義を十分に理解し、適切な対応が求められます。特に、オオフサモなどの特定外来生物を飼育・栽培すると、違法行為となるので注意が必要です。整備に際し、最初から理想形(完成形)をめざすのではなく、自然の移行に任せる(良くなるように手助けする)ようにし、他県など遠くから生物を入れないようにしてください(移動させると土などに随伴して別の外来生物を呼び込んでしまう危険性もあります)。もし生物を移植・移殖する場合は最低限必要なものだけとし、植物の場合はできるだけ近くから採集した種子を用いるべきでしょう(同じ種類でも遺伝的な違いのある在来生物が暮らしていることに配慮しましょう)。地域の自然に通じた人に相談しながら計画・実施してください。また、整備後の必要な管理を継続的に行っていく仕組みづくりを最初から考えていかなければいけません。

外来生物コラム 10

千葉県ビオトープ推進マニュアル

平成 14 年 3 月 千葉県環境生活部自然保護課

つくるビオトープでは他地域からの植物を植えたり、土を移動させることがよく行われます。このような場合、植物や土にまぎれて、草木の種子やコケ、菌類、昆虫などが侵入してしまいます。すべて排除することは難しいのですが、植栽する植物の品種や外来種などの直接の持ち込みをなるべくしないよう配慮する場合と同様にそれらの付着して侵入する生物にも気をつけて下さい。

h) 自然再生・里山活動に際して

近年、自然再生事業や自然保護活動が県内で盛んに行われてきています。その中で、身近な田んぼや水路にホタルやメダカ、タナゴなどを他地域から持ち込んで放したり（導入といいます）、里山の斜面林の手入れをして、新たに他地域から野草を移植するケースがみられます。生物多様性保全のためには水環境や里山の手入れを行うことは重要で、推進していくべきですが、他地域からの外来生物を導入すると、周辺も含めたその地域在来の生態系に悪影響を与える可能性があるため、注意が必要です。

「生物多様性」には3つの階層（生態系レベル、種レベル、遺伝子レベル）があり、それぞれにおいての保全が必要です。特に地域ですでに絶滅したり、絶滅の危機に瀕した希少生物を保護・回復するために野生に放す（再導入といいます）ことも行われるようになってきています（例えば、トキやコウノトリ）。このような

場合、生物多様性の遺伝子レベルの保全（遺伝的多様性保全）の観点から、地域の在来個体群の遺伝子組成と同じか、あるいは可能な限り近い個体を導入個体とすべきです。もし、在来個体群と大きく異なる遺伝子組成をもつ個体を導入した場合、その個体は外来生物として扱うべきです。さらに、再導入に際して新たに起こる様々な影響を評価し、その影響を許容する社会的合意と関連行政機関の許可がなされ、導入後も引き続きモニタリングするなどの一定のルール（IUCN 再導入ガイドラインなど）に基づいて行われなければなりません。安易に「以前はいたから」という理由で、遠く離れた地域から個体を移動させて、植えたり、放したりすることはやめましょう。不明なときは、専門家に相談するようにしてください。

外来生物コラム11

「再導入」関連資料

国際自然保護連合（IUCN） IUCN 再導入ガイドライン

http://www.iucnsscrsg.org/policy_guidelines.php

（京都大学渡辺勝敏氏による和訳）

<http://ecol.zool.kyoto-u.ac.jp/~watanak/conservation/reintroduction.html>

日本野生動物医学会 日本産野生動物における再導入ガイドライン

<http://jjzwm.com/blog/guideline/>

日本魚類学会 生物多様性の保全をめざした魚類の放流ガイドライン

<http://www.fish-isj.jp/iin/nature/guideline/2005.html>

環境省 絶滅のおそれのある野生動植物種の野生復帰に関する基本的な考え方

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13648>

兵庫県 コウノトリ野生復帰推進計画

http://web.pref.hyogo.lg.jp/tj01/tj01_4_0000000003.html

(2) 定着後の防除対策

本報告では、それぞれの外來生物について、生態系または人への影響度、防除の緊急度についてランク付けを行いました。基本的には高ランクの生物から対策を講じる必要があります。優先的な対策地域としては、生物多様性の保全上重要な地域から優先的に対策を講じるべきです。すでに定着外來生物の防除対策に際し、下記の考え方が必要です。

- ・本外來生物リストに掲載されている生物について、とくに評価ランクが高い種（A A A など）について優先的に防除対策を講じる必要があります。また、千葉県が選定した千葉県版レッドデータブック掲載種の生息や生育に重大な影響を及ぼすと判断される外來生物については、評価ランクにかかわらず、地域的に防除対策を優先する場合も考えられます。

- ・防除主体の原則として、土地所有者や土地管理者が早期に発見して、早期に対策を講じることが望めます。ただし、将来的な影響の大きさや分布範囲、技術的な達成可能性などを勘案し、より広域な組織もしくは市町村や県などが関係者間の調整を行い、場合によっては主体的に行うこともあります。

- ・具体的対策に関しては、防除主体や防除目標、そしてどのような施策に成算があるのかを検討し、それに資源を集中的に投入してください。

- ・外來生物対策は、科学的知見に基づいた早期発見・早期駆除、継続的モニタリング調査を伴う順応的管理が必要です。このため、生物多様性や人間活動への影響に関す

る情報が不足していることを理由に、外來生物対策を遅らせることはないようにしましょう。

- ・外來生物であっても、社会的に認知された固有の価値を持っている種や、在來生物の生息場所を提供する場合もあるので、防除にあたっては、総合的な判断が必要です。

特定外來生物については、外來生物法で運搬などが原則禁止されており、市町村が防除のために運搬などを行うときには国に防除の「確認」が、市民などが行うときには防除の「認定」などが必要となることがあります（コラム 12 参照）。

(3) 情報基盤の整備と運用

野外の外来生物の状況は、日々刻々と変化し、その影響の程度や、対策のレベルも変化していきます。このため、状況が必ずしも正確に把握できているとは限りません。そこで、専門家と連携して、常に情報を収集し、現状をモニタリングしていく調査の実施が望まれます。すべての外来生物について詳細に行うことが理想ですが、前項での対策の優先順位に従って、調査対象を選定することが考えられます。

この調査に基づき、分布や個体数の推定を行い、可能ならば将来予測も行います。また、個体数管理手法（捕獲方法、除草方法など）や影響の軽減方法（防護柵の設置など）の開発や試行も必要となってきます。

外来生物コラム 12

外来生物法における 特定外来生物の防除について

「特定外来生物(コラム2)」は、「生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがあるもの」の中から外来生物法により指定され、その飼育・栽培・運搬・保管・輸入・販売・野外に放つなどの行為が禁止されています。

防除に関するお問い合わせは、千葉県生物多様性センター（電話 043-265-3601）もしくは、環境省関東地方環境事務所 野生生物課（電話 048-600-0817）までご連絡ください。

外来生物コラム 13

いのち 生命のにぎわい調査団

県内には、現在、どんな生物がどの地域に生息・生息しているのか？それを観察して、報告するのが「生命のにぎわい調査団」です。自然・生態系・生物に関心がある県民が調査団員となり、身近な生物の生息情報を報告してもらい、里山等の身近な自然の変化などを把握するための県民参加型モニター制度として、平成20年7月末に「生命(いのち)のにぎわい調査団」が発足しました。

団員数は810名(平成24年12月1日現在)となり、小学生から80歳代の方まで幅広い年齢層が参加しています。

報告をしてもらうのは、里山、海辺など千葉県の多様な環境で見られる生物のうち、種類の区別が付きやすく、なるべく身近な種の中から、選ばれました。

- 減少が心配される種（ニホンアカガエル、リンドウ、メダカ等）
- 開花、鳴き声等により、季節の変化を感じさせる種（ウグイス、ヒグラシ、ソメイヨシノの開花等）
- もともとはより温暖な西日本に分布していたが、近年、千葉県でも見られるようになった種（ナガサキアゲハ、クマゼミ）
- 海外から入ってきた種（アライグマ、ウシガエル、オオキンケイギク等）として動植物57種を選定し、調査対象生物としました。

また、調査対象種以外の希少生物や外来生物も、写真付きで多数報告されています。

報告は、「生き物分布図」葉、初鳴き、産卵などの「生き物季節報告地図」などとして、県ホームページで公表しており、温暖化による生物への影響や、外来生物の分布拡大の状況とその防除などの施策に役立てることとしています。

生命のにぎわい調査団

<http://www.bdcchiba.jp/monitor/>

お問い合わせ先

千葉県生物多様性センター

電話 043-265-3601

ファクス 043-265-3615

メール webmaster@bdcchiba.jp

〒260-0852

千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館内

<http://www.bdcchiba.jp/>

5 千葉県の外来生物 平成 24（2012）年度版

シダ植物		イワヒバ科		国RDB:VU	影響度	緊急度
1	イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i> Hieron.			D	C

【原産】中国～東南アジア 【国内分布】石垣,西表(園芸逸出) 【県内分布】分布度b 北部, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草
 【繁殖】孢子:風散:夏 【国内侵入】161:大正 【県内侵入】161:大正 【影響】- 【緊急】侵入性は低い 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109 【文献県内】39

シダ植物		イワヒバ科			影響度	緊急度
2	コンテリクラマゴケ		<i>Selaginella uncinata</i> (Desv.) Spring		D	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 各地で栽培,西船橋駅構内, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草
 【繁殖】孢子,匍匐枝で栄養繁殖:風散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:明治 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】ヨーロッパ経由で観賞用に導入 【文献全般】60,109,285,311,165,349 【文献県内】39

シダ植物		イノモトソウ科			影響度	緊急度
3	ホウライシダ	Adiantum capillus-veneris L.			D	C

【原産】熱帯,暖帯(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草
 【繁殖】孢子:風散:夏～秋 【国内侵入】161:江戸から観賞用に栽培 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】285,311,78,165 【文献県内】39

シダ植物		イノモトソウ科			影響度	緊急度
4	コバホウライシダ		<i>Adiantum raddianum</i> C.Presl		D	C

【原産】熱帯アメリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 非常にまれ(千葉市,船橋市), 極少 【形態・生態】夏緑・多年草
 【繁殖】孢子:風散:夏 【国内侵入】161:昭和以前(栽培) 【県内侵入】161:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

シダ植物		オシダ科		国内外来生物	影響度	緊急度
5	イヌケホシダ				D	C
Christella dentata (Forssk.) Brownsey et Jermy						

【原産】世界の暖帯～熱帯 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 非常にまれ(船橋市), 極少 【形態・生態】夏緑・多年草
 【繁殖】孢子,匍匐枝で栄養繁殖:風散:夏 【国内侵入】300:- 【県内侵入】300:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】温室効果ガスの排出抑制,生育状況モニタリング 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

シダ植物	ツルシダ科	影響度	緊急度
6	タマシダ <i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) C.Presl	D	C

【原産】世界の熱帯 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 各地に散在(生垣), 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】胞子, 地下茎で栄養繁殖: 風散: 夏 【国内侵入】161: - 【県内侵入】161: 明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

シダ植物	サンショウモ科	特定外来生物	影響度	緊急度
7	アメリカオオアカウキクサ <i>Azolla cristata</i> Kaulf.		A	A

【原産】南北アメリカ, ヨーロッパ, アジア, オセアニア, アフリカ 【国内分布】西日本を中心(宮城県～福岡県) 【県内分布】分布度a 分布不確定, 極多 【形態・生態】水生シダ植物 【繁殖】胞子, 茎葉体が分裂して栄養繁殖: 水散: 一年中 【国内侵入】110: 2000年前後 【県内侵入】110: 2005年? 【影響】121, 150(水中の酸欠, 光量不足. 静岡県, 岡山県ではため池のフナが死んだ) 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】308, 309

シダ植物	サンショウモ科	特定外来生物	影響度	緊急度
8	アイオオアカウキクサ <i>Azolla cristata</i> x <i>A. filiculoides</i>		A	A

【原産】- 【国内分布】西日本 【県内分布】分布度a 市原市, 大多喜町, 習志野市, 極多 【形態・生態】水生シダ植物 【繁殖】正常な胞子生産できない. 茎葉体が分裂して栄養繁殖 【国内侵入】110: 2000年前後 【県内侵入】110: 2005年? 【影響】121, 150(水中の酸欠, 光量不足. 静岡県, 岡山県ではため池のフナが死んだ) 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】*A. cristata*(アメリカオオアカウキクサ)とオオアカウキクサ大和型(ニシノオオアカウキクサ)の人工雑種, 標本CBM(BS-277201) 【文献全般】- 【文献県内】309, 310

種子植物	ヒノキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
9	ヒノキ <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. et Zucc.) Siebold et Zucc.		D	C

【原産】日本 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 各地に植林から逸出, 少ない 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉: 風媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】110: 日本原産 【県内侵入】110: 江戸 【影響】240(花粉アレルギー) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】94, 336, 222, 109, 273, 190, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	ヒノキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
10	サワラ <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. et Zucc.) Endlicher		D	C

【原産】日本 【国内分布】本州, 九州 【県内分布】分布度c 各地に植林から逸出, 少ない 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉: 風媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】110: 日本原産 【県内侵入】110: 江戸 【影響】240(花粉アレルギー) 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 336, 222, 109, 273, 190, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	ヒノキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
11	アスナロ		D	C
<i>Thujopsis dolabrata</i> (L. fil.) Siebold et Zucc.				

【原産】日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に植林から逸出, 極小 【形態・生態】常緑・高木
 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】110: 日本原産 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,222,109,273,190,165 【文献県内】39,34

種子植物		イチョウ科		影響度	緊急度
12	イチョウ	D			C
Ginkgo biloba L.					

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に植林から逸出, 少ない 【形態・生態】夏緑・高木
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:鎌倉 【県内侵入】110:鎌倉～室町 【影響】220(外種皮によるかぶれ) 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,222,109,273,190,165 【文献県内】39,34

種子植物	ソテツ科	国内外来生物	影響度	緊急度
13	ソテツ	CITES:II	D	C
<i>Cycas revoluta</i> Thunb.				

【原産】日本 【国内分布】九州南部以南 【県内分布】分布度b 各地に植栽,館山で逸出, 中程度 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,332,165 【文献県内】39,34

	種子植物	クルミ科		
14	ペカン		影響度	緊急度
	Carya illinoides Koch		D	C

【原産】北米南東部 【国内分布】- 【県内分布】分布度a 極小 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:明治 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】各地で単木植栽 【文献全般】336,241,273,312,332,71,165 【文献県内】39

種子植物		クルミ科	影響度	緊急度
15	シナサワグルミ		D	C
<i>Pterocarya stenocarpa</i> DC.				

【原産】中国 【国内分布】- 【県内分布】分布度a 少ない 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】110:明治初期 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】公園等に植栽 【文献全般】336,232,273,300,332,202,165 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
16	ウラジロハコヤナギ <i>Populus alba</i> L.	D	C

【原産】欧州,西アジア,ロシア,ヒマラヤ,コーカサス 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 各地の公園等に単木植栽,極小 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,種子:種毛による風散:夏 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:明治? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,109,273,300,317,311,312,332,190,202 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
17	カリリナポプラ <i>Populus angulata</i> Aiton	C	C

【原産】北米東部(改良品種) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 各地に並木又は単木植栽,市川市で種子散布してやや増えている 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,種子:種毛による風散:夏 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:明治? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,300,312,332,202 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
18	ナミキドロ <i>Populus deltoides</i> Bartr.ex Marshall	D	C

【原産】北米東部 【国内分布】- 【県内分布】分布度a 少ない 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,種子:種毛による風散:夏 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:明治? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】各地に植栽 【文献全般】94,336,109,300,312,332,202 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
19	シダレヤナギ <i>Salix babylonica</i> L.	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 極小 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】110:平安? 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】各地に植栽 【文献全般】94,336,109,273,300,312,332,190,202,165 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
20	セイコヤナギ <i>Salix babylonica</i> L. form. <i>seiko</i> Kimura	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 極小 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】110:江戸? 【県内侵入】110:明治? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】各地に植栽 【文献全般】336,232,109,273,300,312,332 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	国内外来生物	影響度	緊急度
21	ネコヤナギ <i>Salix gracilistyla</i> Miq.		D	C

【原産】日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 極小 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】-:日本原産 【県内侵入】110:明治? 【影響】141 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】各地に植栽 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	ヤナギ科	国内外来生物	影響度	緊急度
22	クロヤナギ <i>Salix gracilistyla</i> Miq. var. <i>melanostachys</i> (Makino) C.K.Schneider		D	C

【原産】日本 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 極小 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】110:江戸に作出 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】花材として各地で植栽 【文献全般】336,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
23	キヌヤナギ <i>Salix kinuyanagi</i> Kimura	D	C

【原産】朝鮮半島 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に逸出, 極小 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
24	コリヤナギ <i>Salix koriyanagi</i> Kimura ex Grz.	D	C

【原産】朝鮮半島 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 極小 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】110:江戸? 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】各地に植栽 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度
25	ウンリュウヤナギ <i>Salix matsudana</i> Koidz. var. <i>tortuosa</i> Vilm.	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 各地に花材として栽培, 極小 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】110:江戸? 【県内侵入】110:明治? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,336,232,109,300,317,312,332,190,202 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	国内外来生物	影響度	緊急度
26	シグレヤナギ <i>Salix x eriocataphylla</i> Kimura		D	C

【原産】日本(雑種) 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 泉自然公園, 極小 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】-: 日本原産 【県内侵入】-: 昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】336,300,312 【文献県内】39

種子植物	ヤナギ科	国内外来生物	影響度	緊急度
27	フリソデヤナギ <i>Salix x leucopithecia</i> Kimura		D	C

【原産】日本(雑種) 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 各地で花材として栽培, 極小 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】110: 江戸 【県内侵入】110: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,300,332 【文献県内】39

種子植物	カバノキ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
28	ヒメヤシャブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum.		D	C

【原産】北海道, 本州北部 【国内分布】北海道, 本州北部 【県内分布】分布度a 極小 【形態・生態】夏緑・中高木 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:秋 【国内侵入】日本原産:- 【県内侵入】110: 明治? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】東京大学演習林見本林に植栽 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	ブナ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
29	マテバシイ <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai		B	B

【原産】九州 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 中程度(植林地では極多) 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】日本原産:- 【県内侵入】240: 江戸 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止 【備考】公園に植栽, 主に県南部に植林 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	ブナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
30	アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume		D	C

【原産】日本 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 北総, 南総丘陵, 極小 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】日本原産:- 【県内侵入】132 植栽木から逸出?: 明治以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】273,300,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	ニレ科	国内外来生物	影響度	緊急度
31	アキニレ <i>Ulmus parvifolia</i> Jacq.		D	C

【原産】日本 【国内分布】本州(西部), 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主に北総に逸出, 少ない 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:秋 【国内侵入】日本原産:- 【県内侵入】110:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	トチュウ科	影響度	緊急度
32	トチュウ <i>Eucommia ulmoides</i> Oliv.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 極小 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】薬用植物園に植栽 【文献全般】336,300,332,165 【文献県内】39

種子植物	クワ科	影響度	緊急度
33	コウゾ <i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold x <i>B. papyrifera</i> (L.) L' Her. ex Vent.	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 各地に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・中高木 【繁殖】花粉:風媒, 種子:食散:夏 【国内侵入】110:奈良以前 【県内侵入】110:江戸 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	クワ科	影響度	緊急度
34	カジノキ <i>Broussonetia papyrifera</i> (L.) Vent	D	C

【原産】インド, 中国, 太平洋諸島 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 北総散在(船橋, 野田), 極小 【形態・生態】夏緑・中高木 【繁殖】花粉:風媒, 種子:食散:夏 【国内侵入】110:弥生以降 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,311,312,332 【文献県内】39,34

種子植物	クワ科	影響度	緊急度
35	イチジク <i>Ficus carina</i> L.	D	C

【原産】小アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 各地に散在, 極小 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:食散:秋 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:明治 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,312,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	クワ科	影響度	緊急度
36	マゲワ <i>Morus alba</i> L.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 各地に散在(かつて桑畑として存在), 少ない 【形態・生態】夏緑・中高木 【繁殖】花粉:風媒, 種子:食散:秋 【国内侵入】110: 弥生以降 【県内侵入】110: 弥生～室町 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 273, 300, 332, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	アサ科	影響度	緊急度
37	アサ <i>Cannabis sativa</i> L.	D	A

【原産】インド 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極小 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】110: 弥生 【県内侵入】110: 江戸 【影響】210 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】272, 302, 312, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度
38	カラムシ <i>Boehmeria nipononivea</i> Koidz.	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 各地に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】110: 弥生 【県内侵入】110: 弥生～室町 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】272, 302, 312, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度
39	ナンバンカラムシ <i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich.	C	C

【原産】中国中南部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】110: 江戸 【県内侵入】110: 明治～昭和30年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 214, 222, 238, 239, 60, 109, 272, 285, 286, 302, 311, 312, 40, 71, 165, 349, 344 【文献県内】39, 34

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度
40	カベイラクサ <i>Parietalia judaica</i> L.	D	C

【原産】南欧 【国内分布】兵庫県, 神奈川県 【県内分布】分布度a 千葉市千葉港, 少ない 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒?, 種子:重散:夏 【国内侵入】240:- 【県内侵入】240: 1982年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】標本CBM(千葉市千葉港 1982.10.24 BS-259703) 【文献全般】109, 286, 317, 40, 202 【文献県内】-

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度
41	セイヨウイラクサ <i>Urtica dioica</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】岡山県,千葉県 【県内分布】分布度a 勝浦市杉戸で記録, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:平成 【県内侵入】240:平成 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】286,319,312,40,202 【文献県内】-

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
42	シャクチリソバ <i>Fagopyrum cymosum</i> Meissn.	D	C

【原産】インド北部～中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 主に北総に散在, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:昭和 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,222,238,60,109,285,286,300,317,319,311,40,71,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
43	ソバ <i>Fagopyrum esculentum</i> Gilib.	D	C

【原産】東アジアの温帯北部 【国内分布】日本各地で栽培 【県内分布】分布度b 各地で栽培,まれに逸出, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:縄文以降 【県内侵入】110:弥生～室町 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,332,165 【文献県内】39

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
44	ソバカズラ <i>Fallopia convolvulus</i> (L.) A.Love	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】240:1910年以前 【県内侵入】240:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,241,238,239,60,109,272,285,286,317,319,311,312,40,190,202,78,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
45	ツルタデ <i>Fallopia dumetora</i> (L.) Holub	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 松戸, 極小 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:1950年以前 【県内侵入】250:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,232,60,109,285,286,311,312,40,190,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
46	ツルドクダミ <i>Fallopia multiflora</i> (Thunb.) Haraldson	C	B

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主に北総に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161 (薬用植物): 江戸 【県内侵入】161: 明治～昭和30年代 【影響】150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 272, 285, 286, 317, 311, 312, 40, 332, 190, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 39, 34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
47	ヒメツルソバ <i>Persicaria capitata</i> (Hamilt.) H. Gross	C	C

【原産】ヒマラヤ 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主に北総各地に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝で栄養繁殖, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 明治中期 【県内侵入】161: 明治～昭和30年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 239, 60, 109, 285, 286, 317, 311, 312, 326, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
48	オオベニタデ <i>Persicaria orientalis</i> (L.) Assenov	D	C

【原産】インド, マレーシア, 中国南部 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 各地に栽培, 中程度 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 明治以降 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 222, 109, 286, 319, 332, 165, 349 【文献県内】39

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
49	オオケタデ <i>Persicaria pilosa</i> (Roxb.) Kitagawa	D	C

【原産】インド, マレーシア, 中国南部 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 各地に栽培, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 明治以降 【県内侵入】161: 明治～昭和30年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 82, 94, 241, 222, 238, 239, 109, 285, 286, 317, 319, 311, 312, 40, 331, 202, 71, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
50	ニオイタデ <i>Persicaria viscosa</i> (Hamilt.) H. Gross	D	C

【原産】東アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 市川, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】240: 江戸 【県内侵入】240: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】94, 232, 238, 239, 60, 272, 285, 286, 311, 312, 40, 202, 78, 165, 349, 344 【文献県内】39, 34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
51	ハイミチャナギ <i>Polygonum arenastrum</i> Boreau.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度b 主として千葉市周辺の湾岸,市街地の道端や空き地に 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:1964年以前 【県内侵入】240:明治～昭和30年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,232,238,239,60,109,285,286,302,317,311,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
52	ミチャナギ <i>Polygonum aviculare</i> L.	C	C

【原産】世界中 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 県下全域, 多 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:弥生以降 【県内侵入】210:弥生～室町 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,222,109,312,190,71,165 【文献県内】39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
53	ヤンバルミチャナギ <i>Polygonum plebeium</i> R.Br.	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】九州 【県内分布】分布度a 野田市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:江戸? 【県内侵入】210:平成 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,319,311,312,165 【文献県内】39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
54	ホザキニワヤナギ <i>Polygonum ramosissimum</i> Michx.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市,富里市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1970年以前 【県内侵入】210:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,238,109,302,317,311,312,40,349,344 【文献県内】264,39,34,367

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
55	ヒメスイバ <i>Rumex acetosella</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 安房地方を除く全県下, 中程度 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210(牧草):1884年以前 【県内侵入】210:明治 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,238,239,60,272,285,286,302,317,319,311,40,190,202,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
56	アレチギシギシ <i>Rumex conglomeratus</i> Murr.	B	B
【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 東京湾側に多く、全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1905年 【県内侵入】250:明治～昭和7年 【影響】310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,241,222,238,239,60,109,272,285,286,302,317,319,311,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34			

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
57	ナガバギシギシ <i>Rumex crispus</i> L.	B	B
【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:1891年以前 【県内侵入】210:明治～昭和10年 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,272,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】39,34			

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
58	コガネギシギシ <i>Rumex maritimus</i> L.	D	C
【原産】欧州・北米 【国内分布】北海道(自生),本州 【県内分布】分布度a 野田市,佐原市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】240:- 【県内侵入】400(河川):昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,272,286,319,311,312,40,202,71,165 【文献県内】39			

種子植物	タデ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
59	エゾノギシギシ <i>Rumex obtusifolius</i> L.		B	B
【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:1909年以前 【県内侵入】210:明治 【影響】310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,272,285,286,302,317,319,311,312,40,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34				

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
60	アレチエゾノギシギシ <i>Rumex x abortivus</i> Ruhmer	C	C
【原産】ユーラシア 【国内分布】不明 【県内分布】分布度a 千葉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散?(不稔?):夏 【国内侵入】日本で交雑:- 【県内侵入】現地で交雑:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】39			

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
61	ノハラダイオウ <i>Rumex x pratensis</i> Mert. et Koch.	D	C

【原産】ユーラシア 【国内分布】不明 【県内分布】分布度a 千葉市,佐倉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】日本で交雑:明治～昭和30年代 【県内侵入】現地で交雑:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,272,286,302,312,40 【文献県内】39,34

種子植物	タデ科	影響度	緊急度
62	アレチナガバギシ <i>Rumex x schulzei</i> Hausskn.	C	C

【原産】ユーラシア 【国内分布】不明 【県内分布】分布度a 千葉市,船橋市,八日市場, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散?(不稔?):夏 【国内侵入】日本で交雑:- 【県内侵入】現地で交雑:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】39

種子植物	ヤマゴボウ科	影響度	緊急度
63	ヨウシュヤマゴボウ <i>Phytolacca americana</i> L.	C	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県下, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】240: 明治 【県内侵入】240: 明治～昭和30年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,272,285,286,302,317,311,40,332,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	ヤマゴボウ科	影響度	緊急度
64	ヤマゴボウ <i>Phytolacca esculenta</i> Van Houtte	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 丘陵地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161(薬用):江戸 【県内侵入】161:江戸以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,60,272,286,302,317,312,40,190,202,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	オシロイバナ科	影響度	緊急度
65	ナハカノコソウ <i>Boerhavia diffusa</i> L.	D	C

【原産】太平洋諸島,中国 【国内分布】沖縄県に自生 【県内分布】分布度a 船橋市に一次帰化, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:秋 【国内侵入】不明:- 【県内侵入】250:平成 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】272,202,71 【文献県内】39

種子植物	オシロイバナ科	影響度	緊急度
66	オシロイバナ <i>Mirabilis jalapa</i> L.	C	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県下, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:江戸 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,239,109,272,285,286,302,317,319,311,312,40,331,332,202,78,165,349 【文献県内】214,263,34

種子植物	ザクロソウ科	影響度	緊急度
67	ホソバモンパミミナグサ <i>Glinus oppositifolius</i> (L.) A.DC.	D	C

【原産】世界の熱帯～亜熱帯 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市で一時帰化, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:平成 【県内侵入】250:平成 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】286,312 【文献県内】39

種子植物	ザクロソウ科	影響度	緊急度
68	ハナビザクロソウ <i>Mollugo nudicaulis</i> Lam.	D	C

【原産】アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市で一時帰化, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:平成 【県内侵入】250:平成 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】286,312 【文献県内】39

種子植物	ザクロソウ科	影響度	緊急度
69	クルマバザクロソウ <i>Mollugo verticillata</i> L.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:江戸末期 【県内侵入】240:明治～昭和30年代 【影響】310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,239,60,109,272,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	ツルナ科	影響度	緊急度
70	ハナツルソウ <i>Aptenia cordifolia</i> Schw.	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 各地に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:江戸末期 【県内侵入】161:昭和 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】332 【文献県内】39

種子植物	ツルナ科	影響度	緊急度
71	バクヤギク <i>Carpobrotus chilensis</i> (Molina) N.E.Br.	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】愛知県渥美半島 【県内分布】分布度a 館山市, - 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒, 匍匐枝で栄養繁殖, 種子:食散:秋 【国内侵入】161: 明治 【県内侵入】161: ? 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】不法投棄と思われる愛知県渥美半島の西の浜に広がっている 【文献全般】332 【文献県内】-

種子植物	ツルナ科	影響度	緊急度
72	マツバギク <i>Lampranthus spectabilis</i> N.E.Br.	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 全県で栽培, 時に逸出, 少ない(一株で一面に広がる) 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒, 匍匐枝で栄養繁殖, 種子:重散:秋 【国内侵入】161: 明治(導入) 【県内侵入】161: 昭和? 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232, 302, 312, 40, 332, 71 【文献県内】39

種子植物	スベリヒユ科	影響度	緊急度
73	タチスベリヒユ <i>Portulaca oleracea</i> L. var. <i>sativa</i> DC.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】野菜として稀に栽培 【県内分布】分布度a 松戸?, 極小 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏~秋 【国内侵入】161: 明治 【県内侵入】161?: 昭和? 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】302 【文献県内】39

種子植物	スベリヒユ科	影響度	緊急度
74	ヒメマツバボタン <i>Portulaca pilosa</i> L.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県の平野部, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏~秋 【国内侵入】240: 1963年頃 【県内侵入】240: 明治~昭和30年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 202, 71, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34, 368

種子植物	スベリヒユ科	影響度	緊急度
75	ハゼラン <i>Talinum crassifolium</i> Willd.	C	C

【原産】西インド諸島 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として北総の平野部, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年~多年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】161: 明治初期 【県内侵入】161: 明治~昭和30年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 312, 40, 332, 202, 71, 165, 349 【文献県内】214, 39

種子植物	ツルムラサキ科	影響度	緊急度
76	アカザカズラ <i>Anderera cordifolia</i> (Ten.) Steenis	D	C

【原産】南米熱帯 【国内分布】本州(神奈川県～岡山県) 【県内分布】分布度a 南房総市, 極小 【形態・生態】つる・夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:むかご:秋 【国内侵入】161:1905年 【県内侵入】161:昭和? 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,238,109,285,286,302,311,40,202,78,349,344 【文献県内】39,久内清孝. 1971. マディラカズラが房州に逸出している. 植物研究雑誌46(6):192.

種子植物	ツルムラサキ科	影響度	緊急度
77	ツルムラサキ <i>Basella rubra</i> L. var. <i>alba</i> Makino	D	C

【原産】熱帯アフリカ～アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 東京湾沿岸の平野に散在, 極小 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:明治～昭和10年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,109,286,302,316,311,312,40,332,202,71,165,349 【文献県内】39

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
78	ネバリノミノツヅリ <i>Arenaria serpyrifolia</i> L. var. <i>viscida</i> (Loisel.) Ascherson	D	C

【原産】ユーラシア? 【国内分布】北海道, 本州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:不明 【県内侵入】240:昭和 【影響】121 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,312 【文献県内】39

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
79	オランダミミナグサ <i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県下, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:明治末期 【県内侵入】240:明治～昭和10年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,272,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】214,270,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
80	ノハラナデシコ <i>Dianthus armeria</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1966年 【県内侵入】220:昭和30年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】142,268,39,34,斉藤吉永.1971.千葉県野田に帰化したノハラナデシコ.植物採集ニュース(57):88-89.

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
81	カスミノウ <i>Gypsophila elegans</i> Bieb.	D	C

【原産】コーカサス 【国内分布】全国で栽培 【県内分布】分布度a 各地でワイルドフラワーとして栽培, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:大正 【県内侵入】161:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,302,317,319,311,312,332,202,165 【文献県内】39

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
82	ヌカイトナデシコ <i>Gypsophila muralis</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 東京湾岸の平野に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:1997年以前 【県内侵入】240:1999年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】109,286,302,317,40 【文献県内】39

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
83	イヌコモチナデシコ <i>Petrorhagia nanteuilli</i> (Burnat) P. W. Ball et Heywood	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度b 北総の平野部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:1960年 【県内侵入】240:平成以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,60,109,285,286,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
84	アライツツメクサ <i>Sagina procumbens</i> L.	D	C

【原産】欧州,北アメリカ,オーストラリア 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 中程度 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:昭和30年代以前 【県内侵入】240:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,109,285,286,302,317,319,40,202,349 【文献県内】39

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
85	シバツメクサ <i>Scleranthus annuus</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:戦後 【県内侵入】240:平成 【影響】280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,239,286,302,319,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
86	マツヨイセンノウ <i>Silene alba</i> (Mill.) E.H. L.Krause	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 主として北総の平野部, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:明治～昭和10年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,109,272,285,286,302,317,319,312,40,332,202,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
87	ムシトリマンテマ <i>Silene antirrhina</i> L.	D	C

【原産】中南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地の平野部に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1951年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,238,60,109,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】267,268,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
88	ムシトリナデシコ <i>Silene armeria</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県の平野部に逸出, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:明治～昭和10年代 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,60,109,272,285,286,317,319,311,312,40,331,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,332

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
89	オオシラタマソウ <i>Silene conoidea</i> L.	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 鴨川市, 極小 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1912年以前 【県内侵入】210:昭和20年代以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,238,239,60,109,285,302,319,311,312,40,71,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
90	ホザキマンテマ <i>Silene dichotoma</i> Ehrh.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 富里市, 極小 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1950年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,60,109,285,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】214,142,267,269,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
91	シロバナマンテマ <i>Silene gallica</i> L.	B	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総に分布, 中程度. 千葉県では空き地などで割にみかける 【形態・生態】夏緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:江戸末期 【県内侵入】210:昭和20年代以前 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,222,238,239,60,109,302,319,311,312,40,34,202,78,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
92	マンテマ <i>Silene gallica</i> L. var. <i>quinquevulnera</i> (L.) Koch	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:江戸末期 【県内侵入】161:昭和10年代以前 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】元々観賞用.シロバナマンテマよりずっと少ない 【文献全般】94,241,222,238,239,60,109,285,302,317,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
93	ツキミセンノウ <i>Silene noctiflora</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 富里市,印西市, 極小 【形態・生態】夏緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1899年 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,238,239,60,109,285,302,317,319,311,40,202,78,349,344 【文献県内】142,267,269,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
94	シラタマソウ <i>Silene vulgaris</i> (Moench) Garcke	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 千葉市,印西市, 極小 【形態・生態】夏緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:明治 【県内侵入】210:昭和40年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,238,239,60,109,285,302,319,311,40,202,165,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
95	ノハラツメクサ <i>Spergularia arvensis</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 富津市,南房総市,浦安市,印西市(旧本埜村),千葉市,君津市, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:明治 【県内侵入】240:昭和30年代以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,238,239,60,109,285,302,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
96	ウシオハナツメクサ <i>Spergularia bocconii</i> (Scheele) Ascherson et Graebn.	B	B

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として東京湾岸に分布, 中程度, 塩湿地生の植物 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 水散: 夏 【国内侵入】240: 1934年以前 【県内侵入】240: 1934年以前 【影響】280, 121 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】94, 109, 286, 317, 312, 40, 202, 71 【文献県内】39, 木村陽子. 1989. 船橋市・海浜公園の帰化植物3種. 千葉生物誌39(1): 32-34.

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
97	ウスベニツメクサ <i>Spergularia rubra</i> (L.) J. et C. Presl	D	C

【原産】北半球温帯 【国内分布】北海道, 本州, 四国 【県内分布】分布度a 勝浦市?(標本未見), 極小? 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】240: 1932年以前 【県内侵入】240: 昭和40年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】39, 34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
98	ノミノコブスマ <i>Stellaria alsine</i> Grimm Var. <i>alsine</i>	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 九州 【県内分布】分布度a 八街市, 極小 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】240: 1978年以前 【県内侵入】240: 平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】232, 285, 286, 302, 317, 319, 312, 202, 349 【文献県内】-

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
99	コハコベ <i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	C	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 春~秋 【国内侵入】210: 明治 【県内侵入】210: 明治 【影響】310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】232, 241, 222, 238, 60, 109, 285, 319, 311, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 317, 34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度
100	イヌコハコベ <i>Stellaria pallida</i> (Dumort.) Crep.	C	B

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 砂質生. 市川市, 船橋市の沿海部では多い, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】210: 1978年以前 【県内侵入】210: 1978年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 232, 109, 285, 286, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 349 【文献県内】214, 39, 木村陽子. 1998. イヌコハコベとコハコベ. 千葉県植物誌資12: 81-82, 倉俣武男. 1998. イヌコハコベの分布について. 八千代市および和田町・富山町. 千葉県植物誌資料13: 93.

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
101	アメリカビユ <i>Amaranthus blitoides</i> S.Watson	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 袖ヶ浦市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1948年以前 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,241,238,109,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
102	ホコガタアカザ <i>Atriplex prostrata</i> Boucher ex DC. (syn. <i>A. hastata</i> non. L.)	B	B

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県の海岸部に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:1940年以前 【県内侵入】240:昭和20年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,285,302,317,319,311,312,40,78,165,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
103	ホソバアカザ <i>Chenopodium album</i> L. var. <i>stenophyllum</i> Makino (syn. <i>C. stenophyllum</i> (Makino) Koidz.)	D	C

【原産】アジア北部 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 海岸部に散在, 中程度. 海岸・河原にでる 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:昭和以前 【県内侵入】210:昭和10年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】39

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
104	アリタソウ <i>Chenopodium ambrosioides</i> L.	C	C

【原産】南米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和10年代以前 【影響】250,121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名ケアリタソウ 【文献全般】81,94,222,238,239,60,109,285,286,317,319,311,312,40,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
105	アメリカアリタソウ <i>Chenopodium anthelminticum</i> L. (syn. <i>Ambrina anthelminticum</i> (L.) Spach)	C	C

【原産】南米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 富津市, 佐倉市, 鴨川市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:昭和以前 【県内侵入】110:昭和10年代以前 【影響】250,121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名アリタソウ 【文献全般】232,241,238,239,60,109,272,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】312,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
106	コアカザ <i>Chenopodium ficiforium</i> Sm. (syn. <i>C. serotinum</i> non. L.)	B	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 主として東京湾岸の平野部に分布, 極多
 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:春～秋 【国内侵入】210:弥生～室町 【県内侵入】210:弥生～室町
 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,202,71,78,165,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
107	ウラジロアカザ <i>Chenopodium glaucum</i> L.	B	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総内陸部及び全県海岸に分布, 多い
 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1891年以前 【県内侵入】210:昭和初期 【影響】121
 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
108	ヒメハマアカザ <i>Chenopodium leptophyllum</i> Nutt.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 木更津市, 極少 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏
 【国内侵入】210:1973年以前 【県内侵入】210:1973年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,109,286,317,319,311,312,40,34,202,71,349 【文献県内】39,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
109	ミナトアカザ <i>Chenopodium murale</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 富里市,芝山町, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1965年 【県内侵入】250:平成以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
 在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】-
 【文献全般】81,232,241,222,238,109,285,302,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
110	ゴウシュウアリタソウ <i>Chenopodium pumilio</i> R.Br.	B	B

【原産】豪州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度b 北総(柏市,山武市,佐倉市), 多い 【形態・生態】夏緑・1年草
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:春 【国内侵入】250:1933年 【県内侵入】250:昭和20年代以前 【影響】310,250 【緊急】- 【対策】
 可能なかぎり
 在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止
 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度
111	ハウキギ <i>Kochia scoparia</i> (L.) Schrad. var. <i>scoparia</i>	D	C

【原産】ユーラシア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に散在, 少ない 【形態・生態】-
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸以前 【県内侵入】161:昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】栽培植物 【文献全般】81,232,241,239,285,286,312,40,34,190,71,165 【文献県内】263,39,34

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
112	ケイノコヅチモドキ(仮称) <i>Achyranthes</i> sp.	D	C

【原産】亜熱帯アジア? 【国内分布】千葉県のみ? 【県内分布】分布度a 富里市両国, 少ない 【形態・生態】夏緑一年草? 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:2008年 【県内侵入】210:2008年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子.2009.ケイノコヅチモドキ(仮称)が富里市に一時帰化.千葉県植物誌資料25:247-248.

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
113	ホソバツルノゲイトウ <i>Alternanthera nodiflora</i> R.Br.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 市川市,柏市, 少ない 【形態・生態】夏緑・匍匐1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1897年以前 【県内侵入】250:昭和30年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能な限り在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,344 【文献県内】39,34

種子植物	ヒユ科	特定外来生物	影響度	緊急度
114	ナガエツルノゲイトウ <i>Alternanthera philoxeroides</i> (Mart.) Griseb.		A	A

【原産】中央米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 印旛沼周辺, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,枝がちぎれて栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】163:1989年 【県内侵入】163:1992年以前 【影響】350,121 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】60,285,286,319,311,312,40,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
115	ツルノゲイトウ <i>Alternanthera sessilis</i> (L.) DC.	B	B

【原産】南米? 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として利根川・江戸川流域, 多い 【形態・生態】夏緑・匍匐1年草 【繁殖】花粉:虫媒,枝がちぎれて栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】163:明治中期以前 【県内侵入】163:1984年以前 【影響】121,350 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,321,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
116	ヒメシロビユ <i>Amaranthus albus</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 銚子など各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・匍匐1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1941年以前 【県内侵入】250:昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
117	ヒメアオゲイトウ <i>Amaranthus arenicola</i> I.M.Johnst.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 市川市,一宮町, 少ない 【形態・生態】夏緑・匍匐1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1958年以前 【県内侵入】250:昭和20年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,232,241,239,60,109,285,286,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
118	スギモリゲイトウ <i>Amaranthus cruentus</i> L.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:明治以降 【県内侵入】161:昭和50年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,238,109,286,302,317,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
119	ハイビユ <i>Amaranthus deflexus</i> L.	D	C

【原産】広域分布 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 各地に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・匍匐1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1921年 【県内侵入】210:昭和20年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,241,238,239,60,109,286,302,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
120	ホソバイヌビユ <i>Amaranthus graecizans</i> L.	D	C

【原産】欧州,アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1920年頃 【県内侵入】250:昭和50年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】302,202 【文献県内】39,34

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
121	ホソアオゲイトウ <i>Amaranthus hybridus</i> L.(syn. <i>Amaranthus patulus</i> Bertol.)	B	B

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1937年以前 【県内侵入】210:昭和20年代以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,311,40,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
122	ヒユ <i>Amaranthus mangostanus</i> L.	D	C

【原産】アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・匍匐1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:奈良以前 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】古来食用とされた 【文献全般】238,302,202 【文献県内】39

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
123	オオホナガアオゲイトウ <i>Amaranthus palmeri</i> S.Watson	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 船橋, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1964年以前 【県内侵入】250:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,241,222,239,60,109,285,286,317,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
124	イガホビユ <i>Amaranthus powellii</i> S.Watson	B	B

【原産】中央米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 北総及び東京湾岸に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1937年以前 【県内侵入】250:平成以前 【影響】310 【緊急】全国的にかなり広がっている 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,241,109,286,302,317,311,312,326,40,202,71,349 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度
125	アオゲイトウ <i>Amaranthus retroflexus</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総の分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:明治30年代以前 【県内侵入】250:昭和30年代 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,109,285,286,302,317,312,40,202,71,165 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	ヒユ科		影響度	緊急度
126	ハリビユ	要注意外来生物(情報不足)	B	B
<i>Amaranthus spinosus</i> L.				

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 中程度. 畑地の強害草 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】250: 明治 【県内侵入】250: 昭和30年代 【影響】220, 310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】263, 39, 34

種子植物	ヒユ科		影響度	緊急度
127	ホナガイヌビユ		B	B
<i>Amaranthus viridis</i> L.				

【原産】熱帯米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】210: 大正 【県内侵入】210: 昭和10年代後半以降 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 238, 239, 109, 286, 302, 317, 311, 312, 40, 202, 78, 165, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	ヒユ科		影響度	緊急度
128	ノゲイトウ		D	C
<i>Celosia argentea</i> L.				

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 佐倉, 富里, 富津, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 1856年以前 【県内侵入】161: 平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 331, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	ヒユ科		影響度	緊急度
129	ケイトウ		D	C
<i>Celosia cristata</i> L.				

【原産】熱帯アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 室町以降 【県内侵入】161: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】園芸植物として広く栽培 【文献全般】238, 286, 302, 317, 40, 165 【文献県内】39

種子植物	サボテン科		影響度	緊急度
130	ウチワサボテン		B	B
<i>Opuntia ficus-indica</i> (L.) Mill.				

【原産】南米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 銚子・館山など太平洋岸の海岸, 少ない 【形態・生態】常緑・半低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 枝がちぎれて栄養繁殖, 種子: 食散: 夏～秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 昭和 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】202, 165 【文献県内】39

種子植物	モクレン科	影響度	緊急度
131	ユリノキ <i>Liriodendron tulipifera</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 各地に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:昭和30年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,300,165 【文献県内】39

種子植物	バンレイシ科	影響度	緊急度
132	アケビガキ <i>Asimina triloba</i> Dunal	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 主として東京湾岸の都市に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:昭和30年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,202 【文献県内】214,39

種子植物	クスノキ科	影響度	緊急度
133	クスノキ <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Siebold	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州(自生) 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:縄文(日本原産?) 【県内侵入】110:弥生~室町 【影響】141,121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,241,109,273,71 【文献県内】277,39

種子植物	クスノキ科	国RDB:NT	影響度	緊急度
134	ニッケイ <i>Cinnamomum sieboldii</i> Meissn.		D	C

【原産】アジア南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:江戸以前 【県内侵入】110:江戸 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,241,109,292,317 【文献県内】39

種子植物	クスノキ科	影響度	緊急度
135	ゲッケイジュ <i>Laurus nobilis</i> L.	D	C

【原産】南欧 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総に散在,暖地では自然散布する, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:明治 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,317 【文献県内】214,263,39

種子植物	クスノキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
136	アオモジ		D	C
<i>Litsea citriodora</i> (Siebold et Zucc.) Hatus.				

【原産】中国,日本 【国内分布】本州(山口),九州,国内帰化 【県内分布】分布度b 安房地方に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・中高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161: 日本原産 【県内侵入】161:戦後 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,241,273,312,165 【文献県内】39

種子植物	クスノキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
137	タブノキ		C	C
<i>Machilus thunbergii</i> Siebold et Zucc.				

【原産】朝鮮半島,日本 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極少(自生のものは極多) 【形態・生態】常緑高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】132: 県内原産+昭和 【県内侵入】132: 県内原産+昭和 【影響】141 【緊急】- 【対策】他県産の植木を導入しない 【備考】西日本,近畿,中部以東で種内に遺伝的分化がある. 県外産の植木が植栽され逸出している遺伝的汚染の可能性はあるが,詳細は不明 【文献全般】94,336,214,213,237,109,272,317,332,71,300 【文献県内】39,34

種子植物	キンポウゲ科	国内外来生物	影響度	緊急度
138	シュウメイギク		D	C
<i>Anemone hupehensis</i> Lemoine var. <i>japonica</i> (Thunb.) Bowles et Stearn				

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161: 室町 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,317,319,311,312,40,331,202,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	キンポウゲ科	国内外来生物	影響度	緊急度
139	キクバオウレン		D	C
<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino var. <i>anemonifolia</i> (Siebold et Zucc.) H.Ohba				

【原産】日本 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 柏市,富津市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】110: 日本原産 【県内侵入】110:昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】214,272,302,165 【文献県内】39

種子植物	キンポウゲ科	国内外来生物	影響度	緊急度
140	セリバヒエンソウ		D	C
<i>Delphinium anthriscifolium</i> Hance				

【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 佐倉市,袖ヶ浦市, 少ない. 薬草園や庭先にもうえられている 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240: 明治 【県内侵入】240:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】94,238,239,60,109,286,302,317,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度
141	ヒメリュウキンカ <i>Ranunculus ficaria</i> L.	C	B

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】近畿,関東 【県内分布】分布度a 千葉市,八街市,柏市, 少 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1992年 【県内侵入】161:1992年 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】標本CBM(BS-275886,306241) 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度
142	トゲミノキツネノボタン <i>Ranunculus muricatus</i> L.	B	B

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 八街市,館山市,大多喜町, 中程度 【形態・生態】冬緑 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:春～夏 【国内侵入】240:1915年 【県内侵入】240:昭和30年代以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度
143	ハイキンポウゲ <i>Ranunculus repens</i> L.	B	B

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 芝山町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1983年 【県内侵入】161:平成以前 【影響】121栽培植物であるが、宝塚市にはクレソンと同等に繁殖がみられるところがあり、要注意 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,109,317,319,311,312,40,202,165 【文献県内】-

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度
144	イボミキンポウゲ <i>Ranunculus sardous</i> Grantz	B	B

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】九州,関東 【県内分布】分布度a 館山市,南房総市,いすみ市, 少 【形態・生態】冬緑・一年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1980年 【県内侵入】250:1980年 【影響】310 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	メギ科	影響度	緊急度
145	ホソバヒイラギナンテン <i>Mahonia fortunei</i> Fedde	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:明治初期 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,317,312,202,165 【文献県内】39

種子植物	メギ科	影響度	緊急度
146	ヒイラギナンテン <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として北総の丘陵に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 336, 109, 317, 312, 165 【文献県内】214, 39

種子植物	メギ科	影響度	緊急度
147	ナンテン <i>Nandina domestica</i> Thunb.	D	C

【原産】東アジア, インド 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 日本原産 【県内侵入】161: 江戸 【影響】141(もし県内在来種があるなら) 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 336, 232, 222, 109, 273, 300, 302, 317, 332, 190, 165 【文献県内】214, 39, 34

種子植物	スイレン科	影響度	緊急度
148	フサジュンサイ <i>Cabomba caroliniana</i> A. Gray	A	A

【原産】北米東南部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 北総の水辺に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・浮葉多年水草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】163: 昭和初期 【県内侵入】163: 昭和30年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 239, 101, 109, 285, 286, 302, 317, 40, 202, 165 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	ハス科	国RDB: VU	影響度	緊急度
149	ハス <i>Nelumbo nucifera</i> Gaertn.		C	C

【原産】アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県の水辺に散在, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】110: 日本原産? 【県内侵入】110: 江戸以前 【影響】350, 121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 222, 109, 272, 317, 331, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	マタビ科	影響度	緊急度
150	シナサルナシ <i>Actinidia chinensis</i> Planch.	C	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に丘陵地に分布, 極小 【形態・生態】夏緑・つる性 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】110: 昭和30年代後半以降 【県内侵入】110: 昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 336, 109, 317, 312, 202 【文献県内】214, 39

種子植物	ツバキ科	影響度	緊急度
151	チャノキ <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze	D	C

【原産】中国南部,東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・低木
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋～冬 【国内侵入】110:鎌倉 【県内侵入】110:鎌倉～室町 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,232,222,109,273,300,312,332,165 【文献県内】39,34

種子植物	ツバキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
152	ハマヒサカキ <i>Eurya emarginata</i> (Thunb. ex Murray) Makino		D	C

【原産】日本自生 【国内分布】本州西南部,四国,九州 【県内分布】分布度b 一部半野生化,各地の海岸に分布, 中程度 【形態・生態】常緑・低木
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:江戸 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,222,109,273,312,332,71,165 【文献県内】39

種子植物	ツバキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
153	ナツツバキ <i>Stuartia pseudo-camellia</i> Maxim.		D	C

【原産】日本自生 【国内分布】本州(中部以西),四国,九州 【県内分布】分布度a 全県の丘陵地に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・高木
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:江戸以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,222,273,300,312,332,165 【文献県内】39

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度
154	トミサトオトギリ <i>Hypericum mutilum</i> L.	B	B

【原産】北米 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度b 富津市, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】240:1998年 【県内侵入】240:1998年 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】312,202 【文献県内】39,大場・木村.2000.トミサトオトギリ(新称)*Hypericum mutilum* L.の帰化.植物研究雑誌75(5):316-318.

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度
155	コゴメバオトギリ <i>Hypericum perforatum</i> L. var. <i>angustifolium</i> DC.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総の丘陵部に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】240:1934年 【県内侵入】240:昭和50年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度
156	セイヨウトギリ <i>Hypericum perforatum</i> L. var. <i>perforatum</i>	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:昭和以前 【県内侵入】161:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,336,241,238,239,285,286,311,312,40,202,349 【文献県内】39

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度
157	ビョウヤナギ <i>Norysta chinensis</i> (L.) Spach	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 各地の丘陵地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:昭和以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,239,109,273,300,331,332,165 【文献県内】39

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度
158	キンシバイ <i>Norysta patula</i> (Thunb.) Voigt	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地の丘陵地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:昭和以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,60,109,273,300,331,332,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	モウセンゴケ科	影響度	緊急度
159	アフリカナガバモウセンゴケ <i>Drosera capensis</i> L.	C	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 茂原市で逸出がある,山野草屋で売られている, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:戦後? 【県内侵入】161:昭和以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	モウセンゴケ科	影響度	緊急度
160	ナガエモウセンゴケ <i>Drosera intermedia</i> Hayne	A	A

【原産】欧州,北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 長生村, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:戦後? 【県内侵入】161:昭和以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
161	シラユキゲシ <i>Eomecon chionantha</i> Hance	B	B

【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,根茎で暗い林床でも生育をひろげる,種子:自散:夏 【国内侵入】161:平成 【県内侵入】161:平成 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,317,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
162	ハナビシソウ <i>Eschscholtzia californica</i> Cham.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 市街地に散在, 少ない. ワイルドフラワーでまかれたものがある 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1870年頃 【県内侵入】161:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,317,319,40,331,202,165 【文献県内】39

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
163	ハカマオニゲシ <i>Papaver bracteatum</i> Lindl.	A	A

麻薬及び向精神薬取締法指定種

【原産】イラン 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 芝山町, 極少 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:平成以前 【県内侵入】210:平成以前 【影響】210麻薬及び向精神薬取締法指定種 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底 【備考】別名ボタンゲシ 【文献全般】312 【文献県内】39

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
164	ナガミヒナゲシ <i>Papaver dubium</i> L.	B	B

【原産】地中海沿岸,欧州中部 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 主として北総の平野部に分布, 極多 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1961年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,285,286,302,317,319,311,312,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
165	モンツキナガミヒナゲシ(仮称) <i>Papaver dubium</i> L. form. prov.	B	B

【原産】地中海沿岸,欧州中部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 野田市, 極少, ナガミヒナゲシのなかに稀に混じる 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】-:平成以前 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】岩槻秀明.2008.モンツキナガミヒナゲシ(仮称)の発見.千葉県植物誌資料24:218.

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
166	トゲミゲシ <i>Papaver hybridum</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸,欧州中部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 市川, 極少 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:1961年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,109,286,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34,368

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
167	オニゲシ <i>Papaver orientale</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】全国で栽培 【県内分布】分布度a 佐倉, 極少 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,302,317,319,331,202 【文献県内】39

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
168	ヒナゲシ <i>Papaver rhoeas</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】全国で栽培 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,331,202,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度
169	アツミゲシ <i>Papaver setigerum</i> L.	あへん法指定種 A	A

【原産】北アフリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋, 少ない 【形態・生態】夏緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:1964年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】210あへん法指定種. 麻薬成分がある 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】232,241,239,109,285,286,317,319,311,312,331,202,349,344 【文献県内】39,吉川代之助.1974.千葉の新帰化植物アツミゲシとノスズメノテッポウ.植物採集ニュース(74):24.

種子植物	ヤブケマン科	影響度	緊急度
170	カラクサケマン <i>Fumaria officinalis</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 南房総市, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1981年 【県内侵入】210:平成以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,239,285,286,302,317,319,311,312,202,349,344 【文献県内】-

種子植物	フウチョウソウ科	影響度	緊急度
171	キバナヒメフウチョウ <i>Cleome icosandora</i> L.	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市に一時帰化, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】250: 平成以前 【県内侵入】250: 平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止, 県内土壌で育苗する, 輸送時の洗浄, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】286,317,312,326,202 【文献県内】39

種子植物	フウチョウソウ科	影響度	緊急度
172	アフリカフウチョウソウ <i>Cleome rutidosperma</i> DC.	C	B

【原産】熱帯アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 市川市, 船橋市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】250: 1999年 【県内侵入】250: 平成 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止, 県内土壌で育苗する, 輸送時の洗浄, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】ヒメムラサキフウチョウとしてあるデータを入れれば、県内でときおりみかける 【文献全般】286,317,312,40 【文献県内】39

種子植物	フウチョウソウ科	影響度	緊急度
173	セイヨウフウチョウソウ <i>Cleome spinosa</i> L.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】各地で栽培 【県内分布】分布度b 北総各地に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 1870年頃 【県内侵入】161: 明治以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,60,109,285,286,302,317,319,331,202,165,349 【文献県内】263,39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
174	アレチナズナ <i>Alyssum alyssoides</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋など東京湾岸に散在, 極少 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】210: 1961年 【県内侵入】210: 1969年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,238,239,285,286,302,311,312,40,202,349,344 【文献県内】267,269,39,34,366

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
175	シロイヌナズナ <i>Arabidopsis thaliana</i> (L.) Heynh.	C	C

【原産】ユーラシア 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 北総の市街地に散在, 極多 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】220: 不明(日本原産の可能性あり) 【県内侵入】220: 昭和以前 【影響】200,280シバ地 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】81,222,109,272,286,317,312,202,165 【文献県内】214,39,大野景徳・竹内美亀.1995.シロイヌナズナが八千代市に生育する.千葉県植物誌資料3:8.,田井中 信子.1995.千葉市内のシロイヌナズナ.千葉県植物誌資料3:8.,大場達之.1995.シロイヌナズナ蛇足.千葉県植物誌資料3:8.

種子植物	アブラナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
176	ミヤマハタザオ <i>Arabis lyrata</i> L. var. <i>kamtschatica</i> Fischer		D	C

【原産】日本,北東アジア 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋(一時帰化?), 極少 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:日本原産 【県内侵入】240:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
177	セイヨウワサビ <i>Armoracia rusticana</i> P.Gaert., B.May. et Schreb."	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 柏市,富里市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,238,239,60,109,285,286,302,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
178	ハルザキヤマガラシ <i>Barbarea vulgaris</i> R.Br.		C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総の市街地に散在, 中程度 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:明治 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】142,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
179	カラシナ <i>Brassica juncea</i> Czern.	B	B

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161,220:1976年以前 【県内侵入】161,220:昭和30年代後半以降 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,232,239,60,109,285,286,302,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
180	セイヨウアブラナ <i>Brassica napus</i> L.	B	B

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:昭和 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】214,39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
181	クロガラシ <i>Brassica nigra</i> Koch	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 富里市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1947年以前 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,238,60,109,285,286,319,311,349,344 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
182	アブラナ <i>Brassica rapa</i> L.		D	C

【原産】日本で育種 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総の市街地,ワイルドフラワーの残存, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:昭和 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】ハナナを含む
 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
183	ハリゲナタネ <i>Brassica tournefortii</i> Gouan	C	A

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 柏市,流山市, 中程度. 柏市中心にふえており、一面群生し、微細なとげがある 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1978年以前 【県内侵入】210:平成 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】285,286,312 【文献県内】木村陽子・蓮見和子・小土井智行.2007.ハリゲナタネの千葉県での分布状況.千葉県植物誌資料23:202-203.

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
184	オニハマダイコン <i>Cakile edentula</i> (Bigel.) Hook.	A	A

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 銚子市,いすみ市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:海散:夏 【国内侵入】240:1981年 【県内侵入】400(海流):2007年以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,60,285,286,311,312,40,202,349 【文献県内】鶴岡繁・木村陽子.2008.ハマベンケイソウ(ムラサキ科)銚子に出現.千葉県植物誌資料24:226-228. (タイトルにははいっていないがこの中でオニハマダイコンも新産報告)

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
185	アマナズナ <i>Camelina alyssum</i> Thell.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 成田市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1956年頃 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,222,238,60,109,286,302,317,319,311,312,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
186	ヒメアマナズナ <i>Camelina microcarpa</i> Andr. et DC.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,九州 【県内分布】分布度a 袖ヶ浦市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:1957年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】267,269,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
187	ミチタネツケバナ <i>Cardamine hirsuta</i> L.	C	C

【原産】欧州～東アジア 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】210:1988年 【県内侵入】210:平成以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,60,109,285,286,317,319,312,40,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
188	コタネツケバナ <i>Cardamine parviflora</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,九州 【県内分布】分布度a 成田市, 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1952年 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,202,71,349,344 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
189	アコウゲンバイ <i>Cardaria draba</i> (L.) Desv.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 市川市,富津市, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1951年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238,109,285,286,302,317,319,311,312,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
190	ツノミナズナ <i>Chorispora tenella</i> (Pall.) DC.	D	C

【原産】地中海東部～中央アジア 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 習志野市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1953年 【県内侵入】250:1953年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,311,312,40,202,349,344 【文献県内】34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
191	ナタネハタザオ <i>Conringia orientalis</i> (L.) Dumort.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋市,君津市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1952年以前 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,286,302,317,311,312,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
192	カラクサナズナ <i>Coronopus didymus</i> (L.) J.E.Smith	C	C

【原産】南米,欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総と南総の海岸に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・一年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1930年 【県内侵入】210:昭和50年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
193	クジラグサ <i>Descurainia sophia</i> (L.) Webb ex Pran.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑または冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏・秋 【国内侵入】210:1899年以前 【県内侵入】210:昭和50年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
194	キバナスズシロ <i>Eruca sativa</i> Miller	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 袖ヶ浦市, 極少 【形態・生態】夏緑または冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏または秋 【国内侵入】210:1987年以前 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,302,317,319,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
195	オハツキガラシ <i>Erucastrum gallicum</i> O. E. Schulz	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1970年代以前 【県内侵入】210:1970年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,238,239,60,109,285,286,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
196	エゾスズシロ <i>Erysimum cheiranthoides</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア,北米 【国内分布】北海道(自生?),本州,四国 【県内分布】分布度a 成田市, 少ない 【形態・生態】冬緑または夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏・秋 【国内侵入】210:不明 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238,239,272,285,286,302,317,312,40,165 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
197	ワサビ <i>Eutrema japonica</i> (Miq.) Koidz.		D	C

【原産】日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 市原市, 少ない 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】110:日本原産 【県内侵入】110:明治以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,222,109,272,302,332 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
198	ウロコナズナ <i>Lepidium campestre</i> R. Br.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 東京湾岸と北総台地に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑または夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏・秋 【国内侵入】210:1950年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
199	コシミノナズナ <i>Lepidium perfoliatum</i> L.	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 茂原市, 少ない 【形態・生態】冬緑または夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏・秋 【国内侵入】210:1920年以前 【県内侵入】210:1932年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
200	ニセマメゲンバイナズナ <i>Lepidium pinnatifidum</i> Ledeb.	D	C

【原産】中欧 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1995年以前 【県内侵入】210:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
201	マメゲンバイナズナ <i>Lepidium virginicum</i> L.	C	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏・秋 【国内侵入】210:1892年前後 【県内侵入】210:明治～昭和30年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,319,311,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
202	ニワナズナ <i>Lobularia maritima</i> Desv.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】全国で栽培 【県内分布】分布度a 北総に散在,ワイルドフラワーの残存, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草,多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治以降 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,302,319,312,40,331,202,165 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
203	ゴウダソウ <i>Lunaria annua</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】全国で栽培 【県内分布】分布度a 富里市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1901年 【県内侵入】161:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,238,60,109,285,286,302,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
204	オランダガラシ <i>Nasturtium officinale</i> R.Br.	A	A

要注意外来生物(情報不足)

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,枝がちぎれて栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】110:1870年頃 【県内侵入】110:昭和20年代以前 【影響】121,350 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】クレソンとして栽培 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,101,109,285,286,302,316,317,319,311,312,40,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
205	タマガラシ <i>Neslia paniculata</i> (L.) Desv. var. <i>thratica</i> (Valen.) Bornm.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 船橋市,松戸市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:昭和初期 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,238,239,286,302,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
206	シヨカツサイ <i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O.E.Schulz	C	C

【原産】中国 【国内分布】全国で栽培 【県内分布】分布度b 主として北総・南総に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1940年代 【県内侵入】161:昭和以降 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】逸出しやすい,花ゲリラと称し、空き地にまかれることがあった. 別名:オオアラセイトウ,ムラサキハナナ,ハナダイコン,シキンサイ 【文献全般】94,232,241,286,302,317,312,40,190,71,165 【文献県内】214,269,39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
207	セイヨウノダイコン <i>Raphanus raphanistrum</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋・北総に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:水散:夏 【国内侵入】210:1929年以前 【県内侵入】210:1950年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
208	ミヤガラシ <i>Rapistrum rugosum</i> All. var. <i>venosum</i> DC.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1941年以前 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
209	ミミヌガラシ <i>Rorippa austriaca</i> (Crantz) Besser	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 佐倉市,船橋市,酒々井町, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1974年 【県内侵入】210:昭和40年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,239,109,286,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
210	キレハヌガラシ <i>Rorippa sylvestris</i> (L.) Besser	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない. 東葛地方では散見される 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1963年 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
211 シロガラシ	<i>Sinapis alba</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 船橋市,富里市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:明治中期 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
212 ノハラガラシ	<i>Sinapis arvensis</i> L.	A	A

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度b 船橋市,富里市,我孫子市,銚子市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1928年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】210(有毒) 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
213 ハタザオガラシ	<i>Sisymbrium altissimum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1926年以前 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
214 ホソエガラシ	<i>Sisymbrium irio</i> L.	D	C

【原産】欧州南部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1955年 【県内侵入】220:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】94,232,238,109,285,286,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
215 ハマカキネガラシ	<i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop. var. <i>leiocarpum</i> DC.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 野田市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1902年以前 【県内侵入】220:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,222,238,286,302,319,202,349,344 【文献県内】317,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
216	ケカキネガラシ <i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop. var. <i>officinale</i>	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草
【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1902年? 【県内侵入】220:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】109,286,312 【文献県内】39

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
217	イヌカキネガラシ <i>Sisymbrium orientale</i> L.	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草
【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1912年 【県内侵入】220:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】263,269,39,34

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度
218	ゲンバイナズナ <i>Thlaspi arvense</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草
【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】210:江戸 【県内侵入】210:明治～昭和30年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,239,60,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	スズカケノキ科	影響度	緊急度
219	アメリカスズカケノキ <i>Platanus occidentalis</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 鴨川市, 極少 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋
【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,332 【文献県内】39

種子植物	スズカケノキ科	影響度	緊急度
220	スズカケノキ <i>Platanus orientalis</i> L.	D	C

【原産】中国 【国内分布】全国(栽培) 【県内分布】分布度b 各地に栽培, 極少 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋
【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,332 【文献県内】39

種子植物	スズカケノキ科	影響度	緊急度
221	モミジバスズカケノキ <i>Platanus x acerifolia</i> Willd.	D	C

【原産】雑種由来の園芸種 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 極少 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,332 【文献県内】39

種子植物	マンサク科	国内外来生物	影響度	緊急度
222	イスノキ <i>Distylium racemosum</i> Siebold et Zucc.		D	C

【原産】日本,台湾,中国 【国内分布】本州西部,四国,九州 【県内分布】分布度a 主として東京湾側の平地に散在, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】161,132:明治以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】336,273,332 【文献県内】39

種子植物	ベンケイソウ科	国内外来生物	影響度	緊急度
223	オノマンネングサ <i>Sedum lineare</i> Thunb.		D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州(栽培も含む) 【県内分布】分布度b 各地に散在, 中程度 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:江戸? 【県内侵入】161:江戸? 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,222,109,286,317,312,165 【文献県内】39

種子植物	ベンケイソウ科	国内外来生物	影響度	緊急度
224	マルバマンネングサ <i>Sedum makinoi</i> Maxim.		D	C

【原産】日本 【国内分布】本州(西部),四国,九州(自生) 【県内分布】分布度a 主として北総東部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】161:江戸? 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,109,272,302,332,190,165 【文献県内】39,34

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度
225	メキシコマンネングサ <i>Sedum mexicanum</i> Britton	C	C

【原産】中国東部?メキシコは経由地 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1969年 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,272,285,286,317,312,40,202,71,165 【文献県内】214,39

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度
226	ツルマンネングサ <i>Sedum sarmentosum</i> Bunge	C	C

【原産】朝鮮～中国北部 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に分布, 中程度 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1941年以前 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,311,312,40,332,202,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度
227	ヨコハママンネングサ <i>Sedum</i> sp.	C	C

【原産】不明 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】240:平成 【県内侵入】240:平成 【影響】121 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】109,317,312,202 【文献県内】岩槻秀明.2007.千葉県野田市でヨコハママンネングサ確認.千葉県植物誌資料23:204.

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度
228	オカタイトゴメ <i>Sedum uniflorum</i> Hook. et Arnott subsp. <i>oryzifolium</i> (Makino) H.Ohba var. <i>pumilum</i> H.Ohba	C	C

【原産】中国? 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 各地に分布, 多い 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1980年代以降? 【県内侵入】161:平成以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,109,317,319,312,202 【文献県内】214,39

種子植物	ベンケイソウ科	国内外来生物	影響度	緊急度
229	メノマンネングサ <i>Sedum uniflorum</i> subsp. <i>japonicum</i> (Siebold) H. Ohba		D	C

【原産】本州,四国,九州(自生) 【国内分布】本州,四国,九州(自生) 【県内分布】分布度a 富里市,富津市, 少ない 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】161:昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,222,272,190 【文献県内】39

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
230	イワムシロ <i>Aphanes arvensis</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 市原市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草また夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:夏 【国内侵入】220:1960年 【県内侵入】220:2009年 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】侵入確認:2009.7.11 小土井智行(県内2例目) 【文献全般】238,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,平田和弘.2000.イワムシロ__帰化植物の悲しいサダメ__.千葉県植物誌資料15:110-111.

種子植物	バラ科	国内外来生物	影響度	緊急度
231	ソメイヨシノ		C	C
<i>Cerasus x yedoensis</i> (Matsum.) A.V.Vassil. (syn. <i>Prunus x yedoensis</i> Matsum.)				

【原産】日本・交雑種 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 各地に栽培, 多い(逸出は極少) 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉: 虫媒・鳥媒, 種子: 食散: 夏 【国内侵入】交雑選抜:- 【県内侵入】161 大部分は植栽: 明治 【影響】141, 100 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 336, 232, 109, 300, 331, 332, 190 【文献県内】39, 34

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
232	ビワ <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 各地に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 夏 【国内侵入】110: 江戸以前 【県内侵入】110: 江戸 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 232, 109, 273, 300, 317, 332, 165 【文献県内】39, 34

種子植物		バラ科			
233	カナメモチ			影響度	緊急度
				D	C
Photinia glabra (Thunb. ex Murray) Maxim.					

【原産】中国, 本州西部, 四国(自生), 九州(自生) 【国内分布】本州西部, 四国(自生), 九州(自生) 【県内分布】分布度b 主として北総に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・中高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】自生: 日本原産 【県内侵入】161, 132: 江戸 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり, 公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止, 地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽, 方針策定 【備考】- 【文献全般】336, 232, 292, 300, 332, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	バラ科	国RDB:CR	影響度	緊急度
234	オオカナメモチ		D	C
<i>Photinia serrulata</i> Lindl.				

【原産】中国, フィリピン, 台湾, 琉球 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富津市, 市原市, 富里市, 極少 【形態・生態】常緑・中高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161, 132: 昭和以前 【県内侵入】161: 昭和以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 273, 300, 332, 71 【文献県内】39

種子植物		バラ科		影響度	緊急度
235	コバナキジムシロ			C	C
Potentilla amurensis Maxim.					

【原産】中国北部～朝鮮半島 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 主として利根川沿いに散在, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】220: 1930年以前 【県内侵入】220: 1960年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】81, 94, 238, 239, 60, 109, 285, 302, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】263, 39, 34

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
236	ハイキジムシロ <i>Potentilla anglica</i> Laichard.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 八千代市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1997年 【県内侵入】220:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,109,286,317,311,312,40,202 【文献県内】39,大野景德.2000.八千代市に帰化したハイキジムシロ,ナガエコミカンソウ,アメリカカシグサ.千葉県植物誌資料15:108-109.

種子植物	バラ科	国内外来生物	影響度	緊急度
237	ミツモトソウ <i>Potentilla cryptotaeniae</i> Maxim. var. <i>insularis</i> Kitag.		D	C

【原産】日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 市原市, 少ない. 在来種の国内帰化? 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】220:1989年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】94,109,272,302,165 【文献県内】39

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
238	オキジムシロ <i>Potentilla paradoxa</i> Nutt.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 各地に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1950年以前 【県内侵入】220:1959年 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
239	オオヘビイチゴ <i>Potentilla recta</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 主として北総西部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161,220:明治中期(栽培) 【県内侵入】220:1957年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,241,238,239,60,109,285,286,302,319,311,312,40,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
240	タチバナモドキ <i>Pyracantha angustifolia</i> Schneid.	B	B

【原産】中国西南部 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】161,132:1890年頃 【県内侵入】161,132:昭和初期(栽培) 【影響】121,280(果実が目だつ) 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】94,336,241,60,109,286,317,319,312,40,331,202,165,349 【文献県内】263,39

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
241	トキワサンザシ <i>Pyracantha coccinea</i> Roem.	B	B

【原産】西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】161,132:明治 【県内侵入】161,132:昭和初期(栽培) 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】336,109,286,317,312,331,202 【文献県内】39

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
242	カザンデマリ <i>Pyracantha crenulata</i> Roem.	B	B

【原産】ヒマラヤ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総西部に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】161,132:昭和初期 【県内侵入】161,132:平成以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】336,109,286,317,331,202 【文献県内】214,39

種子植物	バラ科	国内外来生物	影響度	緊急度
243	シャリンバイ <i>Rhaphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino		B	B

【原産】本州西部,四国,九州(自生) 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部と安房の海岸, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】161,132:昭和 【影響】141,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】336,232,222,109,273,300,332,71,165 【文献県内】39,34

種子植物	バラ科	国内外来生物	影響度	緊急度
244	シロヤマブキ <i>Rhodotypos scandens</i> (Thunb.) Makino	国RDB,EN	D	C

【原産】中国,朝鮮半島,日本(中国地方・自生) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 主として北総に散在, 極少 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161(自生もあり):江戸,日本原産 【県内侵入】161,132:昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】336,241 【文献県内】39

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
245	オニクロイチゴ <i>Rubus argutus</i> Link	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:食散:夏 【国内侵入】161:1999年以前 【県内侵入】161:1999年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】214,39

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
246	セイヨウヤブイチゴ <i>Rubus fruticosus</i> L.	B	B

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 柏市,千葉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木,川岸などで広範囲にひろがる 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:食散:夏 【国内侵入】161:1950年以前 【県内侵入】161:昭和末期以前 【影響】121,220(トゲあり) 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,222,239,60,109,285,286,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】263,39

種子植物	バラ科	影響度	緊急度
247	ユキヤナギ <i>Spiraea thunbergii</i> Siebold ex Blume	C	C

【原産】中国,本州,四国,九州(自生?) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総・南総に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161,132:日本原産? 【県内侵入】161,132:江戸? 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,336,109,190,165 【文献県内】214,39

種子植物	マメ科	要注意外来生物(緑化植物), 生態学会100	影響度	緊急度
248	イタチハギ <i>Amorpha fruticosa</i> L.		B	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】131,160:大正 【県内侵入】131:昭和30年代前半以降 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,336,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
249	アメリカホドイモ <i>Apios americana</i> Medic.	D	C

【原産】北米東南部 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 富里市,柏市,大多喜町(栽培), 少ない 【形態・生態】夏緑・つる性草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:明治中期 【県内侵入】161:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,238,239,101,286,302,317,312,40,202 【文献県内】263,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
250	ゲンゲ <i>Astragalus sinicus</i> L.	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地で栽培,一部逸出, 中程度(栽培は極多) 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】161:室町 【県内侵入】161:明治 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,222,109,285,286,302,317,312,326,40,78,165 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
251	コヤシタヌキマメ <i>Crotalaria juncea</i> L.	D	C

【原産】インド 【国内分布】九州, 関東 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 秋 【国内侵入】110: 2006年以前 【県内侵入】110: 2006年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
252	オオミツバタヌキマメ <i>Crotalaria pallida</i> Ait. var. <i>obovata</i> (G. Don) Polhill	D	C

【原産】熱帯アジア〜ポリネシア 【国内分布】本州, 九州 【県内分布】分布度a 船橋, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 秋 【国内侵入】161: 江戸(栽培) 【県内侵入】161: 平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241, 286, 302, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 349 【文献県内】213, 39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
253	アフリカタヌキマメ <i>Crotalaria zanzibrica</i> Benth.	D	C

【原産】東アフリカ 【国内分布】九州, 関東 【県内分布】分布度a 芝山町, 佐原市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 秋 【国内侵入】110: 1996年以前 【県内侵入】110: 1996年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
254	カワリバマキエハギ <i>Desmodium heterophyllum</i> (Willd.) DC.	D	C

【原産】アジア南部, オーストラリア, アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市で一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋 【国内侵入】250: 1970年以前 【県内侵入】250: 1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止, 県内土壌で育苗する, 輸送時の洗浄, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】71 【文献県内】39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
255	アレチヌスビトハギ <i>Desmodium paniculatum</i> (L.) DC.	C	B

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋 【国内侵入】240: 1940年 【県内侵入】240: 昭和40年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 311, 312, 40, 202, 78, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
256	ハイマキエハギ <i>Desmodium triflorum</i> (L.) DC.	D	C

【原産】南アジア,小笠原,琉球(自生) 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市で一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:秋 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250:1999年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312,71 【文献県内】213,39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
257	ニワフジ <i>Indigofera decora</i> Lindl.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 各地に散在,各地で栽培, 極少 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,272,302,331,332,190 【文献県内】39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
258	キダチコマツナギ(仮称) <i>Indigofera pseudotinctoria</i> Matsum.	B	B

【原産】中国 【国内分布】本州,主として全国に分布 【県内分布】分布度b 南房総市, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:秋 【国内侵入】131:平成以前 【県内侵入】131:平成10年以降 【影響】141,121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】学名に問題があり、現在の所コマツナギの学名と同じになってしまう.形態で中国産は区別できる 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子.2007.キダチコマツナギ(大型コマツナギ)が流山市で記録.千葉県植物誌資料22:194-196.

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
259	セイヨウミヤコグサ <i>Lotus corniculatus</i> L. subsp. <i>corniculatus</i>	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】220:1946年以前 【県内侵入】220:昭和末期以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,165,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
260	ネビキミヤコグサ <i>Lotus pedunculatus</i> Cav.	D	C

【原産】欧州〜アフリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 千葉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】250:1974年 【県内侵入】250:1982年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり в 在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,239,60,109,285,286,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
261	ワタリミヤコグサ <i>Lotus tenuis</i> Waldst. et Kit. ex Willd.	D	C
【原産】欧州～アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 白井市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:自散:夏 【国内侵入】250:1970年頃 【県内侵入】250:1973年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,241,239,60,109,285,286,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
262	コメツブウマゴヤシ <i>Medicago lupulina</i> L.	C	C
【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 各地に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草また冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏 【国内侵入】160:江戸 【県内侵入】160:1927年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
263	コウマゴヤシ <i>Medicago minima</i> (L.) Bartal.	C	C
【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として海岸部に散在, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏 【国内侵入】160:1868年前後 【県内侵入】160:1923年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】269,39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
264	ウマゴヤシ <i>Medicago polymorpha</i> L.	C	C
【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:着散:夏 【国内侵入】160:江戸 【県内侵入】160:1923年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,202,71,78,165,349,344 【文献県内】39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
265	ムラサキウマゴヤシ <i>Medicago sativa</i> L.	C	C
【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在,牧草として栽培, 少ない. 牧草として極多 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏 【国内侵入】160:1870年前後 【県内侵入】160:1931年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】263,39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
266	コシナガワハギ <i>Melilotus indica</i> (L.) All.	C	C
【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総西部に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1939年以前 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,349,344 【文献県内】39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
267	シロバナシナガワハギ <i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pall. subsp. <i>alba</i> (Medic.) H.Obashi et Tateishi	C	C
【原産】中央アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総西部に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】160:江戸末期 【県内侵入】160:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,349,344 【文献県内】214,263,39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
268	シナガワハギ <i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pall. subsp. <i>suaveolens</i> (Ledeb.) H.Obashi	C	C
【原産】アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総及び南総・安房の海岸部, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】160江戸時代,ユーラシアから:1856年以前 【県内侵入】160:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,285,286,302,317,319,311,326,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
269	ハリエンジュ <i>Robinia pseudoacacia</i> L.	A	B
【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,地下の根から栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】110,161:1877年頃 【県内侵入】110,161:昭和初期栽培? 【影響】120,121,123 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,60,109,300,317,319,311,312,202,71,78,165,349 【文献県内】214,263,39,34			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
270	ミヤコグサモドキ <i>Rothia indica</i> (L.) Thuan	D	C
【原産】アジア南部,東南アジア,オーストラリア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市に一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:秋 【国内侵入】250:1999年以前 【県内侵入】250:1999年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39			

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
271	タマザキクサフジ <i>Securigera varia</i> (L.) Lassen	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 四街道市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】210:1951年 【県内侵入】210:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】文献情報なし,標本CBM(四街道市 2006.6.10 BS-234409) 【文献全般】81,94,109,285,286,311,312,40,202,349 【文献県内】-

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
272	アメリカツノクサネム <i>Sesbania exaltata</i> (Raf.) Rydb.ex A.W.Hill	D	C

【原産】北米,中米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総西部に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1953年 【県内侵入】250:1988年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
273	トガリバツメクサ <i>Trifolium angustifolium</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1953年 【県内侵入】250:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,232,238,239,60,285,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
274	シャグマハギ <i>Trifolium arvense</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 千葉市,富里市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1950年代 【県内侵入】220:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
275	クスダマツメクサ <i>Trifolium campestre</i> Schreb.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総西部に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1943年 【県内侵入】220:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
276	コメツブツメクサ <i>Trifolium dubium</i> Sibth.	C	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1935年 【県内侵入】220:昭和初期後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,232,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
277	ツメクサダマシ <i>Trifolium fragiferum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 千葉市,佐倉市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1939年以前 【県内侵入】220:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,232,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】34,202

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
278	タチオランダゲンゲ <i>Trifolium hybridum</i> L.	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総,南総西部, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】160:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
279	ベニバナツメクサ <i>Trifolium incarnatum</i> L.	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】園芸植物として栽培されている(ストロベリー・トーチ) 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
280	ムラサキツメクサ <i>Trifolium pratense</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県の分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】160:1868年前後 【県内侵入】160:昭和初期以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34,木村陽子・岩槻秀明.2007.野田市で採集された無花弁・重萼型ムラサキツメクサと遺伝子変異.千葉県植物誌資料23:205.

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
281	シロツメクサ <i>Trifolium repens</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】160:江戸 【県内侵入】160:昭和初期以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
282	ヒナツメクサ <i>Trifolium resupinatum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 富津市,市原市,流山市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1952年 【県内侵入】210:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238,109,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,木村陽子・引田園子・関口晋太郎.2007.流山市に出現したヒナツメクサとコメバミソハギ.千葉県植物誌資料22:191-194.

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
283	オオカラスノエンドウ <i>Vicia sativa</i> L. var. <i>sativa</i>	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 市川市,芝山町, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】160:大正 【県内侵入】160:昭和初期 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,238,60,109,302,319,311,312,40,71,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
284	イブキノエンドウ <i>Vicia sepium</i> L.	D	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】四国,近畿,中部,関東,北海道 【県内分布】分布度a 茂原市,君津市, 極少 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:夏 【国内侵入】160:明治年間 【県内侵入】160:明治年間 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
285	ナヨクサフジ <i>Vicia villosa</i> Roth subsp. <i>varia</i> (Host) Corb.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1943年以前 【県内侵入】220:1996年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】94,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	マメ科	影響度	緊急度
286	ビロードクサフジ <i>Vicia villosa</i> Roth.	D	C

【原産】ヨーロッパ, 西アジア, 北アフリカ 【国内分布】関東 【県内分布】分布度a 鴨川市, 白浜町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】160: 明治年間 【県内侵入】160: 明治年間 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度
287	イモカタバミ <i>Oxalis articulata</i> Savigny	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 塊茎で栄養繁殖, 種子: 自散: 夏~秋 【国内侵入】161: 1967年以前 【県内侵入】161: 1965年以前 【影響】121, 310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】逸出をよくみかける 【文献全般】232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度
288	ハナカタバミ <i>Oxalis bowiei</i> Lindl.	D	C

【原産】アフリカ南部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎で栄養繁殖, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】161: 江戸末期 【県内侵入】161: 昭和20年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 331, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度
289	ベニカタバミ <i>Oxalis brasiliensis</i> Lodd.	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎で栄養繁殖, 種子: 自散: 夏~秋 【国内侵入】161: 1954年 【県内侵入】161: 1989年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238, 239, 109, 285, 286, 317, 311, 312, 40, 331, 332, 202, 349, 344 【文献県内】263, 39, 34

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度
290	ムラサキカタバミ <i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>corymbosa</i> (DC.) Lourteig	B	B

要注意外来生物(情報不足)

【原産】南米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎で栄養繁殖, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】161: 江戸末期 【県内侵入】161: 昭和初期以前 【影響】121, 310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度
291	オッタチカタバミ <i>Oxalis dillenii</i> Jacq.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主に北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏〜秋 【国内侵入】220: 1965年以前 【県内侵入】220: 1991年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 239, 60, 109, 285, 286, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度
292	オオキバナカタバミ <i>Oxalis pes-caprae</i> L.	C	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 鴨川市, 千葉市, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎で栄養繁殖, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】161: 1967年以前 【県内侵入】161: 1991年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241, 222, 239, 109, 285, 286, 302, 317, 312, 40, 332, 202, 71 【文献県内】39

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度
293	フヨウカタバミ <i>Oxalis variabilis</i> Jacq.	C	C

【原産】アフリカ南部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 鴨川市, 千葉市, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎で栄養繁殖, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】161: 1890年 【県内侵入】161: 1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】239, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 331, 332, 202, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度
294	ツノミオランダフウロ <i>Erodium botrys</i> (Cav.) Bertol.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】250: 1954年 【県内侵入】250: 1954年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232, 238, 109, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39, 34

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度
295	オランダフウロ <i>Erodium cicutarium</i> (L.) L'Herit.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】250: 江戸 【県内侵入】250: 1967年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 78, 165, 349, 344 【文献県内】267, 39, 34

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度
296	ジャコウオランダフウロ <i>Erodium moschatum</i> (L.) L'Herit.	D	C

【原産】ユーラシア(広域), アフリカ 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】250: 1957年 【県内侵入】250: 1957年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 232, 238, 239, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 78, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度
297	アメリカフウロ <i>Geranium carolinianum</i> L.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏～秋 【国内侵入】210: 1932年 【県内侵入】210: 1981年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 39, 34

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度
298	オトメフウロ <i>Geranium dissectum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 南房総市, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】210: 1950年以前 【県内侵入】210: 2005年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 109, 286, 319, 311, 312, 40, 202, 349 【文献県内】寺村敬子. 2006. 印旛村岩戸でオトメフウロを確認. 千葉県植物誌資料21: 167-169.

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度
299	チゴフウロ <i>Geranium pusillum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 富津市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏 【国内侵入】210: 1932年 【県内侵入】210: 1969年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 232, 238, 239, 109, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 202, 78, 349, 344 【文献県内】142, 39

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度
300	ヒメフウロ <i>Geranium robertianum</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア, 北米, 南米 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 主として北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 自散: 夏～秋 【国内侵入】161: 日本原産 【県内侵入】161: 1997年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 109, 317, 312 【文献県内】39

種子植物	アマ科	影響度	緊急度
301	ヒメアマ <i>Linum bienne</i> Miller.	D	C

【原産】中央アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 八千代市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】220:1991年以前 【県内侵入】220:1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	アマ科	影響度	緊急度
302	キバナノマツバニンジン <i>Linum medium</i> (Planch.) Britton	B	B

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】220:1943年以前 【県内侵入】220:1907年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,317,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	アマ科	影響度	緊急度
303	シュクコンアマ <i>Linum perenne</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 我孫子市,印西市(旧印旛村),市原市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1977年以前(1933年栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】286,302,40,332,202,165 【文献県内】267,39,34

種子植物	アマ科	影響度	緊急度
304	アマ <i>Linum usitatissimum</i> L.	D	C

【原産】中央アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋市,千葉市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】110:江戸(元禄年間) 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,60,109,286,302,317,312,40,331,332,202,349 【文献県内】39,34

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
305	オオバベニガシワ <i>Alchornea davidii</i> Franch.	D	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 東京湾側都市部に散在, 極少 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:昭和30年代以前 【県内侵入】161:1985年以前植栽? 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,241,286,312,332 【文献県内】39

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
306	コニシキシソウ <i>Chamaesyce maculata</i> (L.) Small	C	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】210:1887年頃 【県内侵入】210:昭和初期以前 【影響】121,310 【緊急】- 【対策】適切な除草の徹底 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
307	コバノニシキシソウ <i>Chamaesyce makinoi</i> (Hayata) H. Hara	D	C

【原産】中国,台湾,フィリピン 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 鴨川市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】210:1951年以前 【県内侵入】210:1951年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
308	オオニシキシソウ <i>Chamaesyce nutans</i> (Lag.) Small	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】210:1903年 【県内侵入】210:昭和10年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
309	ハイニシキシソウ <i>Chamaesyce prostrata</i> (Aiton) Small	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 館山市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】210:1954年以前 【県内侵入】210:1959年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,165,344 【文献県内】39

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
310	アレチニシキシソウ <i>Chamaesyce</i> sp. aff. <i>prostrata</i> (Aiton) Small	C	B

【原産】熱帯アメリカ 【国内分布】関東以南? 【県内分布】分布度a 船橋市坪井町,八千代市高津,保品, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】220:- 【県内侵入】-:2009年 【影響】121 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子.2009.船橋市に出現したアレチニシキシソウ.千葉県植物誌資料25:246-247.

種子植物	トウダイグサ科		影響度	緊急度
311	ショウジョウソウモドキ	CITES:II	C	B
<i>Euphorbia heterophylla</i> L.				

【原産】北米-アルゼンチン 【国内分布】沖縄 【県内分布】分布度a 館山市,船橋市,大量繁殖の情報無し, 少ない? 【形態・生態】大型草本.トウダイグサに似るが、葉形は多型 【繁殖】花粉:中媒,種子:自散 【国内侵入】250:第二次世界大戦後 【県内侵入】250:1999年以前 【影響】沖縄では強害草化.ただし、冬寒い千葉で定着出来るかは不明 【緊急】- 【対策】抜き取り 【備考】標本CBM(BS316546,BS316570) 【文献全般】285 【文献県内】-

種子植物	トウダイグサ科		影響度	緊急度
312	チャボタイゲキ	CITES:II	C	C
<i>Euphorbia peplus</i> L.				

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 東葛には散見する, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1940年代 【県内侵入】210:2006年栽培? 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238,109,285,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】寺村敬子.2004.佐倉市に帰化したチャボタイゲキ.千葉県植物誌資料20:156.,木村陽子.2004.流山市でもチャボタイゲキ出現.千葉県植物誌資料20:156.

種子植物	トウダイグサ科		影響度	緊急度
313	オガサワラコミカンソウ		D	C
<i>Phyllanthus debilis</i> Klein ex Willd.				

【原産】インド? 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市で一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏~秋 【国内侵入】250:1999年以前 【県内侵入】250:1999年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】302,311,312,40,202,71,165 【文献県内】39

種子植物	トウダイグサ科		影響度	緊急度
314	ナガエコミカンソウ		C	C
<i>Phyllanthus tenellus</i> Roxb.				

【原産】インド洋マスカレーヌ諸島 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主に北総西部に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1992年 【県内侵入】250:1992年以前 【影響】300 【緊急】- 【対策】適切な除草,可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】別名ブラジルコミカンソウ 【文献全般】94,109,285,286,317,319,311,312,40,202 【文献県内】214,39,大野景德.2000.八千代市に帰化したハイキジムシロ、ナガエコミカンソウ、アメリカキカシグサ.千葉県植物誌資料15:108-109.

種子植物	トウダイグサ科		影響度	緊急度
315	トウゴマ		D	C
<i>Ricinus communis</i> L.				

【原産】アフリカ北東部 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総西部に散在, 極少 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和初期以前栽培? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,239,109,285,286,302,319,311,312,40,202,71,78,165,349 【文献県内】39

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
316	ナンキンハゼ <i>Sapium sebiferum</i> (L.) Roxb. (syn. <i>Triadica sebifera</i> (L.) Small)	B	B

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総西部に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・中高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:昭和初期以前栽培? 【影響】120,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,60,273,286,300,312,332,202,165,349 【文献県内】214,39

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
317	アブラギリ <i>Vernicia cordata</i> (Thunb.) Airy Shaw (syn. <i>Aleurites cordata</i> (Thunb.) R.Br. ex Stand.)	B	B

【原産】中国南部 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度c 主に南総と安房に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和初期以前栽培? 【影響】150,121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,286,300,319,311,332,202,71,78,165,349 【文献県内】214,263,39

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度
318	オオアブラギリ <i>Vernicia fordii</i> (Thunb.) Airy Shaw	D	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 野田市, 極少 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:昭和初期 【県内侵入】110:昭和20年代栽培? 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】アブラギリとされている場合があるかもしれない 【文献全般】332,202,71 【文献県内】39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
319	ユズ <i>Citrus junos</i> Siebold ex Tanaka	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 極少 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋~冬 【国内侵入】110:江戸以前 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
320	ナツダイダイ <i>Citrus natsudaidai</i> Hayata	D	C

【原産】山口県(海岸漂着) 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 南房総の丘陵に散在, 極少 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
321	ウンシュウミカン <i>Citrus unshu</i> Marcovitch	D	C

【原産】鹿児島(中国から?) 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富津市, 極少 【形態・生態】常緑・低木
【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,300,332 【文献県内】39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
322	イヌゴシュユ <i>Euodia daniellii</i> (Benn.) Hesml.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極多 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋
【国内侵入】161:平成以前 【県内侵入】161:2001年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336 【文献県内】39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
323	ゴシュユ <i>Euodia ruticarpa</i> (A.Juss.) Benth.	D	C

【原産】中国,ヒマラヤ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋
【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,232,109,273,300,317,311,312,202,78,165 【文献県内】263,39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
324	ナガキンカン <i>Fortunella margarita</i> Swingle	D	C

【原産】中国?栽培由来 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬
【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和以前,栽培 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
325	オオバノキハダ <i>Phellodendron amurense</i> Rupr. var. <i>japonicum</i> (Maxim.) Ohwi	D	C

【原産】本州(関東・中部) 【国内分布】関東・中部 【県内分布】分布度a 船橋市,在来種の国内帰化?極少 【形態・生態】落葉低木
【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:日本原産 【県内侵入】110:2000年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300 【文献県内】39

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度
326	カラタチ <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Rafin.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に散在, 極少 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 冬 【国内侵入】161: 奈良 【県内侵入】161: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 273, 300, 332 【文献県内】39

種子植物	ニガキ科	影響度	緊急度
327	ニワウルシ <i>Ailanthus altissima</i> (Miller) Swingle	C	B

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総に散在, 極少 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 明治 【県内侵入】161: 昭和以前 【影響】280 【緊急】良く逸出する 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 109, 286, 302, 317, 312, 332, 190, 202, 71, 78, 165 【文献県内】214, 263, 39

種子植物	センダン科	影響度	緊急度
328	チャンチン <i>Cedrela sinensis</i> A.Juss. (syn. <i>Toona sinensis</i> (A.Juss.) Roem.)	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 1920年代以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 232, 311, 312, 190, 202, 71, 78, 165 【文献県内】39

種子植物	センダン科	国内外来生物	影響度	緊急度
329	センダン <i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq.		C	C

【原産】ヒマラヤ, 日本 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 市川, 船橋でよく逸出, 有毒, 少ない 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 春～秋 【国内侵入】161: 日本原産? 【県内侵入】161: 1930年代以前 【影響】280, 121, 210 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 232, 109, 302, 317, 312, 71, 165 【文献県内】214, 263, 39

種子植物	ヒメハギ科	影響度	緊急度
330	ハリヒメハギ <i>Polygala ambigua</i> Nutt.	C	C

【原産】北米 【国内分布】千葉県, 神奈川県 【県内分布】分布度b 主として北総中央に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】220: 1931年以前 【県内侵入】220: 1931年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】238, 109, 286, 311, 312, 40, 202, 78, 349 【文献県内】214, 39, 34

種子植物	ヒメハギ科	影響度	緊急度
331	クルマバヒメハギ <i>Polygala verticillata</i> L.	C	C

【原産】北米 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度b 主として北総中央に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】220:1976年 【県内侵入】220:1976年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】286,311,312,40 【文献県内】39

種子植物	ウルシ科	影響度	緊急度
332	リュウキュウハゼ <i>Rhus succedanea</i> L.	C	B

【原産】中国,ヒマラヤ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 少ない 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:1930年代以前 【影響】121 【緊急】良く逸出する 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,232,109,302,317,312,71,165 【文献県内】214,39

種子植物	ウルシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
333	ウルシ <i>Rhus verniciflua</i> Stokes		D	C

【原産】中国,日本? 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県の丘陵に分布, 少ない 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】110:奈良 【県内侵入】110:1920年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,232,241,300,317,312,78,165 【文献県内】214,263,39

種子植物	カエデ科	影響度	緊急度
334	トウカエデ <i>Acer buergerianum</i> Miq.	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総の都市部に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1950年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,302,317,312,202,165,349 【文献県内】214,39

種子植物	ムクロジ科	影響度	緊急度
335	フウセンカズラ <i>Cardiospermum halicacabum</i> L.	D	C

【原産】全世界の熱帯 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1920年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,60,109,285,302,317,311,312,326,331,202,71,165,349 【文献県内】263,39

種子植物	ムクロジ科	影響度	緊急度
336	モクゲンジ <i>Koelreuteria paniculata</i> Laxm.	D	C

【原産】中国,朝鮮半島 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 南総に散在, 極少 【形態・生態】落葉高木
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸以前 【県内侵入】161:1990年代以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,312,71,165 【文献県内】39

種子植物	ムクロジ科	影響度	緊急度
337	ムクロジ <i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn.	D	C

【原産】中国,東南アジア,インド 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・高木
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散,食散:秋 【国内侵入】110:奈良 【県内侵入】110:1920年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	ツリフネソウ科	影響度	緊急度
338	アカボシツリフネ <i>Impatiens capensis</i> Meerb.	A	A

【原産】北米 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 野田市, 多い. 利根運河などで大群落 【形態・生態】夏緑・1年草
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散:秋 【国内侵入】161:1992年以前(千葉) 【県内侵入】161:1992年以前 【影響】121繁殖力強く、大型になるので、他の湿生植物を駆逐? 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】286,312,40 【文献県内】39

種子植物	ニシキギ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
339	マサキ <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. var. <i>japonicus</i>		D	C

【原産】北海道,本州,四国,九州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・低木
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:冬 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:明治以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	ツゲ科	国内外来生物	影響度	緊急度
340	フッキソウ <i>Pachysandra terminalis</i> Siebold et Zucc.		D	C

【原産】北海道,本州,四国,九州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 八街市, 極少 【形態・生態】常緑・多年草
 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:食散:秋〜冬 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:平成以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】逸出しているのは栽培型,分類学的に問題あり 【文献全般】94,109,272,302,332,190,165 【文献県内】39

種子植物	シナノキ科	影響度	緊急度
341	ツナソ <i>Corchorus capsularis</i> L.	D	C

【原産】インド,中国南部 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 南房総市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草
【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:明治以前 【県内侵入】110:1940年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】
管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40,165 【文献県内】39

種子植物	シナノキ科	影響度	緊急度
342	タイワンツナソ <i>Corchorus olitorius</i> L.	D	C

【原産】インド 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 市川市,松戸市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草
【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:明治以前 【県内侵入】110:1980年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管
理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】野菜名モロヘイヤ 【文献全般】
232,241,285,302,319,311,312,326,40,202,165,349 【文献県内】39

種子植物	アオイ科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
343	イチビ <i>Abutilon theophrasti</i> Medik.		B	B

【原産】インド 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】
花粉:虫媒,種子:重散:夏〜秋 【国内侵入】250:江戸以前 【県内侵入】250:1930年代以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能な
かぎり由来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備
考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,190,202,71,78,165,349 【文献県内】
263,39,34

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
344	ニシキアオイ <i>Anoda hastata</i> Cav.	D	C

【原産】メキシコ,南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花
粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:昭和以前 【県内侵入】161:1998年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問
題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】
241,109,285,286,302,319,312,40,331,190,202,349 【文献県内】大野景德・竹内美亀.1999.ニシキアオイを八千代市上高野に採
る.千葉県植物誌資料14:100.

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
345	アオイツナソ <i>Hibiscus cannabinus</i> L.	D	C

【原産】アフリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋市,栽培植物, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草
【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:平成以前(栽培) 【県内侵入】110:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理
区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名ケナフ 【文献全般】312,202 【文献県内】39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
346	モミジアオイ <i>Hibiscus coccineus</i> Walt.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1870年代 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】286,302,319,312,40,331,190,202,165 【文献県内】263,39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
347	フヨウ <i>Hibiscus mutabilis</i> L.	D	C

【原産】中国,四国,九州に自生 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:明治以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,232,109,317,319,312,331,202,165 【文献県内】263,39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
348	ムクゲ <i>Hibiscus syriacus</i> L.	D	C

【原産】中国,インド,朝鮮半島 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に散在, 極少 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:安土桃山 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,222,60,109,273,286,302,317,319,311,312,40,331,332,202,71,78,165,349 【文献県内】263,39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
349	ギンセンカ <i>Hibiscus trionum</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161,250:鑑賞用として江戸時代に 【県内侵入】161,250:昭和30年代以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
350	ゼニバアオイ <i>Malva neglecta</i> Walr.	C	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1958年以前 【県内侵入】250:1980年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,286,317,319,311,312,40,190,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
351	ウサギアオイ <i>Malva parviflora</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】250: 1948年 【県内侵入】250: 1970年代以降 【影響】121, 310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり 在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39, 34

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
352	ハイアオイ <i>Malva rotundifolia</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】250: 昭和以前 【県内侵入】250: 1980年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり 在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 94, 222, 238, 239, 60, 285, 302, 317, 319, 311, 312, 332, 202, 165, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
353	ゼニアオイ <i>Malva sylvestris</i> L. var. <i>mauritanica</i> (L.) Boiss.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 1930年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 331, 332, 190, 202, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
354	フユアオイ <i>Malva verticillata</i> L.	D	C

【原産】東アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】110, 250: 平安 【県内侵入】110, 250: 1930年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり, 可能なかぎり 在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238, 60, 109, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 332, 190, 202, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
355	キクノハアオイ <i>Modiola caroliniana</i> G. Don	D	C

【原産】北米～熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 勝浦市, 南房総市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋 【国内侵入】250: 1913年以前 【県内侵入】250: 1996年以前 【影響】280, 121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり 在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】238, 109, 285, 286, 302, 317, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 78, 349, 344 【文献県内】331, 野口昭造. 1996. 勝浦市行川アイランドに帰化したキクノハアオイ. 千葉県植物誌資料8: 52-53.

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
356	ヤノネボンテンカ <i>Pavonia hastata</i> Cav.	D	C

【原産】南米 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培), 本州(神奈川県, 千葉県)逸出 【県内分布】分布度a 江戸川河原にも, 柏市, 松戸市, 千葉市, 極少 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 昭和以前(栽培) 【県内侵入】161: 1990年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 232, 109, 286, 317, 312, 40, 202, 71 【文献県内】39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
357	ホソバキンゴジカ <i>Sida acuta</i> Burn. f.	D	C

【原産】熱帯アジア～亜熱帯 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 柏市, 八街市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】250: 戦後 【県内侵入】250: 昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241, 238, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 78, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
358	キンゴジカ <i>Sida rhombifolia</i> L.	D	C

【原産】熱帯(全世界) 【国内分布】小笠原, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 柏市, 佐倉市, 山武市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋 【国内侵入】250: 日本原産 【県内侵入】250: 1980年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232, 241, 238, 239, 109, 285, 302, 317, 311, 312, 326, 190, 202, 71, 78, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度
359	アメリカキンゴジカ <i>Sida spinosa</i> L.	C	C

【原産】北米～熱帯米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 夏 【国内侵入】250: 1950年以前 【県内侵入】250: 1950年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 71, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	アオギリ科	影響度	緊急度
360	アオギリ <i>Firmiana simplex</i> (L.) W.F.Wight	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 109, 273, 300, 332, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度
361	ヒゴスミレ <i>Viola chaerophylloides</i> (Regel) W.Becker form. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) F.Maek. et T.Hashim.	D	C
【原産】本州, 四国, 九州 【国内分布】本州, 四国, 九州, 千葉県は逸出 【県内分布】分布度a 柏市, 市原市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫+自媒, 種子: 自散+食散: 夏〜秋 【国内侵入】161: 日本原産 【県内侵入】161: 戦後 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】82, 109, 332, 165 【文献県内】39, 34			

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度
362	ニオイスミレ <i>Viola odorata</i> L.	D	C
【原産】欧州南部〜西アジア 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫+自媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子: 自散+食散: 夏〜秋 【国内侵入】161: 1900年頃 【県内侵入】161: 1930年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 81, 232, 109, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 319, 311, 311, 312, 40, 331, 331, 202, 165, 165, 349, 349, 344 【文献県内】39			

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度
363	アメリカスミレサイシン <i>Viola sororia</i> Willd.	C	C
【原産】北米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫+自媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子: 自散+食散: 夏〜秋 【国内侵入】161: 1989年以前 【県内侵入】161: 1990年代以前 【影響】121, 280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 60, 109, 317, 312, 40, 39, 202, 349 【文献県内】39			

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度
364	サンシキスミレ <i>Viola tricolor</i> L.	D	C
【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総・南総に散在, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫+自媒, 種子: 自散+食散: 夏 【国内侵入】161: 1860年頃 【県内侵入】161: 1920年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 60, 109, 109, 286, 317, 319, 319, 312, 40, 331, 331, 202, 165, 349 【文献県内】39			

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度
365	フイリゲンジスミレ <i>Viola variegata</i> Fisch. var. <i>variegata</i>	D	C
【原産】朝鮮半島 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 我孫子市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫+自媒, 種子: 自散+食散: 夏〜秋 【国内侵入】161: 昭和以前 【県内侵入】161: 平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 109, 312, 202 【文献県内】39			

種子植物	トケイソウ科	影響度	緊急度
366	クサトケイソウ <i>Passiflora foetida</i> L. var. <i>hispida</i> (DC.) Killip.	D	C

【原産】南米 【国内分布】本州(小笠原),九州 【県内分布】分布度a 船橋市に一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・つる1年草
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1966年 【県内侵入】250:1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】-
 【文献全般】285,311,312,326,202,71,349 【文献県内】39

種子植物	シュウカイドウ科	影響度	緊急度
367	シュウカイドウ <i>Begonia grandis</i> Dryand. (syn. <i>B. evansiana</i> Andrews)	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,珠芽で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:江戸以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,109,285,286,302,317,312,40,202,165,349 【文献県内】214,39,34

種子植物	ウリ科	影響度	緊急度
368	アレチウリ <i>Sicyos angulatus</i> L.	A	A

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 全県に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・つる1年草本
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:水散,着散:秋 【国内侵入】250:1952年 【県内侵入】250:昭和30年代以前 【影響】121,350,150,280
 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】81,94,232,222,238,239,60,109,285,286,302,319,311,312,202,165,349,344 【文献県内】263,39

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度
369	ナンゴクヒメミソハギ <i>Ammannia auriculata</i> Willd.	B	B

【原産】北米,アジア,アフリカの熱帯 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 南房総市,館山市, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草
 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1968年 【県内侵入】250:1937年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
 在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,109,285,286,317,319,311,312,40,202,71,349 【文献県内】39

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度
370	シマミソハギ <i>Ammannia baccifera</i> L. (syn. <i>Ammannia discolor</i> Nakai)	C	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市,市原市,富里市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散,水散:秋 【国内侵入】250:戦後 【県内侵入】250:1991年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
 在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】別名ナガトミソハギ 【文献全般】222,285,302,319 【文献県内】214,39

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度
371	ホソバヒメミソハギ <i>Ammannia coccinea</i> Rottb. subsp. <i>purpurea</i> Koehne	B	B

【原産】アメリカ大陸 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散, 水散: 秋 【国内侵入】250: 1952年 【県内侵入】250: 1980年代以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度
372	サルスベリ <i>Lagerstroemia indica</i> L.	D	C

【原産】インド, 中国南部, 東南アジア 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総・南総西部に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・亜高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 273, 300, 331, 332 【文献県内】39

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度
373	コメバミソハギ <i>Lythrum hyssopifolia</i> L.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 流山市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】250: 1960年 【県内侵入】250: 2006年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232, 241, 222, 239, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】木村陽子・引田園子・関口晋太郎. 2007. 流山市に出現したヒナツメクサとコメバミソハギ. 千葉県植物誌資料22: 191-194., 木村陽子. 2007. コメバミソハギの初出文献. 千葉県植物誌資料23: 199.

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度
374	アメリカカキシグサ <i>Rotala ramosior</i> (L.) Koehne	C	B

【原産】熱帯米 【国内分布】神奈川県, 千葉県 【県内分布】分布度b 北総西部, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】250: 1997年 【県内侵入】250: 1999年 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109, 286, 317, 319, 312, 40, 202 【文献県内】255, 331, 大野景德. 2000. 八千代市に帰化したハイギジムシロ, ナガエコミカンソウ, アメリカカキシグサ. 千葉県植物誌資料15: 108-109, 311

種子植物	ザクロ科	影響度	緊急度
375	ザクロ <i>Punica granatum</i> L.	D	C

【原産】小アジア 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総・南総の市街地に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・亜高木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 平安 【県内侵入】161: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 273, 300, 302, 332, 79 【文献県内】39

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
376	ヒレタゴボウ <i>Ludwigia decurrens</i> Walt.	B	B

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:水散:秋 【国内侵入】250:1955年 【県内侵入】250:1980年代以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,60,109,272,285,286,302,317,319,311,312,40,330,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
377	アメリカミズユキノシタ <i>Ludwigia repens</i> J.R.Forst.	B	A

【原産】北米?熱帯アジア? 【国内分布】京都府~千葉県 【県内分布】分布度a 八千代市, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草(水槽内) 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】163:1970年頃 【県内侵入】163:2007年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(BS-254500) 【文献全般】101,109,286,319,311,312,40,202,349 【文献県内】倉俣武男.2007.アメリカミズユキノシタ千葉県に出現.千葉県植物誌資料23:202.

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
378	メマツヨイグサ <i>Oenothera biennis</i> L.	B	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1920年代 【県内侵入】161:1950年代以前 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,268,39,34

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
379	オオマツヨイグサ <i>Oenothera erythrosepala</i> Borbs	C	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1870年頃 【県内侵入】161:1930年代以前 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
380	コマツヨイグサ <i>Oenothera lacinata</i> Hill	B	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:1914年以前 【県内侵入】240:1950年代以前 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,241,222,238,239,60,109,272,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34,367

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
381	ユウゲシヨウ <i>Oenothera rosea</i> Ait.	C	C

【原産】アメリカ大陸 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 明治(栽培) 【県内侵入】161: 1990年代以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
382	ヒルザキツキミソウ <i>Oenothera speciosa</i> Nutt.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏～秋 【国内侵入】161: 1957年以前(栽培) 【県内侵入】161: 1950年代以前 【影響】280, 121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 165, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
383	マツヨイグサ <i>Oenothera striata</i> Ledeb. ex. Link	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 1920年代以前 【影響】280, 121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 311, 312, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度
384	ツキミソウ <i>Oenothera tetraptera</i> Cav.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 市原市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】161: 江戸末期(栽培) 【県内侵入】161: 平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238, 239, 109, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 331, 202, 78, 165, 349, 344 【文献県内】-

種子植物	ヒシ科	影響度	緊急度
385	トウビシ <i>Trapa bispinosa</i> Roxb.	D	C

【原産】インド～中国? 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 八千代市, 少ない 【形態・生態】夏緑・浮葉1年水草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】110: 昭和以前 【県内侵入】110: 1994年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】101 【文献県内】39

種子植物	アリノトウグサ科		影響度	緊急度
386	オオフサモ	特定外来生物, 生態学会100	A	A
<i>Myriophyllum aquaticum</i> (Vell.) Veldc.				
【原産】ブラジル 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 全県に散在, 多い 【形態・生態】夏緑・水草 【繁殖】花粉: 風媒, 枝がちぎれて栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】163: 大正 【県内侵入】163: 1960年代以前 【影響】121, 350 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】 81, 94, 232, 241, 222, 239, 60, 101, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 71, 78, 349, 344 【文献県内】263, 39, 34				

種子植物	ウコギ科		影響度	緊急度
387	ヒメウコギ		C	C
<i>Eleutherococcus sieboldianus</i> (Makino) Nakai				
【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 夏〜秋 【国内侵入】110: 江戸以前 【県内侵入】110: 江戸 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 336, 222, 109, 273, 300, 332, 165 【文献県内】39, 34				

種子植物	ウコギ科		影響度	緊急度
388	カナリーキツタ		D	C
<i>Hedera canariensis</i> Willd.				
【原産】カナリー諸島 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(室内栽培) 【県内分布】分布度a 極少 【形態・生態】常緑・藤本 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 昭和(栽培導入) 【県内侵入】161: 昭和(栽培導入) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】332 【文献県内】-				

種子植物	ウコギ科		影響度	緊急度
389	セイヨウキツタ		D	C
<i>Hedera helix</i> L.				
【原産】欧州, 北アフリカ 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 東京湾岸市街地に散在, 極少 【形態・生態】常緑・藤本 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 明治 【県内侵入】161: 1980年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 300, 312, 332 【文献県内】39				

種子植物	ウコギ科		影響度	緊急度
390	カミヤツデ		D	C
<i>Tetrapanax papyrifer</i> K.Koch				
【原産】中国, 台湾 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 南総・安房に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 1940年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 109, 300, 317, 311, 202, 71, 357 【文献県内】39				

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
391	ドクゼリモドキ <i>Ammi majus</i> L.	D	C

【原産】欧州南部 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】250: 1953年以前 【県内侵入】250: 1970年代以前 【影響】220(皮膚炎) 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241, 238, 239, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39, 34, 367, 368

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
392	ノハラジャク <i>Anthriscus vulgaris</i> Pers. (syn. <i>A. caucalis</i> M.Bieb.)	C	C

【原産】欧州, 西アジア, 北アフリカ 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 八千代市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】250: 1969年 【県内侵入】250: 1998年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 239, 60, 109, 285, 286, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
393	オランダミツバ <i>Apium graveolens</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 鴨川市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】110: 江戸 【県内侵入】110: 1930年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241, 109, 286, 302, 316, 319, 312, 40, 202, 165, 349 【文献県内】39

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
394	マツバゼリ <i>Ciclospermum leptophyllum</i> (Pers.) Sprague ex Britton et E.H.Wilson (syn. <i>Apium leptophyllum</i> (Pers.) F.Muell. ex Benth.)	C	C

【原産】エジプト, 熱帯米? 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 市川市, 千葉市, 市原市, 鴨川市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】210: 1893年 【県内侵入】210: 1950年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
395	ドクニンジン <i>Conium maculatum</i> L.	A	A

要注意外来生物(情報不足)

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】161: 1959年 【県内侵入】161: 1950年代以前(栽培) 【影響】210(有毒) 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 232, 241, 238, 239, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 202 【文献県内】39

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
396	コエンドロ <i>Coriandrum sativum</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富津市,柏市,市川市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:1950年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,165 【文献県内】99,263,39,34

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
397	ノラニンジン <i>Daucus carota</i> L.	C	C

【原産】欧州,アフガニスタン 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:夏 【国内侵入】250:1929年以前 【県内侵入】250:1930年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
398	ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Mill.	D	C

【原産】地中海沿岸,西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総西部に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1920年代以前(剤倍) 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,272,285,286,302,299,317,319,311,312,40,202,79,165,349 【文献県内】39

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
399	ウチワゼニクサ <i>Hydrocotyle verticillata</i> Thunb. var. <i>triradiata</i> (A.Rich.) Fernald	B	B

【原産】北米西部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 佐倉市(印旛沼), 多い 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:水散:夏 【国内侵入】163:1960年代 【県内侵入】163:1990年代以前 【影響】121,350 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,319,312,40,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	セリ科	影響度	緊急度
400	オランダゼリ <i>Petroselinum hortense</i> Hoffm. (syn. <i>P. crispum</i> (Mill.) A.W.Hill)	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 市原市, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:1930年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名パセリ 【文献全般】109,316,317,319,312,40,202,349 【文献県内】39

種子植物	ツツジ科	国内外来生物	影響度	緊急度
401	オオムラサキ <i>Rhododendron pulchrum</i> Sweet	国RDB:NT, 県RDB:B	C	C

【原産】日本(交雑種) 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に栽培, 多い 【形態・生態】連緑・低木
 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】161:江戸(交雑) 【県内侵入】161:明治 【影響】141,100 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,331,332 【文献県内】39

種子植物	サクラソウ科	影響度	緊急度
402	アカバナリリハコベ <i>Anagallis arvensis</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 富津市, 佐倉市, 市川市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草
 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】250,161:江戸(栽培) 【県内侵入】250,161:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり, 可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,222,109,285,286,302,317,319,312,40,202,344 【文献県内】214,39

種子植物	カキノキ科	影響度	緊急度
403	カキノキ <i>Diospyros kaki</i> Thunb.	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:食散:秋 【国内侵入】110:弥生 【県内侵入】110:弥生～室町 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,273,299,312,332 【文献県内】39,34

種子植物	カキノキ科	影響度	緊急度
404	マメガキ <i>Diospyros lotus</i> L.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として南総丘陵地に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・高木
 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:食散:秋 【国内侵入】110:弥生 【県内侵入】110:弥生～室町 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332,190,165 【文献県内】39

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度
405	チョウセンレンギョウ <i>Forsythia koreana</i> Nakai	D	C

【原産】朝鮮半島 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 市街地に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・低木
 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】161:明治(導入) 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度
406 トネリコ		D	C
<i>Fraxinus japonica</i> Blume			

【原産】本州 【国内分布】本州(自生) 【県内分布】分布度b 北総・南総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:1930年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,109,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	モクセイ科	要注意外来生物(緑化植物)	影響度	緊急度
407 トウネズミモチ			B	B
<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton				

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度c 主として北総・南総の市街地に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・中高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋～冬 【国内侵入】132:明治初期 【県内侵入】132:1970年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,336,232,60,317,312,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度
408 キンモクセイ		D	C
<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino			

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総～南総の市街地に散在, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋～冬 【国内侵入】161:江戸(栽培) 【県内侵入】161:1930年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,110,300,332,165 【文献県内】39

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度
409 ギンモクセイ		D	C
<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i>			

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋～冬 【国内侵入】161:江戸(栽培) 【県内侵入】161:1930年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】花は白く鋸歯がある 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度
410 ヒイラギモクセイ		D	C
<i>Osmanthus x fortunei</i> Carr.			

【原産】中国(雑種起源?) 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総・南総に散在, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋～冬 【国内侵入】161:昭和以前(栽培) 【県内侵入】161:1930年代以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332,165 【文献県内】39

種子植物	リンドウ科	影響度	緊急度
411	ベニバナセンブリ <i>Centaurium erythraea</i> Raf.	D	C

【原産】欧州? 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 山武市,八街市, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1918年以前 【県内侵入】250:1990年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,241,222,109,286,302,317,311,312,40,332,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	リンドウ科	影響度	緊急度
412	ハナハマセンブリ <i>Centaurium tenuiflorum</i> (Hoffmanns. et Link) Fritsch	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度c 北総西部, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1977年 【県内侵入】250:1980年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】60,109,285,286,312,40,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	キョウチクトウ科	影響度	緊急度
413	キョウチクトウ <i>Nerium oleander</i> L. var. <i>indicum</i> (Mill.) O.Deg et Greenwell	D	C

【原産】インド,ペルシャ 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県市街地に散在, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸(栽培) 【県内侵入】161:明治 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,109,273,286,300,317,319,311,312,331,332,202,78,165 【文献県内】39

種子植物	キョウチクトウ科	影響度	緊急度
414	ツルニチニチソウ <i>Vinca major</i> L.	B	B

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 極多 【形態・生態】連緑・藤本 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:明治(導入) 【県内侵入】161:1930年代以前 【影響】121,120,150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,60,109,285,286,302,317,319,312,40,331,202,165,349 【文献県内】214,39

種子植物	ガガイモ科	影響度	緊急度
415	ヤナギトウワタ <i>Asclepias tuberosa</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 市原市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏〜秋 【国内侵入】161:昭和以前 【県内侵入】161:平成以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	アカネ科		影響度	緊急度
416	オオフトバムグラ	要注意外来生物(情報不足)	B	B
<i>Diodia teres</i> Walter				

【原産】北米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 北総・南総の低地, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】220: 1927年 【県内侵入】220: 1950年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 302, 317, 311, 312, 40, 202, 78, 165, 349, 344 【文献県内】39, 34

種子植物	アカネ科		影響度	緊急度
417	メリケンムグラ		D	C
<i>Diodia virginiana</i> L.				

【原産】北米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 野田市, 香取市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】220: 1953年以前 【県内侵入】220: 1997年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】232, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	アカネ科		影響度	緊急度
418	シラホシムグラ		A	A
<i>Galium aparine</i> L.				

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 江戸川流域に多産し、河原の在来植物を駆逐する., 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 夏 【国内侵入】210(穀物): 1995年香川県 【県内侵入】210(穀物): 2007年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】植村修二・水田光雄・藤平明. 2004. 日本に帰化したシラホシムグラ(新称). 帰化植物写真ニュース4: 全農教 【文献県内】木村陽子・小土井智行. 2008. シラホシムグラ(アカネ科)が千葉県江戸川流域に多産. 千葉県植物誌資料24: 230-232.

種子植物	アカネ科		影響度	緊急度
419	ミナトムグラ		D	C
<i>Galium tricornutum</i> Dandy (syn. <i>Galium tricornu</i> Stokes)				

【原産】地中海沿岸, 西アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 富津市, 少ない 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散, 着散: 夏 【国内侵入】250: 1951年 【県内侵入】250: 1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】285, 286, 302, 319, 312, 40, 202 【文献県内】39

種子植物	アカネ科		影響度	緊急度
420	クチナシ		D	C
<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis				

【原産】本州, 四国, 九州(自生), 中国, ベトナム 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 極少 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】自生: 日本原産 【県内侵入】161: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336, 273, 300, 332 【文献県内】39

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度
421	タマザキフタバムグラ <i>Hedyotis corymbosa</i> (L.) Lam.	C	C

【原産】東南アジア～インド 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 船橋市に一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:1992年以前 【県内侵入】250:1992年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,317,319,311,312,40,202,71 【文献県内】39

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度
422	ハシカグサモドキ <i>Richardia scabra</i> L.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 銚子市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】240:1956年以前 【県内侵入】240:1956年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】241,238,285,286,302,319,311,312,40,202,71,344 【文献県内】39,34

種子植物	アカネ科	国RDB:EN	影響度	緊急度
423	ハクチョウゲ <i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb.		D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総・南総西部に散在, 極少 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,232,273,302,165 【文献県内】39

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度
424	ハナヤエムグラ <i>Sherardia arvensis</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度b 主として北総・南総西部に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】220:1957年 【県内侵入】220:1980年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度
425	アメリカハリフタバ <i>Spermacoce glabra</i> Michx.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州(千葉県),九州 【県内分布】分布度a 南房総市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:1952年以前 【県内侵入】240:1952年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】238,109,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
426	ツレザキヒルガオ <i>Calystegia fraternifolia</i> (Mackenzie et Busch) Burmon.	D	C

【原産】北米 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】夏緑・つる植物 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1968年以前 【県内侵入】250:1968年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312,202 【文献県内】286,34,小松崎一雄.1976.ツレザキヒルガオを千葉県市川市で採る.植物採集ニュース(49):18.

種子植物	ヒルガオ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
427	セイヨウヒルガオ <i>Convolvulus arvensis</i> L.		D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総西部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:1945年以前 【県内侵入】240:1957年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,165,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	ヒルガオ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
428	アメリカネナシカズラ <i>Cuscuta campestris</i> Yunccker		B	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総と南総海岸部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:1970年以前 【県内侵入】250:1955年以前 【影響】310,120(寄生) 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,241,239,60,109,285,286,317,311,312,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
429	カロリナアオイゴケ <i>Dichondra repens</i> Forst. var. <i>carolinensis</i> Chois.	C	C

【原産】北米南部 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度b 北総と南総の市街地に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】130:1955年頃 【県内侵入】130:1991年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,公共事業などにおける方針策定 【備考】グランドカバーで使われているものは、アオイゴケそのものの可能性がある 【文献全般】109,286,302,317,319,312,40,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
430	サツマイモ <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Poir.	D	C

【原産】中米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 全県で栽培, 極少(逸出) 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,球根で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】110:江戸(栽培) 【県内侵入】110:江戸(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】302 【文献県内】39

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
431	マルバルコウ <i>Ipomoea coccinea</i> L. (syn. <i>Quamoclit coccinea</i> (L.) Moench)	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1951年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
432	アメリカアサガオ <i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq.	C	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸末期 【県内侵入】161:1987年以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
433	マルバアメリカアサガオ <i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq. var. <i>integriscula</i> A. Gray	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1971年以前 【県内侵入】161:1985年以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,317,319,311,312,326,40,202,71,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	ヒルガオ科	国内外来生物	影響度	緊急度
434	ノアサガオ <i>Ipomoea indica</i> (Burm.) Merrill		C	C

【原産】本州,四国,九州,台湾 【国内分布】本州,四国,九州(自生) 【県内分布】分布度a 南房総市, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】300:2003年以前 【影響】イリオモテアサガオ. 不用意に投棄すると発根して広がる可能性もあるということで要注意. 280,121 【緊急】- 【対策】温室効果ガスの排出抑制,生育状況モニタリング 【備考】- 【文献全般】272,302,326 【文献県内】39

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
435	マメアサガオ <i>Ipomoea launosa</i> L.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1955年以前 【県内侵入】250:1975年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,319,311,312,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
436	アサガオ <i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth (syn. <i>Pharbitis nil</i> (L.) Choisy)	D	C

【原産】ヒマラヤ,インド,中国南部 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:平安(栽培) 【県内侵入】161:江戸(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,238,239,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,165,349 【文献県内】39

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
437	マルバアサガオ <i>Ipomoea purpurea</i> (L.) Roth	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1934年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
438	イモネノホシアサガオ <i>Ipomoea trichocarpa</i> Ell.	D	C

【原産】北アメリカ南部 【国内分布】香川県観音寺市で確認 【県内分布】分布度a 館山市,1ヵ所のみ.極小.その後増殖の情報なし 【形態・生態】花は小さく,アサガオに似る.ヤマノイモ状の塊茎からつるを数m伸ばす・夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散 【国内侵入】250:1975年以前 【県内侵入】-:2008年以前 【影響】偶発か? 320(有毒) 【緊急】- 【対策】抜き取り 【備考】標本CBM(BS279318,BS292159) 【文献全般】285 【文献県内】-

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
439	ホシアサガオ <i>Ipomoea triloba</i> L.	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 柏市,市川市, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:戦後 【県内侵入】250:1952年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
440	モミジバルコウソウ <i>Ipomoea x multifida</i> (Ref.) Shinnery (syn. <i>Ipomoea coccinea</i> L. x <i>quamoclit</i> L., <i>Quamoclit multifida</i> Ref.)	D	C

【原産】ルコウソウとマルバルコウソウの雑種 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 富里市, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸(栽培) 【県内侵入】161:1991年以前(逸出) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,109,285,286,302,312,40,202,71 【文献県内】39

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
441	オキナアサガオ <i>Jacquemontia tamnifolia</i> Griseb.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 柏市, 極少 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1950年頃 【県内侵入】250:1980年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,239,109,285,286,302,317,311,312,326,40,202,71,349,344 【文献県内】39

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度
442	ツタノハヒルガオ <i>Merremia hederacea</i> (Burm.f.) Hallier f.	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市に一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・つる1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1945年 【県内侵入】250:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241,238,109,302,317,319,311,312,326,40,332,202,71,349,344 【文献県内】39

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
443	アラゲムラサキ <i>Amsinckia barbata</i> Greene	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 芝山町, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1948年以前 【県内侵入】220:1996年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,109,286,311,312,202,182,349,344 【文献県内】39

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
444	トゲムラサキ <i>Asperugo procumbens</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1951年以前 【県内侵入】220:2002年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,241,238,285,286,302,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
445	シャゼンムラサキ <i>Echium Plantagineum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1963年以前 【県内侵入】250:2006年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241,285,286,302,319,311,312,40,202 【文献県内】-

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
446	シベナガムラサキ <i>Echium vulgare</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏 【国内侵入】250:1958年以前 【県内侵入】250:1958年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,241,238,286,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
447	アレチムラサキ <i>Heliotropium crassavicum</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 袖ヶ浦市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】220:1971年 【県内侵入】220:1971年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】239,109,286,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】267,269,39,34

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
448	ノムラサキ <i>Lappula squarrosa</i> (Retz.) Dumort.	D	C

【原産】アジア～地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散,着散:夏 【国内侵入】220:1929年 【県内侵入】220:1975年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
449	イヌムラサキ <i>Lithospermum arvense</i> L.	D	C

【原産】寒帯～温帯(広域) 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 八千代市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1950年以前 【県内侵入】220:1932年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】自生のもものと帰化のものがある 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,272,285,286,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
450	ノハラムラサキ <i>Myosotis arvensis</i> (L.) Hill.	D	C

【原産】欧州,ユーラシア 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 鴨川市,佐倉市,いすみ市,芝山町, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1927年以前 【県内侵入】220:1927年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
451	ハマワスレナグサ <i>Myosotis discolor</i> Pers.	D	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a いすみ市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1934年 【県内侵入】220:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】241,238,239,60,109,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】331,木村陽子・大場達之.1996.ハマワスレナグサの帰化.千葉県植物誌資料9:64.

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
452	ワスレナグサ <i>Myosotis scorpioides</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 富里市,市原市,館山市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治(栽培) 【県内侵入】161:1992年以前(逸出) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,109,285,286,302,317,312,40,331,190,202,165 【文献県内】263,39

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
453	キバナムラサキ <i>Nonnea lutea</i> (Desr.) DC.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市(東邦大学), 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:昭和 【県内侵入】161:1985年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,302,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度
454	ヒレハリソウ <i>Symphytum officinale</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】110:明治 【県内侵入】110:1952年以前(栽培) 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,239,60,285,286,302,317,319,311,312,40,332,202,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度
455	ポタンクサギ <i>Clerodendrum bungei</i> Steud.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総西部に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:昭和以前 【県内侵入】161:1998年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】332 【文献県内】39

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度
456	ヤナギハナガサ <i>Verbena bonariensis</i> L.	C	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県の低地に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1984年以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】サンジャクバーベナの名で栽培 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,319,311,312,326,40,331,202,71,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度
457	アレチハナガサ <i>Verbena brasiliensis</i> Vell.	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として東京湾岸に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】240:1957年頃 【県内侵入】240:1988年以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,317,319,311,312,326,40,202,71,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度
458	ダキバアレチハナガサ <i>Verbena incompta</i> Michael	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 主として北総に散在, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】240:1933年 【県内侵入】240:1986年以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】109,286,317,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度
459	ヒメクマツヅラ <i>Verbena litoralis</i> Kunth	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1955年以前 【県内侵入】250:2002年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり incoming 品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241,286,312,326,40,202,71 【文献県内】寺村敬子.2003.本埜村で「ヒメクマツヅラ」を確認.千葉県植物誌資料19:145.

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度
460	シュクコンバーベナ <i>Verbena rigida</i> Spreng.	D	C

【原産】ブラジル,アルゼンチン 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 香取市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治(栽培) 【県内侵入】161:1972年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,239,302,317,312,40,331,332,202,71 【文献県内】39,小松崎一雄.1972.シュクコンバーベナが千葉県佐原で見つかった.植物採集ニュース(64):52.

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度
461	ヒメビジョザクラ <i>Verbena tenera</i> Spreng.	D	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:夏〜秋 【国内侵入】161:戦後(栽培) 【県内侵入】161:1978年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,109,302,317,319,312,40,331,202,71 【文献県内】39

種子植物	アワゴケ科	影響度	緊急度
462	イケノミズハコベ <i>Callitricha stagnalis</i> Scop.	D	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】中部,関東 【県内分布】分布度a 佐倉市, 極少 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】163:1990年 【県内侵入】163:1990年 【影響】121 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
463	セイヨウジュウニヒトエ <i>Ajuga reptans</i> L.	C	C

【原産】欧州北部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 主として北総・南総に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1970年頃 【県内侵入】161:平成以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,109,285,286,317,312,40,202,71,349 【文献県内】214,39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
464	チシマオドリコソウ <i>Daleopsis bifida</i> Boenn.	D	C

【原産】ユーラシア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 富津市, 少ない 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1948年以前 【県内侵入】220:1971年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】241,238,239,109,285,286,302,317,312,40,331,190,202 【文献県内】142,269,39,34

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
465	キバナオドリコソウ <i>Lamium galeobdolon</i> (L.) L.	D	C

【原産】ヨーロッパ,西アジア 【国内分布】近畿,関東 【県内分布】分布度a 山武町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:2002年以前 【県内侵入】161:2002年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
466	ヒメオドリコソウ <i>Lamium purpureum</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】220:1898年 【県内侵入】220:1951年以前 【影響】121,310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
467	ヨウシュハッカ <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>arvensis</i>	D	C

【原産】北半球広域 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 北総西部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】110:1975年 【県内侵入】110:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,238,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】269,39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
468	ナガバハッカ <i>Mentha longifolia</i> (L.) Huds.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 佐倉市,富里市, 極少 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】110:1937年以前 【県内侵入】110:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,238,60,109,285,286,302,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
469	メグサハッカ <i>Mentha pulegium</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 主として北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】110:1936年以前 【県内侵入】110:1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
470	マルバハッカ <i>Mentha rotundifolia</i> (L.) Huds.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 県内各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】110:戦後以前 【県内侵入】110:2007年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,238,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
471	オランダハッカ <i>Mentha spicata</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 主として北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑
 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】110:1820年ごろ(栽培) 【県内侵入】110:1935年以前 【影響】-
 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】
 81,238,109,285,286,302,317,319,311,312,40,332,202,71,349 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
472	アメリカハッカ <i>Mentha x gracilis</i> Sole	D	C

【原産】欧州,北米 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 勝浦市,八千代市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花
 粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1968年以前 【県内侵入】161:1958年以前 【影響】- 【緊急】- 【対
 策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全
 般】81,238,60,109,286,302,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】267,39,34

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
473	コショウハッカ <i>Mentha x piperita</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 野田市,富里市, 極少 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花
 粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1933年以前 【県内侵入】161:1977年以前 【影響】- 【緊急】- 【対
 策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全
 般】81,94,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
474	ハリゲヤグルマハッカ <i>Monarda dispersa</i> Small	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 市原市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:
 秋 【国内侵入】161:1991年以前 【県内侵入】161:1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規
 制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40 【文献県内】城川四郎.2007.
 千葉県植物誌496pp.,シソ科のヤグルマハッカはハリゲヤグルマハッカ(新称)であった.千葉県植物誌資料23:206.

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
475	ヤグルマハッカ <i>Monarda fistulosa</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富里市, 極少 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:
 虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:昭和30年代以前(栽培) 【県内侵入】161:1995年 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外
 来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】
 319,312,40,332,71,349 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
476	イヌハッカ <i>Nepeta cataria</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】本州(一部自生) 【県内分布】分布度a 袖ヶ浦市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1912年以前 【県内侵入】161:1961年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,238,239,60,285,286,302,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
477	シソ <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Thunb.) W.Deane	C	C

【原産】ヒマラヤ,中国南部 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度c 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:弥生 【県内侵入】110:弥生～室町 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,109,302,316,317,312,40,165 【文献県内】214,39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
478	エゴマ <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>frutescens</i>	D	C

【原産】インド,中国南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】110:縄文 【県内侵入】110:弥生～室町 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,109,302,317,312,40,71,165 【文献県内】214,39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
479	カクトラノオ <i>Physostegia virginiana</i> (L.) Benth.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】161:大正年間 【県内侵入】161:昭和 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,109,286,302,317,312,40,331,202,71,165 【文献県内】263,39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
480	セイヨウウツボグサ <i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i>	D	C

【原産】ユーラシア(広域),北アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1998年以前 【県内侵入】161:2004年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,312,40,202 【文献県内】255,北公園調査グループ(植田美千代・辻さつき・松丸清).2004.佐倉市ユウカリが丘北公園でセイヨウウツボグサ発見.千葉県植物誌資料20:159., 寺村敬子.2004.セイヨウウツボグサの観察.千葉県植物誌資料20:159.

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
481	アワモリハッカ <i>Pycnanthemum flexuosum</i> (Walt.) B.S.P.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1959年頃 【県内侵入】250:1997年以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】286,302,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
482	イヌヒメコズチ <i>Salvia reflexa</i> Hornem.	D	C

【原産】北・中米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1955年 【県内侵入】250:2003年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,241,239,285,286,302,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
483	ミナトタムラソウ <i>Salvia verveana</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 野田市,流山市, 極少. 利根運河土手 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1961年 【県内侵入】250:1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】標本CBM(BS-165014) 【文献全般】239,109,286,302,319,311,312,40,349,344 【文献県内】39

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
484	ヤブチョロギ <i>Stachys arvensis</i> L.	D	C

【原産】欧州,西アジア,北アフリカ 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 富津市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】250:戦後 【県内侵入】250:2000年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,238,60,285,286,302,319,311,312,326,40,202,71,349,344 【文献県内】331,川名興.2000.ヤブチョロギが千葉県に帰化.千葉県植物誌資料18:138.

種子植物	シソ科	影響度	緊急度
485	オトメイヌゴマ <i>Stachys palustris</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1987年以前 【県内侵入】250:2006年以前 【影響】121 【緊急】増殖力あり 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】行徳に生育しているものを、仮にギョウトクイヌゴマと呼ぶこともある 【文献全般】81,286,40,202 【文献県内】大場達之.2006.市川市行徳,鳥獣保護区のギョウトクイヌゴマ(仮称).千葉県植物誌資料21:186-188.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
486	キチョウジ <i>Cestrum aurantiacum</i> Lindl.	D	C

【原産】南アメリカ 【国内分布】関東 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:2009年以前 【県内侵入】161:2009年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
487	ツノミチョウセンアサガオ <i>Datura ferox</i> L.	B	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 富津市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1977年 【県内侵入】250:2001年 【影響】210有毒 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,285,286,319,311,312,40,202,349 【文献県内】331,川名興・天野誠・大場達之.2000.ツノミチョウセンアサガオとオオセンナリの帰化.千葉県植物誌資料18:129.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
488	シロバナチョウセンアサガオ <i>Datura stramonium</i> L.	B	C

【原産】熱帯米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:明治初期 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】210有毒 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
489	ヨウシュチョウセンアサガオ <i>Datura stramonium</i> L. form. <i>tatura</i> (L.) Dabert.	B	C

【原産】熱帯米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総と南総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1930年代以前 【影響】210有毒 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,238,239,109,285,286,302,312,40,78 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
490	ケチョウセンアサガオ <i>Datura wrightii</i> Regel	B	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 主として北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸末期 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】210有毒 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
491	オオセンナリ <i>Nicandra physalodes</i> (L.) Gaertn.	C	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161,250:江戸 【県内侵入】161,250:1930年代以前 【影響】210有毒だが臭いよけに植栽 【緊急】- 【対策】販売時の規制など,管理区域外へ遺棄防止,栽培ガイドラインづくり,可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法検討 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】263,39,34,319,321,143,124

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
492	ホオズキ <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Mast.) Makino	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度c 主として北総に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:平安 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,222,109,286,302,317,312,40,39,71,165 【文献県内】214,263,39,241,321,143,131

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
493	ヒロハフウリンホオズキ <i>Physalis angulata</i> L. var. <i>angulata</i>	B	B

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1928年以前 【県内侵入】250:1983年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,286,312,40,202 【文献県内】331,131,311

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
494	ホソバフウリンホオズキ <i>Physalis angulata</i> L. var. <i>lanceifolia</i> (Nees) Waterfall (syn. <i>P. lanceifolia</i> Nees)	B	B

【原産】北米西南部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 南房総市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1999年以前 【県内侵入】250:2000年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,317,312,40,202 【文献県内】331,木村陽子・川名興.2000.ホソバフウリンホオズキが千葉県に帰化.千葉県植物誌資料18:139.,311

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
495	アイフウリンホオズキ <i>Physalis angulata</i> L. var. <i>pendula</i> (Rydb.) Waterfall (syn. <i>P. pendula</i> Rydb.)	B	B

【原産】北米東南部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1991年以前 【県内侵入】250:1991年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,317,312,40,202 【文献県内】331,131

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
496	ピロードホオズキ <i>Physalis heterophylla</i> Nees	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 富里市,成田市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1933年 【県内侵入】250:1935年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,109,285,319,311,312,40,202,349 【文献県内】331,131

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
497	ウスゲホオズキ <i>Physalis longifolia</i> Nutt. var. <i>subglabrata</i> (Mackenz. et Bush) Cronq.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1968年以前 【県内侵入】250:1968年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,286,312,40,202 【文献県内】331,131

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
498	ブドウホオズキ <i>Physalis peruviana</i> L.	D	C

【原産】南米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 柏市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:明治初期 【県内侵入】110:1956年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】239,60,109,272,285,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】331,131

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
499	シヨクヨウホオズキ <i>Physalis pubescens</i> L. var. <i>grisea</i> Waterfall (syn. <i>P. pruinosa</i> non. L.)	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 芝山町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:昭和30年代以前 【県内侵入】110:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名ケセンナリ 【文献全般】60,109,285,286,302,316,319,40,349,344 【文献県内】263,39,34131

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
500	センナリホオズキ <i>Physalis pubescens</i> L. var. <i>pubescens</i>	C	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1856年以前 【県内侵入】250:1930年代以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり
在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,78,165,349,344 【文献県内】255,331,131

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
501	ハコベホオズキ <i>Salpichroa origanifolia</i> (Lam.) Baill. (syn. <i>S. rhomboidea</i> (Gill. et Hook.) Miers.)	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 北総と南総の西部に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:明治中期? 【県内侵入】250:1976年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,241,238,239,109,285,286,302,317,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,大野影徳.1976.ハコベホオズキ習志野市谷津町に繁殖する.植物採集ニュース(88)48-49.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
502	テリミノイヌホオズキ(垂れ実型) <i>Solanum americanum</i> Miller	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1951年以前 【県内侵入】250:1960年以前 【影響】121,310,200 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109 【文献県内】39

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
503	カンザシイヌホオズキ <i>Solanum americanum</i> Miller var.	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総と南総の西部に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1965年頃 【県内侵入】250:1983年以前 【影響】121,310,200 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,238,109,311,349 【文献県内】39

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
504	シロミノカンザシイヌホオズキ <i>Solanum americanum</i> Miller var.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 柏市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1996年以前 【県内侵入】250:1996年以前 【影響】121,310,200 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】カンザシイヌホオズキの品種 【文献全般】- 【文献県内】斉藤吉永.1996.シロミノカンザシイヌホオズキ柏に現る.千葉県植物誌資料6:35.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
505	キンギンナスビ <i>Solanum capsicoides</i> All. (syn. <i>S. ciliatum</i> Lam.)	D	C

【原産】熱帯南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 鴨川市(仁右衛門島), 多い 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:明治初期 【県内侵入】161:1957年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】82,238,239,285,286,302,319,311,326,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ナス科		影響度	緊急度
506	ワルナスビ	要注意外来生物(情報不足)	B	B
	<i>Solanum carolinense</i> L.			

【原産】北米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】250: 1907年以前 【県内侵入】250: 明治 【影響】121, 310, 200, 220 【緊急】- 【対策】異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 94, 222, 238, 239, 60, 109, 272, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	ナス科		影響度	緊急度
507	オオイヌホオズキ		C	C
	<i>Solanum nigrescens</i> Mart. et Gal.			

【原産】南米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】250: 1910年以前 【県内侵入】250: 1930年以前 【影響】121, 310, 200 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 109, 286, 317, 312, 40, 202 【文献県内】214, 39

種子植物	ナス科		影響度	緊急度
508	ヒメケイヌホオズキ		D	C
	<i>Solanum physalifolium</i> Rusby var. <i>nitidibaccatum</i> (Bitter) Edmonds			

【原産】南米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 柏市, 富津市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】250: 1950年代 【県内侵入】250: 1958年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109, 286, 317, 312, 40, 202 【文献県内】39

種子植物	ナス科		影響度	緊急度
509	タマサンゴ		C	C
	<i>Solanum pseudocapsicum</i> L.			

【原産】ブラジル 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 船橋市市川市暖地で増える, 極少 【形態・生態】連緑・小低木 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 明治中期 【県内侵入】161: 1929年以前(栽培) 【影響】280, 200 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 239, 60, 109, 285, 286, 317, 311, 312, 40, 331, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	ナス科		影響度	緊急度
510	アメリカイヌホオズキ		C	C
	<i>Solanum ptycanthum</i> Dunal ex DC.			

【原産】北米～熱帯米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】250: 昭和30年代以前 【県内侵入】250: 1977年以前 【影響】121, 310, 200 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 239, 60, 109, 285, 319, 311, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
511	トマトダマシ <i>Solanum rostratum</i> Dunal	D	B

【原産】北アメリカ 【国内分布】中部,関東 【県内分布】分布度a 君津市, 極少 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:鳥散:秋 【国内侵入】210:1955年 【県内侵入】210:1955年 【影響】310 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
512	ケイヌホオズキ <i>Solanum sarrachoides</i> Sendtn.	D	C

【原産】南米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 柏市,富津市,館山市, 極少 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1950年 【県内侵入】250:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,239,60,109,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】263,269,39,34

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
513	ハリナスビ <i>Solanum sisymbriifolium</i> Lam.	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 主として南総西部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:江戸末期 【県内侵入】161:1973年以前 【影響】トゲ有り,121,310,220 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34,368

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
514	トゲハリナスビ <i>Solanum undatum</i> Lam. (syn. <i>S. coagulans</i> auct. non. Forsc.)	C	C

【原産】中国南部,東南アジア,インド 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 船橋市に一時帰化, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】250:1999年以前 【県内侵入】250:1999年以前 【影響】トゲ有り,121,310,220 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	ナス科	影響度	緊急度
515	アカミノイヌホオズキ <i>Solanum villosum</i> Mill. subsp. <i>miniaturum</i> (Bernh. ex Willd.) Edmonds (syn. <i>S. luteum</i> Mill. subsp. <i>alatum</i> (Moench) Dostal)	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 山武市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】240:1931年以前 【県内侵入】240:1931年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	フジウツギ科	影響度	緊急度
516	フサフジウツギ <i>Buddleja davidii</i> Franch.	C	C

【原産】中国西部 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 1952年以前 【県内侵入】161: 1950年代以前(栽培) 【影響】121, 280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 336, 239, 60, 273, 300, 317, 311, 312, 331, 332, 202, 165, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
517	ヒサウチソウ <i>Bellardia trixago</i> (L.) All.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 夏 【国内侵入】250: 1993年以前 【県内侵入】250: 1998年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241, 286, 312, 40, 202 【文献県内】大野啓一. 2007. 千葉市にヒサウチソウが帰化. 千葉県植物誌資料23: 198-199.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
518	ヒナウンラン <i>Chaenorrhinum minus</i> (L.) Lange	D	C

【原産】欧州 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 夏 【国内侵入】220: 1993年 【県内侵入】220: 1993年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】286, 319, 311, 312, 40, 202, 349 【文献県内】39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
519	ツタバウンラン <i>Cymbalaria muralis</i> Gaertn. Mey. et Scherb.	C	C

【原産】地中海沿岸～欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝で栄養繁殖, 種子: 風散: 夏～秋 【国内侵入】161: 大正初年 【県内侵入】161: 1986年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 232, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 311, 312, 40, 202, 71, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
520	イワカラクサ <i>Erinus alpinus</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州, 北海道(栽培) 【県内分布】分布度a 芝山町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝で栄養繁殖, 種子: 風散: 夏 【国内侵入】161: 1995年以前 【県内侵入】161: 1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
521	ヒメツルウンラン <i>Kickxia elatine</i> (L.) Dumort.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 成田市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】220:1992年 【県内侵入】220:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】286,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
522	マツバウンラン <i>Linaria canadensis</i> (L.) Dum.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1941年 【県内侵入】250:1988年以前 【影響】310,280 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,202,165,344 【文献県内】214,39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
523	ムラサキウンラン <i>Linaria incarnata</i> (Vent.) Sprengel	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 全県に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1870年頃 【県内侵入】161:1988年以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,302,317,319,312,40,331,332,202 【文献県内】214,39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
524	ホソバウンラン <i>Linaria vulgaris</i> Miller	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 茂原市,佐倉市,千葉市,富津市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161,220:大正 【県内侵入】161,220:1990年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,60,109,285,286,319,311,312,40,202 【文献県内】214,39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
525	ヒメアメリカゼナ <i>Lindernia anagallidea</i> (Michx.) Pennell	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 柏市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1933年 【県内侵入】250:1997年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,60,109,285,286,317,319,311,312,40,202,349 【文献県内】39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
526	タケトアゼナ <i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell var. <i>dubia</i>	B	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1936年? 【県内侵入】250:1986年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,109,285,286,317,319,311,312,40,202,349 【文献県内】39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
527	アメリカアゼナ <i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell var. <i>major</i> Pennell	B	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:1934年以前 【県内侵入】250:1934年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法検討,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】214,39,34,148,15

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
528	セイヨウヒキヨモギ <i>Parentucella viscosa</i> Caruel	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総・南総の都市部に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】220:1973年 【県内侵入】220:1992年以前 【影響】121 【緊急】有れば群生し, 増える 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】241,239,60,109,285,286,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
529	キリ <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb. ex Murray) Steud.	D	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 極少 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】110:奈良 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,273,300,317,332,165 【文献県内】214,39

種子植物	ゴマノハグサ科	国RDB:VU	影響度	緊急度
530	トウテイラン <i>Pseudolysimachion ornatum</i> (Monjusz.) Holb.		D	C

【原産】本州(自生) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 鋸南町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:1962年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】272,302,332 【文献県内】39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
531	シロバナモウズイカ <i>Verbascum blattaria</i> L. f. <i>erubescens</i> Brugger	D	C

【原産】ヨーロッパ, アジア, 北アフリカ 【国内分布】近畿, 中部, 関東, 東北, 北海道 【県内分布】分布度a 野田市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】210: 明治年間 【県内侵入】210: 明治年間 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
532	モウズイカ <i>Verbascum blattaria</i> L.	D	C

【原産】欧州～北アフリカ 【国内分布】北海道, 本州 【県内分布】分布度a 富津市, 船橋市, 袖ヶ浦市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 夏 【国内侵入】220: 1879年(栽培) 【県内侵入】220: 1985年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】81, 232, 222, 238, 239, 60, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 78, 349, 344 【文献県内】39, 34

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
533	ビロードモウズイカ <i>Verbascum thapsus</i> L.	C	B

【原産】欧州, ユーラシア 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 北総・南総の西部に分布, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161, 220: 明治初年(導入) 【県内侵入】161, 220: 1988年以前 【影響】310, 280 【緊急】- 【対策】管理区域外への遺棄防止 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
534	ホザキモウズイカ <i>Verbascum virgatum</i> Stokes	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】220: 1956年以前 【県内侵入】220: 1986年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】241, 238, 239, 109, 285, 286, 302, 317, 40, 202 【文献県内】39, 34

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
535	オオカワヂシャ <i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.	特定外来生物 A	A

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 北総・南総西部に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 水散: 夏 【国内侵入】163: 1867年 【県内侵入】163: 1989年以前 【影響】350, 100, 121 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】94, 60, 109, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 202, 165, 349 【文献県内】214, 39

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
536	タチイヌノフグリ <i>Veronica arvensis</i> L.	C	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1870年頃 【県内侵入】210:1928年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
537	コゴメイヌノフグリ <i>Veronica cymbalaria</i> Bodard	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 柏市の利根運河土手, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1961年(栽培) 【県内侵入】161:2007年以前 【影響】121 【緊急】種子の発芽率たかく増殖しやすい 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】柏市の利根運河土手に出現,また千葉市都市緑化植物園へ移入されており、そこから逸出の可能性あり 【文献全般】81,286,319,311,312,40,202 【文献県内】木村陽子.2008.柏市利根運河のコゴメイヌノフグリ.千葉県植物誌資料24:220-221.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
538	フラサバソウ <i>Veronica hederifolia</i> L.	C	B

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:明治 【県内侵入】210:1966年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34,小松崎一雄.1962.10年前に千葉県松戸市で採集されたフラサバソウ.植物採集ニュース(4):14.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
539	オオイヌノフグリ <i>Veronica persica</i> Poiret	C	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1870年頃 【県内侵入】210:1927年以前 【影響】310,121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度
540	コテングクワガタ <i>Veronica serpyllifolia</i> L. subsp. <i>serpyllifolia</i>	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 野田市,芝地由来で増えている,北方系, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】220:1947年 【県内侵入】220:2004年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,241,109,285,286,302,317,319,312,40,202,349 【文献県内】引田園子.2006.コテングクワガタ…現状と経過…千葉県植物誌資料21:184.

種子植物	ゴマノハグサ科	国内外来生物	影響度	緊急度
541	ホナガカワヂシャ <i>Veronica x myriantha</i> Tos. Tanaka		B	B

【原産】日本(雑種)オオカワヂシャ×カワヂシャ(在来) 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 野田市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】163:1999年以前 【県内侵入】163:1999年以前 【影響】在来種との雑種で、遺伝子かく乱,141,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】カワヂシャ(在来品)とオオカワヂシャ(帰化品)との雑種 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子.2004.ホナガカワヂシャ千葉県に出現.千葉県植物誌資料20:160.

種子植物	ノウゼンカズラ科	影響度	緊急度
542	ノウゼンカズラ <i>Campsis grandiflora</i> (Thunb. ex Murray) Loisel.	D	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総・南総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・藤本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:平安 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,312,40,332,165 【文献県内】39

種子植物	ノウゼンカズラ科	影響度	緊急度
543	アメリカキササゲ <i>Catalpa bignonioides</i> Walt.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】落葉高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散+風散:秋 【国内侵入】161:明治末期 【県内侵入】161:1928年以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,109,300,332,202,165,349 【文献県内】39

種子植物	ノウゼンカズラ科	影響度	緊急度
544	キササゲ <i>Catalpa ovata</i> G.Don	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総・南総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:自散+風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1929年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,60,109,273,300,311,312,332,202,78,165,349 【文献県内】39

種子植物	ハマウツボ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
545	ヤセウツボ <i>Orobanche minor</i> Sm.		B	B

【原産】欧州～北アフリカ 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】無葉緑・草本 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1937年以前 【県内侵入】250:1937年以前 【影響】310,280 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	タヌキモ科	影響度	緊急度
546	オオバナイトタヌキモ <i>Utricularia gibba</i> L.	C	B

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,枝がちぎれて栄養繁殖,種子:水散:秋 【国内侵入】161,210:1952年以前 【県内侵入】210ホームセンターなどで売っているホテイアオイなどに株子がついてくる. :1970年以前 【影響】310,200,冬でも越冬して、強い植物.野外に逸出すると他の植物にからみつき除去が困難 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40,202 【文献県内】39

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度
547	ヘラオオバコ <i>Plantago lanceolata</i> L.	C	C

【原産】欧州,ユーラシア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重+着散:夏 【国内侵入】250:江戸末期 【県内侵入】250:1927年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度
548	セイヨウオオバコ <i>Plantago major</i> L. var. <i>major</i>	D	C

【原産】欧州,西アジア,北アフリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重+着散:夏〜秋 【国内侵入】250:1957年以前 【県内侵入】250:1991年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度
549	ハイオオバコ <i>Plantago squarrosa</i> Murray	D	C

【原産】欧州南部 【国内分布】神奈川県,千葉県 【県内分布】分布度a 習志野市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重+着散:夏 【国内侵入】250:1961年以前 【県内侵入】250:1961年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,286,317,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度
550	ツボミオオバコ <i>Plantago virginica</i> L.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重+着散:夏 【国内侵入】250:1913年 【県内侵入】250:1952年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,326,40,202,71,78,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	スイカズラ科	影響度	緊急度
551	ハナツクバネウツギ <i>Abelia x grandiflora</i> Rehd.	D	C

【原産】欧州(交配種) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総と南総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1929年以前 【県内侵入】161:1929年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,332 【文献県内】39

種子植物	スイカズラ科	影響度	緊急度
552	キンギンボク <i>Lonicera morrowii</i> A.Gray	D	C

【原産】北海道,本州,四国(自生) 【国内分布】北海道,本州,四国(自生) 【県内分布】分布度a 市原市, 極少 【形態・生態】落葉低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:1990年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,273,300,190,165 【文献県内】39

種子植物	スイカズラ科	国内外来生物	影響度	緊急度
553	サンゴジュ <i>Viburnum odoratissimum</i> Ker.Gaul. var. <i>awabuki</i> (K.Koch) Zabel		D	C

【原産】本州南部,四国,九州,東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州(自生,栽培) 【県内分布】分布度b 全県に分布, 極少 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,300,332 【文献県内】39

種子植物	オミナエシ科	影響度	緊急度
554	ノヂシャ <i>Valerianella locusta</i> (L.) Latter	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 多い 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:明治初年 【県内侵入】210:1971年以前 【影響】310,121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,239,109,285,286,302,317,312,40,190,202,71,78,165 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	マツムシソウ科	影響度	緊急度
555	オニナベナ <i>Dipsacus fullonum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 印西市(旧印旛村), 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:秋 【国内侵入】210:江戸 【県内侵入】210:2003年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】300,332 【文献県内】39

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度
556	ハタザオギキョウ <i>Campanula rapunculoides</i> L.	D	C

【原産】コーカサス,小アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富里市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:1890年頃 【県内侵入】161:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】302,312,40,331,202,349 【文献県内】39

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度
557	ロベリアソウ <i>Lobelia inflata</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 成田市,富里市,千葉市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:明治(栽培) 【県内侵入】210:1965年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,238,239,286,302,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度
558	ヒナキキョウソウ <i>Triodanis biflora</i> (Ruiz et Pav.) Greene	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 千葉市,芝山町, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:1931年 【県内侵入】210:1990年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,238,60,109,285,286,302,317,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度
559	キキョウソウ <i>Triodanis perfoliata</i> (L.) Nieuwl.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総と南総に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:1911年以前 【県内侵入】210:1975年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,311,312,326,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
560	キバナノコギリソウ <i>Achillea filipendulina</i> Lam.	D	C

【原産】西アジア 【国内分布】北海道,本州(東北)でときに逸出 【県内分布】分布度a 市原市菊間, 極少～少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,230,239,285,286,319,311,312,39,331,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
561	セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 北総～東葛に多い, 極少～少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】110,161:1887年 【県内侵入】110,161:1951年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,230,238,239,60,109,285,286,278,302,317,319,311,326,39,34,331,190,71,74,78,165,349,344 【文献県内】263,268,270,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
562	アカバナセイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. var. <i>pumiceus</i> Sugawara	D	C

【原産】欧州 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 市原市,館山市, 極少. 逸出帰化 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】110,161:昭和以前(栽培) 【県内侵入】110,161:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40 【文献県内】-

種子植物	キク科	影響度	緊急度
563	ノコギリソウモドキ <i>Achillea stricta</i> (W.D.J.Koch) Schleich. ex Gremli	D	C

【原産】欧州 【国内分布】千葉県,神奈川県 【県内分布】分布度a 富里市, 極少. 栽培の逸出 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】161:1988年以前 【県内侵入】161:1993年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】317,312,40,39,202 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
564	ヌマツルギク <i>Acmella oppositifolia</i> (Lam.) R.K.Jensen (syn. <i>Spilanthes oppositifolia</i> (Lam.) D.Arcy ; <i>Spilanthes americana</i> (L.) Hieron.)	B	B

【原産】北米 【国内分布】本州(関東以西),九州 【県内分布】分布度a 富里市葉山, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,不定芽,種子:重散:夏～秋(不定芽は春～秋) 【国内侵入】163:1961年頃 【県内侵入】163:1997年以前 【影響】121 繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】239,60,109,285,286,311,312,40,39,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
565	マルバフジバカマ <i>Ageratina altissima</i> (L.) R.M.King et H.Rob.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,関東(関東周辺) 【県内分布】分布度a 佐倉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,不定芽,種子:風散:秋 【国内侵入】161:1916年 【県内侵入】161:2006年以前 【影響】地下茎でさかんに繁殖する 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,238,239,109,285,286,275,317,319,311,312,40,190,202,74,78,349,344 【文献県内】寺村敬子.2007.マルバフジバカマの確認.千葉県植物誌資料22:195.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
566	カッコウアザミ <i>Ageratum conyzoides</i> L.	D	C

【原産】熱帯米,メキシコ 【国内分布】本州(関東周辺),四国,九州 【県内分布】分布度a 富里市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散,重散:夏～秋 【国内侵入】161:1870年頃 【県内侵入】161:1930年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】214,230,238,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	キク科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
567	ブタクサ <i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.		B	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 中程度～多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1880年 【県内侵入】250:1930年代以前 【影響】121繁殖力が強い,240花粉症の原因 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,214,222,238,239,60,102,109,285,275,278,302,317,319,311,312,40,39,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
568	ブタクサモドキ <i>Ambrosia psilostachya</i> DC.	D	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】関東 【県内分布】分布度a 船橋市,館山市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1966年 【県内侵入】161:1966年 【影響】121 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	キク科	要注意外来生物(適否検討), 生態学会100	影響度	緊急度
569	オオブタクサ <i>Ambrosia trifida</i> L.		A	A

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 全県に分布,河原・造成地に極めて多い, 極多 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1953年以前 【県内侵入】250:1957年以前 【影響】121繁殖力が強い,240花粉症の原因になる,120 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,241,214,222,238,239,60,109,285,275,278,317,319,311,40,39,34,202,71,79,165,357,349,252,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
570	アレチカミツレ <i>Anthemis arvensis</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸,コーカサス,イラン 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 県北部に稀, 極少～少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】250:明治初年 【県内侵入】250:1977年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,109,285,286,278,302,317,312,40,39,190,202,357 【文献県内】267

種子植物	キク科		影響度	緊急度
571	カミツレモドキ	要注意外来生物(情報不足)	D	C
<i>Anthemis cotula</i> L.				

【原産】欧州,北アフリカ,西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 極少～少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】210:1931年 【県内侵入】210:1977年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,275,278,302,319,311,326,39,34,190,202,71,78,357,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	キク科		影響度	緊急度
572	ゴボウ		D	C
<i>Arctium lappa</i> L.				

【原産】ユーラシア 【国内分布】秋田県,神奈川県,千葉県 【県内分布】分布度a 全県に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・2年～多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】110:弥生～奈良 【県内侵入】110:弥生～室町 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】286,312,40 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
573	ワタゲツルハナグルマ		C	C
<i>Arctotheca prostrata</i> (Salisb.) Britten				

【原産】南アフリカ 【国内分布】東京都,神奈川県,佐渡島 【県内分布】分布度a 千葉市幕張, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝による栄養繁殖,種子:重散:春～秋 【国内侵入】161,130:1995年(逸出) 【県内侵入】161,130:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける方針策定 【備考】- 【文献全般】109,317,312,40,39 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
574	イワヨモギ	国RDB:VU	B	B
<i>Artemisia gmelinii</i> Weber ex Stechm.				

【原産】北海道～青森(国内帰化) 【国内分布】本州,四国,九州(国内帰化) 【県内分布】分布度b 県南部を中心に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草・亜高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:秋 【国内侵入】131,220:日本原産 【県内侵入】131,220:1995年以前 【影響】121法面緑化に使われ、自然度の高いところにも侵入,240花粉症の原因 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】240,302,317,39,190 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
575	ハイイロヨモギ	要注意外来生物(緑化植物)	B	B
<i>Artemisia sieversiana</i> Willd.				

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】長野県,京都府,埼玉県,千葉県,さらに分布の可能性 【県内分布】分布度a 柏市東上町, 極少 【形態・生態】夏緑・1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:秋 【国内侵入】131,300:1952年 【県内侵入】131:1997年以前 【影響】121法面緑化に使われ、自然度の高いところにも侵入,240花粉症の原因 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】まだ千葉県には少なくとも予防的に 【文献全般】239,109,285,302,319,311,40,190,349,252,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
576	キダチコンギク <i>Aster pilosus</i> Willd.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州(関東以西), 四国, 九州 【県内分布】分布度a 県北部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 夏～秋 【国内侵入】161: 1950～53年頃 【県内侵入】161: 1991年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 241, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 278, 276, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	キク科	国内外来生物	影響度	緊急度
577	ミヤマヨメナ <i>Aster savatieri</i> Makino		D	C

【原産】日本 【国内分布】本州, 四国, 九州の山地に自生 【県内分布】分布度a 全県に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】もともと自生: もともと日本原産 【県内侵入】161: 1991年以前(逸出) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】ミヤコワスレの名で栽培されるものが時に逸出 【文献全般】39 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
578	オオホウキギク <i>Aster subulatus</i> Michx. var. <i>ligulatus</i> Shinnars (syn. <i>Aster exilis</i> Elliot)	B	C

【原産】北米? 【国内分布】本州(関東以西), 四国, 九州でとびとびに分布 【県内分布】分布度b 東京湾岸の工業地帯に多い, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 夏～秋 【国内侵入】250: 1956年 【県内侵入】250: 1968年以前
 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94, 241, 214, 238, 60, 109, 286, 279, 278, 302, 317, 319, 311, 312, 39, 34, 202, 349, 344 【文献県内】214, 269, 39, 34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
579	ホウキギク <i>Aster subulatus</i> Michx. var. <i>obtusifolius</i> Fernald	B	C

【原産】北米 【国内分布】本州(小笠原), 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年～多年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散, 水散: 秋 【国内侵入】250: 1910年頃 【県内侵入】250: 1930年代以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81, 94, 241, 214, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 275, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 34, 190, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 269, 39, 34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
580	ヒロハホウキギク <i>Aster subulatus</i> Michx. var. <i>subulatus</i>	B	C

【原産】北米 【国内分布】本州(関東以西), 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 極多～多い 【形態・生態】夏緑・1～多年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散, 水散: 秋 【国内侵入】250: 1967年以前 【県内侵入】250: 1983年以前 【影響】121繁殖力が高い 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94, 241, 214, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 190, 202, 349, 344 【文献県内】214, 269, 39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
581	キンバイタウコギ <i>Bidens aurea</i> (Aiton) Sherff	D	C

【原産】中央米 【国内分布】本州(関東以西), 四国, 九州 【県内分布】分布度a 全県にあるが少ない, 極少～少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋～冬 【国内侵入】161: 1957年 【県内侵入】161: 1984年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232, 241, 238, 239, 109, 285, 286, 278, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 34, 202, 349, 344 【文献県内】39, 34, 斉藤吉永. 1972. 千葉県下に産するキンバイタウコギ. 植物採集ニュース(35): 1-2.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
582	コバノセンダングサ <i>Bidens bipinnata</i> L.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋～冬 【国内侵入】240: 1925年以前 【県内侵入】240: 1951年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】94, 241, 214, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 202, 71, 165, 349, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
583	センダングサ <i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merr. et Sherff ex Sherff	C	C

【原産】暖帯～熱帯に広く分布 【国内分布】関東以西, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋～冬 【国内侵入】240: 史前帰化説も 【県内侵入】240: 1929年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】238, 239, 109, 285, 278, 302, 317, 312, 39, 78 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
584	アメリカセンダングサ <i>Bidens frondosa</i> L.	B	B

要注意外来生物(情報不足)

【原産】北米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散+水散: 秋～冬 【国内侵入】240: 1920年 【県内侵入】240: 1930年代以前 【影響】121, 310 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 214, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 278, 302, 317, 319, 311, 40, 39, 34, 190, 202, 71, 74, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 269, 39, 34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
585	コセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>	B	B

要注意外来生物(情報不足)

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州に帰化 【県内分布】分布度c 全県に普通, 極多～多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋～冬 【国内侵入】240: 1908年以前 【県内侵入】240: 1975年以前 【影響】121, 310, 水田地帯や河原でも非常に多く, 他の在来種と競合の恐れ 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】94, 241, 214, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 278, 302, 319, 311, 312, 40, 39, 34, 190, 202, 71, 78, 165, 357, 349, 344 【文献県内】214, 263, 269, 39, 34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
586	シロバナセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i> form.	B	B

【原産】熱帯米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県にあり,コセンダングサと混生,最近増加傾向?,中程度〜多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:秋〜冬 【国内侵入】240:江戸末期 【県内侵入】240:1960年代以前 【影響】121繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】241,214,239,109,285,286,278,302,317,312,40,39,34,190,202,78,165 【文献県内】214,263,269,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
587	タホウタウコギ <i>Bidens polylepis</i> Blake	D	C

【原産】北米 【国内分布】新潟県,静岡県,千葉県など 【県内分布】分布度a 柏市, 少ない 【形態・生態】夏緑・1〜越年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散?:秋〜冬 【国内侵入】161:1970年代以前 【県内侵入】161:1989年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】239,286,276,319,311,312,40,39,202,349 【文献県内】斉藤吉永.1970.タホウタウコギの新知見.千葉植物誌38(2):59-60.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
588	セイヨウトゲアザミ <i>Breia arvensis</i> (L.) Less.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 東葛南部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,不定芽,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:夏〜秋 【国内侵入】250:1965年頃 【県内侵入】250,131(?):1984年以前 【影響】220刺がある,310 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定,可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,109,285,286,278,317,319,311,312,40,39,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
589	エゾノキツネアザミ <i>Breia setosa</i> (M.Bieb.) Kitamura	C	C

【原産】中国〜シベリア,ロシア 【国内分布】北海道,本州(青森県)自生? 【県内分布】分布度a 千葉市ほか, 極少〜少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏〜秋 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250:1965年以前 【影響】220刺がある,310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】278,302,317,312,39,190,165 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
590	ヒメキンセンカ <i>Calendula arvensis</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 下総町ほか, 少ない. 園芸流通と繁殖の強さから増加傾向 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:春〜秋,暖かいところは冬も 【国内侵入】161:江戸末期 【県内侵入】161,131,132:2001年以前 【影響】280こぼれ種による繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】232,109,302,317,312,40,39,332,202,165 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
591	キンセンカ <i>Calendula officinalis</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】稀に逸出 【県内分布】分布度a 稀に逸出している程度, 極少～少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:冬～春 【国内侵入】161,131,132:江戸(栽培) 【県内侵入】161,131,132:昭和初期(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】39 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
592	ヒメヒレアザミ <i>Carduus pycnocephalus</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】兵庫県,三重県,千葉県 【県内分布】分布度a 東葛南部, 極少 【形態・生態】冬夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:春～夏 【国内侵入】250:1963年 【県内侵入】250:2003年以前 【影響】220トゲ有り,繁殖する 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241,239,286,275,276,302,319,311,39,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
593	ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> L. var. <i>spinosus</i> Kitamura	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 県南部, 極少 【形態・生態】夏緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】110,131:平安(栽培) 【県内侵入】110,131:1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】238,239,109,285,286,278,302,317,312,40,39,190,202,165 【文献県内】263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
594	ムラサキイガヤグルマギク <i>Centaurea caricitraps</i> L.	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】神奈川県,三重県,岡山県など 【県内分布】分布度a 市川市, 極少 【形態・生態】夏緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散,風散:夏～秋 【国内侵入】250:昭和初期 【県内侵入】250:1955年以前 【影響】220(トゲ),繁殖する 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241,238,239,109,285,286,302,319,311,312,40,39,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
595	ヤグルマギク <i>Centaurea cyanus</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸東部 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:春～夏 【国内侵入】161,130,(110):江戸末期 【県内侵入】161,130,(110):1931年(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける方針策定 【備考】- 【文献全般】

81,241,60,109,285,286,302,317,319,312,40,39,190,202,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
596	クロアザミ <i>Centaurea nigra</i> Willd.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 印旛,放牧地の害草 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】100:1933年以前 【県内侵入】100:1933年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,239,278,302,319,311,40,39,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
597	イガヤグルマギク <i>Centaurea solstitialis</i> L.	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋, 少ない 【形態・生態】夏緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:1915年 【県内侵入】250:1972年以前 【影響】240,220(トゲ) 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,109,286,275,302,317,319,311,312,326,40,39,34,202,78,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
598	ヒレハリギク <i>Centaureum melitensis</i> L.	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少(一時帰化?) 【形態・生態】夏冬緑1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1915年 【県内侵入】250:1968年以前 【影響】220トゲ有り 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241,238,239,109,286,319,311,312,40,39,34,202,78,349,344 【文献県内】39,34,吉川代之助.1970.千葉県生物誌18:51.

種子植物	キク科	国内外来生物	影響度	緊急度
599	キクタニギク <i>Chrysanthemum boreale</i> (Makino) Makino	国RDB:NT, 県RDB:C	B	B

【原産】東アジア(日本に自生あり) 【国内分布】関東 【県内分布】分布度a 野田市,印旛村,市原市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で繁殖,種子:風散:秋 【国内侵入】220:1990年代 【県内侵入】220:1990年代 【影響】141 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】在来系統を除草しないこと 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	キク科	影響度	緊急度
600	シュンギク <i>Chrysanthemum coronarium</i> L.	D	C

【原産】南ヨーロッパ～地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 全県に散在, 極少(畑・人家近く) 【形態・生態】冬夏緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:春～夏 【国内侵入】110:江戸中期(栽培) 【県内侵入】110:明治(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40,39 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
601	キク <i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.	B	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に散在, 極少(人里近くで時に逸出) 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋～冬 【国内侵入】161,132:奈良 【県内侵入】161,132:奈良～室町 【影響】141,142 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】複数種の交雑による園芸品 【文献全般】272,302,331,332,165 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
602	ハナインソギク <i>Chrysanthemum x marginatum</i> (Miq.) Matsum.	B	B

【原産】本州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 銚子・安房の海岸地帯に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散:秋～冬 【国内侵入】161,交雑種:江戸以前 【県内侵入】161,交雑種:江戸以前 【影響】141繁殖力強い,園芸で販売されている,インソギクなどの遺伝子汚染が心配 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名サトインソギク. インソギク×キク. ハナインソギクは舌状花が白,サトインソギクは黄色 【文献全般】302 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
603	キクニガナ <i>Cichorium intybus</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,九州 【県内分布】分布度a 全県にまばらに分布, 少ない(チコリの名で栽培,ときに逸出) 【形態・生態】連緑・2～多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:春～夏 【国内侵入】110,161:明治?(栽培) 【県内侵入】110,161:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,60,109,285,286,278,302,316,317,319,311,312,40,190,202,165,349,344 【文献県内】39,34,367

種子植物	キク科	国内外来生物	影響度	緊急度
604	フジアザミ <i>Cirsium purpuratum</i> (Maxim.) Matsum.		D	C

【原産】日本 【国内分布】宮城県～愛知県,岐阜県,福井県 【県内分布】分布度a 松戸,千葉県では逸出,一時帰化で現在はない? 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】240:1970年代以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,272,302,190,165 【文献県内】39

種子植物	キク科	国内外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
605	アメリカオニアザミ <i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.		B	A

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,(北日本に多い) 【県内分布】分布度b 県北部を中心に分布, 中程度～多い 【形態・生態】冬緑・2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】250:1960年以前 【県内侵入】250:1993年以前 【影響】220,121,とげあり,繁殖力強い(岩槻メモ:Aでもいいくらい) 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,94,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】214,39,34,斉藤吉永.1996.アメリカオニアザミ 佐倉市に侵入. 千葉生物誌45(2):27-28.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
606	アレチノギク <i>Conyza bonariensis</i> (L.) Cronquist	C	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,琉球,小笠原 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度(都市的環境) 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:通年 【国内侵入】240:1890年前後 【県内侵入】240:1958年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
607	ヒメムカシヨモギ <i>Conyza canadensis</i> (L.) Cronquist		B	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,琉球 【県内分布】分布度c 全県に普通, 極多. 空き地などに 【形態・生態】連緑・1~2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏~秋 【国内侵入】240:1870年頃 【県内侵入】240:1929年以前 【影響】121,240,繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,275,302,317,319,311,326,40,190,202,71,78,165,357,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
608	オオアレチノギク <i>Conyza sumatrensis</i> (Retz.) E.Walker		B	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,琉球 【県内分布】分布度c 全県に普通, 多い~極多. ヒメムカシヨモギと共に大群生する 【形態・生態】冬緑・1~2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏~秋 【国内侵入】240:1920年前後 【県内侵入】240:1935年以前 【影響】310,121,繁殖力が強く大群生する 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,222,238,239,60,285,278,276,302,319,311,190,78,165,357,349,344 【文献県内】214,263,269,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
609	キンケイギク <i>Coreopsis basalis</i> (A.Dietr.) S.F.Blake	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州(まれで、たまに一時帰化) 【県内分布】分布度a 全県にまばらに分布, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏~秋 【国内侵入】161,(131):明治 【県内侵入】161,(131):2003年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】232,238,239,60,109,286,278,302,317,311,312,40,190,202,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	特定外来生物, 生態学会100	影響度	緊急度
610	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> L.		A	A

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 全県に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏~秋 【国内侵入】161,131:明治 【県内侵入】161,131:1984年以前 【影響】280,121,かなり繁殖している 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,275,317,319,311,312,326,40,331,190,202,71,165,349,344 【文献県内】263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
611	ハルシャギク <i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.	C	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 中程度,利根川河川敷で時々群落あり
 【形態・生態】冬緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161,131:明治 【県内侵入】161,131:1927年以前(栽培)
 【影響】121,280,河川敷にあることも多く、河川敷固有種との競合が心配 【緊急】- 【対策】販売時の規制など,管理区域外へ遺棄防止,栽培ガイドラインづくり,可能なかぎり在来品種を使う 【備考】- 【文献全般】
 81,94,232,241,238,60,109,285,286,302,317,311,312,40,331,190,202,71,165,349,344 【文献県内】214,263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
612	コスモス <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav.	D	C

【原産】メキシコ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(時々逸出するが定着せず) 【県内分布】分布度b 北総～東葛南部の記録が多い, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:冬 【国内侵入】161,131,132:江戸 【県内侵入】161,131,132:(栽培)
 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の規制など,管理区域外へ遺棄防止,栽培ガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,60,109,285,286,279,278,302,317,319,311,312,331,190,202,71,165,349,344 【文献県内】263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
613	キバナコスモス <i>Cosmos sulphureus</i> Cav.	D	C

【原産】中央米～南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(時々逸出するが定着せず) 【県内分布】分布度b 北総で記録が多い, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:大正初期 【県内侵入】161:1943年(栽培)
 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,238,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,190,202,71,165,349,344 【文献県内】263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
614	マメカミツレ <i>Cotula australis</i> (Sieber ex Spreng.) Hook.f.	C	C

【原産】豪州 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 東葛南部,東京湾沿い, 多い～極多(市街地) 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:都市部では通年 【国内侵入】220:1939年 【県内侵入】220:1958年以前 【影響】310繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,239,60,109,285,286,275,278,302,317,311,312,40,202,78,357,349,252,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
615	ベニバナボロギク <i>Crassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S.Moore	B	C

【原産】アフリカ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 中程度～多い(伐採地や崩壊地等) 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】240:1950年 【県内侵入】240:1984年以前 【影響】121山林にも侵入し時に群生 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,275,278,302,317,319,311,312,40,190,202,71,165,357,349,344 【文献県内】214,39,34, 浅野貞夫.1972.ベニバナボロギクが千葉県の特産で育つ.植物採集ニュース(60):19.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
616	セイヨウニガナ <i>Crepis capillaris</i> (L.) Wallr.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州(千葉県,神奈川県,長野県) 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1977年 【県内侵入】250:1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,286,278,319,311,312,40,202,349 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
617	ヤネタビラコ <i>Crepis tectorum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度b 県北部に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1974年 【県内侵入】250:1974年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】81,232,239,60,109,285,286,317,319,311,312,40,190,202,349,344 【文献県内】斉藤吉永.1974.新帰化植物ヤネタビラコとヒメハルガヤ.植物採集ニュース(73):19-21.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
618	アメリカタカサブロウ <i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.	B	B

【原産】熱帯アメリカ(?) 【国内分布】関東以西に広く分布,北日本の状況は不明 【県内分布】分布度c 全県に普通, 中程度〜多い. 水田わきや畑などに 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散,水散:夏〜秋 【国内侵入】250:1989年以前 【県内侵入】250:1989年以前 【影響】310在来のタカサブロウとはわりと共存するが,他の希少な水田雑草と競合のおそれ 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】232,109,285,286,317,312,40,202 【文献県内】214,145,39,大場達之.1998.アメリカタカサブロウ.千葉県植物誌資料11:73-75.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
619	オオハキダメギク <i>Eleutheranthera ruderalis</i> (Sw.) Sch.-Bip.	D	C

【原産】熱帯アメリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋,市川, 極小. 一時帰化? 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1999年 【県内侵入】250:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
620	ナンカイウスベニニガナ <i>Emilia fosbergii</i> Nicolson	D	C

【原産】アフリカ 【国内分布】硫黄列島,千葉県 【県内分布】分布度a 習志野, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草(千葉では夏緑1年草) 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:昭和 【県内侵入】250:2000年頃 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】286,312,40 【文献県内】林信子.2006.ナンカイウスベニニガナ発見記.千葉県植物誌資料21:174.,大場達之・大野啓一・木村陽子.2006.ナンカイウスベニニガナ同定記.千葉県植物誌資料21:174-177.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
621	ダンドボロギク <i>Erechtites hieracifolius</i> (L.) Raf. ex DC.	B	C

【原産】北米,熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】分布度c 全県に普通, 多い. 山林や林縁などに 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】240:1933年 【県内侵入】240:1942年以前 【影響】121山林・林縁にも侵入,繁殖力強い 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,275,278,302,317,319,311,326,40,190,202,71,78,165,357,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
622	ヒメジョオン <i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	B	C

【原産】欧州,北米? 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県にごく普通, 道ばた・畑などに多い 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】240:江戸末期 【県内侵入】240:1929年以前 【影響】240,240,繁殖力が高い 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
623	ペラペラヨメナ <i>Erigeron karvinskianus</i> DC.	C	C

【原産】中央米 【国内分布】本州(関東以西)～琉球にとびとびに分布 【県内分布】分布度b 館山など, 少ない. 石垣のようなどころ 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:1949年 【県内侵入】161:1985年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】239,109,285,286,275,302,317,319,311,312,40,202,71,79,165,357,349,344,138 【文献県内】214,39,齊藤吉永.1986.ペラペラヨメナ房州館山に現れる.千葉生物誌36(1):45.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
624	ハルジオン <i>Erigeron philadelphicus</i> L.	B	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 多い 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,不定芽,無配生殖,種子:風散:春・秋～冬 【国内侵入】161:1920年頃 【県内侵入】161:1952年以前 【影響】121,240 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,275,278,302,317,319,311,312,40,190,202,78,165,357,349,344 【文献県内】214,263,269,39,浅野貞夫.1966.ハルジオン房州に渡来する.植物採集ニュース(27):26.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
625	ケナシヒメムカシヨモギ <i>Erigeron pusillus</i> Nutt.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】分布度b 北総～九十九里に散在, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】240:1926年以前 【県内侵入】240:1962年以前 【影響】121,240,繁殖力が高い 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,241,222,238,239,60,109,285,286,275,278,302,317,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
626	テンニンギク <i>Gaillardia pulchella</i> Foug.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州(近畿以西), 四国, 九州 【県内分布】分布度a 成東, 極少. 栽培? 現在はない? 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 夏～秋 【国内侵入】161: 明治中頃(栽培) 【県内侵入】161: 1927年以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 232, 109, 285, 286, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 165, 349 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
627	コゴメギク <i>Galinsoa parviflora</i> Cav.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国に点在 【県内分布】分布度a 東葛(関宿, 木間ヶ瀬地区でかなり繁殖), 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 夏～秋 【国内侵入】240: 昭和初期 【県内侵入】240: 1971年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】232, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 319, 311, 312, 40, 190, 202, 78, 349, 344 【文献県内】263, 39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
628	ハキダメギク <i>Galinsoa quadriradiata</i> Ruiz et Pav.	C	C

【原産】北米, 熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 多い. 畑・路傍など 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】240: 1932年 【県内侵入】240: 1971年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 278, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 190, 202, 71, 78, 165, 349, 344, 139 【文献県内】214, 269, 39, 34

種子植物	キク科	国内外来生物	影響度	緊急度
629	アイセイタカハハコグサ <i>Gnaphalium affine</i> D.Don × <i>G. luteoalbum</i> L.		B	C

【原産】日本 【国内分布】本州(神奈川県, 千葉県) 【県内分布】分布度b 北総で記録が多い, 少ない. ハハコグサとセイタカハハコグサが混生するところによく見られる 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: ほぼ通年 【国内侵入】240: 2003年以前 【県内侵入】240: 2003年以前 【影響】141 ハハコグサとの交雑による遺伝子汚染 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】ハハコグサ×セイタカハハコグサ 【文献全般】312, 40 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
630	タチチコグサ <i>Gnaphalium calviceps</i> Fernald	C	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: ほぼ通年 【国内侵入】240: 1918年 【県内侵入】240: 1991年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 60, 109, 293, 285, 286, 276, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 252, 344 【文献県内】214, 39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
631	セイタカハハコグサ <i>Gnaphalium luteoalbum</i> L.	B	C

【原産】欧州 【国内分布】本州(関東,兵庫県など) 【県内分布】分布度c 全県に散在, 中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】240:戦後 【県内侵入】240:1982年以前 【影響】141ハハコグサとの交雑 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,232,60,109,285,286,317,319,311,312,40,202,71,349 【文献県内】214,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
632	チチコグサモドキ <i>Gnaphalium pensylvanicum</i> Willd.	B	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 中程度 【形態・生態】冬夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】240:大正 【県内侵入】240:1957年以前 【影響】310繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,293,285,286,278,302,317,319,311,326,190,202,71,78,165,349,344,150 【文献県内】214,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
633	ウスベニチチコグサ <i>Gnaphalium purpureum</i> L.	C	C

【原産】アメリカ大陸 【国内分布】本州(関東以西),四国,九州,とくに九州は多い 【県内分布】分布度c 全県に分布, 少ない 【形態・生態】通緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】250:1968年 【県内侵入】250:1958年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,232,241,214,239,60,109,285,286,276,302,317,319,311,312,326,40,39,34,202,78,349 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
634	ウラジロチチコグサ <i>Gnaphalium spicatum</i> Lam.	B	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】本州(関東以西),四国,九州 【県内分布】分布度c 全県にさわめて普通, 多い 【形態・生態】通緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】250:1965年頃 【県内侵入】250:1958年以前 【影響】310繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】94,232,241,214,60,109,145,285,286,317,319,311,312,40,39,202,349 【文献県内】214,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
635	キバナタカサブロウ <i>Guizotia abyssinica</i> (L.f.) Cass.	D	C

【原産】熱帯アフリカ 【国内分布】本州(千葉県,静岡県,山口県) 【県内分布】分布度a 柏市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:1960年 【県内侵入】110:1971年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,238,239,109,286,278,319,311,312,40,39,34,202,71,79,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	キク科		影響度	緊急度
636	ミズヒマワリ	特定外来生物	A	A
<i>Gymnocoronis spilanthoides</i> DC.				

【原産】南アメリカ 【国内分布】本州(関東,東海,近畿) 【県内分布】分布度a 市川,佐原,栗山川など, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,ちぎれた茎からも栄養繁殖,種子:重散,水散:秋 【国内侵入】163:戦後(栽培) 【県内侵入】163:2001年以前 【影響】350,111,121,150,水辺で大繁殖のおそれ 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】286,40,39,182,297 【文献県内】39,浅田正彦・林薫・林浩二.2009.千葉県の県管轄河川における特定外来生物緊急調査.千葉県生物多様性センター研究報告1:41-47.

種子植物	キク科		影響度	緊急度
637	サンシチソウ		D	C
<i>Gynura japonica</i> (L.f.) Juel				

【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 成東など, 極少. 一時帰化? 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】100:江戸末期 【県内侵入】100:1929年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,238,109,285,286,278,276,302,319,311,312,40,39,202,71,78,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
638	ダンゴギク		D	C
<i>Helenium autumnale</i> L.				

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏〜秋 【国内侵入】161:大正 【県内侵入】161:1967年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,285,286,317,312,40,39,202,165 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
639	ヒマワリ		D	C
<i>Helianthus annuus</i> L.				

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110,161,131:江戸(栽培) 【県内侵入】110,161,131:明治(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,214,109,302,317,319,312,40,39,331,190,202,165 【文献県内】214

種子植物	キク科		影響度	緊急度
640	シロタエヒマワリ		D	C
<i>Helianthus argophyllus</i> Torr. et A.Gray				

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富里市,茂原市,芝山, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:明治(栽培) 【県内侵入】161:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,109,285,286,302,317,319,312,40,39,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
641	ヒメヒマワリ <i>Helianthus cucumerifolius</i> Torr. et A.Gray	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 大多喜町など全県で稀に見られる, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1910年前後 【県内侵入】161:1934年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,60,109,285,286,302,317,311,312,40,39,34,331,202,71,165,349,344 【文献県内】39,34,吉川代之助.1973.千葉県船橋の帰化植物4種.植物採集ニュース(68):85.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
642	キクイモ <i>Helianthus tuberosus</i> L.	B	B

【原産】アメリカ大陸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,琉球 【県内分布】分布度c 全県に普通, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,根茎,塊茎で繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】110,161:江戸末期 【県内侵入】110,161:1981年以前 【影響】121繁殖力がきわめて強い 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,214,222,238,239,60,109,285,286,278,316,317,319,311,40,39,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
643	コウリントンポポ <i>Hieracium aurantiacum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 佐倉, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:風散:夏~秋 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1997年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,238,239,60,109,285,278,276,302,319,311,312,40,39,190,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
644	ヒメブタナ <i>Hypochaeris glabra</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州(関東以西),四国 【県内分布】分布度a 東葛~北総にまばら, 極少 【形態・生態】通緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:春~夏 【国内侵入】250:1966年 【県内侵入】250:1980年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】241,239,60,109,275,278,319,311,312,326,40,39,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
645	ブタナ <i>Hypochaeris radicata</i> L.	B	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県, 中程度 【形態・生態】通緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏~秋 【国内侵入】250:1933年 【県内侵入】250,161,(131?):1972年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の規制など,管理区域外へ遺棄防止,栽培ガイドラインづくり,可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法検討 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,214,222,238,239,60,109,285,275,278,302,319,311,326,39,34,202,71,79,165,357,349,344 【文献県内】214,269,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
646	オオグルマ <i>Inula helenium</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア西部 【国内分布】本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 富里市, 極少. 一時的な逸出 【形態・生態】夏緑～連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】110(ハーブとして):2003年以前 【県内侵入】110(ハーブとして):2003年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】39 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
647	フナバシソウ <i>Iva xanthifolia</i> Nutt.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国に稀 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少. 一時帰化か? 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】200:1960年 【県内侵入】200:1960年 【影響】240花粉症の原因 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】238,286,302,312,40,39,34,202 【文献県内】39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
648	マルバトゲチシャ <i>Lactuca serriola</i> L. var. <i>integrata</i> Gren. et Godr.	D	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 野田市, 少ない. トゲチシャと混生したり異所的に生えることも 【形態・生態】冬緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】210:1949年? 【県内侵入】210:1998年 【影響】220トゲ有り 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,109,285,286,312,40,39,190 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
649	トゲチシャ <i>Lactuca serriola</i> L. var. <i>serriola</i> (syn. <i>L. scariola</i> L.)	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 東葛を中心に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】210:1939年以前 【県内侵入】210:1986年以前 【影響】220トゲ有り 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,255,285,286,278,302,317,319,311,40,39,34,190,202,71,165,349,252,344 【文献県内】267,269,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
650	ナタネタビラコ <i>Lapsana communis</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州(神奈川県,長野県,岐阜県,静岡県,三重県) 【県内分布】分布度a 船橋,佐倉,木更津など, 少ない 【形態・生態】夏緑～冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】210:1959年 【県内侵入】210:2000年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,238,109,285,286,275,302,317,319,311,312,40,39,190,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
651	ノースポールギク <i>Leucanthemum paludosum</i> (Poir.) Bonnet et Barratte (syn. <i>Chrysanthemum paludosum</i> Poir.)	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 県北部に散在, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 春 【国内侵入】161: 昭和(導入) 【県内侵入】161: 1991年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232, 109, 317, 39, 202 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
652	フランスギク <i>Leucanthemum vulgare</i> Lam.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州 【県内分布】分布度b 県北部に多い, 中程度. 栽培がときに逸出, 利根川河川敷でも見かける 【形態・生態】夏緑・草本 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】161: 江戸末期 【県内侵入】161: 1929年以前 【影響】121 利根川河川敷にあるものが気になる 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 214, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 190, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
653	イヌカミツレ <i>Matricaria inodora</i> L.	C	C

【原産】ユーラシア(広域)南部 【国内分布】北海道, 本州, 九州 【県内分布】分布度b 県北部に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 春～夏 【国内侵入】210: 明治 【県内侵入】210: 1951年以前 【影響】121, 280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 232, 241, 214, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 278, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 202, 349, 344 【文献県内】214, 263

種子植物	キク科	影響度	緊急度
654	コシカギク <i>Matricaria matricarioides</i> (Less.) Porter (syn. <i>M. discoidea</i> DC. ; <i>M. suaveolens</i> (Pursh) Buchenau non L.)	D	C

【原産】ユーラシア北部 【国内分布】北海道, 本州, 四国 【県内分布】分布度a 千葉市など, 少ない. 一時帰化? 【形態・生態】夏冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 春～夏 【国内侵入】220: 戦後と推定 【県内侵入】220: 1980年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】81, 232, 241, 238, 239, 109, 286, 278, 302, 317, 312, 40, 39, 190, 202, 78, 165 【文献県内】斉藤吉永. 1980. オロチャギクを千葉県柏市で採集. 植物採集ニュース(95): 5.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
655	カミツレ <i>Matricaria recutita</i> L. (syn. <i>Chamomilla recutita</i> (L.) Rausch.)	C	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】本州(中, 北部など) 【県内分布】分布度b 県北部を中心に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 春～夏 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 1935年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 214, 238, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 312, 40, 39, 202, 78, 165, 349 【文献県内】214, 263, 39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
656	コバレンギク <i>Ratibida columnifera</i> (Nutt.) Woot. et Standl.	D	C

【原産】北アメリカ～メキシコ 【国内分布】本州(千葉県),九州(宮崎県) 【県内分布】分布度a 千葉市. 栽培が時に逸出 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散:夏～秋 【国内侵入】161:昭和以前(栽培) 【県内侵入】161:1991年 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40,39 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
657	アラゲハンゴンソウ <i>Rudbeckia hirta</i> L. var. <i>sericea</i> (T.V.Moore) Fernald	C	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】161,131,132:1936年以前 【県内侵入】161,131,132:1936年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の規制など,管理区域外へ遺棄防止,栽培ガイドラインづくり,可能なかぎり在来品種を使う,地域個体群遺伝的多様性を保持した種苗の植栽,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,241,214,238,239,60,109,285,286,275,278,302,319,311,326,39,34,331,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	キク科	特定外来生物	影響度	緊急度
658	オオハンゴンソウ <i>Rudbeckia laciniata</i> L.		A	A

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1931年以前 【影響】121湿地や河原に侵入し、在来希少種と競合 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,239,60,109,285,286,275,278,302,317,319,311,312,40,39,331,190,202,71,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
659	ハナガサギク <i>Rudbeckia laciniata</i> L. var. <i>hortensis</i> L.H.Bailey	D	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない. 人家周辺に逸出 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散,不稔:夏～秋 【国内侵入】161:昭和以前 【県内侵入】161:1971年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,109,285,302,317,312,40,39,190,202,71 【文献県内】263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
660	ミツバオオハンゴンソウ <i>Rudbeckia triloba</i> L.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 館山市,東葛(柏市), 極少 【形態・生態】夏緑・1年～越年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】161:昭和初期 【県内侵入】161:1989年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,238,239,109,285,286,278,302,317,311,312,40,39,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
661	ナルトサワギク	特定外来生物	A	A
<i>Senecio madagascariensis</i> Poir.				

【原産】マダガスカル 【国内分布】本州(中部以西), 四国, 九州 【県内分布】分布度a 館山市, 少ない 【形態・生態】1～多年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 周年 【国内侵入】161, 220: 1976年 【県内侵入】161, 220: 2007年以前 【影響】320(家畜に毒性あり), 121, 123アレロパシー作用 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守, 公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】109, 285, 286, 311, 312, 40, 202, 349, 252, 135 【文献県内】-

種子植物	キク科		影響度	緊急度
662	ツタギク		D	C
<i>Senecio mikanioides</i> Otto				

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州(千葉県, 神奈川県) 【県内分布】分布度a 館山市, 海岸の林縁に少ない 【形態・生態】つる多年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 2003年以前 【県内侵入】161: 2003年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】39 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
663	ネバリノボロギク		D	C
<i>Senecio viscosus</i> L.				

【原産】欧州 【国内分布】九州(散発的に見られるが稀), 本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少(一時帰化?) 【形態・生態】夏緑・1年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: ほぼ通年 【国内侵入】220: 1994年 【県内侵入】220: 1994年 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】286, 275, 319, 311, 312, 40, 39, 202, 349 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
664	ノボロギク		B	C
<i>Senecio vulgaris</i> L.				

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度～多い 【形態・生態】冬緑・1年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 風散: ほぼ通年 【国内侵入】210: 1870年前後 【県内侵入】210: 1939年以前 【影響】121, 310, 繁殖力が強い 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 214, 222, 239, 60, 109, 285, 286, 302, 317, 319, 311, 326, 40, 39, 34, 190, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 269, 34

種子植物	キク科		影響度	緊急度
665	ツクシメナモミ		D	C
<i>Sigesbeckia orientalis</i> L.				

【原産】熱帯に広く分布 【国内分布】本州(関東以西), 四国, 九州 【県内分布】分布度a 鋸南町, 館山市など, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 着散: 秋 【国内侵入】240: 日本原産? 【県内侵入】240: 1950年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】109, 39, 165 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
666	オオアザミ <i>Silybum marianum</i> (L.) Gaertn.	C	C

【原産】地中海沿岸南西部 【国内分布】本州(栽培品がときに逸出) 【県内分布】分布度a 東葛に散在, 極少(栽培逸出) 【形態・生態】冬緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1856年以前 【県内侵入】161:1977年以前 【影響】220トゲ有り 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,222,239,109,285,286,278,276,302,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】267,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
667	ヤーコン <i>Smallanthus sonchifolia</i> (Poeppig et Endl.) H.Robinson	D	C

【原産】ペルー,ボリビア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 極少(まれに逸出) 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,根茎,種子:風散:秋 【国内侵入】110:昭和以前(導入) 【県内侵入】110:1998年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】39

種子植物	キク科	要注意外来生物(適否検討), 生態学会100	影響度	緊急度
668	セイタカアワダチソウ <i>Solidago altissima</i> L.		A	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県にごく普通, 河川敷・草地などに極多 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:秋～冬 【国内侵入】161:1908年頃 【県内侵入】161:1955年以前 【影響】121,123,120,繁殖力は極めて強い,アレロパシー作用,秋冬季の蜜源にも 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,279,278,302,317,311,312,326,40,190,202,71,165,357,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
669	オオアワダチソウ <i>Solidago gigantea</i> Aiton subsp. <i>serotina</i> (Kuntze) McNeill		C	B

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 県北部に散在, 少し湿ったところに中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:秋 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1933年以前 【影響】121,なし 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,311,312,40,190,202,78,165,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
670	メリケントキンソウ <i>Soliva sessilis</i> Ruiz et Pav.	A	A

【原産】南米 【国内分布】本州(関東以西),四国,九州 【県内分布】分布度a 江戸川河川敷,木更津市, 多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:着散,重散:夏～秋 【国内侵入】220:1930年 【県内侵入】220,240:2006年以前 【影響】220,310,瘦果により人体を傷付け,発芽率がよく,ひろがるため,早急な撤去が必要 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】241,238,239,60,109,286,302,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】木村陽子.2008.千葉県メリケントキンソウ(キク科).千葉県植物誌資料24:229-230.

種子植物	キク科	影響度	緊急度
671	オニノゲシ <i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	B	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県にごく普通, 道ばた・畑などに中程度 【形態・生態】夏緑・冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】240:明治 【県内侵入】240:1932年以前 【影響】121,220,刺あり,繁殖力が強い,310,ハルノゲシと競合の恐れ 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,275,278,302,317,319,311,326,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
672	ヤナギバヒメジョオン <i>Stenactis pseudoannuus</i> (Makino) comb. nov. (syn. <i>Erigeron pseudoannuus</i> Makino)	B	C

【原産】北米? 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, ヒメジョオンとヘラヒメジョオンが混生しているところに中程度 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】240(雑種と推定):大正 【県内侵入】240(雑種と推定):1932年以前 【影響】121,310 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,60,109,285,286,278,302,317,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】263,39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
673	ヘラバヒメジョオン <i>Stenactis strigosus</i> (Muhl. ex Willd.) DC. (syn. <i>Erigeron strigosus</i> Muhl. ex Willd.)	C	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, ススキ草原や土手などに少ない 【形態・生態】冬緑・1～2年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏～秋 【国内侵入】240:1961年以前 【県内侵入】240:1931年以前 【影響】121,山地のススキ草原等、自然度の高いところにも入る 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,222,238,239,60,109,285,286,275,278,317,319,311,312,40,190,202,71,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
674	シオザキソウ <i>Tagetes minuta</i> L.	D	C

【原産】南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 県西部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】240,130?:1955年以前 【県内侵入】240,130?:1975年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,公共事業などにおける方針策定,付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】ただし定着しない 【文献全般】232,241,238,239,60,109,285,286,278,302,319,311,312,40,202,349,252,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
675	コウオウソウ <i>Tagetes patula</i> L.	D	C

【原産】メキシコ 【国内分布】関東(千葉県),四国(香川県),九州(宮崎県) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】161:1933年以前 【県内侵入】161:2003年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】302,312,165 【文献県内】39

種子植物	キク科	影響度	緊急度
676	ナツシロギク <i>Tanacetum parthenium</i> (L.) Sch.Bip. (syn. <i>Chrysanthemum parthenium</i> (L.) Bernh.)	D	C

【原産】欧州,西アジア 【国内分布】北海道,本州(新潟県,千葉県など) 【県内分布】分布度a 県北部に散在,園芸種がときに逸出,極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1996年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,109,286,302,319,312,40,202,71,349 【文献県内】39

種子植物	キク科	生態学会100	影響度	緊急度
677	ヨモギギク <i>Tanacetum vulgare</i> L.		D	C

【原産】欧州,シベリア 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 全県に稀,少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散:夏~秋 【国内侵入】161,131:北海道原産 【県内侵入】161,131:1954年以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,238,109,285,286,302,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	キク科	国内外来生物	影響度	緊急度
678	シロバナタンポポ <i>Taraxacum albidum</i> Dahlst.	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	C	C

【原産】日本 【国内分布】本州(関東以西),四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に点在,西日本中心?,千葉県は国内外来? 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:春~夏 【国内侵入】西日本はもともとの自生:日本原産 【県内侵入】161(?):1951年以前 【影響】121分布拡大すれば在来タンポポとの競合の可能性 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,272,302,165 【文献県内】39

種子植物	キク科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
679	アカミタンポポ <i>Taraxacum laevigatum</i> (Willd.) DC.		B	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在,都市環境に中程度~多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】210:1918年 【県内侵入】210:1975年以前 【影響】141在来タンポポとの交雑 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,109,285,286,278,302,317,312,40,190,202,71 【文献県内】214,39,34

種子植物	キク科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
680	アイノコアカミタンポポ <i>Taraxacum laevigatum</i> DC. x <i>T. platycarpum</i> Dahlst.		B	C

【原産】アカミタンポポとカントウタンポポとの雑種 【国内分布】本州(千葉県,神奈川県) 【県内分布】分布度a 県中部に散在,少ない~中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】240,雑種と推定:平成以前 【県内侵入】240,雑種と推定:1997年以前 【影響】141在来タンポポとの交雑・競合 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】317,312 【文献県内】39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
681	セイヨウタンポポ	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	B	C
<i>Taraxacum officinale</i> Weber				

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県にごく普通, 多い〜極多だが最近では交雑が進んで純な個体は少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒+無融合,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】110,130,200:1904年以前 【県内侵入】110,130,200:1952年以前 【影響】141,240,121,在来タンポポとの交雑・競合 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,公共事業などにおける方針策定,輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,239,109,285,286,278,302,317,312,326,40,190,202,71,78,165 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	キク科		影響度	緊急度
682	アイノコセイヨウタンポポ	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	B	C
<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg. x <i>T. platycarpum</i> Dahlst.				

【原産】セイヨウタンポポとカントウタンポポの雑種 【国内分布】本州 【県内分布】分布度c 全県できわめて普通, 多い〜極多 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:虫媒+無融合,種子:風散:ほぼ通年 【国内侵入】240,雑種と推定:昭和以前 【県内侵入】240,雑種と推定:1997年以前 【影響】141在来タンポポとの交雑・競合 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】214,39

種子植物	キク科		影響度	緊急度
683	キバナムギナデシコ		D	C
<i>Tragopogon pratense</i> L.				

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1877年ころ 【県内侵入】161:1978年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,239,286,275,278,302,312,40,190,202,78,165 【文献県内】39,土屋守.1978.船橋市でキバナムギナデシコを採る.植物採集ニュース(96):14.

種子植物	キク科		影響度	緊急度
684	イガオナモミ		B	B
<i>Xanthium italicum</i> Moretti				

【原産】熱帯アメリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 荒れ地・沿岸地に多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:着散:秋〜冬 【国内侵入】240:1958年以前 【県内侵入】240:1975年以前 【影響】220,果実に刺あり,121,在来のおナモミとの競合・交雑の可能性 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,278,302,317,319,311,312,40,202,71,165,349,252,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	キク科		影響度	緊急度
685	オオオナモミ	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	B	B
<i>Xanthium occidentale</i> Bertol.				

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に普通, 河原・路傍・鉄道周辺に多い 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:着散:秋〜冬 【国内侵入】240:1929年以前 【県内侵入】240:1936年以前 【影響】220,果実に刺,花粉症の原因,121,在来のおナモミとの競合・交雑の恐れ 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,190,202,71,78,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	キク科	影響度	緊急度
686	トゲオナモミ <i>Xanthium spinosum</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 東葛で記録あり, 極少(一時帰化で定着せず) 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:着散:秋～冬 【国内侵入】240:1934年以前 【県内侵入】240:1968年以前 【影響】220刺あり,花粉症の原因になる可能性 【緊急】- 【対策】付着種子を安易に野外に遺棄しないようにさせる 【備考】定着はせず 【文献全般】81,232,241,238,239,109,285,286,302,317,312,40,202,78 【文献県内】39,34

種子植物	オモダカ科	影響度	緊急度
687	ヒロハシャゼンオモダカ <i>Echinodorus grandiflorus</i> (Cham. et Schlechtendal) Micheli subsp. <i>aureus</i> (Fassett) Hynes et Nielsen	B	B

【原産】中米～南米 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 佐倉市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:水散:秋 【国内侵入】163:昭和(栽培) 【県内侵入】163:2002年以前 【影響】121,350 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】214,39

種子植物	オモダカ科	影響度	緊急度
688	ナガバオモダカ <i>Sagittaria graminea</i> Michx.	要注意外来生物(情報不足) B	B

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:水散:秋 【国内侵入】163:1975年頃 【県内侵入】163:1991年以前 【影響】121,350 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,285,286,319,311,312,40,202,349 【文献県内】39,大場達之.1996.ナガバオモダカが松戸市に生えた.千葉県植物誌資料8:54.,大場達之.1996.ナガバオモダカ追記.千葉県植物誌資料9:64.

種子植物	トチカガミ科	影響度	緊急度
689	オオカナダモ <i>Egeria densa</i> Planch.	要注意外来生物(適否検討) A	A

【原産】南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総西部に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・沈水多年草 【繁殖】花粉:虫媒,枝がちぎれて栄養繁殖,種子:水散:秋 【国内侵入】163:大正 【県内侵入】163:1975年以前 【影響】121,350 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】日本では種子繁殖しない 【文献全般】94,232,222,238,60,101,109,285,286,302,317,319,311,312,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34,大滝末男.1973.千葉県印旛沼北部にもオオカナダモが生育する.植物採集ニュース(68):85.

種子植物	トチカガミ科	影響度	緊急度
690	コカナダモ <i>Elodea nuttallii</i> (Planch.) St. John	要注意外来生物(適否検討), 生態学会100 A	A

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 主として北総に分布, 極多 【形態・生態】夏緑・沈水多年草 【繁殖】花粉:虫媒,枝がちぎれて栄養繁殖,種子:水散:秋 【国内侵入】163:1961年以前 【県内侵入】163:1976年以前 【影響】121,350 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】日本では種子繁殖しない 【文献全般】94,232,241,239,60,101,109,285,286,301,302,317,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	トチカガミ科	影響度	緊急度
691	アマゾントチカガミ <i>Limnium laevigatum</i> (Humb. et Bonpl. ex Willd.) Heine	B	A

【原産】熱帯アメリカ(アルゼンチン,メキシコ,西インド諸島,パラグアイ,ブラジル) 【国内分布】本州(大阪府,千葉県),九州 【県内分布】分布度a 印西市(旧印旛村山田),野田市瀬戸, 中程度 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝による栄養繁殖,種子:水散:初夏 【国内侵入】163:1973年以前(導入) 【県内侵入】163:2009年以前 【影響】100 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(野田市三ヶ尾 2009.12.21 BS-277881),佐倉市畔戸では除去した(2008年) 【文献全般】301,312,326,202 【文献県内】235

種子植物	カンナ科	影響度	緊急度
692	ハナカンナ <i>Canna generalis</i> Bailey	D	C

【原産】インド 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 芝山町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1910年頃 【県内侵入】161:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】交雑に由来する園芸種 【文献全般】301,312,40,331,332,202,165 【文献県内】312,39

種子植物	カンナ科	影響度	緊急度
693	ダンドク <i>Canna indica</i> L.	D	C

【原産】インド,マラッカ,マレー諸島 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 安房に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1850年頃 【県内侵入】161:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,301,311,312,326,40,331,331,202,71,165,349 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
694	ラッキョウ <i>Allium chinense</i> G. Don	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,109,301,317,40,332,202,165 【文献県内】214,39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
695	アサツキ <i>Allium schoenoprasum</i> L. var. <i>foliosum</i> Regel	D	C

【原産】極東ロシア,東ロシア 【国内分布】北海道,本州(北部)(自生) 【県内分布】分布度a 市原市,鋸南町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:日本原産 【県内侵入】110:1991年以前(逸出) 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】272,332 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
696	ニラ <i>Allium tuberosum</i> Rottl.	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に分布, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:平安 【県内侵入】110:江戸以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,109,301,316,317,312,40,332,165 【文献県内】214,39

種子植物	ユリ科	CITES:II	影響度	緊急度
697	キダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Mill.		D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州,四国,九州(屋外栽培) 【県内分布】分布度a 主として南総・安房に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】110:江戸 【県内侵入】110:昭和 【影響】280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】332 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
698	タチテンモンドウ <i>Asparagus cochinchinensis</i> (Lour.) Merr. var. <i>pygmaeus</i> Makino	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富津市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:明治以前 【県内侵入】161:1956年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】331,332,165 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
699	オランダキジカクシ <i>Asparagus officinalis</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国(栽培) 【県内分布】分布度a 主として北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:1781年(江戸) 【県内侵入】161:明治(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,316,317,319,312,202,165 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
700	ネズミボウキ <i>Asparagus virgatus</i> Baker	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 主として安房に散在, 中程度 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:昭和 【県内侵入】161:1997年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
701	ハラン <i>Aspidistra elatior</i> Blume	C	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に分布, 中程度 【形態・生態】常緑・多年草
 【繁殖】花粉: 虫媒, 地下茎による栄養繁殖, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: 江戸以前 【県内侵入】161: 江戸 【影響】121, 280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232, 222, 109, 272, 301, 317, 312, 71 【文献県内】214, 39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
702	オリヅルラン <i>Chlorophytum comosum</i> Bak.	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 佐倉市, 市川市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝による栄養繁殖, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 明治初期 【県内侵入】161: 昭和以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】301, 319, 332, 202, 165 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
703	ドイツズラン <i>Convallaria majalis</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】全国(栽培) 【県内分布】分布度a 市原市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 地下茎による栄養繁殖, 種子: 食散: 秋 【国内侵入】161: - 【県内侵入】161: 1929年以前(栽培) 【影響】210 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】ズランの名で園芸店で販売されている 【文献全般】272, 302, 332, 165 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
704	バイモ <i>Fritillaria verticillata</i> Willd. var. <i>thunbergii</i> (Miq.) Baker	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎による栄養繁殖, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 312, 331, 202, 165 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
705	スズランスイセン <i>Leucojum aestivum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 酒々井市, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎による栄養繁殖, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】161: 1936年(栽培) 【県内侵入】161: 昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 301, 312, 40, 331 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
706	オニユリ <i>Lilium lancifolium</i> Thunb.	D	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,珠芽による栄養繁殖,種子:風散+重散:秋 【国内侵入】110,161:日本原産? 【県内侵入】110,161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり,販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,109,272,301,317,312,165 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	国内外来生物	影響度	緊急度
707	シンテツポウユリ <i>Lilium x formolongo</i> Hort.		B	C

【原産】日本(タカサゴユリ×テツポウユリ交配種) 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:1924年(導入) 【県内侵入】161:1998年以前 【影響】121,繁殖力つよい,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】タカサゴユリとテツポウユリの交雑種の園芸種 【文献全般】109,301,317,312 【文献県内】214,39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
708	ルリムスカリ <i>Muscari botryoides</i> Mill.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富里市,八街市, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:昭和以前 【県内侵入】161:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,301,319,312,331,332,202 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
709	ハタケニラ <i>Nothoscordum fragrans</i> Kunth.	C	C

【原産】アメリカ大陸 【国内分布】本州(神奈川県,千葉県) 【県内分布】分布度a 柏市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:明治中期(導入) 【県内侵入】161:1952年以前(栽培) 【影響】310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,239,60,109,285,286,301,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
710	ホソバオオアマナ <i>Ornithogalum gussoneri</i> Ten.	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富里市, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1972年以前(栽培) 【県内侵入】161:1991年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】238,109,285,301,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
711	オオアマナ <i>Ornithogalum umbellatum</i> L.	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:1987年以前 【影響】220,炎症をおこす.食用・薬用にも,310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,109,301,317,319,312,40,331,202 【文献県内】214,263,39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
712	ナギイカタ <i>Ruscus aculeatus</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:1860年代(江戸) 【県内侵入】161:1985年以前 【影響】220 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,109,317,312,202,165 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	国RDB:CR	影響度	緊急度
713	タイワンホトギス <i>Tricyrtis formosana</i> Baker		D	C

【原産】台湾 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に分布, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:1950年代 【県内侵入】161:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,301,317,311,312,326,202,349 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
714	ハナニラ <i>Tristagma uniflorum</i> (Lindley) Traub.	C	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総と南総に分布, 多い 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】161:1964年以前 【影響】310,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,239,60,109,285,301,316,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
715	アツバキミガヨラン <i>Yucca gloriosa</i> L.	A	A

【原産】北米南部 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 主として全県の水辺(海岸)に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:明治中期 【県内侵入】161:平成以前 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,300,332 【文献県内】39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
716	キミガヨラン <i>Yucca recurvifolia</i> Salisb.	B	B

【原産】北米南部 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 全県に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1995年以前 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】301,312,332,165 【文献県内】263,39

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度
717	イトラン <i>Yucca smalliana</i> Fern.	B	B

【原産】北米南部 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 八街市, 少ない 【形態・生態】常緑・低木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1931年以前(栽培) 【影響】280,121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】332 【文献県内】39

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度
718	インドハマユウ <i>Crinum latifolium</i> L.	B	B

【原産】インド 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 富里市, 極少 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:海散:秋 【国内侵入】161:昭和初期(導入) 【県内侵入】161:2003年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】331,332 【文献県内】39

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度
719	ヒガンバナ <i>Lycoris radiata</i> (L'Herit.) Herb.	C	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 極多 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:重散:冬 【国内侵入】110:弥生 【県内侵入】110:弥生～室町 【影響】210,121,123 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】日本で種子繁殖しない 【文献全般】94,232,222,109,272,302,332,190 【文献県内】34,332

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度
720	ナツズイセン <i>Lycoris squamigera</i> Maxim.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 北総に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:重散:冬 【国内侵入】161:日本原産? 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,60,109,301,317,312,40,331,202,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度
721	ラッパズイセン <i>Narcissus pseudonarcissus</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 芝山町, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:1996年以前(逸出) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,301,202 【文献県内】39

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度
722	スイセン <i>Narcissus tazetta</i> L. var. <i>chinensis</i> Roemer	C	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 主として北総・南総・安房の西部に分布, 多い 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:室町 【県内侵入】161:江戸 【影響】121,210 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,109,272,301,317,312,331,202,165 【文献県内】214,39

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度
723	タマスダレ <i>Zephyranthes candida</i> Herb.	D	C

【原産】ブラジル 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1870年頃 【県内侵入】161:1930年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,241,60,109,285,301,317,312,331,202,165,349 【文献県内】263,39

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度
724	サフランモドキ <i>Zephyranthes grandiflora</i> Lindl.	D	C

【原産】中央米 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 千葉市,館山市,南房総市, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,鱗茎による栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1845年 【県内侵入】161:1951年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,238,239,60,109,285,301,317,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	アルストロメリア科	影響度	緊急度
725	ユリズイセン <i>Alstromeria pulchella</i> L.	D	C

【原産】南米高地 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 全県に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,塊茎による栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1935年(導入) 【県内侵入】161:1954年以前(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】332 【文献県内】39

種子植物	ヤマノイモ科	影響度	緊急度
726	ナガイモ <i>Dioscorea batatas</i> Decne.	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全県に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・つる多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 珠芽による栄養繁殖, 種子: 風散: 秋 【国内侵入】110: 室町 【県内侵入】110: 江戸 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 109, 301, 316, 317, 332, 165 【文献県内】39

種子植物	ミズアオイ科	要注意外来生物(適否検討), IUCN100	影響度	緊急度
727	ホテイアオイ <i>Eichhornia crassipes</i> (Mart.) Solms-Laub.		A	A

【原産】熱帯米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 全県に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝による栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】120, 163: 明治中期 【県内侵入】120, 163: 1975年以前 【影響】121, 350, 150, 280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止, 公共事業などにおける方針策定 【備考】- 【文献全般】94, 232, 241, 222, 239, 60, 101, 109, 285, 286, 301, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
728	ヒメヒオウギズイセン <i>Crocossia x crocosmifolia</i> (Burb. et Dean) N.E.Br. (syn. <i>Tritonia x crocosmaeflora</i> N. E. Br.)	B	B

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 球茎による栄養繁殖, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】161: 1890年頃 【県内侵入】161: 1927年以前 【影響】121, 280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 232, 241, 222, 238, 239, 109, 285, 286, 301, 317, 312, 40, 331, 202, 71, 78, 165 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
729	オランダアヤメ <i>Gladiolus hybridus</i> Hort.	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 北総の平野に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 江戸(栽培) 【県内侵入】161: 昭和以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】331, 332, 202 【文献県内】39

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
730	グラディオルス・トリステリス <i>Gladiolus tristis</i> L.	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 安房地方に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 球茎による栄養繁殖, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 昭和(栽培) 【県内侵入】161: 2001年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】332 【文献県内】39

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
731	シャガ <i>Iris japonica</i> Thunb.	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 地下茎による栄養繁殖, 種子: 重散(日本では不稔): 秋 【国内侵入】161: 江戸以前 【県内侵入】161: 江戸以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 232, 222, 109, 332, 190, 165 【文献県内】214, 39, 34

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
732	キショウブ <i>Iris pseudacorus</i> L.	B	B

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 地下茎による栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】161: 1896年頃(栽培) 【県内侵入】161: 1932年以前 【影響】121, 350, 280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 241, 222, 239, 60, 101, 272, 285, 286, 301, 317, 319, 311, 312, 40, 331, 202, 165, 349, 344 【文献県内】214, 263, 39, 34

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
733	イクシア <i>Ixia polystachya</i> L. var. <i>polystachya</i>	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 鱗茎による栄養繁殖, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】161: 明治(導入) 【県内侵入】161: 1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 繁茂することはない 【文献全般】331, 332 【文献県内】39

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
734	オオニワゼキショウ <i>Sisyrinchium</i> aff. <i>iridifolium</i> H.B.K.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度c 全県に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】210: 1930年以前 【県内侵入】210: 1975年以前 【影響】310, 280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】学名を*S. aff. Iridifolium* H.B.K. としておく 【文献全般】232, 241, 222, 60, 109, 285, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 78, 349 【文献県内】39, 34, 大場達之. 2007. アキマルニワゼキショウが千葉県にも現れた. 千葉県植物誌資料23: 211-212.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
735	ルリニワゼキショウ <i>Sisyrinchium angustifolium</i> Bickn.	C	C

【原産】北米東部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 夏 【国内侵入】210: 1970年代以前 【県内侵入】210: 1975年以前 【影響】310, 280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】オオニワゼキショウと混同されていることがある 【文献全般】285, 286, 301, 317, 312, 40, 202 【文献県内】214, 263, 39, 34, 大場達之. 2004. 千葉県のルリニワゼキショウ. 千葉県植物誌資料20: 151-153., 野口昭造・木村陽子・大場達之. 2007. ヒトフサニワゼキショウとルリニワゼキショウの観察と学名. 千葉県植物誌資料23: 210-212.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
736	ヒトフサニワゼキショウ <i>Sisyrinchium montanum</i> Greene	D	C

【原産】北アメリカ東部 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1981年 【県内侵入】210:2007年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】学名を*Sisyrinchium montanum* Greeneに変更 【文献全般】232,241,285,317,312,40,202 【文献県内】214,39,野口昭造・木村陽子・大場達之.2007.ヒトフサニワゼキショウとルリニワゼキショウの観察と学名.千葉県植物誌資料23:210-212.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
737	ニワゼキショウ <i>Sisyrinchium rossulatum</i> Bickn.	C	C

【原産】北米南東部 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】161:1887年頃 【県内侵入】161:1940年以前 【影響】121,310 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
738	キバナニワゼキショウ <i>Sisyrinchium rossulatum</i> E.P.Bicknell (syn. <i>Sisyrinchium exile</i> E.P.Bicknell)	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1986年以前 【県内侵入】210:2004年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,311,312,326,40,202,349 【文献県内】木村陽子.2004.千葉県のキバナニワゼキショウ.千葉県植物誌資料20:151.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度
739	アキマルニワゼキショウ <i>Sisyrinchium rossulatum</i> E.P.Bicknell x <i>Sisyrinchium</i> aff. <i>iridifolium</i> H.B.K.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 酒々井市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:2007年以前 【県内侵入】210:2007年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】ニワゼキショウとオオニワゼキショウとの雑種 【文献全般】- 【文献県内】大場達之.2007.アキマルニワゼキショウが千葉県にも現れた.千葉県植物誌資料23:211-212.

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度
740	カラフトハナビゼキショウ <i>Juncus articulatus</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア北部,北米 【国内分布】千葉県,神奈川県 【県内分布】分布度a 成田市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1987年以前 【県内侵入】250:1987年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,286,317,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度
741	セイトカクサイ <i>Juncus interior</i> Wieg.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 富里市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏 【国内侵入】250:1992年以前 【県内侵入】250:1992年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】別名トミサトクサイ 【文献全般】312,40 【文献県内】39,内野秀重.2003.イグサ科.In千葉県植物誌(県史シリーズ51.千葉県の自然誌別編4) pp.1181 千葉県.

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度
742	ニセコウガイゼキショウ <i>Juncus marginatus</i> Rostk.	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 印西市(旧印旛村),船橋市坪井町, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒, 種子:重散:夏 【国内侵入】250:1990年以前 【県内侵入】250:1990年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】別名タカナベイ,マツカサコウガイゼキショウ,船橋市坪井町 2535 2009.8.26 木村陽子 田島敏子 標本 【文献全般】312,40 【文献県内】39,内野秀重.2004.和名があった *Juncus marginatus* Rostk. 千葉県植物誌資料20:158.

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度
743	コゴメイ <i>Juncus</i> sp.	B	B

【原産】ユーラシア? 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 北総に散在, 中程度. 河川敷・池・湿地などはびこる 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】250:1980年代 【県内侵入】250:1989年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,286,317,312,40,202 【文献県内】214,39

種子植物	ツユクサ科	国内外来生物	影響度	緊急度
744	マルバツユクサ <i>Commelina benghalensis</i> L.		B	C

【原産】熱帯アジア(千葉県に自生あり) 【国内分布】関東 【県内分布】分布度a 柏市,市原市,佐倉市,船橋市, 中 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】300:1990年代 【県内侵入】300:1990年代 【影響】141 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】安房地方の個体群は自生の可能性大,現在南総に分布を広げているのは国内移入の可能性あり 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	ツユクサ科	影響度	緊急度
745	ブライダルベール <i>Gibasis pellucida</i> (M.Martens et Galeotti) R.R.Hunt	C	C

【原産】メキシコ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総西部に散在, 少ない 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,匍匐枝による栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:昭和(栽培) 【県内侵入】161:1992年以前 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312,40,332 【文献県内】39

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度
746	トキワツクサ <i>Tradescantia fluminensis</i> Vell.	A	A

【原産】南米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 全県に分布, 極多 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝による栄養繁殖, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 昭和以前 【県内侵入】161: 1937年以前 【影響】121, 120, 150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名ノハカタカラクサ 【文献全般】94, 232, 241, 109, 272, 286, 301, 317, 312, 40, 332, 202 【文献県内】214, 39, 34

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度
747	ムラサキツクサ <i>Tradescantia reflexa</i> Rafin.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度b 北総西部に分布, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 1870年頃 【県内侵入】161: 1938年(栽培) 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81, 94, 232, 60, 109, 301, 317, 312, 40, 202, 165, 349 【文献県内】39

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度
748	オオトキワツクサ <i>Tradescantia</i> sp.	B	B

【原産】南米 【国内分布】本州(静岡県, 千葉県) 【県内分布】分布度b 主として安房に散在, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝による栄養繁殖, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 1972年以前 【県内侵入】161: 1972年以前 【影響】121, 150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】286, 312, 40, 332 【文献県内】39

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度
749	オオムラサキツクサ <i>Tradescantia virginiana</i> L.	D	C

【原産】北米南部 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 野田市, 極少 【形態・生態】夏緑 【繁殖】花粉: 虫媒, 種子: 重散: 秋 【国内侵入】161: 昭和初期 【県内侵入】161: 2002年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94, 109, 301, 317, 319, 312, 40, 332, 202 【文献県内】263, 39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
750	ヤギムギ <i>Aegilops cylindrica</i> Host	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市のみ, 少ない. 現在の生存不明 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉: 風媒, 種子: 着散: 初夏 【国内侵入】210: 1973年 【県内侵入】-: 1990年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】232, 239, 240, 285, 286, 301, 319, 311, 312, 40, 202, 165, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
751	ニセコムギダマシ <i>Agropyron desertorum</i> (Fisch. ex Link) Schult.	D	C

【原産】ヨーロッパ南部,ウラル山脈,モンゴル 【国内分布】本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 千葉市浜田のみ, 少ない. 現在の生存不明 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1991年 【県内侵入】-:1991年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】千葉県が日本新産地,侵入確認:1991.07.05,1993.06.18千葉市浜田 【文献全般】312,40 【文献県内】39,木村陽子・酒井俊英・大場達之.1994.ニセコムギダマシ(新称)?*Agropyron desertorum* (Fisch. ex Link) Schl.?の帰化. 千葉生物誌43:18-21.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
752	ナンカイヌカボ <i>Agrostis avenacea</i> J.F.Gmel.	D	C

【原産】豪州 【国内分布】本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 千葉市青葉町,浦安市明海, 極少. 青葉町のは絶滅,2005.06.12に浦安市で採集されるが,その後絶滅 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】220:- 【県内侵入】-:1996年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】232,60,109,286,317,40,349 【文献県内】39,木村陽子.1996.千葉市青葉町でナンカイヌカボを採る. 千葉県植物誌資料9:62-63.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
753	コヌカグサ <i>Agrostis gigantea</i> Roth. (syn. <i>Agrostis alba</i> L.)	C	C

【原産】北半球温帯(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 県内全域普通, 中程度 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:江戸末期 【県内侵入】160:明治 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
754	クロコヌカグサ <i>Agrostis nigra</i> With.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北日本に多い 【県内分布】分布度a 全域, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:- 【県内侵入】160:明治~昭和30年代 【影響】150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】コヌカグサと分けない見解もある 【文献全般】81,94,232,240,60,285,301,319,312,190,202,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
755	エゾヌカボ <i>Agrostis scabra</i> Willd.		D	C

【原産】本州中部以北,東アジア北部,サハリン?北米 【国内分布】北海道,本州北部では在来種 【県内分布】分布度a 千葉市,袖ヶ浦市, 極少. おそらく絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】240:- 【県内侵入】-:1985年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】本来の分布は本州中部以北なので, 県内のものは持ちこまれたものである 【文献全般】272,301,190,165 【文献県内】39,34,浅野貞夫.1986.ムラサキナギナタガヤとエゾヌカボを採る. 千葉生物誌36:38.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
756	ハイコヌカグサ <i>Agrostis stolonifera</i> L.	C	C

【原産】北半球温帯(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域散発, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】-:明治～昭和30年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,238,240,60,109,285,301,317,319,311,312,40,190,202,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
757	バケヌカボ <i>Agrostis x dimorpholemma</i> Ohwi	D	C

【原産】地中海 【国内分布】本州,四国,九州(宮城県) 【県内分布】分布度a 船橋市など数カ所, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】210:- 【県内侵入】-:1991年 【影響】141 【緊急】- 【対策】- 【備考】イトヌカグサ *A. tenuis* Sibthorpとイベリアヌカボ *A. castellana* Boisser et Reuterの交雑により生じた 【文献全般】- 【文献県内】39,木村陽子.1996.船橋市でバケヌカボを採る.千葉県植物誌資料8:51.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
758	ヌカススキ <i>Aira caryophylla</i> L.	C	C

【原産】欧州,西アジア,北アフリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 全域, 少ない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】-:明治～昭和30年代 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,240,60,109,285,301,317,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
759	ハナヌカススキ <i>Aira elegans</i> Willd. ex Gaudin	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 中程度 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:- 【県内侵入】-:昭和30年代後半以降 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】238,240,60,109,285,286,317,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
760	ヒメヌカススキ <i>Aira elegans</i> Willd. ex Gaudin subsp. <i>ambigua</i> (Aecang.) Holub.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 鴨川市のみ, 少ない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:- 【県内侵入】-:1948年 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
761	ノスズメノテッポウ <i>Alopecurus myosuroides</i> Huds.	D	C

【原産】欧州,温帯アジア 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋市日ノ出町, 少ない. 牧草地や市街地,おそらく絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】210:1973年 【県内侵入】210:1973年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:1973.6.21 【文献全般】241,240,301,316,319,311,312,40,202,344 【文献県内】39,34,吉川代之助.1974.千葉県の新帰化植物アツミゲシとノスズメノテッポウ.植物採集ニュース(74):27.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
762	オオスズメノテッポウ <i>Alopecurus pratensis</i> L.	D	C

【原産】欧州,西アジア,北アフリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 中程度. 牧草として入れられる 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】-:明治~昭和30年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
763	オオハマガヤ <i>Ammophila breviligulata</i> Fernald.	A	A

【原産】北米,カナダ大西洋岸 【国内分布】青森県,秋田県,山形県,石川県,静岡県 【県内分布】分布度a 館山市,横芝光町, 極多 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散,:夏 【国内侵入】133(砂防用):1950年代静岡県 【県内侵入】-:1990年代? 【影響】150,280,海岸植生をこわす問題植物 【緊急】- 【対策】- 【備考】別名アメリカハマニンニク 【文献全般】286,312,40,330,165 【文献県内】39,由良浩.2006.オオハマガヤ *Ammophila breviligulata* Fernald. 千葉県植物誌資料21:178-179.,木村陽子.2006.オオハマガヤ追記.千葉県植物誌資料21:179.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
764	メリケンカルカヤ <i>Andropogon virginicus</i> L.	B	B

要注意外来生物(情報不足)

【原産】北米~中央米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 極多?多い 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】220:1940年頃 【県内侵入】-:昭和30年代後半以降 【影響】310,280 芝地・ゴルフ場などの強害草 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,40,202,71,165,349,344 【文献県内】269,39,小松崎一雄.1976.千葉県北部でも見つかったメリケンカルカヤ.植物採集ニュース(85):28.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
765	ヒメハルガヤ <i>Anthoxanthum aristatum</i> Boiss.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋市小室, 少ない. おそらく絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】210:1973年船橋市が日本初上陸 【県内侵入】-:1973年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,239,240,109,285,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39,34,齊藤吉永.1974.新帰化植物ヤネタビラコとヒメハルガヤ.植物採集ニュース(73):19-21.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
766	ハルガヤ <i>Anthoxanthum odoratum</i> L.	C	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 極多. 牧草 【形態・生態】多年草
 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】-:明治 【影響】240花粉症(参天製薬ホームページより)
 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】
 81,94,232,241,222,238,239,240,60,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,165,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
767	オオカニツリ <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Presl.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 成田市,木更津市, 多い. 牧草 【形態・生態】多年草
 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:明治初期 【県内侵入】160:昭和30年代後半以降
 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】
 81,94,232,241,238,239,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,78,165,82,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
768	チョロギガヤ <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Presl. var. <i>bulbosum</i> (Willd.) Spenner	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 市原市の数カ所, 少ない. おそらく絶滅 【形態・生態】多年草
 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:- 【県内侵入】160:明治～昭和30年代
 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】
 81,94,238,239,109,286,301,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
769	オートムギ <i>Avena sativa</i> L.	D	C

【原産】欧州,カラスムギから改良された 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 数カ所, 少ない 【形態・生態】1年草
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】110:江戸末期 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,241,286,301,317,312,40,202,71,165 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
770	セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb.	D	C

【原産】欧州,栽培種 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 富里市のみだが、調べればさらに産地は増える, 少ない 【形態・生態】1年草
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】110:- 【県内侵入】-:1992年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】侵入確認:富里市 1992.05.08 【文献全般】319,312,202 【文献県内】木村陽子.2006.セイヨウチャヒキ(イネ科)千葉県に産す.千葉県植物誌資料21:181-183.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
771	ハウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch	D	C

【原産】南中国 【国内分布】九州,四国,関東地方以西で栽培 【県内分布】分布度a 船橋市など, 中程度 【形態・生態】常緑・中高木 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:春 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:- 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,232,109,292,319,312,326,202,71,165,349 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
772	ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. ex Wendl.	D	C

【原産】南中国あるいはマダガスカルといわれるが不明 【国内分布】九州,四国,東海地方以西に希に栽培 【県内分布】分布度a 館山市, 中程度 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:不明 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:- 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
773	オオモンツキガヤ <i>Bothriochloa pertusa</i> (Linn.) A.Camus	D	C

【原産】中国広東・雲南の標高1500mあたりの山中やインド 【国内分布】千葉県のみか 【県内分布】分布度a 船橋市, 極少. おそらく絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】210:1960年 【県内侵入】210:1960年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】134,39,桑原義晴.1977.日本イネ科植物生態図譜(北陸の植物の会)3:71.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
774	コニクキビ <i>Brachiaria distachya</i> (L.) Stapf	D	C

【原産】熱帯アジア,東アフリカ 【国内分布】千葉県のみか 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない. 現地では絶滅 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1999/10/22 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
775	ケニクキビ <i>Brachiaria ramosa</i> (L.) Stapf	D	C

【原産】旧世界の熱帯 【国内分布】千葉県のみか 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない. 現地では絶滅 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:1999年 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
776	ニクキビ <i>Bracharia subquadrifida</i> (Trin.) Hitchc.	D	C

【原産】奄美,琉球,台湾,インド,マレーシア,ミクロネシア 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 船橋市旭町,千葉市中央港, 少ない. 船橋市では絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】220,250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
777	コバンソウ <i>Briza maxima</i> L.	C	C

【原産】欧州,地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 中程度. 草地・道端など 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】161:明治 【県内侵入】-:昭和30年代後半以降 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,78,165,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
778	ヒメコバンソウ <i>Briza minor</i> L.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い. 草地・道端など,群落になることもある 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】161:1867年 【県内侵入】161:昭和30年代後半以降 【影響】150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
779	ムクゲチャヒキ <i>Bromus commutatus</i> Schrad.	D	C

【原産】アジア西部～北アフリカ 【国内分布】北海道,本州,九州 【県内分布】分布度a 芝山町,旭市, 少ない. おそらく絶滅 【形態・生態】1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1950年代 【県内侵入】-:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,60,286,301,317,319,311,312,40,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
780	コスズメノチャヒキ <i>Bromus inermis</i> Leyss.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 木更津市貝淵埋め立て地,野田市,千葉市, 少ない. 牧草として栽培もある 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】160:1962年以前 【県内侵入】160:1969年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:木更津市1969.6.12 【文献全般】81,232,238,240,109,285,301,317,319,311,40,190,202,349,344 【文献県内】143,144,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
781	ハトノチャヒキ <i>Bromus molliformis</i> J.Lloyd	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 分布は散発的,船橋市,浦安市, 極少. おそらく絶滅 【形態・生態】1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1952年 【県内侵入】-:昭和30年代後半以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】ハマチャヒキと分けられない見解あり 【文献全般】81,232,241,238,109,285,286,301,317,311,312,40,190,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
782	ハマチャヒキ <i>Bromus mollis</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 木更津市貝淵埋め立て地, 極少. おそらく絶滅 【形態・生態】1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1950年代 【県内侵入】210:1969年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,240,60,109,285,279,301,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】143,144,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
783	ヒゲナガスズメノチャヒキ <i>Bromus rigidus</i> Roth.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 東京湾沿い, 多い 空き地など 【形態・生態】1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1912年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,349,344 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
784	アレチノチャヒキ <i>Bromus sterilis</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア (広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 野田市のみ, 少ない 【形態・生態】1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1912年 【県内侵入】210:1997年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,241,222,238,109,286,301,317,319,311,312,40,190,202,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
785	ウマノチャヒキ <i>Bromus tectorum</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 船橋市 北総, 少ない. 空き地に,船橋市では2000年代でも見られる 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1941年以前 【県内侵入】-:1968年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】侵入確認:1968.06.19 【文献全般】81,232,241,238,239,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,349,344 【文献県内】39,365

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
786	イヌムギ <i>Bromus unioloides</i> H. B. K. (syn. <i>Bromus catharticus</i> Vahl)	B	C

【原産】南米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い. 空き地,草地,道端に普通にみられる,牧草
【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:春?夏 【国内侵入】210:明治初期 【県内侵入】-:明治～昭和30年代 【影響】310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,240,60,109,285,286,301,317,319,311,326,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】240,263,269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
787	シンクリノイガ <i>Cenchrus echinatus</i> L.	D	C

【原産】熱帯アメリカ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋市日の出町のみ, 少ない. おそらく絶滅 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:着散:秋 【国内侵入】210:- 【県内侵入】-:1975年 【影響】220 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】241,109,285,286,302,317,312,40,202,78 【文献県内】39,吉川代之助.1976.千葉県船橋市にシンクリノイガ現る.植物採集ニュース(86):30.

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
788	カンチク <i>Chimonobambusa marmorea</i> (Mitt.) Makino		D	C

【原産】日本産であるがはっきりとした自生地は不明(鈴木貞夫) 【国内分布】四国,九州,本州中部以南に栽培 【県内分布】分布度a 県南部, 中程度 【形態・生態】連緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散:不明 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:江戸 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】タケノコは晩秋から 【文献全般】336,109,317 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
789	アフリカヒゲシバ <i>Chloris gayana</i> Kunth	D	C

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 鴨川市,野田市下三ヶ尾利根運河, 極少. 牧草 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散・着散:秋 【国内侵入】160:1962年頃 【県内侵入】-:1990年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】94,241,241,239,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,326,40,190,202,71,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
790	クシヒゲシバ <i>Chloris pectinata</i> Benth.	D	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】本州(愛知,千葉) 【県内分布】分布度a 市川市鬼高の元日本毛織, 極少. 絶滅 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散・着散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250毛織り工場の羊毛から:1950年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】301,316,312,202 【文献県内】99,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
791	チャボヒゲシバ <i>Chloris truncata</i> R.Br.Prod.	D	C

【原産】太平洋諸島 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市船橋高校校庭,市川市市川毛織, 極少. 絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,匍匐枝による栄養繁殖,種子:風散・着散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250毛織り工場の羊毛から:1960年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:船橋市 1960.10.04 桑原義晴が船橋市の船橋高校で採集したものの図がある 【文献全般】241,286,301,319,40,202,349 【文献県内】39,桑原義晴.1977.日本イネ科植物生態図譜(北陸の植物の会) 3:70.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
792	オヒゲシバ <i>Chloris virgata</i> Swartz.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 我孫子市,千葉市,市川市,市原市, 少ない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散・着散:秋 【国内侵入】210:1922年 【県内侵入】210:1968年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:1968.10.29 【文献全般】94,232,241,238,240,109,285,286,301,317,319,311,312,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34,斉藤吉永.1969.帰化品だより(2)千葉県手賀沼畔のオヒゲシバ.植物採集ニュース(43):53-54.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
793	ジュズダマ <i>Coix lacryma-jobi</i> L.	C	C

【原産】東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 中程度 【形態・生態】1～多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:水散:秋 【国内侵入】161: 古いに栽培のため移入 【県内侵入】-:江戸 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】94,232,241,238,239,240,109,272,285,286,301,317,312,326,40,202,78 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
794	ハトムギ <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>mayuen</i> (Roman.) Stapf	D	C

【原産】東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 全域に希, 少ない. 栽培畑から逸出 【形態・生態】1～多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:水散:秋 【国内侵入】110: 古いに栽培のため移入 【県内侵入】-:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】232,301,317,326,165 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
795	パンパスグラス <i>Cortaderia selloana</i> (Schult.) Aschers. et Graebn.	D	C

【原産】南米 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 全域,時折, 少ない 植栽放置的 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:1990年代? 【影響】280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】241,285,286,301,312,40,331,332,202,71,165 【文献県内】237,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
796	ヒゲガヤ <i>Cynosurus echinatus</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州(千葉県,神奈川県,岡山県),九州 【県内分布】分布度a 木更津市貝淵埋め立て地,柏市, 極少 おそらく絶滅 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1960年 【県内侵入】-:1970年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】侵入確認:木更津市 1970.6.12 【文献全般】81,232,241,238,239,240,60,109,286,301,319,311,312,40,190,202,165,349,344 【文献県内】144,39,34

種子植物	イネ科	要注意外来生物(緑化植物), 生態学会100	影響度	緊急度
797	カモガヤ <i>Dactylis glomerata</i> L.		B	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏 【国内侵入】160:江戸末期 【県内侵入】160:明治～昭和30年代 【影響】240 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,330

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
798	タツノツメガヤ <i>Dactyloctenium aegyptium</i> (L.) P.Beauv.	C	C

【原産】琉球,奄美,小笠原諸島,旧世界熱帯地方 【国内分布】本州,四国,九州(琉球では在来種) 【県内分布】分布度a 千葉市市原市 八千代市 船橋市 市川市, 少ない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:着散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250毛織り工場の羊毛から:1955年 【影響】310 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:市川市日本毛織 1955.09.10 【文献全般】94,232,241,109,285,286,301,317,326,40,71,78,165 【文献県内】39,K.O.1956.第20回さく葉展.千葉生物誌6 (1):20

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
799	ヒメタツノツメガヤ <i>Dactyloctenium radulans</i> (R. Br.) P. Beauv.	D	C

【原産】アフリカ,オーストラリア 【国内分布】近畿,中部,関東 【県内分布】分布度a 銚子市,市川市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1955年以前 【県内侵入】210:1955年以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
800	チャボメヒシバ <i>Digitaria longiflora</i> (Retz.) Pers.	D	C

【原産】旧世界の熱帯 【国内分布】琉球,本州(千葉県) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない 絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
801	イヌメヒシバ <i>Digitaria microbachne</i> (Presl) Henr. (syn. <i>D. setigera</i> Roth apud Roem. et Schult.)	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】琉球 千葉県 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない 絶滅 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】301,319,311,202,71,78,349 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
802	ザラツキコメヒシバ(仮称) <i>Digitaria</i> sp.	D	C

【原産】不明 【国内分布】千葉県 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない 絶滅 【形態・生態】多年草? 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
803	ハキダメガヤ <i>Dinebra retroflexa</i> (Vahl) Panz. (syn. <i>Dinebra arabica</i> Jacq.)	D	C

【原産】インド西部～アフリカ東部,南アフリカ? 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 市原市, 極少 絶滅か? 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1931年 【県内侵入】-:1992年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】標本CBM(市原市ちはら台 1992.11.06 BS-47417) 【文献全般】81,238,240,109,285,286,301,317,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
804	コヒメビエ <i>Echinochloa colonum</i> (L.) Link	D	C

【原産】アジア,アフリカ熱帯 【国内分布】九州(奄美,琉球),小笠原では在来種,本州(千葉) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない 絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】310 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,285,286,302,319,311,312,40,202,165 【文献県内】134

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
805	ノゲシバムギ <i>Elymus repens</i> (L.) Gould. var. <i>aristatum</i> Baumg.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 船橋市2カ所, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】220:1953年 【県内侵入】220:平成以前 【影響】310 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,240,109,286,301,312,40,190,202 【文献県内】39

種子植物	イネ科		影響度	緊急度
806	シバムギ	要注意外来生物(緑化植物)	D	C
<i>Elytrigia repens</i> (L.) Desv. ex Nevski				

【原産】地中海沿岸 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】分布度a 船橋市 八千代市 富浦町, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210,220:明治 【県内侵入】210,220:明治～昭和30年代 【影響】310,123 トウモロコシへのアレロパシー 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,232,241,238,240,60,109,285,286,302,317,319,311,312,40,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科		影響度	緊急度
807	シナダレスズメガヤ	要注意外来生物(緑化植物), 生態学会100	B	B
<i>Eragrostis curvula</i> (Schrad.) Nees				

【原産】南アフリカ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏?秋 【国内侵入】131:昭和初期 【県内侵入】131:昭和30年代後半以降 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,222,238,239,240,60,109,272,285,317,319,311,312,326,40,190,202,71,165,82,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	イネ科		影響度	緊急度
808	ノハラカゼクサ		D	C
<i>Eragrostis intermedia</i> Hitch.				

【原産】北米南部 【国内分布】本州(神奈川,千葉) 【県内分布】分布度a 市原市, 少ない 絶滅か? 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏?秋 【国内侵入】210:1986年以前 【県内侵入】210:1992年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,109,286,40,202,349 【文献県内】39

種子植物	イネ科		影響度	緊急度
809	スズメガヤ		D	C
<i>Eragrostis minor</i> Host. (syn. <i>Eragrostis cilianensis</i> (All.) F.T.Hubb.)				

【原産】ユーラシア (広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 少ない 現在はほとんどみられない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:1928年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,238,240,109,285,286,301,317,312,40,190,202,78 【文献県内】39

種子植物	イネ科		影響度	緊急度
810	コスズメガヤ		C	C
<i>Eragrostis poaeoides</i> P.Beauv.				

【原産】ユーラシア (広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 中程度 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】210:明治以降 【県内侵入】210:明治～昭和30年代 【影響】310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,326,40,190,202,71,78,165,344 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
811	シナダレスズメガヤモドキ(仮称) <i>Eragrostis</i> sp.	D	B

【原産】不明 【国内分布】本州(千葉) 【県内分布】分布度b 各地に散在, 多い 河原 空き地に砂防用に植栽される 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】131:1990年代 【県内侵入】131:1990年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
812	コバンソウモドキ <i>Eragrostis superba</i> Peyr.	D	C

【原産】アフリカ 【国内分布】本州(山梨県,千葉県) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 極少 絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:1953年 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】301,319,311,312,40,202,349 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
813	ヌカカゼクサ <i>Eragrostis tenella</i> (L.) P.Beauv. ex Roem. et Schult.	D	C

【原産】アジア熱帯,亜熱帯 【国内分布】本州,九州(宮崎) 【県内分布】分布度a 千葉市川崎鉄工所内 船橋市旭町, 極少 絶滅か? 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏?秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1950年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】238,240,272,285,286,301,319,311,312,326,40,202,78,349,344 【文献県内】134,K.O.1956.第20回さく葉展.千葉生物誌6 (1):20.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
814	ベニスズメガヤ <i>Eragrostis unioides</i> (Retz.) Nees ex Steud.	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】本州(千葉) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 極少 絶滅 【形態・生態】1~多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】250:1999年 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】312 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
815	チャボウシノシッペイ <i>Eremochloa ophiuroides</i> (Munro) Hach.	C	C

【原産】東南アジア,中国南部,台湾 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 各地に散在, 極多 芝生につかわれる 有るところには群落になる 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎による栄養繁殖,種子:重散 :秋 【国内侵入】131:- 【県内侵入】131:2000年頃 【影響】150 【緊急】緑化用から増える 【対策】公共事業などにおける管理区域外への逸出監視と防止,方針策定 【備考】- 【文献全般】232,109,286,317,319,311,326,40,202,71,349 【文献県内】39,長谷川義人.2003.千葉県のチャボウシノシッペイ.千葉県植物誌資料19:148.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
816	ムラサキノキビ <i>Eriochloa procera</i> (Retz.) O.E.Hubb.	D	C

【原産】熱帯アジア, アフリカ, オーストラリア 【国内分布】本州(小笠原, 名古屋), 九州(琉球) 【県内分布】分布度a 市川市 日本毛織 船橋市旭町, 少ない 絶滅 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】250,250:1955年以前 【県内侵入】250,250園芸用土のヤシマットから, 毛織り工場から:1955年 【影響】- 【緊急】- 【対策】異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 逸出監視と防止, 輸入時に熱をかける等の侵入防止, 県内土壌で育苗する, 輸送時の洗浄, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:市川市 1955.9.10 【文献全般】286,301,312,40,165 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	要注意外来生物(緑化植物), 生態学会100	影響度	緊急度
817	オニウシノケグサ <i>Festuca arundinacea</i> Schreb.		B	B

【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】160:昭和 【県内侵入】160:明治～昭和30年代 【影響】240,150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,222,238,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,78,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
818	ウシノケグサ <i>Festuca ovina</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア, 北米 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州(在来) 【県内分布】分布度b 千葉県のはおそらく帰化品 全域, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】210:日本原産 【県内侵入】-:明治(国内帰化) 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】千葉県のものは逸出 【文献全般】94,240,109,272,301,332,165 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
819	ヒロハウシノケグサ <i>Festuca pratensis</i> Huds.	B	B

【原産】ユーラシア北部 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】160:明治～昭和30年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】オニウシノケグサとの交雑品が良くつかわれるようになっている 【文献全般】81,94,222,238,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,71,165,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
820	オオウシノケグサ <i>Festuca rubra</i> L.	C	C

【原産】北半球の温帯?亜寒帯 【国内分布】北海道, 本州(在来), 四国, 九州 【県内分布】分布度c 千葉県のはおそらく帰化品 全域, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒, 地下茎による栄養繁殖, 種子:風散:夏 【国内侵入】160:- 【県内侵入】160:明治～昭和30年代 【影響】150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,240,109,272,285,286,301,317,312,40,71,165 【文献県内】213,269,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
821	ムカゴオオウシノケグサ <i>Festuca rubra</i> L. form. <i>vivipara</i> L. Kawano - <i>Festuca vivipara</i> (L.) Sm.	C	C

【原産】北半球の亜寒帯 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 千葉県のはおそらく帰化品, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎・珠芽による栄養繁殖,種子:風散:夏 【国内侵入】160,210:- 【県内侵入】160,210: 明治～昭和30年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,286,301,312,202 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
822	ハリノホ <i>Hainardia cylindrica</i> (Willd.) Greuter	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 安房郡 富津市, 少ない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:水散:初夏 【国内侵入】210:1959年 【県内侵入】210:1950年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,238,240,109,286,301,311,312,40,71,349,344 【文献県内】39,田村正道.1959.安房郡各駅における帰化植物の研究.千葉生物誌8(3):59-63

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
823	シラゲガヤ <i>Holcus lanatus</i> L.	D	C

【原産】欧州,西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 少ない 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏 【国内侵入】-:1905年以前 【県内侵入】-:1974年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:平塚市博収蔵標本(船橋市小室 1974.6.2 平塚市博標本46213) 【文献全般】81,94,232,222,238,239,240,60,109,272,285,279,301,317,319,311,312,40,190,202,71,78,165,349,344 【文献県内】269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
824	ニセシラゲガヤ <i>Holcus mollis</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 富里市,野田市, 極少 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏 【国内侵入】210:1984年 【県内侵入】210:1991年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(印旛郡富里町中沢 1991.07.03 BS-60838) 【文献全般】81,232,241,109,285,317,319,311,40,349 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
825	ヤバネムギ <i>Hordeum distichon</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア (広域)オオムギの改良種 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】分布度a 船橋市 八街市, 少ない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散 :初夏 【国内侵入】110: 明治以降?ビールの原料 【県内侵入】110: 明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,109,286,301,312,40,202,165 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
826	ホソノゲムギ <i>Hordeum jubatum</i> L.	D	C

【原産】東アジア～北米(広域) 【国内分布】北海道,本州(群馬 千葉) 【県内分布】分布度a 船橋市日の出町, 少ない 【形態・生態】1年草(原産地では多年草) 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:明治以降 【県内侵入】210:1968年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:1968.7.17 【文献全般】81,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,202,349,344 【文献県内】39,34,吉川代之助.1969.千葉県船橋港に上陸したホソノゲムギ.植物採集ニュース(42):44.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
827	ムギクサ <i>Hordeum murinum</i> L.	C	C

【原産】欧州,西アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 中程度 【形態・生態】1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:1868年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,232,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,40,202,71,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
828	オオムギクサ <i>Hordeum murinum</i> L. subsp. <i>leporinum</i> (Link) Arcang.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】本州(福島) 【県内分布】分布度a 富里市,八街市, 少ない? 【形態・生態】1～2年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:明治以降 【県内侵入】210:2000年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:八街市 2000.5.9 今井正臣 【文献全般】286,319,312,40,202,349 【文献県内】237,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
829	タイワンアイアシ <i>Ischaemum rugosum</i> Salisb.	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】琉球在来 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない 絶滅 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250園芸用土のヤシマツトから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】侵入確認:船橋市 1999.10.22 【文献全般】240,71 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
830	ウサギノオ <i>Lagurus ovatus</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 館山市 八千代市, 中程度 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】161:1975年 【県内侵入】161:1988年 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:観察記録(館山市船形 1988.5.29 山井廣氏資料目録) 【文献全般】232,109,285,286,301,317,319,311,312,40,331,332,202,165,349 【文献県内】39,34,伊藤至.1975.安房白浜でウサギガヤ採集.植物採集ニュース(82):86.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
831	ハマガヤ <i>Leptochloa fusca</i> (L.) Kunth (syn. <i>Diplachne fusca</i> (L.) P.Beauv.)	D	C
【原産】アジア～アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 全域海岸部, 中程度 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:水散:秋 【国内侵入】250:1903年 【県内侵入】250:1934年 【影響】150 280 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】標本CBM(長生郡一松村驚海岸 1934.07.15 BS-1690) 【文献全般】232,241,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,40,202,165,349,344 【文献県内】39,34			

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
832	ニセアゼガヤ <i>Leptochloa uninervia</i> (C. Presl) Hitchc. et Chase.	D	C
【原産】北米, 南米 【国内分布】本州(愛知, 神奈川) 【県内分布】分布度a 船橋市, 少ない 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:水散:秋 【国内侵入】250:1962年 【県内侵入】250:1989年 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能なかぎり外来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:船橋市1989.11.5 別名ニブイロアゼガヤ 【文献全般】109,285,286,301,317,319,312,40,202,349 【文献県内】39, 木村陽子.1989. 船橋市・海浜公園の帰化植物3種. 千葉生物誌39(1):32-33.			

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
833	ハマニンニク <i>Leymus mollis</i> (Trin.) Pilger		C	C
【原産】千島, サハリン, 北米 日本 【国内分布】北海道, 本州, 九州(在来) 【県内分布】分布度b 全域海岸部, 多い 【形態・生態】多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:夏 【国内侵入】133:- 【県内侵入】133 千葉県では砂防用の植栽からの逸出:1950年代 【影響】121,141(在来系統あり) 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける地域個体群の遺伝的多様性を保持した種苗の植栽, 方針策定 【備考】九十九里浜に砂防用に植えられたものから逸出している. 海上郡銚子町犬吠 1929.5.1の標本は自生品か? 【文献全般】240,272,301,312,40,165 【文献県内】39,34				

種子植物	イネ科	要注意外来生物(緑化植物)	影響度	緊急度
834	ネズミムギ <i>Lolium multiflorum</i> Lam.		B	B
【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全域, 中程度?多い 【形態・生態】冬緑・1～2年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:初夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】160:明治～昭和30年代 【影響】240 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34				

種子植物	イネ科	要注意外来生物(緑化植物)	影響度	緊急度
835	ホソムギ <i>Lolium perenne</i> L.		B	B
【原産】ユーラシア(広域) 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全域, 中程度 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:初夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】160:明治～昭和30年代 【影響】240,120,150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】花粉症(参天製薬ホームページより) 【文献全般】81,94,222,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,326,40,202,71,78,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34				

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
836	ボウムギ <i>Lolium rigidum</i> Gaudin subsp. <i>lepturoides</i> (Boiss.) Sennen et Mauricio	C	C
【原産】ユーラシア（広域）【国内分布】本州, 四国, 九州【県内分布】分布度b 全域の沿海地, 中程度【形態・生態】冬緑・1年草【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:夏【国内侵入】210:1931年【県内侵入】210:昭和30年代後半以降【影響】121【緊急】-【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり【備考】-【文献全般】81, 94, 222, 238, 240, 60, 109, 285, 286, 301, 317, 319, 311, 40, 202, 71, 78, 349, 344【文献県内】39, 34			

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
837	ドクムギ <i>Lolium temulentum</i> L.	C	C
【原産】欧州【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州【県内分布】分布度b 湾岸部に散在, 中程度【形態・生態】冬緑・1年草【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:初夏【国内侵入】210:明治【県内侵入】210:明治～昭和30年代【影響】210(果実に毒性のある菌がつく)【緊急】-【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり【備考】-【文献全般】81, 232, 241, 222, 238, 240, 60, 285, 286, 301, 319, 311, 312, 40, 202, 71, 78, 165, 349, 344【文献県内】39, 34			

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
838	ネズミホソムギ <i>Lolium x hybridum</i> Hausskn	B	B
【原産】ユーラシア（広域）ホソムギとネズミムギの交配種【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州【県内分布】分布度c 全域, 中程度?多い【形態・生態】冬緑・1年草【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:初夏【国内侵入】160:明治【県内侵入】160:昭和30年代後半以降【影響】150【緊急】-【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり【備考】-【文献全般】232, 241, 238, 109, 286, 301, 317, 312, 40, 190, 202【文献県内】214, 39			

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
839	コネズミガヤ <i>Muhlenbergia schreberi</i> J.F.Gmel.	D	C
【原産】北米【国内分布】本州【県内分布】分布度a 佐倉市 鴨川市, 中程度【形態・生態】夏緑・多年草【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:秋【国内侵入】220:1929年【県内侵入】220:1997年【影響】121【緊急】種子からも発芽率が高い【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定【備考】標本CBM(鴨川市平塚愛宕山 1997.10.31 BS-153793)【文献全般】238, 239, 240, 109, 286, 301, 317, 319, 311, 312, 40, 202, 78, 165, 349, 344【文献県内】39			

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
840	ハナクサキビ <i>Panicum capillare</i> L.	D	C
【原産】北米【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州【県内分布】分布度a 銚子市ヤマサ醤油工場 浦安市, 極少【形態・生態】夏緑・1年草【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:秋【国内侵入】210, 220:1955年【県内侵入】211, 220輸入大豆から:1954年【影響】-【緊急】-【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定【備考】侵入確認:銚子市ヤマサ醤油工場 1954.8.25【文献全般】81, 232, 241, 222, 238, 240, 60, 109, 285, 286, 301, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 349, 344【文献県内】98, 39, 34			

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
841	オオクサキビ <i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	C	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】220:1927年 【県内侵入】-:明治～昭和30年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,263,269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
842	ニコゲヌカキビ <i>Panicum lanuginosum</i> Ell.	D	C

【原産】北米 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 北総 君津市, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】210:1940年 【県内侵入】210:1991年 【影響】121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(印旛郡富里町金堀 1991.07.09 BS-60878) 【文献全般】81,238,240,109,286,301,317,311,312,326,40,202,78,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
843	キビ <i>Panicum miliaceum</i> L.	D	C

【原産】インド 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 佐倉市 我孫子市 成東町, 極少 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】110:奈良以前 【県内侵入】110:明治～昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,240,109,272,301,317,326,332,165 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
844	ヒゲギネアキビ(仮称) <i>Panicum</i> sp.	D	C

【原産】学名未詳につき不明 【国内分布】本州(千葉) 【県内分布】分布度a 八千代市, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:秋 【国内侵入】210:1999年 【県内侵入】210:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:八千代市 1999.08.20 【文献全般】312 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
845	スズメノナギナタ <i>Parapholis incurva</i> (L.) C. E. Hubb.	C	C

【原産】欧州 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 千葉市 船橋市など東京湾海岸部 鴨川市 館山市, 多い 【形態・生態】1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】250:1988年 【県内侵入】250:1988年 【影響】121 【緊急】- 【対策】可能な限り在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:千葉中央港 1988年 【文献全般】109,286,301,319,311,312,40,202,349 【文献県内】39,133,265,266

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
846	オガサワラスズメノヒエ <i>Paspalum conjugatum</i> Bergius	D	C

【原産】新世界の熱帯 【国内分布】本州(千葉県),九州(琉球) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:船橋市 1999.09.30 【文献全般】240,285,286,317,326,71,165 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
847	シマスズメノヒエ <i>Paspalum dilatatum</i> Poir.	B	C

【原産】南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 少ない?中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1915年 【県内侵入】210:明治~昭和30年代 【影響】150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】熱帯では牧草として栽培される 【文献全般】94,232,241,222,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,326,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	イネ科	要注意外来生物(緑化植物)	影響度	緊急度
848	キシウスズメノヒエ <i>Paspalum distichum</i> L.		B	B

【原産】熱帯(広域) 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 極多 【形態・生態】夏緑・抽水多年草 【繁殖】花粉:風媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1924年 【県内侵入】210:昭和30年代後半以降 【影響】150 280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,241,222,238,240,60,101,109,272,285,286,301,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
849	チクゴスズメノヒエ <i>Paspalum distichum</i> L. var. <i>indutum</i> Shinners	B	B

【原産】北米南部 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度b 北総,九十九里平野, 多い 【形態・生態】夏緑・抽水多年草 【繁殖】花粉:風媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】210:戦後 【県内侵入】210:1986年 【影響】150 280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(栄町北 1986.10.10 BS-057898) 【文献全般】94,240,60,101,109,285,286,317,319,311,312,202,71,349,344 【文献県内】214,39,土屋守.1990.埼玉県と千葉のチクゴスズメノヒエ.水草研究会会報(35):13.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
850	アメリカスズメノヒエ <i>Paspalum notatum</i> Flgge	C	C

【原産】熱帯米,南米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1969年 【県内侵入】-:昭和30年代後半以降 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】牧草として 【文献全般】94,232,241,239,240,60,109,285,286,301,319,311,312,326,40,202,71,349,344 【文献県内】214,269,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
851	スズメノコビエ <i>Paspalum scrobiculatum</i> L.	D	C

【原産】旧世界の熱帯 【国内分布】本州(東海地方以西 千葉県), 四国, 九州在来 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない
 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】-: 日本原産 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止, 県内土壌で育苗する, 輸送時の洗浄, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:船橋市 1999.9.30 【文献全般】240,272,301,165 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
852	タチスズメノヒエ <i>Paspalum urvillei</i> Steud.	C	C

【原産】南米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 主として南総・安房に分布 分布拡大傾向, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】210:1958年 【県内侵入】210:1985年 【影響】150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(鴨川市前原 1985.09.07 BS-058384) 【文献全般】94,232,241,222,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,312,326,40,202,71,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
853	シロガネチカラシバ <i>Pennisetum villosum</i> Fresen.	D	C

【原産】アフリカ?アラビア半島 【国内分布】本州(千葉県が日本新産) 【県内分布】分布度a 市川市妙典, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草原産地では多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:秋 【国内侵入】220:2001年 【県内侵入】220植え込み花壇から:2001年 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】「ギンギツネ」観賞用としても栽培される. 侵入確認:市川市 2001.10.11 【文献全般】- 【文献県内】134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
854	コササガヤ <i>Perotis indica</i> (L.) Kuntze	D	C

【原産】熱帯?亜熱帯アジア 【国内分布】本州(千葉) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 少ない 【形態・生態】夏緑・1年草-多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:着散:秋 【国内侵入】250:1999年 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止, 県内土壌で育苗する, 輸送時の洗浄, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】侵入確認:船橋市 1999.9.30 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
855	オニクサヨシ <i>Phalaris aquatica</i> L.	D	C

【原産】北アフリカ ヨーロッパ 西アジア 【国内分布】本州(神奈川 千葉) 【県内分布】分布度a 千葉市青葉町造成地, 少ない 造成地に出現したが絶滅 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:初夏 【国内侵入】220:1986年神奈川県横浜市 【県内侵入】220:1998年 【影響】- 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】侵入確認:千葉市 1998.6.2 【文献全般】109,286,317,40,202 【文献県内】39,木村陽子・大場達之.2003.ミノボロモドキとオニクサヨシの帰化.千葉県植物誌資料19:144.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
856	カナリークサヨシ <i>Phalaris canariensis</i> L.	D	C

【原産】欧州,西アジア,シベリア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】110:江戸末期 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】小鳥のえさ 【文献全般】81,94,232,241,238,240,60,109,285,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】263,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
857	アレチクサヨシ <i>Phalaris paradoxa</i> L. var. <i>praemorsa</i> (Lam.) Coss. et Dur.	D	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州(千葉) 【県内分布】分布度a 八街市大街道, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:2003年 【県内侵入】210:2003年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】別名:ヒメセトガヤモドキ,侵入確認:八街市 2003.5.26 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子.2004.アレチクサヨシ(イネ科)千葉県に産す.千葉県植物誌資料20:154-155.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
858	ヒメカナリークサヨシ <i>Phalaris minor</i> Retz.	D	C

【原産】ユーラシア (広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 船橋市日の出町 八千代市 市川市, 極少 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】210:昭和初期 【県内侵入】210:1969年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:船橋市 1969.6.1 吉川代之助 HCM52787 【文献全般】81,232,241,238,240,60,109,285,286,301,317,319,311,40,202,78,349,344 【文献県内】39,34,366

種子植物	イネ科	要注意外来生物(緑化植物)	影響度	緊急度
859	オオアワガエリ <i>Phleum pratense</i> L.		C	C

【原産】ユーラシア (広域) 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 中程度 牧草地 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:夏 【国内侵入】-:明治 【県内侵入】-:戦前? 【影響】240花粉症(参天製薬ホームページより) 【緊急】- 【対策】- 【備考】標本CBM(千葉市 1944.05.30 BS-183271) 【文献全般】81,94,232,241,222,238,239,240,60,109,272,285,286,301,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,263,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
860	ホテイチク <i>Phyllostachys aurea</i> Carr. ex A.Riv. et C.Riv.	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全域に希, 少ない 【形態・生態】連緑・中高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:春(栄養繁殖) 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】161:江戸 【影響】150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】タケ亜科は春に開花するが、開花周期が67~120年と長く、栄養繁殖が主 【文献全般】336,109,273,301,317,312,332,165 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
861	タイワンマダケ <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata	C	C

【原産】台湾固有種 【国内分布】希に栽培,逸出 【県内分布】分布度a 八日市場市吉崎浜, 中程度 【形態・生態】連緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:- 【県内侵入】:- 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】336,273,301,317,312 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
862	クロチク <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 散在, 少ない 【形態・生態】連緑・中高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸以前 【県内侵入】:-江戸 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】336,232,273,301,317,312,332,165 【文献県内】240,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
863	ハチク <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf ex Rendle	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 県南部の方が多い, 中程度 【形態・生態】連緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:平安以前 【県内侵入】:-弥生~室町 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】日本在来と中国から持ち込み両方あり 【文献全般】336,232,273,301,317,312,332,165 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
864	モウソウチク <i>Phyllostachys pubescens</i> Mazel ex Houz. de Leh.	C	B

【原産】中国 【国内分布】北海道(函館市以南),本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い?極多 【形態・生態】連緑・高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:江戸 【県内侵入】:-江戸 【影響】150 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】94,336,222,109,273,301,316,312,332,165 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
865	タイミンチク <i>Pleioblastus gramineus</i> (Been) Nakai	D	C

【原産】琉球諸島 【国内分布】本州(関東以西),四国,九州 【県内分布】分布度a 山武郡,安房郡,長生郡, 中程度 【形態・生態】連緑・亜高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:- 【影響】150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,301,332 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
866	カンザンチク <i>Pleiolabastus hindsii</i> (Munro) Nakai	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州(関東地方南部以西), 四国, 九州 【県内分布】分布度a 一宮町, 富津市, 佐倉市, 少ない 【形態・生態】連緑・亜高木 【繁殖】花粉:風媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子:重散:秋 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:- 【影響】150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,301,332 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
867	リュウキュウチク <i>Pleiolabastus linearis</i> (Hackel) Nakai	D	C

【原産】琉球諸島 【国内分布】本州中部以西, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 佐倉市 睦岡村, 少ない 【形態・生態】連緑・亜高木 【繁殖】花粉:風媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子:重散:秋 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,301 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
868	ホソバナガハグサ <i>Poa angustifolia</i> L.	D	C

【原産】ユーラシア (広域) 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 船橋市小室町, 少ない 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子:重散:初夏 【国内侵入】160:- 【県内侵入】160:1998年 【影響】150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(野田市岩名 1998.05.17 BS-238899) 【文献全般】109,286,301,317,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
869	アオスズメノカタビラ <i>Poa annua</i> L. subsp. <i>annua</i>	C	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度c 全域, 少ない?中程度 【形態・生態】冬?連緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:春 【国内侵入】210:明治以降 【県内侵入】210:明治以降 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】213,134,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
870	コイチゴツナギ <i>Poa compressa</i> L.	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道, 本州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】冬緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 地下茎で栄養繁殖, 種子:重散:初夏 【国内侵入】210,220:戦後 【県内侵入】210,220:昭和30年代後半以降 【影響】150 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり, 公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化, 方針策定 【備考】- 【文献全般】81,94,238,240,60,109,286,301,317,319,311,40,202,78,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
871	ミスジナガハグサ <i>Poa humilis</i> Ehrh.	D	C

【原産】ユーラシア（広域）【国内分布】本州【県内分布】分布度a 富津市小久保, 中程度【形態・生態】連緑・多年草【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:初夏【国内侵入】160:-【県内侵入】160:1991年【影響】150【緊急】-【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり【備考】標本CBM(富津市小久保 1991.05.16 BS-150783)【文献全般】94,109,286,312,40,202,349,344【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
872	ナガハグサ <i>Poa pratensis</i> L.	C	C

【原産】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道,本州,四国,九州【県内分布】分布度c 全域, 多い【形態・生態】連緑・多年草【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:初夏【国内侵入】160:明治初期【県内侵入】-:1928年【影響】150,280【緊急】-【対策】-【備考】標本CBM(山武郡成東町 1928.06.05 BS-26437)【文献全般】81,94,232,241,222,238,240,60,272,285,286,301,317,319,311,312,40,190,202,71,165,349,344【文献県内】214,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
873	ケナガハグサ <i>Poa pratensis</i> L. var. <i>hirsata</i> Asch. et Graebn.	D	C

【原産】欧州【国内分布】本州【県内分布】分布度a 船橋市古和釜町, 少ない【形態・生態】連緑・多年草【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:初夏【国内侵入】160:-【県内侵入】160:2000年【影響】150【緊急】-【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり【備考】標本CBM(船橋市古和釜町 2000.05.22 BS-180263)【文献全般】94,109,312,202,165,349【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
874	オオスズメノカタビラ <i>Poa trivialis</i> L.	C	C

【原産】欧州～西アジア【国内分布】北海道,本州,四国,九州【県内分布】分布度c 全域, 中程度【形態・生態】冬緑・多年草【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:初夏【国内侵入】210:明治以降【県内侵入】210:明治～昭和30年代【影響】150【緊急】-【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり【備考】-【文献全般】81,94,232,238,240,60,109,285,286,319,311,312,40,202,165,349,344【文献県内】214,39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
875	タマオオスズメノカタビラ <i>Poa trivialis</i> L. form. <i>bulbifera</i> prov.	D	C

【原産】欧州～西アジア【国内分布】本州【県内分布】分布度a 船橋市, 中程度【形態・生態】冬緑・多年草【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:初夏【国内侵入】210:-【県内侵入】210:2001年【影響】150【緊急】-【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり【備考】侵入確認:船橋市 2001.05.18【文献全般】286,40【文献県内】213,39

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
876	ヤダケ		C	C
<i>Psuedosasa japonica</i> (Siebold et Zucc. ex Steud.) Makino				

【原産】日本,朝鮮南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い?極多 【形態・生態】連緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:夏 【国内侵入】-:- 【県内侵入】100:弥生~室町 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】本州,四国,九州に在来 【文献全般】336,273,301,332 【文献県内】39

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
877	ミノボロモドキ		D	C
<i>Rostraria cristata</i> (L.) Tsvet.				

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 君津市を中心とした内房沿岸部, 中程度-多い 【形態・生態】- 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】220:1932年 【県内侵入】220:1997年 【影響】150 【緊急】- 【対策】公共事業などにおける緑化植物の品質チェック強化,方針策定 【備考】侵入確認:袖ヶ浦市 1997.05.17 【文献全般】241,238,240,60,109,285,286,317,319,311,312,40,202,78,165,349,344 【文献県内】39,木村陽子・大場達之.2003.ミノボロモドキとオニクサヨシの帰化.千葉県植物誌資料19:144.

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
878	オクヤマザサ		D	C
<i>Sasa cernua</i> Makino				

【原産】樺太,北朝鮮,北海道,本州北部 【国内分布】北海道,本州北部は在来 【県内分布】分布度a 鴨川市,佐倉市,山武町, 中程度 【形態・生態】連緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:春 【国内侵入】-:- 【県内侵入】161:- 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,301 【文献県内】39

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
879	チマキザサ		D	C
<i>Sasa palmata</i> (Muhl.) Nakai				

【原産】北海道,本州(日本海側);樺太,千島 【国内分布】北海道,本州(在来) 【県内分布】分布度a 佐倉市, 中程度 【形態・生態】連緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:春?夏 【国内侵入】-:- 【県内侵入】161:江戸 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,301,332 【文献県内】39

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
880	クマザサ		C	C
<i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehder				

【原産】京都府の山地 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 多い 【形態・生態】連緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:春 【国内侵入】-:- 【県内侵入】161:江戸 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,301,332 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
881	ナリヒラダケ	D	C
<i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mittf.) Makino			

【原産】本州西南部原産 【国内分布】関東地方以西で栽培 【県内分布】分布度a 南部, 中程度 【形態・生態】連緑・小高木
 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:秋?春 【国内侵入】161:江戸以前 【県内侵入】161:江戸 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,273,301,332 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
882	ビゼンナリヒラ	D	C
<i>Semiarundinaria okudoi</i> Makino			

【原産】岡山県? 【国内分布】関東地方以西で栽培,四国,九州 【県内分布】分布度a 清澄山, 中程度 【形態・生態】連緑・小高木
 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:不明 【国内侵入】-:- 【県内侵入】161:- 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,301 【文献県内】39

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
883	ヤシャダケ		D	C
<i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino				

【原産】日本原産だがはっきりとした産地は不明 【国内分布】本州以南,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度a 清澄山, 中程度
 【形態・生態】連緑・小高木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:不明 【国内侵入】-:- 【県内侵入】161:- 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,301 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
884	フシネキンエノコロ	C	B
<i>Setaria gracilis</i> Kunth			

【原産】熱帯 【国内分布】本州(関東以南?) 【県内分布】分布度a 大多喜町中野ほか, 中程度 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:- 【県内侵入】-:2009年 【影響】121 【緊急】- 【対策】- 【備考】標本CBM(大多喜町中野 2009.8.18 BS-282541).学名は検討の余地がある 【文献全般】240,109,286,317,312,40,202,71 【文献県内】天野誠.2009.ついにフシネキンエノコロが千葉県で見つかった.いすみ大多喜植物調査通信5:1.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
885	イヌエノコロ	D	C
<i>Setaria x decipiens</i> Schimp.			

【原産】欧州 【国内分布】本州(千葉県),九州 【県内分布】分布度a 富里市, 極少 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】-:戦後 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】エノコログサとザラツキエノコログサとの雑種. 【文献全般】222,319,311,349 【文献県内】237,木村陽子.2007.イヌエノコロ(イネ科)が千葉県で記録.千葉県植物誌資料22:190-191.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
886	ムラサキオオエノコロ <i>Setaria x pycnocomma</i> (Steud.) Henrard ex Nakai form.	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】分布度a 全域(時折), 極少 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋
【国内侵入】210:明治～昭和30年代 【県内侵入】210:- 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
887	オオエノコロ <i>Setaria x pycnocomma</i> (Steud.) Henrard ex Nakai	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】夏緑・中一年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:明治 【県内侵入】210:明治～昭和30年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,301 【文献県内】39

種子植物	イネ科	国内外来生物	影響度	緊急度
888	オカメザサ <i>Shibataea kumasasa</i> (Zoll.) Makino		C	C

【原産】日本西南 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 全域, 中程度 【形態・生態】連緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:希に初夏 【国内侵入】-:- 【県内侵入】161:江戸 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】273,301,332 【文献県内】39,34

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
889	セイバンモロコシ <i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers.	B	B

【原産】旧世界の熱帯?亜熱帯 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 中程度 牧草 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】110:1943年 【県内侵入】110:1943年 【影響】280 ススキ草地の破壊 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】ヒメモロコシも含む. 1943年千葉県三里塚が日本新産 【文献全般】94,232,109,285,286,317,312,326,40,202,71,78,165 【文献県内】214,263,269,39,久内清孝.1947.セイバンモロコシの帰化.植物研究雑誌21:142.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
890	イヌシバ <i>Stenotaphrum secundatum</i> Kuntze	D	C

【原産】北米南部～南米 【国内分布】本州(千葉),九州 【県内分布】分布度a 和田町, 中程度 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,匍匐枝で栄養繁殖,種子:重散:秋 【国内侵入】131:1956年 【県内侵入】-:1998年 【影響】121 【緊急】- 【対策】- 【備考】アメリカでは芝生として栽培. 標本CBM(和田町花園 1998.10.14 BS-161268) 【文献全般】238,240,60,286,299,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
891	シホウチク <i>Tetragonoclamus angulatus</i> (Munro) Nakai	D	C

【原産】中国四川省峨眉山,台湾は持ち込まれた 【国内分布】本州(関東地方以西),四国,九州 【県内分布】分布度a 県南部に散在, 少ない 【形態・生態】連緑・低木 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:不明 【国内侵入】-:120 【県内侵入】161:江戸 【影響】150 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】タケノコは10月 【文献全般】336,273,301,317,312,332,165 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
892	ナギナタガヤ <i>Vulpia myuros</i> (L.) K.C.Gmel.	B	C

【原産】欧州～西アジア 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全域, 極多 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】160:明治～昭和30年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】81,94,232,241,222,238,240,60,109,285,286,317,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
893	オオナギナタガヤ <i>Vulpia myuros</i> (L.) K.C.Gmel. var. <i>megalura</i> (Nutt.) Rydb.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 富里町,袖ヶ浦市 など, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:明治 【県内侵入】160:昭和30年代後半以降 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,238,240,60,109,285,286,317,319,311,40,202,78,165,349,344 【文献県内】214,39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
894	ムラサキナギナタガヤ <i>Vulpia octoflora</i> (Walt.) Rydb.	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 佐倉市 袖ヶ浦市, 少ない 【形態・生態】冬緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:風散:初夏 【国内侵入】160:1937年以降 【県内侵入】-:明治～昭和30年代 【影響】150,280 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】232,241,238,240,60,285,286,319,311,312,40,202,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
895	コウシュンシバ <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr.	D	C

【原産】九州,琉球,小笠原,東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全域, 極多(芝地) 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:初夏 【国内侵入】161:- 【県内侵入】161:明治～昭和30年代 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】240,272,312,40,332 【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
896	コウライシバ <i>Zoysia pacifica</i> (Goudwaard) M.Hotta et S.Kuroki	D	C

【原産】九州南部,琉球,台湾,中国南部,東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 全域, 極多(芝地) 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散:初夏 【国内侵入】161:日本原産 【県内侵入】161:明治 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】240,312 【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度
897	ネズミウシノケグサ(仮称) <i>x Festulolium braunii</i> (K.Richter) A.Camus	D	C

【原産】ユーラシア 【国内分布】本州(千葉県のみ) 【県内分布】分布度a 千葉市青葉町生態園, 少ない 絶滅 【形態・生態】1-2年草と多年草との雑種なので多年草? 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:初夏 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:1989年 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】侵入確認:1989.5 千葉市青葉町. ヒロハウシノケグサかオオウシノケグサとネズミムギの属間雑種 【文献全般】- 【文献県内】大場達之.1989.生態園今のみどころ-ムギの秋-No.13.

種子植物	ヤシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
898	シュロ <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H.Wendl.		B	B

【原産】中国,九州南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 中程度 【形態・生態】常緑・高木 【繁殖】花粉:虫媒,種子:食散:秋 【国内侵入】161:江戸以前 【県内侵入】161:1937年以前 【影響】121,280 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,336,232,222,109,273,300,302,326 【文献県内】214,39,34

種子植物	サトイモ科	影響度	緊急度
899	ムサシアブミ <i>Arisaema ringens</i> (Thunb.) Schott	D	C

【原産】関東以南の暖地,千葉県のは逸出? 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 富里市, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,塊茎で栄養繁殖,種子:食散:秋 【国内侵入】自生:日本原産 【県内侵入】161:1995年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】109,272,312,332 【文献県内】39

種子植物	サトイモ科	影響度	緊急度
900	サトイモ <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】北海道,本州,四国,九州(栽培) 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,塊茎で栄養繁殖,種子:食散:秋 【国内侵入】110:縄文(栽培) 【県内侵入】110:弥生~室町 【影響】- 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】286,316,312,332 【文献県内】39

種子植物	サトイモ科		影響度	緊急度
901	ボタンウキクサ	特定外来生物, 生態学会100	A	A
	<i>Pistia stratiotes</i> L.			

【原産】熱帯アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・浮遊多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 匍匐枝で栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】163: 1887年以前 【県内侵入】163: 1995年以前 【影響】121, 120, 350 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】232, 60, 109, 285, 286, 301, 317, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 71, 349 【文献県内】39

種子植物	サトイモ科		影響度	緊急度
902	オランダカイウ		C	C
	<i>Zantedeschia aethiopica</i> Spreng.			

【原産】南アフリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州(栽培) 【県内分布】分布度a 北総に散在, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 虫媒, 塊茎で栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】161: 江戸 【県内侵入】161: 2003年以前 【影響】280, 350 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】286, 312, 332 【文献県内】39

種子植物	ウキクサ科		影響度	緊急度
903	イボウキクサ		D	C
	<i>Lemna gibba</i> L.			

【原産】欧州 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】分布度a 袖ヶ浦市, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 水媒, 茎葉体の分裂で栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】210: 1974年以前 【県内侵入】210: 2000年以前 【影響】310, 121 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】239, 60, 101, 109, 285, 286, 301, 319, 311, 312, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39

種子植物	ウキクサ科		影響度	緊急度
904	ヒナウキクサ		B	B
	<i>Lemna miniscula</i> Herter			

【原産】北米 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 富里市, 佐倉市, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 水媒, 茎葉体の分裂で栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】210: 1965年以前 【県内侵入】210: 1982年以前 【影響】121, 310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】239, 60, 101, 109, 286, 301, 319, 311, 312, 326, 40, 202, 349, 344 【文献県内】39, 大滝末男. 1981. 印旛沼にヒメウキクサの大繁殖を見る. 水草研究会会報(6): 10-11.

種子植物	ウキクサ科		影響度	緊急度
905	コウキクサ		C	C
	<i>Lemna minor</i> L. (s.l.)			

【原産】南米を除く全世界 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度b 北総に散在, 極多 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉: 水媒, 茎葉体の分裂で栄養繁殖, 種子: 水散: 秋 【国内侵入】210: 日本原産? 【県内侵入】210: 1975年以前 【影響】121, 310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】101, 272, 165 【文献県内】39, 34

種子植物	ウキクサ科	影響度	緊急度
906	ヒメウキクサ <i>Spirodela punctata</i> (G.F.W.) Thomson	A	B

【原産】オーストラリア, アフリカ南部, 東アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 君津市亀山湖, 極多 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:水媒, 茎葉体の分裂で栄養繁殖, 種子:水散:秋 【国内侵入】110:日本原産? 【県内侵入】110:2009年以前 【影響】121,310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,239,101,272,285,286,302,312,40,202 【文献県内】-

種子植物	ウキクサ科	影響度	緊急度
907	ミジンコウキクサ <i>Wolffia globosa</i> (Roxb.) Hartog et Plas	C	C

【原産】欧州南部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 各地に散在, 極多 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:水媒, 茎葉体の分裂で栄養繁殖, 種子:水散:秋 【国内侵入】210:1938年 【県内侵入】210:1975年以前 【影響】121,310 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出監視と防止, 適切な除草の徹底, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】94,232,239,60,101,272,285,286,301,319,311,312,326,40,202,71,78,165,349,344 【文献県内】214,39,34

種子植物	ガマ科	影響度	緊急度
908	モウコガマ <i>Typha laxmannii</i> Lepech.	B	B

【原産】ユーラシア (広域) 【国内分布】本州 【県内分布】分布度a 芝山町, 少ない 【形態・生態】夏緑・挺水多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:風散:夏〜秋 【国内侵入】161:1990年代? 【県内侵入】161:1995年以前 【影響】121 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報, 販売規制などの検討, 管理区域外への遺棄防止, 栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】101,109,286,319,312,40,202 【文献県内】236,39,折目庸雄・大場達之.1996.モウコガマが芝山町に現れた.千葉県植物誌資料 9:55-56.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
909	オオハタガヤ <i>Bulbostylis puberula</i> (Poir.) Clarke	D	C

【原産】熱帯アジア, アフリカ 【国内分布】本州(千葉県のみ) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 一時的, 極少(消滅) 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能な限り在来品種を使う, 異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり, 管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】213

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
910	アメリカヤガミスゲ <i>Carex scoparia</i> Schkuhr	C	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州 【県内分布】分布度a 非常にまれ, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒, 種子:重散:春 【国内侵入】200:1980年代 【県内侵入】200:2002年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄, 工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】286,312,40 【文献県内】214

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
911	ナガバアメリカミコシガヤ <i>Carex vulpinoidea</i> Michx.	C	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】神奈川,北海道,宮城,栃木,埼玉,愛知,岡山,福岡 【県内分布】分布度a 印西市,印旛沼畔の湿地
 【形態・生態】多年生草本.夏緑.地下茎は伸ばさない.外形はミコシガヤに似る 【繁殖】花粉:風媒,種子:自散 【国内侵入】-:1992年以前 【県内侵入】-:2010年以前 【影響】休耕田で発見 【緊急】- 【対策】抜き取り 【備考】標本CBM(BS300785,BS300786等)
 【文献全般】285 【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
912	シュロガヤツリ <i>Cyperus alternifolius</i> L.	D	C

【原産】マダガスカル島 【国内分布】本州,四国,九州,琉球,小笠原 【県内分布】分布度a 各地に散在, 少ない 【形態・生態】常緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:水散:夏〜秋 【国内侵入】161,300:- 【県内侵入】161:明治〜昭和30年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】-
 【文献全般】232,241,60,109,272,285,286,317,319,311,312,326,40,61,71,165,349 【文献県内】39

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
913	ナガミイッスンガヤツリ <i>Cyperus castaneus</i> Willd.	D	C

【原産】東南アジア,インド,北オーストラリア 【国内分布】千葉県のみ 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 極少(一時的,消滅)
 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:春〜秋 【国内侵入】250(園芸用のヤシマツから):- 【県内侵入】250:1999年のみ 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子・大場達之・須賀はる子.2007.船橋市に一時帰化したクルマバヒメクグヒメナンヨウガヤツリナガミイッスンガヤツリ(新称).千葉県植物誌資料23:207-209.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
914	ユメノシマガヤツリ <i>Cyperus congestus</i> (Vahl) C.B.Clarke	B	B

【原産】アフリカ南部,オーストラリア 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 各地に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏〜秋 【国内侵入】200:1980年頃 【県内侵入】200:昭和30年代後半以降 【影響】121 【緊急】-
 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】60,109,285,286,311,312,40,202,349,344 【文献県内】214,39,大野景徳・木村陽子.1996.千葉県内に広がるユメノシマガヤツリ.千葉県植物誌資料7:42-43.,大野景徳・木村陽子・倉俣武男.1996.千葉県内に広がるユメノシマガヤツリ続報.千葉県植物誌資料8:54.

種子植物	カヤツリグサ科	国RDB:CR	影響度	緊急度
915	ホウキガヤツリ <i>Cyperus distans</i> L.f.		D	C

【原産】熱帯 【国内分布】四国,本州(千葉),琉球 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 極少(一時的,消滅) 【形態・生態】夏緑・多年草
 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏〜秋 【国内侵入】200,300:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマツから:1999〜2000年
 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子.2006.ホウキガヤツリの一時的帰化.千葉県植物誌資料21:184-185.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
916	ホソミキンガヤツリ <i>Cyperus engelmannii</i> Steud.	B	B

【原産】北米 【国内分布】本州,小笠原 【県内分布】分布度b 横芝光町,佐倉市,野田市,館山市,佐原市,柏市,印西市,神崎町,山武市, 中程度 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散,水散:秋 【国内侵入】200:1980年代 【県内侵入】200:1980年代? 【影響】310 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】標本CBM 【文献全般】109,286,312,40,202 【文献県内】214

種子植物	カヤツリグサ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
917	メリケンガヤツリ <i>Cyperus eragrostis</i> Lam.		B	B

【原産】熱帯米 【国内分布】本州,小笠原,四国,九州,琉球 【県内分布】分布度b 北部に散在, 少ない 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】200:1959年 【県内侵入】200:- 【影響】121 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】239,60,109,285,286,317,319,311,312,326,40,61,71,165,349,344 【文献県内】39

種子植物	カヤツリグサ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
918	シヨクヨウガヤツリ <i>Cyperus esculentus</i> L.		B	B

【原産】ヨーロッパ〜アフリカ 【国内分布】本州 【県内分布】分布度b 北部に散在, 少ない. 水田の畦,穀類・豆類の畑に多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,塊茎で栄養繁殖,種子:重散:夏〜秋 【国内侵入】200:1980年代 【県内侵入】200:1990年代 【影響】121,310 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】別名キハマスゲ 【文献全般】109,285,286,317,312,40,61,165 【文献県内】39

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
919	ヒメムツオレガヤツリ <i>Cyperus ferruginescens</i> Boeckl.	D	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】近畿,中部,関東 【県内分布】分布度a 佐原市,神崎町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1984年 【県内侵入】210:1984年 【影響】121 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
920	コガネガヤツリ <i>Cyperus laetus</i> J. & C. Presl	D	C

【原産】南アメリカ 【国内分布】関東 【県内分布】分布度a 我孫子市,沼南町, 極少 【形態・生態】夏緑・一年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】210:1976年 【県内侵入】210:1976年 【影響】121 【緊急】- 【対策】適切な除草 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
921	セイトカハマスゲ <i>Cyperus longus</i> L.	D	C

【原産】地中海沿岸,西南アジア,アフリカ 【国内分布】本州(関東) 【県内分布】分布度a 佐倉市, 極少(一時的,消滅) 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】200:1984年 【県内侵入】200:1990年代 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】285,286,319,312,40,202 【文献県内】39

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
922	シチトウイ <i>Cyperus monophyllus</i> Vahl	D	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】本州以南 【県内分布】分布度a かつて散在したが、現在は確認されない, 極少(消滅か?) 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,地下茎で栄養繁殖,種子:重散・水散:秋 【国内侵入】200:- 【県内侵入】200:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】232,285,319,311,312,326,40,71,165,349 【文献県内】39

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
923	タイトウクグ <i>Cyperus sesquiflorus</i> (Torr.) Mattf. et Kuk. var. <i>subtriceps</i> (Nees) T.Koyama	D	C

【原産】アジア〜アフリカの熱帯 【国内分布】琉球 【県内分布】分布度a 袖ヶ浦市の港湾, 極少(消滅?) 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:秋 【国内侵入】200,300:- 【県内侵入】200(荷揚げ物資や埋め立て用土に混入か):1985年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】286,312,71 【文献県内】39,堀内洋.1996.千葉県に未記録のタイトウクグ(カヤツリグサ科)の標本を確認する.千葉県植物誌資料8:47-48.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
924	ゴマフガヤツリ <i>Cyperus sphacelatus</i> Rottb.	D	C

【原産】熱帯米 【国内分布】千葉県,東京都,神奈川県 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 消滅(一時的,消滅) 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏〜秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】109,286,312,40,202 【文献県内】213,39

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
925	シバヤマハリイ <i>Eleocharis engelmanni</i> Steud. var. <i>detonsa</i> A.Gray	D	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】千葉県のみ 【県内分布】分布度a 芝山町, 極小(消滅) 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:水散:秋 【国内侵入】200,300:1990年代 【県内侵入】200:1995年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】286,312,40,202 【文献県内】236,39,折目庸雄・大場達之・木村陽子・勝山輝男・小崎昭則・遠藤泰彦.1996.ハリイ属の新しい帰化種.千葉県植物誌資料6:29-33.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
926	ヒメナンヨウガヤツリ <i>Pycneus pumilus</i> (L.) Nees subsp. <i>pumilus</i>	D	C

【原産】インド,東南アジア,オーストラリア 【国内分布】本州(千葉県のみ) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 極小(一時的,消滅) 【形態・生態】夏緑・1年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】200,300:1999年 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年のみ 【影響】- 【緊急】- 【対策】可能なかぎり在来品種を使う,異物混入として排除された種子の廃棄方法のガイドラインづくり,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子・大場達之・須賀はる子.2007.船橋市に一時帰化したクルマバヒメグヒメナンヨウガヤツリナガミイッスンガヤツリ(新称).千葉県植物誌資料23:207-209.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
927	クルマバヒメグ <i>Kyllinga polyphylla</i> Willd. ex Kunth	D	C

【原産】熱帯アフリカ,マダガスカル 【国内分布】本州(現在の所, 千葉県のみか?) 【県内分布】分布度a 船橋市旭町, 極少 絶滅 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250園芸用土のヤシマットから:1999年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた種子の混入防止,県内土壌で育苗する,輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】木村陽子・大場達之・須賀はる子.2007.船橋市に一時帰化したクルマバヒメグヒメナンヨウガヤツリナガミイッスンガヤツリ(新称).千葉県植物誌資料23:207-209.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度
928	セフリアブラガヤ <i>Scirpus georgianus</i> R.M.Harper	D	C

【原産】北米 【国内分布】本州,九州 【県内分布】分布度a 印西市, 極小(一時的,消滅) 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:風媒,種子:重散:夏～秋 【国内侵入】200,300:1980年代 【県内侵入】200:1989年 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸送時の検査・洗浄,工場・空港・港湾などのモニタリングと除去 【備考】- 【文献全般】109,286,317,312,40,61 【文献県内】木村陽子.1998.セフリアブラガヤ、印西町に産す.千葉県植物誌資料11:78-79.

種子植物	バショウ科	影響度	緊急度
929	バショウ <i>Musa basjoo</i> Makino	D	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 鋸南町, 極少 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:食散:秋 【国内侵入】161:平安 【県内侵入】161:江戸 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】336,301,312,332,202,165,349 【文献県内】-

種子植物	ショウガ科	影響度	緊急度
930	ミョウガ <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Roscoe	C	C

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 全県に分布, 多い 【形態・生態】夏緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,地下茎で栄養繁殖,種子:食散:秋 【国内侵入】110:奈良以前 【県内侵入】110:江戸以前 【影響】121,120 【緊急】- 【対策】管理区域外への逸出防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】232,109,301,317,312,40,332,190,71,165 【文献県内】39

種子植物	クズウコン科	影響度	緊急度
931	ミズカンナ <i>Thalia dealbata</i>	D	C

【原産】北アメリカ,南アメリカ 【国内分布】本州,四国 【県内分布】分布度a 木更津市十日市場(小櫃川河岸), 極少 【形態・生態】連緑・多年草 【繁殖】花粉:虫媒,種子:重散:秋 【国内侵入】161:1979年以前 【県内侵入】161:平成以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】販売時の外来種問題の広報,販売規制などの検討,管理区域外への遺棄防止,栽培時のガイドラインづくり 【備考】標本CBM(2009.8.9小櫃川河岸(木更津市十日市場)小田島氏発見 【文献全般】- 【文献県内】-

蘚苔類	センボンゴケ科	国内外来生物	影響度	緊急度
932	チュウゴクネジクチゴケ <i>Didymodon constrictus</i> (Mitt.) Saito		D	C

【原産】日本在来種 【国内分布】本州以南 【県内分布】分布度c 道路脇のコンクリート壁, 多い 【形態・生態】多年生 【繁殖】孢子,無性芽,種子:孢子は風散. 無性芽は不明. :通年 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250:不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】風散のため対策は困難 【備考】好石灰性だが、石灰質の凝灰岩にはみられないため、国内移入だと思われる 【文献全般】100,260 【文献県内】112,260,298,55,56

蘚苔類	ギボウシゴケ科	国内外来生物	影響度	緊急度
933	コバノスナゴケ <i>Racomitrium barbuloides</i> Cardot		D	C

【原産】日本在来種 【国内分布】全国 【県内分布】分布度b 市原市,白井市,佐倉市ほか, 中程度 【形態・生態】多年生 【繁殖】孢子,種子:風散:秋から春 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250:不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着している火成岩を移動させる際には、植物体を可能な限り除去する 【備考】県内には産しない火成岩上にのみ生育している状況から推測して国内移入だと思われる 【文献全般】100 【文献県内】112,55,56,58

蘚苔類	ギボウシゴケ科	国内外来生物	影響度	緊急度
934	チョウセンスナゴケ <i>Racomitrium carinatum</i> Cardot		D	C

【原産】日本在来種 【国内分布】本州以南 【県内分布】分布度a 東金市, 中程度 【形態・生態】多年生 【繁殖】孢子,種子:風散:秋から春 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250:不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着している火成岩を移動させる際には、植物体を可能な限り除去する 【備考】県内には産しない火成岩上にのみ生育している状況から推測して国内移入だと思われる 【文献全般】100 【文献県内】59

蘚苔類	ギボウシゴケ科	国内外来生物	影響度	緊急度
935	シモフリゴケ <i>Racomitrium lanuginosum</i> (Hedw.) Brid.		D	C

【原産】日本在来種 【国内分布】全国の高山 【県内分布】分布度b 市原市,白井市, 少ない 【形態・生態】多年生 【繁殖】孢子,種子:風散:夏 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250:不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着している火成岩を移動させる際には、植物体を可能な限り除去する 【備考】県内には産しない火成岩上にのみ生育している状況から推測して国内移入だと思われる 【文献全般】100 【文献県内】58

藓苔類	ヒジキゴケ科	国内外来生物	影響度	緊急度
936	ヒジキゴケ <i>Hedwigia ciliata</i> (Hedw.) P.Beauv.		D	C

【原産】日本在来種 【国内分布】全国 【県内分布】分布度a 詳細は不明,社寺や人家, 多い 【形態・生態】多年生 【繁殖】胞子,種子:風散:秋から春 【国内侵入】250:日本原産 【県内侵入】250:不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】付着している火成岩を移動させる際には、植物体を可能な限り除去する 【備考】県内には産しない火成岩上にのみ生育している状況から推測して国内移入だと思われる 【文献全般】100 【文献県内】36,56

藓苔類	ミカヅキゼニゴケ科	影響度	緊急度
937	ミカヅキゼニゴケ <i>Lunularia cruciata</i> Dumort.	B	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】全国 【県内分布】分布度c 全県の裸地, 極多 【形態・生態】多年生 【繁殖】胞子,無性芽,種子:胞子は風散. 無性芽は雨滴によるはね散り. :通年 【国内侵入】240:昭和4年 【県内侵入】240:不明 【影響】裸地の表面を覆ってしまうため、道端に生育するコケ植物や維管束植物への影響が懸念される 【緊急】- 【対策】生育地を歩いた靴に付着した土壌が拡散しないように注意する 【備考】- 【文献全般】100 【文献県内】36

藓苔類	ジンガサゴケ科	国内外来生物	影響度	緊急度
938	ミヤコゼニゴケ <i>Mannia fragrans</i> (Barbis) Frye et Clark		C	C

【原産】日本在来種 【国内分布】関東地方 【県内分布】分布度b 詳細は不明,公園や人家,畑, 多い 【形態・生態】多年生 【繁殖】胞子,種子:風散:初冬 【国内侵入】210:日本原産 【県内侵入】210:戦後 【影響】- 【緊急】- 【対策】生育地の土壌を移動させる際には、植物体を可能な限り除去する. また、生育地を歩いた靴に付着した土壌が拡散しないように注意する 【備考】- 【文献全般】100 【文献県内】36

藓苔類	ウキゴケ科	影響度	緊急度
939	ウロコハタケゴケ <i>Riccia lamellosa</i> Raddi	B	B

【原産】欧米 【国内分布】関東地方 【県内分布】分布度b 下総台地の社寺,公園,畑, 極多 【形態・生態】一年草 【繁殖】胞子,種子:植物体の枯死による:秋から冬 【国内侵入】240:2000年頃以降 【県内侵入】240:2000年頃以降 【影響】大量に生育するため、在来ウキゴケ属への影響が懸念される 【緊急】近年、関東地方では急速に拡大している 【対策】生育地の土壌を移動させる際には、植物体を可能な限り除去する. また生育地を歩いた靴に付着した土壌が拡散しないように注意する 【備考】- 【文献全般】54 【文献県内】112,57

藓苔類	ウキゴケ科	影響度	緊急度
940	サビイロハタケゴケ <i>Riccia nigrella</i> DC.	C	B

【原産】欧米 【国内分布】関東地方 【県内分布】分布度b 都市部の社寺,公園, 多い 【形態・生態】多年生 【繁殖】胞子,種子:植物体の枯死による:秋から春 【国内侵入】240:2000年頃以降 【県内侵入】240:2000年頃以降 【影響】大量に生育するため、在来ウキゴケ属への影響が懸念される 【緊急】近年、関東地方では急速に拡大している 【対策】生育地の土壌を移動させる際には、植物体を可能な限り除去する. また生育地を歩いた靴に付着した土壌が拡散しないように注意する 【備考】- 【文献全般】128 【文献県内】112,128

地衣類	イワノリ科	国内外来生物	影響度	緊急度
941	ウスバイシバイイワノリ		D	C
<i>Collema latzelii</i> Zahlbr.				

【原産】北半球 【国内分布】不明(国内在来種) 【県内分布】分布度a 千葉市中央区,定着しているが、逸出は確認できない 【形態・生態】葉状 【繁殖】子のう胞子,種子:風散:不明 【国内侵入】-:- 【県内侵入】250,当該地衣が付着する庭石(石灰岩)の搬入に伴う. 明らかに県外から. :2001年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】輸入時に熱をかける・消毒する等の生きた地衣体の混入防止. 輸送時の洗浄,管理区域外への逸出監視と防止 【備考】文献情報なし,未発表 生育確認(原田浩 2001.10.12)国RDB(NT) 【文献全般】- 【文献県内】-

大型菌類	ショウロ科	県RDB:D	影響度	緊急度
942	ショウロ		D	C
<i>Rhizopogon rubescens</i> (Tul. & C. Tul.) Tul. & C. Tul.				

【原産】北半球一帯 【国内分布】- 【県内分布】分布度c 千葉市美浜区,中央区,植栽クロマツ林 【形態・生態】外生菌根共生(マツ属) 【繁殖】胞子と植物に感染した菌糸,秋～冬 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(植栽クロマツの苗土壌):1970年代以降 【影響】141 【緊急】- 【対策】植栽を可能な限り県内産にする. 管理区域外への逸出監視と防止,適切な除去の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】県内各地に自生する種類だが、外来と思われるものが東京湾岸の埋立地の植栽クロマツ林内に見られる 【文献全般】- 【文献県内】46,47

大型菌類	キシメジ科	国内外来生物	影響度	緊急度
943	ハマシメジ	県RDB:D	D	C
<i>Tricholoma myomyces</i> (Pers.) J.E.Lange				

【原産】欧州,北米,日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度c 千葉市美浜区,中央区,植栽クロマツ林 【形態・生態】外生菌根共生(マツ属) 【繁殖】胞子と植物に感染した菌糸:秋 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(植栽クロマツの苗土壌):1970年代以降 【影響】141 【緊急】- 【対策】植栽を可能な限り県内産にする. 管理区域外への逸出監視と防止,適切な除草の徹底,栽培時のガイドラインづくり 【備考】県内各地に自生する種類だが、外来と思われるものが東京湾岸の埋立地の植栽クロマツ林内に見られる 【文献全般】- 【文献県内】46,48

大型菌類	イグチ科	国内外来生物	影響度	緊急度
944	シロヌメリイグチ		D	C
<i>Suillus laricinus</i> (Berk.) Kuntze				

【原産】ユーラシア,北米,日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度a 千葉市泉自然公園,佐倉市佐倉城址公園,植栽カラムツ 【形態・生態】外生菌根共生(カラムツ属) 【繁殖】胞子と植物に感染した菌糸:夏～秋 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(植栽カラムツの苗土壌):1996年 【影響】- 【緊急】- 【対策】県内に分布しない樹木植栽時のガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】48

大型菌類	タマハジキタケ科	影響度	緊急度
945	タマハジキタケ属種	D	C
<i>Sphaerobolus</i> sp.			

【原産】中国 【国内分布】- 【県内分布】分布度a 松尾町木刀,観葉植物カーラーの鉢植え土壌表面 【形態・生態】腐生性 【繁殖】胞子と菌糸,種子:自散:夏～秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250(堆肥?):1992年 【影響】310 【緊急】- 【対策】輸入堆肥使用についてのガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】46,103

大型菌類	ウラボニガサ科	影響度	緊急度
946	トゲウラボニガサ <i>Pluteus magnus</i> McClatchie	D	C

【原産】北米 【国内分布】- 【県内分布】分布度a 長柄町長柄山,マイタケ栽培の廃棄培地放棄跡 【形態・生態】腐生性 【繁殖】胞子と菌糸,種子:風散:夏〜秋 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250(栽培きのこの培地(木材チップ?)?):2007年 【影響】- 【緊急】- 【対策】培地廃棄時のガイドラインづくり 【備考】日本新産種として報告された,分布は北米と日本の千葉県 【文献全般】- 【文献県内】315

大型菌類	ハラタケ科	影響度	緊急度
947	ツブエノシメジ <i>Melanoleuca verrucipes</i> (Fr.) Singer	D	C

【原産】欧州 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】分布度b 我孫子市,印旛郡,佐倉市,千葉市,市原市,公園,植栽木,公園内の園路沿いなどの周囲に撒布された木材チップ,バーク堆肥などの場所 【形態・生態】腐生性 【繁殖】胞子と菌糸:風散:夏〜秋 【国内侵入】:- 【県内侵入】250(木材チップなど):1987年 【影響】- 【緊急】- 【対策】野外散布木材チップについてのガイドラインづくり 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】47

線虫類	ブラティレンクス科	影響度	緊急度
948	レンコンネモグリセンチュウ <i>Hirschmanniella</i> sp.	C	B

【原産】? 【国内分布】レンコン栽培地 【県内分布】長生郡,君津郡,香取郡,レンコン栽培圃場 【形態・生態】TL♀1-2mm,草食,環境:淡水域(レンコン栽培田) 【繁殖】卵生,場所:レンコン根部,時期:通年 【国内侵入】210:? 【県内侵入】210:1990年代前半 【影響】310(レンコン) 【緊急】登録農薬がなく汚染圃場は拡大中 【対策】無寄生の種はす選択. 線虫汚染圃場からの土の移動防止,連作を避け,休耕又は乾田化し,線虫密度を下げる 【備考】生理生態及び形態分類については中央農業総合研究センター線虫害研究室 【文献全般】- 【文献県内】4,177

線虫類	アフレンコイデス科	生態学会100	影響度	緊急度
949	マツノザイセンチュウ <i>Bursaphelenchus xylophilus</i>		A	A

【原産】北アメリカ 【国内分布】北海道,青森県を除く全都府県 【県内分布】全域 【形態・生態】TL♀0.7-1mm♂0.6-0.8mm,マツノマダラカミキリにより媒介,マツの木部に寄生,全身的な衰弱・枯損を起こす,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:マツ木部,時期:通年 【国内侵入】250造船用輸入木材に寄生:1905年長崎県 【県内侵入】250枯損木の移動:1948年(君津市) 【影響】330(防風林マツ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 抵抗性マツ系統の導入,薬剤防除 【備考】- 【文献全般】136,372 【文献県内】37

軟体動物	ヤマタニシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
950	ヤマククルマ <i>Spirostomajaponicum japonicum</i>		D	C

【原産】西日本 【国内分布】近畿地方以西の西日本 【県内分布】館山市. おそらく定着,海岸で打上げられた個体を確認 【形態・生態】環境:陸域:林縁,食性:主に落葉等 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生)後,産卵し,孵化後,幼貝から成貝に成長,場所:成体と同じ,時期:春から秋? 【国内侵入】在来:- 【県内侵入】220(観葉植物等に伴って県内に持ち込まれ,繁殖している):平成時代 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】現段階では危険性は少ない 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】東(1995) 【文献県内】-

軟体動物	アズキガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
951	アズキガイ		C	C
	<i>Pupinella rufa</i>			

【原産】主に西日本 【国内分布】移入として、関東等 【県内分布】千葉市. 定着は未確認だが、埋立地先で打ち上げ殻が確認、定着していると推測される 【形態・生態】SHca.1cm,交尾後、多分産し、孵化後、幼貝から成貝へ成長,食性:落葉等,環境:陸域:主に林縁の落葉下 【繁殖】体内受精(雌雄異体),繁殖場所:成体と同じ 【国内侵入】:- 【県内侵入】230(植栽等):平成時代 【影響】:- 【緊急】定着していても範囲が小さそうである 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】国内外来種 【文献全般】132 【文献県内】:-

軟体動物	タニシモドキ科	国内外来生物	影響度	緊急度
952	スクミリンゴガイ	要注意外来生物(注意喚起), IUCN100	A	A
	<i>Pomacea canaliculata</i>			

【原産】アルゼンチン 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】主に九十九里平野,東総地方から南に分布拡大中. 各地で高密度 【形態・生態】SLca.6cm,草食,環境:淡水域:水田等の止水域～緩流域 【繁殖】体内受精(卵生/付着卵産卵/直達発生),場所:成体と同じ,時期:冬季以外 【国内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】113,310(イネ),250(大量死亡時の水質悪化等?),230(広東住血線虫) 【緊急】:- 【対策】植物防疫法の遵守,国内移動制限,取水口の侵入防止,捕殺,厳寒期のロータリー耕,登録薬剤による防除,水位調節 【備考】標本CBM 【文献全般】181,202 【文献県内】212

軟体動物	ウミミナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
953	ホソウミミナ		C	C
	<i>Batillaria cumingii</i>			

【原産】北海道-九州 【国内分布】千葉県 【県内分布】市川市新浜. 実験的に持ち込み,繁殖している 【形態・生態】SHca.2cm,直達発生で、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:海域:潮間帯の砂・砂泥底 【繁殖】体内受精(胎生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】:- 【県内侵入】実験用持込:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】:- 【緊急】由来がわかっており、絶滅した地域での回復調査としての意義が大きいので見守る 【対策】個体群動態の調査 【備考】県内在来種:個体群回復の実験のために導入 【文献全般】:- 【文献県内】飯島(2004)

軟体動物	フトヘナタリ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
954	カワアイ	県RDB:A	C	C
	<i>Cerithidea djadjariensis</i>			

【原産】黄海? 【国内分布】:- 【県内分布】DNAで外来と確認,個体数は増加傾向 【形態・生態】SHca.3cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,食性:珪藻等,環境:海域:潮間帯の泥底 【繁殖】体内受精(卵紐産出),場所:潮間帯の泥底,時期:主に夏? 【国内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入?):- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入?):平成時代 【影響】:- 【緊急】個体数も多く、駆除等が困難. 東京湾ではほぼ絶滅した種 【対策】バラストタンク水の殺菌や移入アサリのチェック,個体群動態の調査,産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】:- 【文献県内】145,84

軟体動物	カワミナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
955	カワミナ属の一種		C	C
	<i>Semisulcospira</i> sp.cf. <i>forticosta</i>			

【原産】朝鮮半島 【国内分布】関東 【県内分布】利根川河口堰/茨城県側. 千葉県側での生息の確認はできていないが、ほぼ確実に定着していると考えられる 【形態・生態】SHca.3cm,不明だが、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:淡水域:止水域の底質上 【繁殖】体内受精(胎生),場所:成体と同じ,時期:不明 【国内侵入】110食用シジミの遺棄に伴う移入:平成時代 【県内侵入】400能動分散:平成時代 【影響】:- 【緊急】まだ確実に増加しそうだが、根絶が困難 【対策】移入シジミのチェック,産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】黒住・岡本(2002) 【文献県内】黒住・岡本(2002)

軟体動物	ミズツボ科		影響度	緊急度
956	コモチカワツボ		C	C
<i>Potamopyrgus antipodarum</i>				

【原産】ニュージーランド 【国内分布】ほぼ日本全国 【県内分布】千葉市,利根川等. 定着 【形態・生態】止水域に、比較的高密度で生息,食性:珪藻等,環境:淡水,止水域の底質等 【繁殖】主に単為生殖で稚貝を生み成長,場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210:平成時代 【県内侵入】230(シジミ類や水草の移動に伴い、分散):平成時代 【影響】120((在来カワニナ類),230,340(寄生虫?)) 【緊急】現段階では危険性少 【対策】水草等の移動時のチェックや水槽内個体の野外遺棄防止,時に薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】増田ほか(1998) 【文献県内】221

軟体動物	カワザンショウガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
957	ウスイロオカチグサ		D	C
<i>Solenophala debilis</i>				

【原産】琉球列島 【国内分布】琉球,本州,九州,四国 【県内分布】習志野市,館山市. 一部で定着が確認されているが、個体数は多くない 【形態・生態】直達発生で、幼貝から成貝に成長する. 環境:陸域:開けた場所,食性:主に落葉等 【繁殖】体内受精(付着卵囊/直達発生),場所:陸域:開けた場所,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】在来種:- 【県内侵入】220:平成時代 【影響】- 【緊急】現段階では危険性は少ない 【対策】観葉植物・水草等の移動時のチェックや土壌・水槽内洗浄の確認しない廃棄 【備考】この種自体が国外外来生物の可能性もある 【文献全般】矢野・増田(1999) 【文献県内】325

軟体動物	カリバガサ科		影響度	緊急度
958	シマメノウフネガイ		B	C
<i>Crepidula onyx</i>				

【原産】アメリカ西岸中部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】各地. 各地で比較的高密度生息 【形態・生態】SLca.3cm,プランクトン幼生が着底し成長,懸濁物食(貝類等の排泄物を含む),環境:海域:潮間帯～上部浅海帯の貝類等の基質上 【繁殖】体内受精(卵囊保育?/雄先成熟),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】211(?):昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】400能動分散:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】100(在来種成長阻害?),340(有用巻貝類の成長阻害?) 【緊急】広範囲に多数生息,駆除困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック 【備考】標本CBM 【文献全般】169,42,202 【文献県内】14

軟体動物	タマガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
959	サキグロタマツメタ		A	B
<i>Laguncula pulchella</i>				

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾等 【県内分布】小櫃川河口干潟. 着実に個体数が増加している 【形態・生態】SHca.5cm,プランクトン幼生が着底し成長,食性:二枚貝等の貝類,環境:海域:潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】体内受精(卵囊[砂茶碗]形成),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリ):平成時代 【影響】112(貝類),340(二枚貝) 【緊急】有用貝類の捕食が認められるが、個体数増加中で駆除等困難 【対策】移入アサリのチェック,一部、見つけ採り,産地表示の明確化 【備考】標本CBM,写真:東京湾漁業研究所 【文献全般】271,231 【文献県内】-

軟体動物	タマガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
960	ゴマフダマ		A	A
<i>Natica tigrina</i>				

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾等 【県内分布】小櫃川河口干潟. 定着未確認だが、今後定着の可能性大 【形態・生態】SHca.2.5cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,食性:二枚貝等の貝類,環境:海域:潮間帯から上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】体内受精(卵囊[砂茶碗]形成),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入):平成時代 【影響】112(貝類),310 【緊急】個体が増加すると影響がでそうなので、早期対策必要 【対策】移入アサリのチェック,産地表示の明確化 【備考】標本CBM,野外逸脱的 【文献全般】- 【文献県内】160

軟体動物	カノキセワタ科	影響度	緊急度
961	ヤミヨキセワタ <i>Melanochlamys</i> sp.	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道～瀬戸内海 【県内分布】江戸川放水路,小櫃川河口干潟. 個体数は少ない 【形態・生態】TLca.2cm,不明,肉食(貝類や多毛類?),環境:海域:潮間帯の砂/砂泥底 【繁殖】不明,場所:不明,時期:不明 【国内侵入】211?:平成時代 【県内侵入】211?:平成時代 【影響】- 【緊急】個体数は少ないようで、現在のところ影響は多大ではないようである 【対策】バラストタンク水の「殺菌」等 【備考】外来生物であるか未確定 【文献全般】日本ベントス学会(2012) 【文献県内】和田ほか(1996)

軟体動物	モノアラガイ科	影響度	緊急度
962	コシダカヒメモノアラガイ <i>Galba truncatula</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,琉球 【県内分布】千葉市. 報告例は少ないが、各地に低密度で生息していると思われる 【形態・生態】SHca.0.6cm,直達発生で、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:淡水域:止水域の水面直上の湿性部分 【繁殖】体内受精(付着卵嚢/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210:明治時代 【県内侵入】210:明治時代? 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】個体数・確認地点も少なく、被害等の報告はない 【対策】水草等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】黒田(1963) 【文献県内】151,新島・田中(2000)

軟体動物	モノアラガイ科	影響度	緊急度
963	モノアラガイ類 <i>Lymnaea</i> spp.	C	C

【原産】?(一部は東南アジア?) 【国内分布】関東地方等 【県内分布】県北部. 記録地域は少ないが、広く分布していると考えられる 【形態・生態】SHca.0.8cm,直達発生,食性:珪藻等,環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵嚢/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:平成時代 【県内侵入】230:平成時代 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】人工池等に分布を広げているが、被害等は確認されていないようである 【対策】水草等の移動時のチェックや水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM 【文献全般】上島ほか(2000),増田・内山(2004) 【文献県内】新島・田中(2000)

軟体動物	モノアラガイ科	影響度	緊急度
964	ハブタエモノアラガイ <i>Pseudosuccinea columella</i>	C	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】本州等 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】SHca.1cm,直達発生で、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:淡水域:主に止水域の水面直上の湿性部分 【繁殖】体内受精(付着卵嚢/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】広範囲に分布しているが、被害等は報告されていないようである 【対策】水草等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】289,増田・内山(2004) 【文献県内】黒住・岡本(1996),204

軟体動物	サカマキガイ科	影響度	緊急度
965	サカマキガイ <i>Physa acuta</i>	B	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】日本全国 【県内分布】全域. 各地に比較的高密度で生息 【形態・生態】SHca.0.8cm,珪藻食等,時に生葉,環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵嚢/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】?:昭和時代(太平洋戦争以前) 【県内侵入】230(観用水草?):昭和時代(太平洋戦争以前)? 【影響】112(在来種),310(水田作物?),270(観葉植物被害),230(吸虫類中間宿主?) 【緊急】分布・数とも多く、駆除等は難しい 【対策】水草等の移動時の検査や飼育個体の野外遺棄防止,時に薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】156,202 【文献県内】85,160

軟体動物	サカマキガイ科	影響度	緊急度
966	タスキガケサカマキガイ <i>Physa sp. cf. gyrina</i>	C	C

【原産】北アメリカ? 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】各地. 各地の止水域 【形態・生態】SHca.0.8cm, 直達発生で、幼貝から成貝に成長, 食性:珪藻等, 環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵嚢), 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】112(在来種?), 310(水田作物等?), 270(観葉植物食害), 230(吸虫類?) 【緊急】サカマキガイとの識別が難しく、また被害等の報告もないようである 【対策】水草等の移動時チェックや飼育個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM 【文献全般】223, 171 【文献県内】223

軟体動物	ヒラマキガイ科	影響度	緊急度
967	ヒラマキミズマイマイ類 <i>Gyraulus sp. cf. illibatus</i>	C	C

【原産】東南アジア? 【国内分布】千葉県 【県内分布】千葉市. 千葉市産標本の所在が不明で再検討不能, 県内各地に分布している可能性高 【形態・生態】SBca.5cm, 直達発生で、幼貝から成貝に成長する, 食性:珪藻等, 環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵嚢/直達発生), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】230(吸虫類?) 【緊急】在来種との識別困難, 被害等の報告もない 【対策】水草等移動時チェック, 水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM(県外産) 【文献全般】171 【文献県内】188

軟体動物	ヒラマキガイ科	影響度	緊急度
968	インドヒラマキガイ <i>Indoplanorbis exustus</i>	C	C

【原産】インド 【国内分布】本州, 四国, 九州, 琉球 【県内分布】千葉市. 野外逸脱だけで、繁殖していない可能性高 【形態・生態】SBca.1.5cm, 直達発生, 食性:珪藻等, 環境:淡水域:止水域の水草上 【繁殖】体内受精(付着卵嚢), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】230(吸虫類?) 【緊急】水槽内では付着藻の除去に利用 【対策】水草等移動時チェックや水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】- 【文献全般】63 【文献県内】倉西(1996)

軟体動物	ヒラマキガイ科	影響度	緊急度
969	コビトノボウシザラ <i>Pettancylus pettardi</i>	C	C

【原産】オーストラリア? 【国内分布】本州 【県内分布】市原市. これまでのところ、市原市のみで確認されている 【形態・生態】SLca.0.3cm, 直達発生で、幼貝から成貝に成長する, 食性:珪藻等, 環境:淡水域:止水域の水草の葉裏等 【繁殖】体内受精(付着卵嚢/直達発生), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】報告例も少なく、被害等の報告もない 【対策】水草等の移動時のチェックや水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM 【文献全般】Barch(1964), 渡部(1990) 【文献県内】-

軟体動物	スナガイ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
970	スナガイ <i>Gastropoda armigerella</i>	県RDB:C	C	C

【原産】本州, 九州, 琉球 【国内分布】関東地方等? 【県内分布】各地. 在来群は海岸地域に、外来群は造成地等に生息している 【形態・生態】SHca.0.3cm, 受精後、たぶん産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性:主に落葉等, 環境:陸域:開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】220(植栽等に付随):昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】個体数が多く、微小なので、駆除等は難しい 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】黒住・岡本(1996)

軟体動物	スナガイ科	影響度	緊急度
971	スナガイの一種	D	C
<i>Gastrocopta</i> sp.			

【原産】? 【国内分布】千葉県 【県内分布】浦安市, 千葉市. 1ヶ所でのみ, 比較的高密度で生息 【形態・生態】SHca.0.3cm, 受精後、たぶん産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 主に落葉等, 環境: 陸域: 開放地 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230: 昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】230: 昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】報告例も少なく、面積も狭いので、駆除実験が可能かもしれない 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	ミジンマイマイ科	影響度	緊急度
972	ソウジマミジンマイマイ	C	B
<i>Valonia pulchella</i>			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】関東地方 【県内分布】浦安市. 現在のところ、1ヶ所でのみ確認 【形態・生態】SBca.0.3cm, 陸域: 開放地から林縁部, 食性: 主に落葉等, 環境: 陸域: 開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210: 昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】210: 昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】報告例も少なく、面積も狭いので、駆除実験が可能かもしれない 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】別名ツヤミジンマイマイ, 標本CBM(他県産) 【文献全般】178 【文献県内】89

軟体動物	ミジンマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
973	ミジンマイマイ	県RDB:C	C	C
<i>Valonia pulchellula</i>				

【原産】本州-九州 【国内分布】千葉県 【県内分布】各地. 在来群は海岸地域に、外来群は造成地等に生息している 【形態・生態】SBca.0.3cm, 陸域: 開放地から林縁部, 食性: 主に落葉等, 環境: 陸域: 開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-: 昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】220(植栽等に付随): 昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】個体数が多く、微小なので、駆除等は難しい 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】稲葉(1975)

軟体動物	キセルガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
974	キュウシュウナミコギセル		C	C
<i>Euphadusa subaculus</i>				

【原産】北部九州 【国内分布】北部九州 【県内分布】柏市 人家の庭1ヶ所のみで、周辺への分散は認められていない 【形態・生態】SHca.1.2cm, 受精後、体内で発生し、稚貝を産出し、幼貝から成貝に成長, 食性: 主に落葉等, 環境: 陸域: 開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/卵胎生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210国内在来種:- 【県内侵入】210: 昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】- 【緊急】周辺へ分布拡大していない 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】国内外来種 【文献全般】- 【文献県内】226

軟体動物	オカクチケレガイ科	影響度	緊急度
975	トクサオカチョウジガイ	B	C
<i>Paropeas achatinaceum</i>			

【原産】東南アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州, 琉球, 小笠原 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】SHca.0.8cm, 受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 落葉等で時に生きた植物体, 環境: 陸域: 開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210(サトウキビ): 昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210: 昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】310(農作物の根等), 270(家庭菜園), 230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】県内では、農業被害等の報告はないようである 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】154 【文献県内】85

軟体動物	オオクビキレガイ科		影響度	緊急度
976	オオクビキレガイ		C	B
<i>Rumina decollata</i>				

【原産】地中海沿岸 【国内分布】千葉県～九州 【県内分布】君津市. 家庭菜園に定着 【形態・生態】受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長、環境:陸域:開放地、食性:生きた植物体や落葉等 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生)、場所:陸域:開放地 【国内侵入】240:平成時代 【県内侵入】220:平成時代 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性)112(他のカタツムリ?),310,270(野菜類),200(不快害虫) 【緊急】やや危険な状態 【対策】苗木等の移動時のチェック、薬剤散布や生息環境の改悪 【備考】標本CBM(県外産) 【文献全般】175,172 【文献県内】172

軟体動物	パツラマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
977	パツラマイマイ		C	C
<i>Discus pauper</i>				

【原産】北日本 【国内分布】関東地方 【県内分布】各地. 県北部を中心に、広く、時に高密度に生息 【形態・生態】SBca.0.8cm, 受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長、食性:主に落葉等、環境:陸域:開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生)、場所:成体と同じ、時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:江戸時代? 【県内侵入】220(植栽等):昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】個体数が多いので、駆除等は難しい 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】158 【文献県内】稲葉(1975),黒住・岡本(1996)

軟体動物	イシノシタ科		影響度	緊急度
978	ノハライシノシタ		C	C
<i>Helicodiscus inermis</i>				

【原産】北アメリカ 【国内分布】関東地方 【県内分布】千葉市. 記録は少なく、状況不確実 【形態・生態】SBca.0.2cm,受精後、多分産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長、食性:不明、環境:陸域:開放地の石の下等 【繁殖】体内受精(直達発生)、場所:成体と同じ、時期:不明 【国内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210:平成時代? 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】確認地点も少なく、生息場所からも影響は軽微と考えられる 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】116 【文献県内】-

軟体動物	コウラナメクジ科		影響度	緊急度
979	チャコウラナメクジ	生態学会100	B	B
<i>Lehmannia valentiana</i>				

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】TLca.3cm,受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長、食性:生きた植物体や落葉等、環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生)、場所:成体と同じ、時期:主に春先 【国内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】113(植物),310,270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】家庭菜園を中心に小面積の農地での被害が大きい 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック、薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】山口・波部(1955),202 【文献県内】稲葉(1975),黒住・岡本(1996)

軟体動物	コウラナメクジ科		影響度	緊急度
980	コウラナメクジ		C	C
<i>Limax flavus</i>				

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】過去には全域とされる. 1990年代にはほぼ絶滅 【形態・生態】TLca.8cm,受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長、食性:生きた植物体や落葉等、環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生)、場所:成体と同じ、時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】明治時代:- 【県内侵入】明治時代?:- 【影響】113(植物),310,270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】県内では、ほぼ絶滅したようである 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】別名キイロナメクジ、現在は絶滅?県外産写真:黒住 【文献全般】山口・波部(1965) 【文献県内】D稲葉(1975),198

軟体動物	ノハラナメクジ科	影響度	緊急度
981	ノハラナメクジ <i>Deroceras laeve</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州, 四国, 九州, 琉球, 小笠原 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】TLca.2.5cm, 受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 生きた植物体や落葉等, 環境: 陸域: 開放地の主に水際等 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明 【国内侵入】210 牧草に混入?: 明治時代 【県内侵入】210: 明治時代? 【影響】113(植物), 310, 270(家庭菜園), 230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】農作物に被害を与える可能性が高いが、その報告はないようである 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック, 薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】350 【文献県内】85, 227

軟体動物	ニワコウラナメクジ科	影響度	緊急度
982	ニワコウラナメクジ <i>Milax gagates</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】関東地方 【県内分布】県西部. 記録・密度とも極めて少ない 【形態・生態】TLca.3cm, 受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 生きた植物体や落葉等, 環境: 陸域: 開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明 【国内侵入】210: 昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210: 昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】113(植物), 310(農作物の可能性), 270(家庭菜園での食害の可能性), 230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】発見例が極めて少ないので影響は現在のところ軽微である 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】- 【文献全般】350 【文献県内】稲葉(1975)

軟体動物	コハクガイ科	影響度	緊急度
983	ヒメコハクガイ <i>Hawaii minuscula</i>	C	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】日本全国 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】SBca.0.2cm, 受精後、多分産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 主に落葉等, 環境: 陸域 【繁殖】体内受精(直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210: 明治時代 【県内侵入】210: 明治時代? 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】サイズ・食性から被害はほとんど出ないようである 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM, 外来生物であるか未確定 【文献全般】黒田(1958), Kano(1996) 【文献県内】稲葉(1975), 黒住・岡本(1996)

軟体動物	コハクガイ科	影響度	緊急度
984	コハクガイ <i>Zonitoides arboreus</i>	B	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】本州, 四国, 九州, 琉球 【県内分布】全域. 人里に広く生息 【形態・生態】SBca.0.5cm, 受精後、産卵し、孵化後成長, 食性: 落葉等, 時に生きた植物体, 環境: 陸域: 開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】250(資材に混入?): 明治時代 【県内侵入】250(様々な資材に付着): 明治時代? 【影響】113(植物), 310(農作物の根等), 270(家庭菜園), 230(広東住血線虫?) 【緊急】広範囲に分布しているが、県内からは農業被害の報告はない 【対策】苗木等の移動時のチェック, 薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】154 【文献県内】85, 160

軟体動物	オナジマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
985	コハクオナジマイマイ <i>Bradybaena pellucida</i>		B	B

【原産】九州 【国内分布】本州, 四国 【県内分布】中・南部全域. 南部から着実に北部に分布を広げている 【形態・生態】SBca.2cm, 受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 生きた植物体や落葉等, 環境: 陸域: 開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 主に春? 【国内侵入】-:- 【県内侵入】植木/苗木?: 平成時代 【影響】113(植物), 310(農作物(果樹を含む)), 270(家庭菜園), 230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】近年、着実に分布域を拡大しており、農作物への被害もある 【対策】苗木等の移動時のチェック, 薬剤散布や耕種的防除 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】224

軟体動物	オナジマイマイ科	影響度	緊急度
986	オナジマイマイ <i>Bradybaena similaris</i>	C	C

【原産】東南アジア 【国内分布】本州, 四国, 九州, 琉球, 小笠原 【県内分布】全域. 各地で繁殖している 【形態・生態】SBca.2cm, 受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 生きた植物体や落葉等, 環境: 陸域: 開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 冬季以外 【国内侵入】210: 江戸時代 【県内侵入】210: 江戸時代? 【影響】113(植物), 310, 270(家庭菜園), 230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】県内には広く分布するが、個体数は少なく、農業被害は少ないようである 【対策】苗木等の移動時のチェック, 薬剤散布や耕種の防除 【備考】標本CBM 【文献全般】155 【文献県内】稲葉(1975), 黒住・岡本(1996)

軟体動物	オナジマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
987	ヒタチマイマイ <i>Euhadra brandtii brandtii</i>		C	C

【原産】本州, 四国, 九州(主に茨城県と千葉県利根川流域) 【国内分布】本州, 四国, 九州(主に茨城県と千葉県利根川流域) 【県内分布】千葉市中央区. 分布域を外れた地域で確認され、定着しているが、分布は拡大していない 【形態・生態】SBca.2.5cm, 受精後、産卵し、孵化後成長, 食性: 付着藻類や枯葉等, 環境: 陸域: 林縁 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 主に春? 【国内侵入】210: - 【県内侵入】210: 昭和時代最晩期 【影響】230(広東住血線虫?) 【緊急】定着は小面積だが、保護されている場所なので、この種だけの駆除は難しい 【対策】苗木等の移動時チェック 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】157

軟体動物	リンゴマイマイ科	影響度	緊急度
988	イスパニアマイマイ <i>Eobania vermiculata</i>	C	A

【原産】南ヨーロッパ 【国内分布】千葉県 【県内分布】浦安市. 2ヶ所で繁殖 【形態・生態】SBca.3cm, 受精後、産卵し、孵化後、幼貝から成貝に成長, 食性: 生きた植物体や落葉等, 環境: 陸域: 開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明 【国内侵入】210: 平成時代 【県内侵入】210: 平成時代 【影響】310, 270(家庭菜園), 230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】被害は出ていないが、生息地が限定されており、定着初期なので、根絶できる可能性もある 【対策】苗木等の移動時のチェック, 薬剤散布や生息環境の改悪 【備考】- 【文献全般】340 【文献県内】340

軟体動物	イガイ科	特定外来生物, 生態学会100	影響度	緊急度
989	カワヒバリガイ <i>Limnoperna fortunei</i>		B	A

【原産】中国 【国内分布】琵琶湖, 長良川, 群馬等 【県内分布】利根川, 栗山川, 江戸川, 長柄ダム古都辺取水場(2012年). 2006年度初確認. 個体数増加・分散中 【形態・生態】SLca.2cm, プランクトン幼生が着底し成貝へ成長, 懸濁物食, 環境: 淡水流水〜止水水域 【繁殖】体外受精(放卵放精), 定着は成体と同じ, 時期: 不明(夏中心?) 【国内侵入】110食用シジミ/真珠養殖母貝の輸入: 平成時代 【県内侵入】400定着地からの幼生分散: 平成時代 【影響】150(微細空間の創出), 350(導水管等) 【緊急】駆除は困難. 早期対策必要 【対策】導入シジミのチェック, 繁殖期前の大規模な見つけ採り 【備考】- 【文献全般】173, 194, 202 【文献県内】95

軟体動物	イガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
990	コケガラス <i>Modiolus metcalfei</i>		B	B

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾 【県内分布】東京湾. 定着は未確認だが、定着している可能性大 【形態・生態】SLca.6cm, プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する, 懸濁物食, 環境: 海域: 上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精), 定着場所は成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-: - 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入): 平成時代 【影響】- 【緊急】定着していても初期の可能性があり、個体数増加を軽減できるかもしれない. 足糸で付着するので、他生物等への影響大? 【対策】移入アサリのチェック, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM, 野外逸脱的 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	イガイ科		影響度	緊急度
991	ムラサキイガイ	要注意外来生物(適否検討), IUCN100	A	B
	<i>Mytilus galloprovincialis</i>			

【原産】地中海 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,琉球,小笠原 【県内分布】各地. 各地で普通に生息 【形態・生態】SLca.6cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長,懸濁物食,環境:海域:潮間帯から上部浅海帯の基質に足糸で付着 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:水中受精,産卵:春～秋 【国内侵入】211:昭和時代(太平洋戦争以前) 【県内侵入】211:昭和時代(太平洋戦争以前) 【影響】121(在来種),340(船底や養殖施設などへ付着),350(発電所取排水管付着) 【緊急】IUCNワースト100,駆除等困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック,塗料等による付着面の定着阻害 【備考】標本CBM 【文献全般】111,104,202 【文献県内】14

軟体動物	イガイ科		影響度	緊急度
992	コウロエンカワヒバリガイ	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	B	C
	<i>Xenostrobus securis</i>			

【原産】オーストラリア/ニュージーランド 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】東京湾や各地の河口域. 比較的高密度 【形態・生態】SLca.2.5cm,プランクトン幼生が着底し成貝へ成長,懸濁物食,環境:海域:汽水域から内湾潮間帯 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精),定着は成体と同じ,時期:夏に着底直後の幼貝が多い 【国内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】- 【緊急】駆除等が困難. 足糸で付着するので、他生物等への影響大? 【対策】バラストタンク水殺菌,付着生物のチェック;塗料等による付着面への定着阻害 【備考】標本CBM 【文献全般】288,130,202 【文献県内】14

軟体動物	カワシンジュガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
993	カワシンジュガイ		C	A
	<i>Margaritifera laevis</i>			

【原産】日本 【国内分布】本州～北海道 【県内分布】現段階では定着なし. 2010年4月手賀沼水系の河川で採取 【形態・生態】グロキディウム幼生をサケ科魚類に付着させ、その後、幼貝となり成長する. 懸濁物食.魚の寄生虫の中間宿主,環境:淡水 【繁殖】体内受精(水中)定着場所は成体と同じ,時期:主に春に幼生を放出 【国内侵入】在来種:- 【県内侵入】150(タナゴの産卵母貝として放流?):平成時代 【影響】タナゴ類の産卵母貝 【緊急】- 【対策】持ち込み・放流の禁止 【備考】標本CBM 【文献全般】増田修(1994) 【文献県内】-

軟体動物	フタマシラガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
994	ウメノハナガイモドキ		C	B
	<i>Felaniella sowerbyi</i>			

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾 【県内分布】小櫃川河口干潟. 極めて密度が高い 【形態・生態】SLca.0.5cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:潮間帯の砂底 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:受精は水中で、定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】:- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリ):平成時代 【影響】- 【緊急】個体数も多く、プランクトン幼生を出すので、駆除等が難しい 【対策】バラストタンク水の「殺菌」や移入アサリのチェック,産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】52

軟体動物	イソシジミ科	国内外来生物	影響度	緊急度
995	ワスレイソシジミ		C	C
	<i>Nuttallia obscurata</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道～九州 【県内分布】東京湾奥部. 在来群が絶滅した後に、定着 【形態・生態】プランクトン幼生から、幼貝・成貝となる,環境:海域:潮間帯下部から潮下帯の砂泥底,懸濁物食 【繁殖】海中で体外受精 【国内侵入】在来種:- 【県内侵入】110(食用関連の廃棄):平成時代 【影響】110(魚貝類の餌),120(在来アサリ?) 【緊急】現段階では危険性は少ない 【対策】海中で体外受精のため対策困難 【備考】標本CBM(県外産),シオサザナミ科? 【文献全般】松隈(2010) 【文献県内】-

軟体動物	カワホトギスガイ科		影響度	緊急度
996	イガイダマシ	要注意外来生物(情報不足)	C	C
	<i>Mytilopsis sallei</i>			

【原産】カリブ海南部 【国内分布】東京湾,瀬戸内海等 【県内分布】東京湾や内房. 広範囲ではないが、湾奥部を中心に繁殖している 【形態・生態】SHca.2cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:主に上部浅海帯の基質に足糸で付着 【繁殖】体外受精(放卵放精),定着場所は成体と同じ,産卵:初夏～秋(大阪湾) 【国内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210?,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】121(在来種)340(資材付着) 【緊急】駆除等困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック,付着面への定着阻害 【備考】標本CBM 【文献全般】64 【文献県内】14

軟体動物	フナガタガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
997	ウネナシトマヤガイ	県RDB:A	C	C
	<i>Trapezium liratum</i>			

【原産】本州-九州/中国沿岸 【国内分布】東京湾 【県内分布】江戸川放水路,新浜湖. 局所的に個体数が多い 【形態・生態】SLca.2.5cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:潮間帯のカキ等の基質に足糸で付着 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:受精は水中で、定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210,211,西日本に生息:- 【県内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】- 【緊急】個体数も多く、プランクトン幼生を出すので、駆除等が困難 【対策】バラストタンク水の「殺菌」や付着生物のチェック 【備考】国内外来種 【文献全般】- 【文献県内】159

軟体動物	シジミ科		影響度	緊急度
998	タイワンシジミ	要注意外来生物(情報不足)	B	A
	<i>Corbicula fluminea</i>			

【原産】東アジア 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】主に県北部. 着実に増加中 【形態・生態】SLca.2cm,懸濁物食,環境:淡水域:人里周辺の止水～緩流域 【繁殖】体内受精(放精:雄性発生),定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(在来マシジミ),340(ヤマトシジミ選別の手間,ヤマトシジミとの競合?) 【緊急】マシジミを駆逐する? 【対策】移入シジミのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,産地表示明確化 【備考】標本CBM,写真内水面水産研究所 【文献全般】増田ほか(1998),202 【文献県内】203,37

軟体動物	シジミ科		影響度	緊急度
999	カネツケシジミ	要注意外来生物(情報不足)	B	A
	<i>Corbicula fluminea form insularis</i>			

【原産】東アジア 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】各地. 1990年代には多かったが、近年はやや減少傾向 【形態・生態】SLca.2cm,体内で稚貝となり、体外放出され成長する,懸濁物食,環境:淡水域:人里周辺の緩流～止水域 【繁殖】体内受精(放精:雄性発生),定着は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(マシジミ),142(マシジミ) 【緊急】着実に分布を広げており、在来種のマシジミを駆逐する可能性がある 【対策】移入シジミのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,産地表示明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】187,170,202 【文献県内】162

軟体動物	シジミ科		影響度	緊急度
1000	ウスシジミ		B	B
	<i>Corbicula papyracea</i>			

【原産】朝鮮半島 【国内分布】関東地方等 記録:利根川,霞ヶ浦,北浦 等 【県内分布】利根川河口. 河口域でやや低密度で生息 【形態・生態】SLca.2cm,幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:汽水域:河口部の潮間帯砂/砂泥底 【繁殖】体外受精?,場所:受精は水中で、定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:平成時代 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(ヤマトシジミ),340(ヤマトシジミ選別の手間増加) 【緊急】- 【対策】移入シジミのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,ヤマトシジミ混獲時の除去,産地表示の明確化 【備考】- 【文献全般】199 【文献県内】199

軟体動物	シジミ科	影響度	緊急度
1001	ヤマトシジミ <i>Corbicula sp. cf. japonica</i>	C	B

【原産】東アジア 【国内分布】東京湾 【県内分布】東京湾奥部/東京都側. 県側の生息確認なしだが、ほぼ確実に定着 【形態・生態】SLca.2cm, プランクトン幼生が着底し、成貝へ成長する, 懸濁物食, 環境:汽水域:内湾の潮間帯砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精), 定着場所は成体と同じ, 時期:産卵期は5-8月 【国内侵入】110:平成時代 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(ヤマトシジミ) 【緊急】現在は在来ヤマトシジミ絶滅域で問題は少ないが、今後の注視が必要 【対策】移入シジミのチェック, 食用移入遺棄防止, 養殖蓄養の配慮, 産地表示明確化 【備考】標本CBM, 写真:内水面水産研究所 【文献全般】根本ほか(2003) 【文献県内】-

軟体動物	シジミ科	影響度	緊急度
1002	シジミ属の一種 <i>Corbicula sp. cf. largillierti</i>	C	A

【原産】東アジア 【国内分布】千葉県 【県内分布】県北西部. 多少不確実であるが、タイワンシジミとは異なるものが市原市等で確認 【形態・生態】SLca.2.5cm, 懸濁物食, 環境:淡水域:人里周辺の緩流～止水域 【繁殖】体内受精(放精), 定着場所は成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:平成時代 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(在来マシジミ) 【緊急】着実に分布を広げており、在来種のマシジミを駆逐する可能性がある。まだ定着地は少ないようである 【対策】移入シジミのチェック, 食用移入の遺棄防止, 養殖蓄養の配慮, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】根本ほか(2003) 【文献県内】-

軟体動物	マルスダレガイ科	影響度	緊急度
1003	ホンビノスガイ <i>Mercenaria mercenaria</i>	B	C

【原産】北アメリカ東岸 【国内分布】東京湾 【県内分布】東京湾. 着実に、生息域・個体数を増加させている 【形態・生態】SLca.8cm, プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する, 懸濁物食, 環境:海域:潮間帯から上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】体外受精(放卵放精), 場所:受精は水中で、定着場所は成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110食用個体の遺棄:平成時代 【県内侵入】400能動分散:平成時代 【影響】- 【緊急】個体数増加が大きく、影響がでるのかもしれない 【対策】食用移入種の遺棄防止 【備考】標本CBM, 漁業対象種 【文献全般】樋渡・木幡(2005) 【文献県内】161,206

軟体動物	マルスダレガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1004	ハマグリ <i>Meretrix lusoria</i>	県RDB:X	B	B

【原産】有明海/黄海 【国内分布】主に九州周辺, 東京湾 【県内分布】東京湾. 在来個体群は絶滅. 外来群が時々発見される. 定着可能性高 【形態・生態】SLca.5cm, プランクトン幼生が着底し、成貝へ成長, 懸濁物食, 環境:海域:潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精), 産卵は6-10月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:平成時代 【影響】- 【緊急】- 【対策】移入ハマグリ・アサリのチェック, 食用移入の遺棄防止, 養殖蓄養の配慮, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM, 野外逸脱的. 東京湾在来個体との遺伝的差異の調査が必要 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	マルスダレガイ科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
1005	シナハマグリ <i>Meretrix petechialis</i>		C	A

【原産】黄海 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】東京湾. 東京湾で確認されるが、未定着と推定 【形態・生態】SLca.8cm, プランクトン幼生が着底し成長, 懸濁物食, 環境:海域:潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精), 定着場所は成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110:平成時代 【影響】- 【緊急】定着可能性は低いですが、もし定着した場合、初期の根絶等が可能? 【対策】移入ハマグリ・アサリのチェック, 食用移入の遺棄防止, 養殖蓄養の配慮, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM, 定着すれば漁業対象種 【文献全般】202 【文献県内】

軟体動物	マルスダレガイ科	影響度	緊急度
1006	タイワンハマグリ <i>Meretrix sp.</i>	C	C

【原産】台湾 【国内分布】- 【県内分布】東京湾. 東京湾(富津市,千葉市)で生きた個体や殻が確認 【形態・生態】環境:海域:潮間帯から上部浅海帯の砂/砂泥底,懸濁物食 【繁殖】体外受精(放卵放精),プランクトン幼生が着底,定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110(潮干狩りの放流)今後の定着は不明ながら、放流は今後も行われる可能性あり:平成時代 【県内侵入】110(潮干狩りの放流):平成時代 【影響】軽微 【緊急】- 【対策】移入ハマグリをチェック;食用移入の遺棄防止;養殖・蓄養の配慮 【備考】標本CBM,定着すれば漁業対象種 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	マルスダレガイ科	国内外来および国外外	影響度	緊急度
1007	アサリ <i>Ruditapes philippinarum</i>		B	A

【原産】有明海/黄海 【国内分布】北海道,本州,九州,四国,移入(東京湾等) 【県内分布】東京湾. 確実な繁殖報告なしだが、繁殖可能性高 【形態・生態】SLca.3cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精),定着場所は成体と同じ,時期:春,秋 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:平成時代 【影響】141(在来アサリ),340(混入による在地個体群の価格の低下等) 【緊急】- 【対策】移入アサリのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,産地表示の明確化 【備考】国外及び国内外来種 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	イワホリガイ科	影響度	緊急度
1008	ウスカラシオツガイ <i>Ptericola sp. cf. lithophaga</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ? 【国内分布】東京湾,三河湾,瀬戸内海等 【県内分布】東京湾. 個体数を変動させながらも、安定した個体群を維持している 【形態・生態】SHca.2cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:潮間帯から上部浅海帯の基質上 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:受精は水中で、定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】211?:平成時代 【県内侵入】211:平成時代 【影響】340(漁業関係資材への付着) 【緊急】プランクトン幼生を出すので、駆除困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】225,227

節足動物	ヒメハダニ科	影響度	緊急度
1009	ランヒメハダニ <i>Tenuipalpus pacificus</i>	C	B

【原産】台湾,東南アジア,欧州,アメリカ,中南米など 【国内分布】- 【県内分布】山田町(ハウス内)野外では未確認,コチョウランを栽培している農家で発生が確認された 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:施設(ファレノプシス) 【国内侵入】-:1991年(三重県) 【県内侵入】-:- 【影響】310(ファレノプシスの葉) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

節足動物	ハダニ科	影響度	緊急度
1010	ルイスアケハダニ <i>Eotetranychus lewisi</i>	C	B

【原産】フィリピン,アフリカ,アメリカ大陸,ハワイ 【国内分布】- 【県内分布】大栄町,東庄町(ハウス内)野外では未確認,香取のポインセチアを栽培している農家で発生が確認された 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:施設(ファレノプシス)ポインセチア 【国内侵入】-:1997年(奈良県) 【県内侵入】?侵入害虫かどうか不明:2001年に香取のポインセチアで発生が確認された 【影響】310(ポインセチアの葉) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

節足動物	ハダニ科	影響度	緊急度
1011	マンゴーツメハダニ	A	C
<i>Oligonychus coffeae</i> (Nietner)			

【原産】全世界の熱帯,亜熱帯 【国内分布】沖縄県,鹿児島県ほか 【県内分布】館山市,果樹園(施設) 【形態・生態】TL♀429 μ m, ♂390 μ m,年間世代数max22.卵～成虫まで14～15日.マンゴー,チャ,コーヒー他に寄生.硬化した葉表に好んで寄生.卵は主脈沿いに多く産卵.食性:広食性 【繁殖】マンゴー等果樹などの葉上,通年繁殖 【国内侵入】230(苗の移動):- 【県内侵入】:-2009年 【影響】310(マンゴー) 【緊急】高温性の施設栽培果樹園で定着,被害拡大する懸念があり 【対策】苗導入時の寄生有無確認,発生後は薬剤防除 【備考】- 【文献全般】植物防疫(51).26-29(1997.1),植物防疫(62).642-644(2008.12) 【文献県内】30

節足動物	ハダニ科	影響度	緊急度
1012	モクセイマルハダニ	C	B
<i>Panonychus osmanthi</i>			

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】松戸市,庭木のモクセイ類で発生する 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】?侵入害虫かどうか不明:- 【影響】310(モクセイの葉に被害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

節足動物	フシダニ科	影響度	緊急度
1013	イチジクモンサビダニ	C	C
<i>Aceria ficus</i>			

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】一部,家庭果樹用として植えられているイチジクで発生が確認されたことがある 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】?侵入害虫かどうか不明:- 【影響】310(イチジク) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

節足動物	フシダニ科	影響度	緊急度
1014	トマトサビダニ	C	B
<i>Aculops lycopersici</i>			

生態学会100

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】全域(ハウス内)野外では未確認,減農薬のトマトでしばしば発生する 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】時期:周年 【国内侵入】:-1986年に沖縄で初めて確認 【県内侵入】:-1995年に松戸のトマト農家で発生 【影響】310(トマト) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

節足動物	フジツボ科	影響度	緊急度
1015	タデジマフジツボ	D	C
<i>Balanus amphitrite</i>			

要注意外来生物(情報不足)

【原産】不明(?ハワイ,?フィリピン) 【国内分布】北海道～九州 【県内分布】千葉県沿岸全域,千葉県沿岸の内湾の特に港湾施設岩壁に非常に多数生息 【形態・生態】直径ca.10-15mm,内湾潮間帯～潮下帯,海中懸濁物食,環境:海域 【繁殖】場所:内湾潮間帯～潮下帯,時期:ほぼ周年産卵がおこなわれる 【国内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):明治以降(1935年に相模沖の記録がある) 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):明治以降? 【影響】340(船底汚損) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】岩崎ほか(2004) 【文献県内】朝倉(1992)

節足動物	フジツボ科	影響度	緊急度
1016	アメリカフジツボ <i>Balanus eburneus</i>	D	C

【原産】アメリカ合衆国北部東岸～南米北岸 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】東京湾沿岸, 東京湾奥に多数生息 【形態・生態】直径ca.15mm, 内湾潮下帯, 海中懸濁物食, 環境: 海域 【繁殖】場所: 内湾潮下帯, 時期: ほぼ周年産卵がおこなわれる 【国内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水): 明治以降(1950年) 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水): おそらく1950～1960年の間 【影響】- 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】14, 岩崎ほか(2004) 【文献県内】14

節足動物	フジツボ科	影響度	緊急度
1017	ヨーロッパフジツボ <i>Balanus improvisus</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ大西洋岸 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】東京湾沿岸, 銚子, 東京湾内に生息 【形態・生態】直径ca.10mm, 内湾潮下帯, 海中懸濁物食, 環境: 海域 【繁殖】場所: 内湾潮下帯, 時期: ほぼ周年産卵がおこなわれる 【国内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水): 明治以降(1952年) 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水): 1960年頃? 【影響】- 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】14, 岩崎ほか(2004) 【文献県内】14

節足動物	フジツボ科	影響度	緊急度
1018	ココポーマアカフジツボ <i>Megabalanus coccopoma</i>	D	C

【原産】東太平洋(メキシコ～エクアドル) 【国内分布】岩手県～高知県, 瀬戸内海 【県内分布】高い, 全沿岸域に出現 【形態・生態】SBmax35mm, 海中懸濁物食, 環境: 海域 【繁殖】浮遊幼生, 繁殖場所: 潮下帯岩礁, 浮き・ブイ, 船体 【国内侵入】船舶に付着して運ばれた可能性が高い: 1981年 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水): 不明 【影響】340(船底汚損) 【緊急】- 【対策】船体汚損の防止, バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】Yamaguti et al. (2009) 【文献県内】Yamaguti et al. (2009)

節足動物	オカダンゴムシ科	影響度	緊急度
1019	オカダンゴムシ <i>Armadillidium vulgare</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】全国的に分布(関東・北陸以南に多い) 【県内分布】全県的に人為の及ぶ場所にごく普通, すでにかなり多い 【形態・生態】TLmax14mm, 寿命不詳, 雑食(落葉, 生の植物, 他の虫およびその遺体), 環境: 陸域, 人為の及ぶ場所 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない), 場所: 人為の及ぶ場所, 時期: 春～秋に産卵 【国内侵入】不明: 明治以降 【県内侵入】不明: 不明 【影響】落葉の分解に役立つ, 生の植物や虫を食べる, 270(園芸作物), 200(不被害虫) 【緊急】- 【対策】侵入防止, 殺虫剤 【備考】- 【文献全般】209, 211 【文献県内】210

節足動物	ナガワラジムシ科	影響度	緊急度
1020	ナガワラジムシ <i>Haplophthalmus danicus</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】全国的に分布(関東・北陸以南に多い増加傾向にあると思われる) 【県内分布】全県的に公園や二次林など, 増加傾向にあると考えられる 【形態・生態】TLmax4mm, 寿命不詳, 食性: 主に落葉, 環境: 陸域, 公園や二次林, 林縁など 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない), 場所: 公園や二次林など, 時期: 不明 【国内侵入】不明: 明治以降 【県内侵入】不明: 不明 【影響】落葉の分解に役立つ 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】209, 211 【文献県内】210

節足動物	ワラジムシ科	影響度	緊急度
1021	ホソワラジムシ <i>Porcellionides pruinosus</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】全国的に分布(関東・北陸以南に多い) 【県内分布】全県的に人為の及ぶ場所,拡大している観察例はない 【形態・生態】TLmax13mm,寿命不詳,食性:主に落葉,環境:陸域人為の及ぶ場所 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:人為の及ぶ場所,時期:春～秋に産卵 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ,200(不快害虫) 【緊急】- 【対策】侵入防止,殺虫剤 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	ワラジムシ科	影響度	緊急度
1022	オビワラジムシ <i>Porcellio dilatatus</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】関東地方などに希 【県内分布】館山市で報告例有り,拡大している観察例はない 【形態・生態】TLmax16mm,寿命不詳,食性:主に落葉,環境:陸域,人為の及ぶ場所 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:人為の及ぶ場所,時期:不明 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	ワラジムシ科	影響度	緊急度
1023	ワラジムシ <i>Porcellio scaber</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】全国的に分布(中部以北に多いが南西日本に分布を拡大中) 【県内分布】全県的に人為の及ぶ場所にごく普通,すでにかなり多く,かつ増加傾向と考えられる 【形態・生態】TLmax12mm,寿命不詳,食性:主に落葉,環境:陸域人為の及ぶ場所,水辺にもしばしば出現 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:人為の及ぶ場所,時期:春～秋に産卵 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ,200(不快害虫) 【緊急】- 【対策】侵入防止,殺虫剤 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	マミズヨコエビ科	影響度	緊急度
1024	フロリダマミズヨコエビ <i>Crangonyx floridanus</i>	C	B

【原産】北米(東海岸) 【国内分布】本州,四国,九州(一部未公表) 【県内分布】古利根沼,都川,鹿島川,栗山川,一宮川,多い場所では,100個体/m2をこえる.2006年の段階では,北総地域に分布拡大中 【形態・生態】BW数-数10mg,汚水や高水温に耐性,やや富栄養化した河川・湖沼で採集,デトリタス食,環境:淡水域 【繁殖】雌が包卵,場所:河川では礫底,湖沼では水草帯,時期:冬期以外 【国内侵入】230(観賞水草?):1980年代 【県内侵入】230(観賞水草?):1980年代 【影響】120(底生動物),280(水生植物を分解し植生を一変?) 【緊急】体サイズが小さいので一度侵入すると除去は困難 【対策】- 【備考】- 【文献全般】184,328 【文献県内】184,37

節足動物	ヌマエビ科	影響度	緊急度
1025	カワリヌマエビ属の一種 <i>Neocaridina</i> sp.	DD	C

【原産】中国 【国内分布】埼玉県,東京都,千葉県(形態的によく一致する標本) 【県内分布】夷隅川など,詳細は不明 【形態・生態】TLmax40mm,近縁のミナミヌマエビの場合:産卵3月上旬～9月.約2ヶ月で性成熟.産卵数最大約140個.飼育での寿命は2年以上,食性:付着珪藻等,環境:淡水域 【繁殖】直達発生,場所:流れの緩やかな小河川,水田の用水路,時期:春～秋 【国内侵入】150(おそらく釣り餌用):不明 【県内侵入】150(おそらく釣り餌用):不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】個体の遺棄を防ぐ 【備考】分類は未確定.交雑可能性あり,県内採集標本は*N. denticulata sinensis*あるいは*N. heteropoda*? 【文献全般】林(2007) 【文献県内】-

節足動物	アメリカザリガニ科		影響度	緊急度
1026	アメリカザリガニ	要注意外来生物(適否検討), 生態学会100	C	C
	<i>Procambarus clarkii</i>			

【原産】アメリカ東南部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】県内全域, 多い. 場所によっては増加傾向 【形態・生態】TL120mmに達する, 河川, 池沼, 水田, 用水路などの止水や流れの緩やかな泥底に生息する. 満1年で体長約40mm, 2年で約60mmに成長し, 成熟する, 雑食性, 環境: 淡水域 【繁殖】直達発生, 場所: 生息可能な場所, 時期: 冬期を除く 【国内侵入】ウシガエルの餌料として移入: 1927年 【県内侵入】不明: 不明 【影響】113, 310(水稻の食害, 畦道破壊) 【緊急】定着してから長時間が経過し, 人間生活との関連も深く, 評価は容易ではない 【対策】侵入防止, 駆除 【備考】- 【文献全般】202, 16, 253 【文献県内】-

節足動物	ザリガニ科		影響度	緊急度
1027	ウチダザリガニ	特定外来生物, 生態学会100	D	C
	<i>Pacifastacus leniusculus</i>			

【原産】アメリカ合衆国北西部 【国内分布】北海道, 福島県, 栃木県, 千葉県, 長野県, 滋賀県 【県内分布】利根川水系, 出現は限定的だが, 定着の可能性がある 【形態・生態】TL約150mm, 比較的冷涼な淡水環境に生息する. 寿命は6年ぐらいと考えられる, 雑食性, 環境: 淡水域 【繁殖】直達発生 【国内侵入】形態的には北海道, 福島産の個体群に類似し, これらの地域由来の可能性が高い. 要因としては, 飼育個体の遺棄が可能性として指摘される: 1926年 【県内侵入】不明: 2005年頃 【影響】110 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守, 駆除 【備考】- 【文献全般】Usiolほか(2007)陸水学雑誌68:471-482 【文献県内】尾崎ほか(2011)千葉生多セ研報3:65-67.

節足動物	イッカククモガニ科		影響度	緊急度
1028	イッカククモガニ		D	C
	<i>Pyromaia tuberculata</i>			

【原産】北米太平洋岸のサンフランシスコから南米コロンビアまで 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】東京湾沿岸, 東京湾内に非常に多数生息 【形態・生態】CWca. 25mm, 内湾潮下帯, 海底堆積有機物食, 環境: 海域 【繁殖】夏期で1ヶ月, 冬季で3ヶ月で成熟し, 1回の産卵後直ちに次のバッチを産卵する, 場所: 内湾潮下帯, 時期: ほぼ周年 【国内侵入】210(船底)か211?: 明治以降 【県内侵入】210(船底)か211?: 1970年頃? 【影響】120(在来的小型カニ類) 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】14, 97, 53 【文献県内】53

節足動物	ガザミ科		影響度	緊急度
1029	チチュウカイミドリガニ	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	C	B
	<i>Carcinus aestuarii</i>			

【原産】地中海 【国内分布】神奈川県, 東京都, 浜名湖など 【県内分布】東京湾沿岸, 東京湾内に多数生息 【形態・生態】CWca. 50-60mm, 内湾潮下帯, 寿命3年以上, 食性: 貝類, 甲殻類, ゴカイ類など, 環境: 海域 【繁殖】幼生着底3月頃, 稚ガニは春～夏に成長, 秋から繁殖, 場所: 内湾潮下帯, 時期: 冬期を中心とした11月～5月 【国内侵入】210(船底)か211: 明治以降(1984年) 【県内侵入】210(船底)か211: 1959年頃(浦安採集記録) 【影響】112(カニ類, 貝類), 340(ワタリガニ類, 二枚貝?) 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】きわめて近縁の *Carcinus maenas* が, 世界中に侵入 【文献全般】14, 97, 53 【文献県内】53

昆虫類	ゴキブリ科		影響度	緊急度
1030	クロゴキブリ		C	C
	<i>Periplaneta fuliginosa</i>			

【原産】不明 【国内分布】太平洋岸東京附近, 西方奄美大島, 伊豆諸島 【県内分布】多い 【形態・生態】♂ TL25mm内外, 翅長23-25mm, ♀ TL25-30mm, 翅長25mm, 幼虫期6-12ヵ月, 幼虫越冬. 成虫は夏出現 【繁殖】時期: 5-10月. 1卵鞘中の卵数は22-26個程度. 卵鞘を一生で約20個産む. 産卵場所は引出しや戸棚の内側など 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】200(家屋内害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】13, 274 【文献県内】-

昆虫類	マダラゴキブリ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1031	サツマゴキブリ		DD	C
	<i>Opisthoplatia orientalis</i>			

【原産】- 【国内分布】四国足摺岬,九州南部,伊豆八丈島,和歌山,愛知,静岡 【県内分布】鴨川市,富津市,館山市,鴨川市では定着が確認されている 【形態・生態】TL♂25mm ♀30-35mm,幼虫で越冬し6月頃成虫となる.環境:陸域 【繁殖】卵胎生,繁殖場所:朽ち木の隙間に数頭ひそむ. 幼生は水中を好む 【国内侵入】-:- 【県内侵入】200?:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】近年、和歌山,愛知,静岡で生息が確認されている 【文献全般】360 【文献県内】152,山崎秀雄(2010)千葉生物誌60(1):45.,山崎秀雄(2011)千葉生物誌60(2):54-55.

昆虫類	チャバネゴキブリ科	生態学会100	影響度	緊急度
1032	チャバネゴキブリ		C	C
	<i>Blattella germanica</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道,南日本には少ない 【県内分布】多い 【形態・生態】♂TL12mm,翅長10mm,♀TL11mm,翅長11mm,環境:飲食店,住宅など 【繁殖】一生に3-7個の卵鞘を産む.1卵鞘中の卵数は40-50個.20℃以下では産卵が出来ない 【国内侵入】-:江戸末期頃 【県内侵入】-:- 【影響】200(室内害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】13,274 【文献県内】-

昆虫類	マツムシ科	影響度	緊急度
1033	アオマツムシ	C	C
	<i>Calyptotrypus hibernis</i>		

【原産】中国 【国内分布】福島県以西(南西諸島や九州南部以外) 【県内分布】全域. 1970~1980代に分布拡大 その後現在に至るまで分布範囲はあまり拡大していない 【形態・生態】TL23-24mm,翌春孵化した幼虫は8月下旬~9月下旬に羽化.発育ゼロ点10℃,有効積算温度1300日℃,草食,環境:陸域 【繁殖】産卵は10月下旬まで,場所:年1回の発生. 小枝の組織内に産まれた卵で越冬,時期:産卵8~10月 【国内侵入】210(果樹類苗木):1898年 【県内侵入】400:- 【影響】310(ナシ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】90,234 【文献県内】35

昆虫類	クギヌキハサミムシ科	影響度	緊急度
1034	スジハサミムシモドキ	DD	C
	<i>Elaeum bipartitus</i>		

【原産】亜熱帯~熱帯地域 【国内分布】群馬,栃木,埼玉,茨城,千葉 【県内分布】市川市,流山市,印西市,成田市 【形態・生態】TL25-30mm,成虫越冬,食性:腐蝕植物や昆虫の死骸など. 生きた昆虫も 【繁殖】- 【国内侵入】-:1998年(栃木県) 【県内侵入】-:2010年 【影響】113(ギニアキビ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2010年10月 印西市初採集(宮内博至未発表) 【文献全般】314,229,205 【文献県内】180

昆虫類	ゲンバイムシ科	影響度	緊急度
1035	アワダチソウゲンバイ	C	C
	<i>Corythucha marmorata</i>		

【原産】北米 【国内分布】本州,四国 【県内分布】- 【形態・生態】TL:約3mm,出現期:7~10月,セイタカアワダチソウ,オオアワダチソウ,オオオナモミ,ナス,キク,ヒマワリ,サツマイモ等の汁 【繁殖】年3回 【国内侵入】200:2000年(兵庫県西宮市) 【県内侵入】400?:2005年(流山市) 【影響】310(キク,甘藷,ナスなどの可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】333,91 【文献県内】313,284

昆虫類	ゲンバウムシ科	影響度	緊急度
1036	プラタナスゲンバイ	C	C
<i>Corytucha ciliata</i>			

【原産】北米 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】市川市, 八千代市 【形態・生態】TL3.5mm, 食性: プラタナス, 環境: 陸域
 【繁殖】- 【国内侵入】-: - 【県内侵入】-: - 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2001年に愛知県名古屋市中で発生が確認されて以来、日本各地で確認されている 【文献全般】91, 山田量崇・行成正昭(2009)徳島県立博物館研究報告(19):51-54 【文献県内】352

昆虫類	ゲンバウムシ科	影響度	緊急度
1037	ヘクソカズラゲンバイ	DD	C
<i>Dulinius conchatus</i>			

【原産】東南アジア 【国内分布】本州(関東以西), 四国, 九州北部 【県内分布】市川市 【形態・生態】TL2.6-3.2mm, 年3回, 食性: アカネ科 【繁殖】- 【国内侵入】-: - 【県内侵入】-: - 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】1996年に大阪府池田市で確認され、その後佐賀, 福岡, 岡山, 愛媛, 徳島, 兵庫(洲本市)などで確認されている 【文献全般】91, 山田量崇・行成正昭(2009)徳島県立博物館研究報告(19):51-54 【文献県内】山崎秀雄私信(引用文献不明)

昆虫類	サシガメ科	影響度	緊急度
1038	ヨコヅナサシガメ	DD	C
<i>Agriosiphodrus dohrni</i>			

【原産】中国 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】全域に拡大中 【形態・生態】TL16-24mm, サクラ・エノキなどに群集して越冬. 5月頃成虫. 環境: 陸域 【繁殖】時期: 6-7月 【国内侵入】250(積み荷にまぎれて侵入): 1928年九州 【県内侵入】250: - 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】360, 147 【文献県内】281

昆虫類	ヘリカメムシ科	影響度	緊急度
1039	マツヘリカメムシ	DD	C
<i>Leptoglossus occidentalis</i>			

【原産】北米 【国内分布】関東 【県内分布】県北西部, 多い 【形態・生態】マツ類の新芽, 球果などから吸汁(北米) 【繁殖】TL18-20mm 【国内侵入】不明: 2008年 【県内侵入】不明: 2008年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】91 【文献県内】256

昆虫類	ヘリカメムシ科	国内外来	影響度	緊急度
1040	ミナミトゲヘリカメムシ		C	C
<i>Paradasynus spinosus</i>				

【原産】日本(沖縄諸島) 【国内分布】本州, 四国, 九州, 琉球 【県内分布】- 【形態・生態】TL16-23mm, 南方系のカメムシ寄主植物: シロモジ, クスノギ(クスノギ科), ミカンの果実を吸汁 【繁殖】- 【国内侵入】300?: 1973-1975年にかけて鹿児島県に発生 【県内侵入】300?: 2010年? 【影響】310(柑橘類) 【緊急】- 【対策】殺虫剤散布 【備考】- 【文献全般】361 【文献県内】362

昆虫類	カメムシ科	影響度	緊急度
1041	ミナミアオカメムシ	A	A
<i>Nezara viridula</i>			

【原産】東南アジア熱帯地方 【国内分布】西日本各地 【県内分布】勝浦市,館山市. 水田,果樹園,畑作物圃場 【形態・生態】TL12～16mm,環境:陸域,年3～4回発生.4月～越冬成虫が活動開始.10月上旬～イネ科雑草の株元で越冬.広食性(豆類,イネ他各種作物の子実) 【繁殖】有性生殖,時期:5～10月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】300:2009年 【影響】310(豆類,イネ他各種作物の子実を吸汁加害) 【緊急】発生量に年次間差あり,発生時期予測しにくい.防除適期の判定困難 【対策】薬剤防除,南地域(定着)では的確な予察必要 【備考】冬期の平均気温が5℃以下では越冬できない.温暖化により、分布拡大 【文献全般】植物防疫.(53).30-34 【文献県内】32

昆虫類	セミ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1042	クロイワツクツク		DD	C
<i>Meimuna kuroiwaie</i>				

【原産】原産地不明 【国内分布】鹿児島県大隈半島,種子島,屋久島,奄美大島,喜界島,沖縄本島(沖縄本島以北) 【県内分布】白浜町. わずかずつ生息域を拡大中 【形態・生態】TL♂23-37,♀25-34mm,TL37-52mm,人里近くの樹林にみられる.成虫期8月中旬-11月下旬,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】230:- 【県内侵入】230:1972,1973年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】243 【文献県内】-

昆虫類	アオバハゴロモ科	影響度	緊急度
1043	キノカワハゴロモ	DD	C
<i>Atracis formosana</i>			

【原産】台湾 【国内分布】本州～九州,南西諸島 【県内分布】白井市,千葉市,鴨川市 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】不明:- 【県内侵入】不明:1990年代後半? 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】5

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1044	ジンチョウゲヒゲナガアブラムシ	DD	C
<i>Acyrtosiphon argus</i>			

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】鎌ヶ谷市,市川市.市原市 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:1989年につくば市で発見された 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1045	キョウチクトウアブラムシ	C	C
<i>Aphis nerii</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道～九州 【県内分布】全域 【形態・生態】TL1.7mm,食性:キョウチクトウ,ガガイモ,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】186 【文献県内】35

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1046	チューリップネアブラムシ	DD	C
<i>Dysaphis tulipae</i>			

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】安房 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1047	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	DD	C
<i>Uroleucon nigrotuberculatum</i>			

【原産】北米 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域 【形態・生態】無翅型のTLca.4mm,セイタカアワダチソウの師管液を吸汁,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:1991年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202,87 【文献県内】35

昆虫類	コナジラミ科	影響度	緊急度
1048	チャトゲコナジラミ	A	B
<i>Aleurocanthus camelliae</i>			

【原産】中国(?) 【国内分布】22都府県 【県内分布】県北西部. 茶園,生垣,緑化樹 【形態・生態】TL1.1-1.3mm,環境:陸域,孵化幼虫が葉裏に固着寄生,4齢幼虫で越冬5月羽化,寿命は2~4日,食性:チャ,サザンカなどツバキ科植物 【繁殖】有性生殖,場所:茶園及びツバキ科緑化樹,年4回(5,7,9,10月) 【国内侵入】-:2004年 【県内侵入】230(苗の移動):2011年 【影響】310(葉の吸汁加害,すす病,不快害虫) 【緊急】繁殖力高く、短期間に高密度となる.また、成虫は農薬が効きにくい 【対策】発見しだい防除,秋冬期の薬剤防除,薬剤散布前に深刈り,すそ刈り.土着天敵保護,黄色粘着トラップで発生消長モニタリング 【備考】- 【文献全般】337 【文献県内】30

昆虫類	コナジラミ科	生態学会100	影響度	緊急度
1049	シルバーリーフコナジラミ		B	B
<i>Bemisia argentifolii</i>				

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL2mm,露地越冬不可能,ポインセチア,トマト,カボチャイチゴ,ダイズなど.吸汁性昆虫で、雑食性.環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:ナス科,ウリ科,マメ科ほか,時期:通年 【国内侵入】230:1989年 【県内侵入】230:1988年 【影響】230(トマト黄化葉巻ウイルス),310(すす病,トマト黄化葉巻病) 【緊急】根絶が困難 【対策】殺虫剤,防虫ネット,幼若ホルモン溶剤シート,天敵等,成虫侵入防止対策:紫外線カットフィルム開口部を遮光資材でふさぐ. 捕虫テープによる成虫誘引捕殺 【備考】タバココナジラミとの区別は困難 【文献全般】126,125,202 【文献県内】-

昆虫類	コナジラミ科	IUCN100	影響度	緊急度
1050	タバココナジラミ		B	B
<i>Bemisia tabaci</i>				

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(トマト,ポインセチア,ウリ類など) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を取り続けるべき 【対策】薬剤防除 【備考】シルバーリーフコナジラミとの区別は困難 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	コナジラム科	生態学会100	影響度	緊急度
1051	オンシツコナジラム <i>Trialeurodes vaporariorum</i>		B	B

【原産】北米ないし中南米 【国内分布】全国 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL1.2mm,施設内では冬季でも繁殖.4〜6月と10〜12月発生が多,食性:トマト,花卉,ナス,キュウリ,インゲン,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:花き・野菜圃場,時期:4〜6月が特に多. 温室年10回以上,露地年6回発生. 夏期は一時抑制 【国内侵入】210:1974年広島,福島で確認 【県内侵入】210:- 【影響】310(吸汁加害と排泄物にすす病菌繁殖,作物の生育阻害・収量低下,ウイレ病媒介) 【緊急】根絶が困難 【対策】紫外線カットフィルム利用,開口部をふさぐ,捕虫テープによる誘引捕殺,天敵利用(オンシツツヤコバチ),登録薬剤防除,発生初期の処置 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

昆虫類	ワタフキカイガラムシ科	生態学会100	影響度	緊急度
1052	イセリアカイガラムシ <i>Icerya purchasi</i>		C	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】本州,四国,九州,屋久島,種子島,奄美大島,沖縄,石垣島 【県内分布】下総台地,内湾低地,房総沿岸部. 市街地の公園などの天敵の少ない人工的な環境下やトベラなどに多発 【形態・生態】TL4-6mm,環境:陸域 【繁殖】時期:年2-3回,時期不定 【国内侵入】210:明治時代 【県内侵入】210:- 【影響】310(柑橘類,ブルーベリー,庭園樹) 【緊急】- 【対策】薬剤防除,天敵のベダリアテントウの導入・放飼(制圧に成功) 【備考】天敵のベダリアテントウも外来種 【文献全般】121,202 【文献県内】-

昆虫類	コナカイガラムシ科	生態学会100	影響度	緊急度
1053	マデイラコナカイガラムシ <i>Phenacoccus madeirensis</i>		C	C

【原産】中南米 【国内分布】高知県 【県内分布】千葉県鴨川市のキク栽培農家1件 【形態・生態】TL♀4-5mm,年数回発生,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:果樹類,植木類,草本植物の葉上,時期:通年 【国内侵入】1987年から1990年代の初めにかけて小笠原と南西諸島で確認. 本土にも分布. :1987年(小笠原,南西諸島) 【県内侵入】苗の移動:2004年 【影響】310(寄生による生育抑制等の直接的被害と排泄物にすす病) 【緊急】- 【対策】カイガラムシ類の防除薬剤の散布および捕殺(予防的薬剤散布により防除可能) 【備考】- 【文献全般】202,149 【文献県内】-

昆虫類	マルカイガラムシ科	生態学会100	影響度	緊急度
1054	ヤノネカイガラムシ <i>Unaspis yanonensis</i>		C	C

【原産】中国四川省 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】内湾低地,房総丘陵. ほぼ確認されない 【形態・生態】TL♀2.5-3.5mm,年3回発生,成虫越冬一部2齢,食性:柑橘類,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:カンキツの枝,幹,葉,果実,時期:幼虫5〜6月,7〜8月,9〜10月 【国内侵入】210:1907年長崎県で初,明治期に記載 【県内侵入】210,400成虫の移動分散:- 【影響】310(カンキツ) 【緊急】- 【対策】登録薬剤による防除,天敵昆虫の定着利用(効果あり,なお,中国から導入された天敵(ヤノネキイロコバチ,ヤノネツヤコバチ)の放飼により国の指定有害動植物のリストから外された(2000年)) 【備考】- 【文献全般】121,202 【文献県内】-

昆虫類	アザミウマ科	生態学会100	影響度	緊急度
1055	ミカンキイロアザミウマ <i>Frankliniella occidentalis</i>		B	B

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL1.5-1.7mm,露地:桶で越冬可能,食性:花卉イチゴ,キュウリ,ナス,トマト,環境:陸域 【繁殖】時期:4〜9月に5回発生 【国内侵入】230(花き類):1990年 【県内侵入】400:1990年 【影響】310(花き類主体,野菜,果実等に寄生,吸汁による花や生長点の萎縮,花卉かすり症状,果実着色阻,230(ウイルス) 【緊急】防除などの対策を取り続けるべき 【対策】薬剤(合成ピレスロイド系殺虫剤)抵抗性あり,侵入部を寒冷紗で覆う,粘着テープによる誘殺,天敵農業 【備考】- 【文献全般】49,72,202 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1056	クロトンアザミウマ <i>Heliothrips haemorrhoidalis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】関東以南 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL♀1.3-1.7mm,成虫は5-10月,暖地では一年中,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生(単為生殖),繁殖場所:寄生植物の茎葉,花器に産卵葉上 【国内侵入】小笠原で1937年に記録(1950 Monzen):- 【県内侵入】:- 【影響】310(イチゴ,ヤマモモ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1057	カキクダアザミウマ <i>Ponticulothrips diospyrosi</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】富津市梨沢,千葉市 【形態・生態】成虫TL3mm,幼虫0.5-2mm,食性:カキの新葉,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:果樹園 【国内侵入】:-1975年(岡山県) 【県内侵入】:- 【影響】310(カキ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1058	ナシアザミウマ <i>Taeniothrips inoconsequens</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】清澄山 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1059	ハナアザミウマ <i>Thrips hawaiiensis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄本島,宮古島,石垣島 【県内分布】全域 【形態・生態】TL0.9-1.6mm,植食性,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】310(花き,野菜類) 【緊急】- 【対策】薬剤防除(効果やや低),薬剤防除 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1060	ミナミキイロアザミウマ <i>Thrips palmi</i>	生態学会100 C	C

【原産】東南アジア 【国内分布】南西日本 【県内分布】全域. 近年発生は少ない 【形態・生態】TL1.3mm,年10世代前後,蛹化は土中,屋外越冬は不可能,食性:極めて多くの作物や雑草,環境:陸域 【繁殖】植物組織内に産卵,場所:ナス科,ウリ科 野菜,花き類の葉上,時期:通年 【国内侵入】230(花き類):1978年 【県内侵入】400:- 【影響】310(ウリ類,ナス,ピーマン) 【緊急】- 【対策】施設内の侵入防止,紫外線除去フィルムで覆う,反射フィルムでマルチ,粘着テープでの誘殺,天敵農薬の利用,登録薬剤による防除(薬剤抵抗性を獲得した難防除害虫である) 【備考】- 【文献全般】120 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1061	グラジオラスアザミウマ <i>Thrips simplex</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国,1989年岡山,新潟,青森県で確認 【県内分布】全域,安房郡 【形態・生態】TL♀1.6mm,♂1.3mm,成虫・幼虫・卵で球根の鱗片付近で越冬し、春新芽の伸長とともに地上部に移動し食害する,食性:グラジオラスほかカーネーション,アイリス,フリージア,ユリ,バラ小型の吸汁性昆虫,雑食性冬期非休眠型増殖能力が高く、単為生殖が可能?,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:寄生植物の茎葉,花器に産卵,時期:春～秋 【国内侵入】230種球根の移動:1986年(茨城県,静岡県,奈良県) 【県内侵入】230:- 【影響】310(花き類) 【緊急】- 【対策】殺虫剤への耐性も強い?オルトラン水和剤に浸漬,薬剤防除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1062	ネギアザミウマ <i>Thrips tabaci</i>	C	B

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄本島,久米島,宮古島,石垣島,西表島 【県内分布】全域. 多くの露地野菜や花で問題 【形態・生態】TL1mm,植食性,環境:陸域 【繁殖】単為生殖で増加,♂は稀 【国内侵入】:- 小笠原1937年(1950 Monzen) 【県内侵入】:- 【影響】310(各種作物) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を続けるべき 【対策】薬剤防除(効果低) 【備考】ウイルス媒介 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	ボクトウガ科	影響度	緊急度
1063	ヒメボクトウ <i>Cossus insularis</i>	A	C

【原産】- 【国内分布】徳島県他のナシ産地 【県内分布】市原市. 果樹園,森林 【形態・生態】開帳40～60mm,環境:陸域,樹木の粗皮下に卵塊産卵.幼虫は枝幹内に食入,幼虫越冬.1～2年で羽化 【繁殖】有性生殖,6～8月 【国内侵入】:- 【県内侵入】400(?):2010年以前 【影響】310(果樹,ポプラ,ヤナギ類) 【緊急】発生量は多くないが、樹を衰弱させるので防除が必要 【対策】枝幹被害部位は切除処分,休眠期に産卵された粗皮削り,生物農薬(バイオセーフ)を幼虫発生期に使用 【備考】- 【文献全般】植物防疫.(64).779-781 【文献県内】31

昆虫類	ハマキガ科	影響度	緊急度
1064	ナシヒメシンクイ <i>Grapholita molesta</i>	C	B

【原産】中国大陸 【国内分布】全国 【県内分布】全域. 県内の多くのナシ園多発,重要害虫になっている 【形態・生態】開張10～13mm,年間2～6回発生,食性:バラ科,ナシ,ビワ,リンゴ,モモ等,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:ナシ,リンゴほか落葉果樹,クリ,カンキツ,チャなどの新梢,時期:春～秋 【国内侵入】210:1905年 【県内侵入】210,400成虫の飛翔拡大:- 【影響】310(ナシ等バラ科果樹を加害. 幼虫の果実) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を続けるべき 【対策】薬剤防除,粗皮削り等により、越冬量を減少,被害結果枝の除去,登録薬剤による防除,性フェロモン剤による防除法が普及(効果大) 【備考】- 【文献全般】119,92 【文献県内】334

昆虫類	ヒロズコガ科	影響度	緊急度
1065	クロテンオオメンコガ <i>Opogona sacchari</i>	C	C

【原産】アフリカ,中南米,ヨーロッパ 【国内分布】本州以南 【県内分布】千葉県君津郡内の観葉植物栽培農家数件で発生. 観葉植物栽培施設の周辺においても越冬定着の可能性 【形態・生態】TL(開張)♀23mm,♂20mm,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,繁殖場所:寄生植物(観葉植物)の木部 【国内侵入】163:1986年(植物検疫) 【県内侵入】163:1989年 【影響】310(観葉植物(アロエ,パキラ)寄生) 【緊急】- 【対策】成・幼虫の捕殺及び寄生植物の隔離,防虫ネット等による被害拡大防止(根本的な防除になっていないため、徐々に被害が拡大. 冬期でも加温施設内で活動し、定着していると思われる) 【備考】- 【文献全般】369 【文献県内】-

昆虫類	スガ科	影響度	緊急度
1066	リンゴスガ <i>Yponomeuta malinellus</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ? 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】下総台地 【形態・生態】開張17-24mm,成虫6-7月.年1世代,一齢幼虫で越冬,食性:バラ科果木,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:明治の初め 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,43 【文献県内】35

昆虫類	キバガ科	影響度	緊急度
1067	バクガ <i>Sitotroga cerealella</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】開張13-17mm,食性:麦類,米,トウモロコシなど,環境:陸域 【繁殖】時期:北海道で年2回,暖地で年4~5回,初夏に麦穂に産卵,穀粒に侵入した幼虫は貯穀庫内で成長,蛾は屋内でも産卵,1匹総産卵数50-150個程度 【国内侵入】-:明治期に記載(佐々木1900) 【県内侵入】-:- 【影響】貯穀害虫 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202,87,274 【文献県内】35

昆虫類	マダラガ科	影響度	緊急度
1068	タケノホソクロバ <i>Artona martini</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】市川市,千葉市花園町 【形態・生態】TL約20mm,出現期:7-8月,暖地で2-3回,食性:タケ,ササ,環境:陸域,昼行性 【繁殖】- 【国内侵入】-:小笠原で1937年に記録(1950 Monzen) 【県内侵入】-:- 【影響】220(幼虫の背面の瘤起部に毒針毛を備え、これに触れると激しい痛みと後にかゆみを伴う皮膚炎) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,202,43 【文献県内】35

昆虫類	イラガ科	生態学会100	影響度	緊急度
1069	ヒロヘリアオイラガ <i>Parasa lepida</i>		C	C

【原産】中国,インド,セイロンなど 【国内分布】本州,九州,沖縄 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】幼虫は6月下旬~8月中旬,9月中旬~11月,繭で越冬,食性:カキ,ナンキンハゼ,モミジバフウ,サクラ他,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:1989年千葉市初記録 【影響】220(触れると痛い) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1070	ワタヘリクロノメイガ <i>Diaphania indica</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】開張25mm,成虫6-7月,9-10月,食性:ワタ,ウリ,アオイ,ムクゲ等,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(ワタ,アオイ,クワ,キュウリ等ウリ科の葉・生長点加害) 【緊急】- 【対策】薬剤防除(効果の高い薬剤あり) 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】-

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1071	スジマダラメイガ <i>Ephestia cautella</i>	C	C

【原産】熱帯～亜熱帯 【国内分布】- 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】開張8-18mm,年3-4回発生,幼虫越冬倉庫内,食性:米,麦,マメなど.特に粉状になった状態で多く発生,環境:陸域,成虫は通常何も食べない 【繁殖】生涯で平均1.4回交尾し200-300個程度産卵 【国内侵入】250穀物の移動:大正期～昭和初期に定着 【県内侵入】250:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,202,274 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1072	ツツリガ <i>Paralipsa gularis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】下総台地 【形態・生態】成虫は屋内,食性:貯穀,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1073	シバツトガ <i>Parapediasia teterella</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州,対馬,沖縄 【県内分布】全域 【形態・生態】TL成虫開張19-21mm,年3回発生,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:シバ類の茎葉,根部,時期:5～10月 【国内侵入】210:1964年兵庫県でアメリカジョージア州から 【県内侵入】210:- 【影響】310(シバ),200(ゴルフ場) 【緊急】- 【対策】バチルス・チューリンゲンシス(BT)は自然界に広く分布している天敵細菌,薬剤防除(効果高い) 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】-

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1074	ノシメマダラメイガ <i>Plodia interpunctella</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】下総台地 【形態・生態】開張11-18mm,米,クルミ,豆,乾果,菓子.穀類・穀紛やその製品,チョコレート,菓子,ペット飼料等から発生,環境:陸域:屋内で普通に見られるガで、台所で発生する害虫の大半はこの種,幼虫越冬 【繁殖】時期:発生適温:25℃前後,1匹総産卵数は100-400個程度,最適な条件では約40日で成虫になる 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(家屋内で発生) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,274 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1075	カシノシマメイガ <i>Pyralis farinalis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL22-30mm,成虫6-10月,年1,2回発生,幼虫越冬,食性:穀類,穀粉類,種子類など,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:成虫は屋内 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(穀類被害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,43 【文献県内】35

昆虫類	スズメガ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1076	クロメンガタスズメ		C	C
<i>Acherontia lachesis</i>				

【原産】日本 【国内分布】九州,屋久島,沖縄諸島 【県内分布】全域 【形態・生態】開長100-125mm,成虫期7-8月,11月,ナス科,マメ科,ヒルガオ科など 【繁殖】年1回? 【国内侵入】300?:- 【県内侵入】300?:2007 【影響】310(ナス,トマトなどの葉を食害,トマトの未熟果の記録あり) 【緊急】- 【対策】幼虫を発見し,捕殺する 【備考】本州で増加中 【文献全般】44 【文献県内】323

昆虫類		スズメガ科		影響度	緊急度
1077	キョウチクトウスズメ			D	C
<i>Daphnis nerii</i> (Linnaeus)					

【原産】アフリカ,インド,東南アジア 【国内分布】小笠原,琉球列島,九州 【県内分布】館山市(1例のみ). 植栽されたキョウチクトウに終齢幼虫発見(2010年) 【形態・生態】開長80-120mm,5-11月に出現,宮古島以北では越冬できない(県内では無効分散) 【繁殖】多化 【国内侵入】-:1960年 【県内侵入】400:2011年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】和歌山県,静岡県で確認されている. 今後定着の可能性はほとんどない 【文献全般】137 【文献県内】244

昆虫類	ヒトリガ科	生態学会100	影響度	緊急度
1078	アメリカシロヒトリ		B	B
<i>Hyphantria cunea</i>				

【原産】北米 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域. 銚子,八日市場,横芝,土気,高滝から東南部へ拡大 【形態・生態】成虫 TL14-16mm,年2~3回発生,食性:ブラタナスとサクラ,カキ,クワ,ヤナギ類,ニワウルシ等,環境:陸域:蛹で越冬 【繁殖】産卵数平均 900~1000個,場所:樹園地及び街路樹,時期:成虫が5-8月 【国内侵入】250(輸入貨物への蛹混入):1945年頃 【県内侵入】400:1949年 【影響】310(各種街路樹や農作物),270(街路樹や公園の樹木,庭木などの食害) 【緊急】根絶が困難であるが,防除などの対策を続けるべき 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】86,61,96 【文献県内】35

昆虫類	ヤガ科	影響度	緊急度
1079	オオタバコガ	C	C
<i>Helicoverpa armigera</i>			

【原産】アフリカ,ヨーロッパ,アジア,オーストラリア 【国内分布】全国 【県内分布】- 【形態・生態】TL15-18mm,出現期:6-7月,9-10月,食性:トマト,ナス,オクラ,シシトウ,エンドウ,レタス,キャベツ,ニンジン,ワタ,ラッカセイ等,環境:陸域 【繁殖】年2-3回発生 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310 【緊急】- 【対策】粗皮削り,がんしゅ病病斑中の虫を捕殺,がんしゅ病罹病木の除去,剪定痕の傷に塗布剤 【備考】- 【文献全般】137 【文献県内】294,295

昆虫類		ヤガ科		影響度	緊急度
1080	シロイチモジヨトウ			B	B
Spodoptera exigua					

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄 【県内分布】全域 【形態・生態】TL10-15mm,成虫は長距離移動可能,幼虫は耐寒性あり,食性:花卉,ネギなど広範囲,環境:陸域 【繁殖】暖地では年5世代.葉に50-300個の卵塊を産みつける,雌1匹当たりの産卵数は300-900(最大1700) 【国内侵入】-:1980年1月沖縄県のゴルフ場のノシバで最初に発見 【県内侵入】-:- 【影響】310(ネギの葉) 【緊急】根絶が困難であるが,防除などの対策を続けるべき 【対策】薬剤による防除:3齢になると耐性が高い,孵化直後は効果あり,フェロモンによる防除:交信攪乱剤が市販 【備考】- 【文献全般】87,274 【文献県内】-

昆虫類	アゲハチョウ科	国内外来	影響度	緊急度
1081	ナガサキアゲハ <i>Papilio memnon</i>		C	C

【原産】東南アジア～日本 【国内分布】九州,四国,中国地方,関東地方 【県内分布】全域 【形態・生態】九州北部年3回発生耐寒性が弱い,食性:ミカン科の栽培種各種,環境:平地,低い山地帯 【繁殖】最大産卵数:337,場所:グレープフルーツ(関東),時期:第1化4月下旬～5月下旬,第2化6月下旬～7月下旬,第3化8月中～下旬 【国内侵入】300?:1985年近畿地方 【県内侵入】300?:2001年(千葉市) 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】228 【文献県内】-

昆虫類	アゲハチョウ科	CITES-II	影響度	緊急度
1082	ヘレナキシタアゲハ <i>Troides helena</i>		DD	C

【原産】東洋区のほとんど全域 【国内分布】分布していない 【県内分布】分布していない. 放蝶個体が偶然発見されただけと思われる 【形態・生態】開長:約120-160mm,食性:ウマノスズクサ属の一種 【繁殖】- 【国内侵入】162:2000年(三重) 【県内侵入】162:2007年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】193 【文献県内】258

昆虫類	シジミチョウ科	影響度	緊急度
1083	クロマダラソテツシジミ <i>Chilades pandava</i>	B	C

【原産】南アジア～東南アジア 【国内分布】沖縄島南部,与那国島 【県内分布】2009年県南部で発生が見られたが、それ以降確認されていない 【形態・生態】明瞭な季節型,食性:ソテツの若葉,環境:インゲンマメを代用食として利用 【繁殖】最大産卵数約300,繁殖場所:若葉の葉柄の側面,下面,葉裏 【国内侵入】300:沖縄島南(1992-1993),与那国島(2001) 【県内侵入】300(ソテツ):2009年のみ 【影響】310(ソテツ) 【緊急】県内で越冬可能性は低い 【対策】適用のある農薬なし 見つけ次第,捕殺 卵や幼虫の寄生した株を他地域に移動しない. 細心の注意を払う 【備考】- 【文献全般】228,高桑(2012)月刊むし(501):36-42 【文献県内】208,257

昆虫類	タテハチョウ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1084	ツマグロヒョウモン <i>Argyreus hyperbius</i>		C	C

【原産】アメリカ大陸を除く熱帯・温帯域 【国内分布】本州西南部,四国,九州,南西諸島 【県内分布】千葉県全域. 普通にみられる 【形態・生態】山頂に集まる性質,食性:スミレ類,スミレ科無茎種,無毛種,環境:草原,平地,丘陵地の路傍 【繁殖】発生回数4,5回,最大産卵数:約1000,場所:スミレ類,食草付近の他物,時期:晩秋,羽化:第1化4月頃,第2化6月頃(九州) 【国内侵入】300?:南西諸島?には以前から分布 【県内侵入】220, 300(中部,関東地方から)園芸種のパンジーなども食草とすることで分布を拡大していると考えられる:2000年以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】228 【文献県内】-

昆虫類	タテハチョウ科	要注意外来生物(注意喚起)	影響度	緊急度
1085	アカボシゴマダラ名義タイプ亜種 <i>Hestina assimilis assimilis</i>		C	C

【原産】中国 【国内分布】関東,山梨,静岡,愛知,京都など 【県内分布】館山市,富津市,柏市,松戸市,野田市,船橋市 【形態・生態】3月下旬-4月上旬より11月下旬にわたり連続的に数回発生.(奄美大島)年6回程度,エノキ 【繁殖】最大産卵数130,場所:卵は成葉裏面・樹幹・太枝に1つつつ,時期:越冬態は幼虫 【国内侵入】162(逸出,意図的放蝶):1995,1998年以降 【県内侵入】400,162:2008 【影響】122(ゴマダラチョウ),110(同所にいる在来昆虫の幼虫に対する野鳥等の捕食圧を高める効果) 【緊急】- 【対策】- 【備考】奄美諸島には固有亜種*H. a. shirakii*³分布 【文献全般】228,高桑(2012)月刊むし(497):36-40 【文献県内】横田隆夫(2011),117

昆虫類	オサムシ科	影響度	緊急度
1086	コルリアトキリゴミムシ	C	C
<i>Lebia viridis</i>			

【原産】北米 【国内分布】北海道,青森,関東,山梨,長野,静岡,京都,大阪 【県内分布】利根川低地,内湾低地,下総台地 【形態・生態】TL3.5-5mm,ハムシ類の幼虫に寄生タデ類の葉上にカミナリハムシ類と共にいることが多い,ハムシ類の幼虫に寄生,食性:カミナリハムシ類の幼虫,環境:陸域:オープンランド環境セイタカアワダチソウの花 【繁殖】- 【国内侵入】210:1989に千葉県佐倉市から初めて報告(中根1989) 【県内侵入】210:1989に千葉県佐倉市から初めて報告(中根1989) 【影響】112,120(上位捕食者としての影響 競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】195,174 【文献県内】35

昆虫類	エンマムシ科	影響度	緊急度
1087	クロチビエンマムシ	DD	C
<i>Carcinops pumilio</i>			

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】九十九里平野(海岸性昆虫) 【形態・生態】TL2.2-2.7mm,環境:陸域,イエバエの卵を捕食 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】338 【文献県内】35

昆虫類	クワガタムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1088	パラワンオオヒラタクワガタ	要注意外来生物(情報不足)	C	C
<i>Dorcus titanus palawanicus</i>				

【原産】フィリピン 【国内分布】- 【県内分布】2004年9月大多喜町の1例のみ,飼育個体の放虫と思われる 【形態・生態】TL50mm-110mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐),142(在来のはらタクワガタとの交雑の可能性) 【緊急】影響度は不明であるが、発見され次第根絶すべき 【対策】ペット昆虫が放逐されないような普及啓発活動 【備考】定着の可能性は未知 【文献全般】202,261 【文献県内】261

昆虫類	クワガタムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1089	アカアシクワガタ		D	C
<i>Nipponodorcus rubrofemoratus</i>				

【原産】- 【国内分布】国後島,北海道,利尻島,奥尻島,本州,粟島,佐渡島,隠岐,四国,九州,対馬 【県内分布】千葉市(尾崎 2011) 【形態・生態】TL♂23.4-58.5mm,♀24.9-38.0mm6~10月出現,オノエヤナギやケヤマハンノキなどの樹液に集まる,幼虫・成虫の状態で越冬.環境:山地 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】162:2011年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】千葉市で採集された個体は飼育個体の放虫と思われる 【文献全般】- 【文献県内】250

昆虫類	クワガタムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1090	ギラファノギリクワガタ	要注意外来生物(情報不足)	C	C
<i>Prosopocoilus giraffa borobudur</i>				

【原産】東南アジア 【国内分布】- 【県内分布】2004年7月印西市の1例のみ 【形態・生態】TL50mm-120mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐) 【緊急】影響度は不明であるが、発見され次第根絶すべき 【対策】ペット昆虫が放逐されないような普及啓発活動 【備考】印西市の個体は飼育個体の放虫と思われる.定着の可能性は未知 【文献全般】- 【文献県内】287

昆虫類	コガネムシ科	影響度	緊急度
1091	アトラスオオカブト <i>Chalcosoma atlas</i>	C	C

【原産】熱帯アジア 【国内分布】- 【県内分布】2005年9月香取市(山田町)の1例のみ 【形態・生態】TL50mm-110mm,環境:陸域
【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐) 【緊急】影響度は不明であるが、発見され次第根絶すべき 【対策】ペット昆虫が放逐されないような普及啓発活動 【備考】山田町の採取個体は飼育個体の放虫と思われる,定着の可能性は未知 【文献全般】- 【文献県内】262

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1092	シロオビマルカツオブシムシ <i>Anthrenus nipponensis</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州～九州 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL2.3-4.1mm,食性:雑食.花など,環境:陸域,成虫4-7月.成虫で越冬 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1093	ヒメカツオブシムシ <i>Attagenus japonicus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州～九州 【県内分布】利根川低地,内湾低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL3.2-4.8mm,幼虫越冬.5月頃蛹化,6月頃成虫出現.食性:干物,毛皮,毛製品,絹,動物標本,飼料など,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】200,320 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1094	シラホシヒメカツオブシムシ <i>Attagenus pellio</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】印旛村 【形態・生態】TL4.9-5.8mm 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】1978年4月に印旛村で初めて採集される:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】305

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1095	トビカツオブシムシ <i>Dermestes ater</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】房総丘陵,房総沿岸部 【形態・生態】TL6.2-8.8mm,食性:動物の骨格標本に利用,食品,衣服,とくに毛織物を加害,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】200(毛織物等) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1096	カドマルカツオブシムシ <i>Dermestes haemorrhoidalis</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州 【県内分布】内湾低地,房総丘陵,房総沿岸部 【形態・生態】TL6.2-8.2mm,食性:干物や動物死体などによく発生する.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1097	ハラジロカツオブシムシ <i>Dermestes maculatus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】房総丘陵,房総沿岸部 【形態・生態】TL5.5-9.5mm,1世代の期間は2-3ヵ月,食性:干物,飼料,動物死体等,環境:陸域 【繁殖】年3回発生.産卵数は約150個で暗所に産卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,274 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1098	フイリカツオブシムシ <i>Dermestes frischii</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】四国,九州,琉球 【県内分布】千葉市. 2009年7月に千葉市で初めて採集される 【形態・生態】TL6.2-8.4mm;食性:乾燥動物食 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】200?:2009年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】283

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1099	アカマダラカツオブシムシ <i>Trogoderma varium</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】下総台地 【形態・生態】TL2.6-4.0mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ナガシクイムシ科	影響度	緊急度
1100	オオナガシクイ <i>Heterobostrychus hamatipennis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州,伊豆諸島,五島列島,男女群島,屋久島,琉球 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL8.5-15.5mm,食材性.成虫は7~8月ごろ出現,竹材,貯穀,電話ケーブル 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】330,310 (重要な木材害虫,竹材,貯穀),200(電話ケーブル,ラワン材を加害(室内の内装,家具など)) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,209 【文献県内】38

昆虫類	ナガシクイムシ科	影響度	緊急度
1101	コナナガシクイ <i>Rhizopertha dominica</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州, 四国, 九州, 種子島 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL2.1-3.0mm, 成虫越冬. 食性: 穀類, 穀粉類, 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-: 明治期に記載(佐々木1900) 【県内侵入】-:- 【影響】310(穀類食害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163, 202, 201 【文献県内】35

昆虫類	ヒラタキクイムシ科	影響度	緊急度
1102	ヒラタキクイムシ <i>Lyctus brunneus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】日本全土 【県内分布】内湾低地, 房総丘陵 【形態・生態】TL2.2-8.0mm, 成虫は5月ごろから出現, 主に夜間活動. 木材に産卵し, 卵は10日ほどで孵化. 幼虫は10月末ごろまで材の中を食害. 幼虫越冬し, 4~5月ごろ, 材の中で蛹化. 約10日で成虫となる. ラワン, ナラ, カシ, ケヤキ, キリ, タケ等を食害 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(室内の内装, 家具など) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35, 201 【文献県内】38

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1103	シバンムシアリガタムシ <i>Lasioderma serricornne</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL1.7-3.1mm, 食性: 貯蔵穀物や穀粉およびパン, ビスケットなどの菓子類, 量, ワラなどの乾燥植物質. 環境: 陸域 【繁殖】時期: 6~8月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(家屋内で発生することがある), 220(本種に寄生するシバンムシアリガタバチに刺される恐れ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】354

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1104	タバコシバンムシ <i>Lasioderma serricornne</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】日本全土 【県内分布】四街道, 市川市 【形態・生態】TL1.7-3.1mm, 年1~3化, 成虫は5月ごろから出現. 卵期間は1~2週間. 幼虫期間は春から秋は25~50日であるが, 越冬するものは200~250日. 蛹期間は7~18日. 乾燥植物質貯蔵たばこ葉 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(貯蔵たばこ葉), 310(穀粉や加工食品) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】354, 201 【文献県内】354 327

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1105	ケブカシバンムシ <i>Nicobium hirtum</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】下総台地, 内湾低地, 房総丘陵 【形態・生態】TL3.7-6.0mm, 6~8月頃成虫出現. 食性: マツ, ヒノキ, クス, その他, 環境: 陸域 【繁殖】木材へ産卵する際は古材の割れ目などの深さ3mm以下の場所に約30個産む 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】330 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163, 201, 274 【文献県内】35

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1106	カバイロヒョウホンムシ <i>Pseudeurostus hilleri</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】- 【形態・生態】TL1.9-2.8mm,食性:乾燥動物質,環境:一般家屋や食糧貯蔵庫 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】354 【文献県内】-

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1107	ジンサンシバンムシ <i>Stegobium paniceum</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地 【形態・生態】TL1.7-3.0mm,5~10月頃成虫出現.年1~3化.食性:多くの乾燥動・植物質を食害.とりわけ漢方生薬,園芸用油かすなどの肥料,多くの乾燥動・植物質,漢方生薬,園芸用油かす等の肥料.環境:陸域 【繁殖】時期:年2~3回 【国内侵入】-: 大正期~昭和初期に定着 【県内侵入】-:- 【影響】220(シバンムシアリガタバチ(刺傷被害を起こす)が寄生),310(油粕) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,202,201 【文献県内】35

昆虫類	ヒョウホンムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1108	ナガヒョウホンムシ <i>Ptinus japonicus</i>		C	C

【原産】日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】下総台地,内湾低地 【形態・生態】TL2.7-5.0mm,食性:衣類,玄米や飼料等の穀物破片,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(毛織物等) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,35 【文献県内】35

昆虫類	コクヌスト科	影響度	緊急度
1109	コクヌスト <i>Tenebroides mauritanicus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,小笠原,対馬 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL6-10mm,年1化.成虫で越冬したものは4月ごろから出現.穀物などに1個ずつ産卵.春孵化した幼虫の多くは年内に成虫になるが、その他は幼虫で越冬する.貯穀,幼虫:貯穀食,成虫:昆虫(ガや甲虫の幼虫)食 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(貯穀害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,201,274 【文献県内】38

昆虫類	カッコウムシ科	影響度	緊急度
1110	アカクビホシカムシ <i>Necrobia ruficollis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL4-6mm,食性:干魚など乾燥動物質,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】340(干魚など乾燥動物質を食害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】73,163 【文献県内】35

昆虫類	カッコウムシ科	影響度	緊急度
1111	アカアシホシカムシ <i>Necrobia rufipes</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】市川市, 我孫子市, 下総町(現成田市) 【形態・生態】TL3.5-7mm, 食性: 乾燥動植物質 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-: 2003年 【影響】320(肉類の薫製品) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2003年6月市川市で初めて採集 【文献全般】- 【文献県内】354, 179, 6

昆虫類	カッコウムシ科	影響度	緊急度
1112	シロオビカッコウムシ <i>Tarsostenus unvittatus</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州～奄美 【県内分布】内湾低地, 下総台地, 房総丘陵 【形態・生態】TL4.0-5.0mm, 捕食性で、ヒラタキクイムシなどの食材昆虫を捕食, 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1113	クリヤケシキスイ <i>Carpophilus hemipterus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州, 屋久島 【県内分布】内湾低地, 房総丘陵 【形態・生態】TL2.4-4.0mm, 5月頃成虫出現. 気温により年2化以上. 食性: 貯蔵食品, 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163, 201 【文献県内】35

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1114	クリイロデオキスイ <i>Carpophilus marginellus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】利根川低地, 下総台地, 房総丘陵 【形態・生態】TL2.4-3.9mm, 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1115	ヘリグロヒラタケシキスイ <i>Omosita discoidea</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州, 伊豆諸島 【県内分布】利根川低地, 下総台地, 内湾低地 【形態・生態】TL2.3-3.7mm, 腐肉や骨に集まる 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35 【文献県内】38

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1116	ニセキボシヒラタケシキスイ	DD	C
<i>Omosita japonica</i>			

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】君津市 【形態・生態】TL2.9-3.9mm,腐肉にくる 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】93

昆虫類	ネスイムシ科	影響度	緊急度
1117	トゲムネデオネスイ	DD	C
<i>Monotoma spinicollis</i>			

【原産】- 【国内分布】四国 【県内分布】安房郡鋸南町浮島 【形態・生態】TL1.9-2.6mm 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ネスイムシ科	影響度	緊急度
1118	トビロデオネスイ	DD	C
<i>Monotoma picipes</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,伊豆諸島,対馬 【県内分布】佐倉市,八千代市,白井市 【形態・生態】TL1.9-2.6mm,灯火によく集まる習性 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】1997年7月,佐倉市で初めて採集された:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】354 【文献県内】168,355,351

昆虫類	ホソヒラタムシ科	影響度	緊急度
1119	フタトゲホソヒラタムシ	C	C
<i>Silvans bidentatus</i>			

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】我孫子市,清澄山 【形態・生態】TL2.5-3.5mm,食品類で発見.食品以外:カビなどの生えたところが発生源となっている可能性有.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ホソヒラタムシ科	影響度	緊急度
1120	ヒメフタトゲホソヒラタムシ	C	C
<i>Silvans lewisi</i>			

【原産】- 【国内分布】本州～九州 【県内分布】下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵 【形態・生態】TL2.1-2.5mm,食性:穀類の粉,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ヒラタムシ科	影響度	緊急度
1121	サビカクムネチビヒラタムシ <i>Cryptolestes ferrugineus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL1.5-2.2mm,穀物食.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	キスイムシ科	影響度	緊急度
1122	ウスバキスイ <i>Cyrtophagus cellaris</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州,九州 【県内分布】下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.0-2.7mm,穀物に生えたカビを食べると考えられる.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	テントウムシ科	影響度	緊急度
1123	クモガタテントウ <i>Psyllobora viginitimaculata</i>	DD	C

【原産】北米 【国内分布】日本各地 【県内分布】内湾低地,下総台地 【形態・生態】TL2-3mm,飛翔力が高い越冬中は活動を休止数か月は餌を必要としない,食性:ウドンコ病菌 【繁殖】- 【国内侵入】1984年6月,東京都大田区:1984年(東京湾付近) 【県内侵入】-:2008(市川) 【影響】- 【緊急】- 【対策】テントウムシの生活史・食性等により異なる,モニタリングを含む継続的研究が不可欠 【備考】- 【文献全般】354,108,200 【文献県内】353,38

昆虫類	テントウムシ科	影響度	緊急度
1124	ベダリアテントウ <i>Rodolia cardinalis</i>	C	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】全国 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵 【形態・生態】TL3.3-3.8mm,環境:陸域,成虫4-11月,ミカンなどの害虫であるイセリアカイガラムシを捕食 【繁殖】- 【国内侵入】110:1911~1912年 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】害虫に対する天敵利用,いわゆる生物農薬利用の世界初の成功例 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ヒメマキムシ科	影響度	緊急度
1125	ホソヒメマキムシ <i>Dienerella filum</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】下総台地,内湾低地,九十九里平野 【形態・生態】TL1.2-1.6mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】食品害虫 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	コキノコムシ科	影響度	緊急度
1126	チャイロコキノコムシ <i>Typhaea stercorea</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州,沖縄 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.0-2.5mm,穀物に生じたカビを食べると考えられる.環境:陸域:山間部,林 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1127	ガイマイゴミムシダマシ <i>Alphitobius diaperinus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】我孫子市,市川市,印西市,富津市,市原市,君津市,清澄山 【形態・生態】TL5.5-6.0mm,食性:穀類の粉,環境:陸域 【繁殖】雌は羽化後3日程度で産卵を始め、1日に14-32個程度産卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】工場・倉庫の清掃をよくし、こぼれた粉粒などをそのまま放置しない 【備考】- 【文献全般】163,201,274 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1128	フタオビツヤゴミムシダマシ <i>Alphitophagus bifasciatus</i>	C	C

【原産】日本 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】下総台地 【形態・生態】TL2.3-3.0mm,穀物食,環境:陸域:製粉工場の床面の変質粉の中 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】工場・倉庫の清掃 【備考】- 【文献全般】163,35,201 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
1129	ゴモクムシダマシ <i>Blindus japonicus</i>		DD	C

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州,五島列島,男女群島 【県内分布】千葉市,柏市 【形態・生態】8.0-9.0mm,成虫4-10月,環境:砂地性,食性:腐植質 【繁殖】- 【国内侵入】-:1990年代 【県内侵入】-:2011年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2011年9月に千葉市で初めて採集された 【文献全般】- 【文献県内】129,107

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1130	チャイロコメノゴミムシダマシ <i>Tenebrio molitor</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州 【県内分布】内湾低地,房総沿岸部 【形態・生態】TL11.0-15.0mm,穀物食,幼虫がミルワーム.「小動物の餌」として利用.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1131	コメノゴミムシダマシ <i>Tenebrio obscurus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,九州,佐渡,琉球 【県内分布】下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL14.0-18.0mm,食性:穀類,環境:陸域 【繁殖】280-500個程度産卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐),310(穀類食害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】73,163,201,274 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1132	コクヌストモドキ <i>Tribolium castaneum</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州,三宅島,対馬,琉球 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】3.0-4.0mm,1年2~3世代.成虫の寿命は約1年.食性:貯穀や穀粉類 【繁殖】羽化後60-100日頃が最も多く、1日に10個程度産卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(貯穀害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,274 【文献県内】38

昆虫類	カミキリモドキ科	影響度	緊急度
1133	ツマグロカミキリモドキ <i>Necyderes melanula</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】内湾低地,房総沿岸部 【形態・生態】TL9.0-12.0mm,食性:湿った材木,環境:陸域:海岸付近,特に都会.貯木場.時として大発生 【繁殖】時期:成虫は5~6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】220(体液にカンタリジンという有毒物質を持っていて、それが人間の皮膚につくと水ぶくれを引き起こす衛生害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	アリモドキ科	影響度	緊急度
1134	アトグロホソアリモドキ <i>Anthicus floralis</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総沿岸地 【形態・生態】TL3.0-3.5mm,環境:陸域(干草,堆肥,干ブドウなどの乾燥果実で発見される) 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1135	テツイロヒメカミキリ <i>Ceresium sinicum</i>	DD	C

【原産】台湾,中国,タイ 【国内分布】関東以西の本州,九州 【県内分布】内湾低地,下総台地 【形態・生態】TL9.5-15.5mm,食性:ケヤキ,アカメガシワ,ソメイヨシノ,イチヨウ等,環境:陸域:大都市周辺,住宅街(限定的) 【繁殖】時期:成虫は5~7月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】35

昆虫類	カミキリムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1136	ケブカトラカミキリ <i>Hirticlytus comosus</i>		B	B

【原産】日本 【国内分布】四国(南端),九州(鹿児島県),屋久島 【県内分布】匝瑳市,横芝光町,旭市,香取市,山武市,イヌマキが非常に高密度で加害された地域があった。被害木の撤去で個体数は減少したと思われるが被害は続いている 【形態・生態】TL8-11.5mm,成虫期4-7月,食性:ナギ 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】220:2008年 【影響】310(イヌマキ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2008年11月匝瑳市イヌマキ害で初確認 【文献全般】215,33,318 【文献県内】23,318,武田(2011)千葉県におけるケブカトラカミキリの発生初確認森林防疫60(5):12~15

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1137	チャゴマフカミキリ <i>Mesosa perplexa</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州(兵庫県以西),四国,九州,対馬 【県内分布】館山市. 恐らく同定間違い 【形態・生態】TL12-17mm 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】同定間違いの可能性大 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1138	キボシカミキリ <i>Psacothoe hilaris</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,隠岐,四国,九州,対馬 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵. 普通に見られる 【形態・生態】TL15-30mm,成虫期5-11月,食性:クワ類,コウゾ,イチジク,イヌビワ,ガジュマル,アコウ,柑橘類,ヤツデ,カクレミノ,クサギ 【繁殖】- 【国内侵入】-:1870年頃 【県内侵入】-:- 【影響】310(クワやイチジク) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,215 【文献県内】38

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1139	ラミーカミキリ <i>paraglenea frotunei</i>	C	C

【原産】台湾,中国,ベトナム北部 【国内分布】本州以南 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL8-17mm,食性:ラミー,ムクゲ,ヤブマオ,カラムシなど,環境:陸域 【繁殖】5月から7月に成虫 【国内侵入】-:江戸時代 【県内侵入】-:- 【影響】113 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】-

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1140	エンドウマメゾウムシ <i>Bruchus pisorum</i>	C	C

【原産】西アジア 【国内分布】- 【県内分布】- 【形態・生態】TL4.5mm.越冬成虫は5月頃から活動.貯穀害虫(野外型) 【繁殖】エンドウのさやに産卵 【国内侵入】210(アメリカからの輸入エンドウによる):明治初期~中期 【県内侵入】210?:- 【影響】310(貯穀害虫(野外型)) 【緊急】- 【対策】輸入豆類に対する植物検疫の強化 【備考】参考文献中ではエンドウゾウムシで記載(昆虫14) 【文献全般】35,108 【文献県内】-

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1141	ソラマメゾウムシ <i>Bruchus rufimanus</i>	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域 【形態・生態】TL4.4-5.0mm,食性:ソラマメ,越冬成虫は3月下旬頃から活動を始め、花粉や蜜を食べる.環境:陸域 【繁殖】ソラマメのさやが3cmくらいになると、その表面に1個ずつ産卵し、幼虫はマメに入り7月下旬から10月上旬に成虫となる,時期:5月上旬 【国内侵入】-:1926年熊本県のソラマメ畑で初記録 【県内侵入】-: 【影響】310(ソラマメ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75,202 【文献県内】35

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1142	アズキマメゾウムシ <i>Callosobruchus chinensis</i>	B	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域. 野外では発見しにくい 【形態・生態】TL2-3mm,年に数回発生,温度25℃・湿度75%で約1ヶ月で1世代,食性:アズキ,ササゲ,ダイズ,エンドウ,ソラマメ,環境:陸域:畑地及び室内成熟マメのみで育つ屋内型 【繁殖】貯蔵中の豆に産卵,繁殖場所:貯蔵中の豆類に直接産卵して世代を繰り返す. 【国内侵入】250中国からアズキに混入:3~8世紀 【県内侵入】250:- 【影響】310(貯蔵アズキ,ササゲ) 【緊急】- 【対策】輸入豆類に対する植物検疫の強化 【備考】- 【文献全般】67,75 【文献県内】-

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1143	タバコノミハムシ <i>Epitrix hirtipennis</i> (Melsheimer)	B	B

【原産】北アメリカ,中央アメリカ 【国内分布】関東 【県内分布】野田市(2011.9.15). 野田市ナス加害 【形態・生態】TL1.5-2.5mm,5~6月,9~11月に成虫 【繁殖】卵から24日で成虫. 年4世代,繁殖場所:地表に産卵. 地表部近くで羽化 【国内侵入】-:2011年以前 【県内侵入】-:- 【影響】310(ナス科害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】68

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1144	ブタクサハムシ <i>Ophraella communa</i>	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵 【形態・生態】成虫越冬,1年に数回発生,食性:ブタクサ,オオブタクサ,オオオナモミ等,ヒマワリ,環境:陸域 【繁殖】卵数20-50個,幼虫期間20-25日,場所:食草の葉裏,時期:春~秋 【国内侵入】210:1995年までは未確認 【県内侵入】210:1996年千葉市 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】322

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1145	ユーカリハムシ <i>Trachymela sloanei</i>	DD	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】大阪,千葉,東京?,埼玉? 【県内分布】流山市,千葉市 【形態・生態】TL7-8mm,食性:ユーカリ 【繁殖】- 【国内侵入】-:2006 【県内侵入】-:2006年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2006年8月に流山市で初めて採集される 【文献全般】- 【文献県内】196,282

昆虫類	ヒゲナガゾウムシ科	影響度	緊急度
1146	ワタミヒゲナガゾウムシ <i>Araecerus fasciculatus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.5-4.0mm,食性:乾燥芋,乾燥油粕等に加害,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-: 【県内侵入】-: 【影響】310(油粕) 【緊急】- 【対策】乾燥食品は密閉容器に保管,こぼれた食品は掃除機などで吸い取る 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科		影響度	緊急度
1147	アルファルフアタコゾウムシ	生態学会100	C	C
Hypera postica				

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州,九州,琉球 【県内分布】県北部～中部 【形態・生態】TL4.8-5.5mm,成虫は5月中旬頃から樹皮下や建物の隙間・石の下などに移動.集団で夏眠,草食,環境:陸域 【繁殖】在来有用天敵なし,11月頃マメ科植物に飛来. 1,2月を中心に12-5月まで産卵 【国内侵入】250成虫が輸入貨物の隙間など侵入.: 1982年に福岡県と沖縄県 【県内侵入】400成虫の飛翔移動: 2004年 【影響】310(レンゲ,多発生地ではキュウリ,メロンなど) 【緊急】- 【対策】薬剤防除,ヨーロッパトビチビアメバチ(寄生蜂)の放飼,微生物の利用 【備考】対策としての天敵導入が新たな外来生物を生む危険性あり 【文献全般】75,76,320,202 【文献県内】25

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1148	オオタコゾウムシ <i>Hypera punctatus</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州 【県内分布】我孫子市,市川市江戸川河川敷,船橋市松が丘 【形態・生態】TL7.5-8.0mm,食性:シロツメクサ・アカツメクサなどのマメ科植物,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】250貼り芝の移動に伴って拡散?: 1978年横浜植物防疫所が初記録 【県内侵入】250:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75,80,183 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1149	ツメクサタコゾウムシ <i>Hypera nigrostris</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】船橋市,成田市 【形態・生態】TL3.5-3.9mm,食性:クローバー類 【繁殖】- 【国内侵入】-: 【県内侵入】-: 2000年以前 【影響】310(クローバー類) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2000年に船橋市で初めて確認される 【文献全般】146 【文献県内】50,197

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1150	ヤサイゾウムシ <i>Listroderes costirostris</i>	C	C

【原産】ブラジル 【国内分布】本州,四国,九州,岩手以南 【県内分布】全域. 1960年までに薬剤により減少 【形態・生態】TL9mm,耐凍生短日生,夏眠.幼虫は夜行動.耐寒温:卵2.8℃,幼虫6.3℃,蛹6.6℃,食性:野菜各種,環境:陸域 【繁殖】時期:年1回単為生殖 【国内侵入】210: 1940年岡山県,1952年関東南部以西22都府県 【県内侵入】210:- 【影響】310(野菜類) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】75,202 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1151	ケチビコフキゾウムシ <i>Sitona hispidulus</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】北海道,本州,九州 【県内分布】我孫子市,市川市江戸川河川敷,佐倉市,栄町須賀新田,館山市見物 【形態・生態】TL3.5～4.5mm.食性:シロツメクサなどのマメ科,環境:陸域:芝地・牧草地などの草原環境 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】183 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1152	アカウキクサゾウムシ <i>Stenopelmus rufinus</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】九十九里平野 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 1987年(茨城県) 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1153	ツメクサタネコバンゾウムシ <i>Tychius picirostris</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】浦安市 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 2006年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2006年に浦安市で初めて採集される 【文献全般】- 【文献県内】342, http://www.city.urayasu.chiba.jp/secure/1136/sizen_houkokusyo4.pdf

昆虫類	オサゾウムシ科	生態学会100	影響度	緊急度
1154	イネミズゾウムシ <i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>		B	B

【原産】アメリカ南東部 【国内分布】本州～九州 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TLca.3.0-3.3mm,雑木林で成虫越冬,春に飛行可能.水田で産卵.土中で蛹化.羽化後越冬地に移動,幼虫イネの根を摂食.環境:陸域 【繁殖】卵生,単為生殖(雌だけで繁殖),場所:水田及び畦畔雑草,時期:5月～7月 【国内侵入】210(乾牧草):1976年(愛知県) 【県内侵入】400:- 【影響】310(イネ) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を採り続けるべき 【対策】イネ自給率の向上,登録薬剤による防除,育苗箱施用剤利用 【備考】- 【文献全般】75,202 【文献県内】35,304

昆虫類	オサゾウムシ科	影響度	緊急度
1155	ココクゾウムシ <i>Sitophilus oryzae</i>	C	C

【原産】熱帯? 【国内分布】全国 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.0-2.8mm,食性:コメ,コムギ,穀類,環境:陸域:貯蔵穀物のある室内高温を好む 【繁殖】20-30℃で2-7ヵ月生存し、100-500個程度産卵 【国内侵入】250米の移動:- 【県内侵入】250:- 【影響】310(コメ,コムギ等の穀類食害) 【緊急】- 【対策】穀物貯蔵施設を低温に保つと、発生を抑制 【備考】- 【文献全般】67,75,341,202,274 【文献県内】35

昆虫類	オサゾウムシ科	影響度	緊急度
1156	コクゾウムシ <i>Sitophilus zeamais</i>	C	B

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄等 【県内分布】利根川低地,下総台地,九十九里平野,房総丘陵. 普通 【形態・生態】TL2.9-3.5mm,成虫は3月下旬～10月下旬まで活動が見られる.主に成虫越冬だが、幼虫が穀粒内で越冬することもある,食性:コメ,ムギ,トウモロコシなどの穀物,環境:貯蔵穀物のある室内 【繁殖】20-30℃で2-7ヵ月生存し、70-400個程度産卵 【国内侵入】-: 不明 【県内侵入】-: 不明 【影響】310(コメ,コムギなどの穀類) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,146,201,274 【文献県内】38

昆虫類	オサゾウムシ科	影響度	緊急度
1157	シバオサゾウムシ <i>Sphenophorus venatus</i>	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,九州,琉球 【県内分布】利根川低地,下総台地,我孫子市,市川市,船橋市. ゴルフ場で被害が発生する 【形態・生態】TL7.9-9.3mm,年1回発生幼虫,成虫態で越冬,幼虫は4-5月ごろ活動,6月蛹化,7月羽化,成虫は芝のやわらかい葉幼虫は地中で根や地下茎,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:シバ類の茎葉,根部,時期:産卵5月 【国内侵入】210:1980年2月沖縄県のゴルフ場のノシバで最初に発見 【県内侵入】210市川市本行徳の河川敷の1個体が最初の記録:- 【影響】310(シバ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】35

昆虫類	オナガコバチ科	影響度	緊急度
1158	チュウゴクオナガコバチ <i>Torymus sinensis</i>	DD	C

【原産】中国河南省 【国内分布】本州 【県内分布】全域 【形態・生態】昆虫寄生性,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:クリ園 【国内侵入】110クリタマバチの防除を目的:1979年と1981年に導入 【県内侵入】110つくばで放虫した個体が、千葉県にも拡がり、定着:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

昆虫類	ツヤコバチ科	影響度	緊急度
1159	オンシツツヤコバチ <i>Encarsia formosa</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】野菜圃場 【形態・生態】TL0.6mm,オンシツコナジラミの内部寄生蜂.天敵として利用,肉食性広食性昆虫,環境:陸域:施設内 【繁殖】場所:施設野菜圃場,時期:周年 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(吸汁加害と排泄物にすす病菌繁殖,作物の生育阻害,収量低下,汚染果が発生,230(ウイレ病) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	タマバチ科	影響度	緊急度
1160	クリタマバチ <i>Dryocosmus kuriphilus</i>	C	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】全域 【形態・生態】TLca.2mm,幼虫は虫房を形成し越冬.早春、虫えいとなりそこで蛹化,初夏に羽化,虫えい内を採食,環境:陸域 【繁殖】年1世代,単為生殖,産卵数平均50,場所:卵は芽内に卵塊,時期:初夏に羽化後、産卵 【国内侵入】210日中戦争当時に中国河北省に駐留していた日本軍兵士が、穂木または苗木とともに持ち込んだ可能性が高い:1941年 【県内侵入】400:1952～1954年 【影響】コナラ属寄生タマバチ類を攻撃していた寄生蜂が影響を受けた可能性,310(クリ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除(効果不明) 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	セイボウ科	影響度	緊急度
1161	イラガセイボウ <i>Praestochrysis shanghaiensis</i> (Smith)	C	C

【原産】中国 【国内分布】全国 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL10mm,イラガの天敵,イラガの繭に産卵,環境:陸域 【繁殖】時期:7~9月 【国内侵入】-:明治~大正 【県内侵入】400:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】363

昆虫類	アナバチ科	影響度	緊急度
1162	アメリカジガバチ <i>Sceliphron caementarium</i>	B	C

【原産】北米 【国内分布】本州,九州,小笠原諸島,南鳥島 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL20-25mm,成虫の野外活動時期は6~10月,幼虫の餌としてハナグモ・アズチグモなどカニグモ類,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:里山の川縁のコンクリート建造物の軒下・壁面や橋の下などの隅に泥で営巣 【国内侵入】200巣が何らかの車両か貨物に付着した状態で侵入したと考えられる:1946年 【県内侵入】200:1950年 【影響】120(キゴシジガバチ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】360 【文献県内】35

昆虫類	アナバチ科	影響度	緊急度
1163	モンキジガバチ台湾亜種 <i>Sceliphron deformе deformе</i> (Smith)	DD	C

【原産】- 【国内分布】茨城県,埼玉県,東京都,神奈川県 【県内分布】ほぼ全域 【形態・生態】成虫は6~9月 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:1958年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】*S. deformе nipponicum* Tsunekiモンキジガバチ本土亜種(ニッポンモンキジガバチ)は北海道,本州,四国,九州,対馬から記録されている 【文献全般】- 【文献県内】須田(1999a)

昆虫類	ミツバチ科	影響度	緊急度
1164	セイヨウミツバチ <i>Apis mellifera</i> ssp.	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】全国 【県内分布】全域. ナシやイチゴの受粉用に利用 【形態・生態】植食性(花粉,蜜),環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:施設野菜(イチゴ) 【国内侵入】110養蜂用に導入:1876年 【県内侵入】110:- 【影響】112(ニホンミツバチと巣が接近しているとニホンミツバチの巣を攻撃し全滅させる),122(花蜜源の競合) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	ミツバチ科	影響度	緊急度
1165	セイヨウオオマルハナバチ <i>Bombus terrestris</i>	特定外来生物, 生態学会100 A	A

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】下総台地,房総丘陵. 営巣は未確認 【形態・生態】植物の花粉や蜜等,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:土中で営巣して大きなコロニーを作る. 新女王が越冬 施設野菜(トマト) 【国内侵入】110ベルギーやオランダから輸入:1996年(北海道) 【県内侵入】110:- 【影響】122,121,142野生植物・栽培植物の盗蜜 【緊急】県内定着未確認だが、影響が大きいので、確認され次第すぐに排除,逸出防止策継続 【対策】外来生物法の遵守,逸出防除ネットの展張,使用済み巣箱の適正処理の普及を図る 【備考】- 【文献全般】202,345 【文献県内】296,280

昆虫類	ヤセバチ科	影響度	緊急度
1166	ゴキブリヤセバチ <i>Evania appendigaster</i> Linnaeus	D	C

【原産】世界各地 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】市川市,白井市,我孫子市 【形態・生態】寄主がゴキブリ類,環境:木漏れ日が指す雑木林の古木付近,林縁部,公園のあずま屋,トイレなど寄主の住家としている付近 【繁殖】- 【国内侵入】-: 【県内侵入】-: 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】卵鞘内の卵を食べる有益な捕食寄生バチ 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	ミズアブ科	影響度	緊急度
1167	アメリカミズアブ <i>Hermetia illucens</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TLca.10-20mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-: 1950年頃 【県内侵入】-: 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】360 【文献県内】35

昆虫類	ハモグリバエ科	影響度	緊急度
1168	トマトハモグリバエ <i>Liriomyza sativae</i>	B	B

【原産】北米南部～南米 【国内分布】2002年2月現在21都府県で確認 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL2mm,成虫の飛翔能力が高く、発生源から広範な分散により分布が拡大,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:ウリ科野菜他,時期:通年 【国内侵入】210: 1999年京都府のトマト 【県内侵入】210: 2000年 【影響】310(ウリ科) 【緊急】- 【対策】各種薬剤抵抗性が発達. 比較的低温に弱く、冬期にハウスの被覆を外して寒気にさらすことにより根絶の可能性,寄生蜂による防除が普及しつつある,薬剤防除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】26

昆虫類	ハモグリバエ科	影響度	緊急度
1169	マメハモグリバエ <i>Liriomyza trifolii</i>	生態学会100 B	B

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】印旛管内全域. 施設トマトで周年発生 【形態・生態】TL2mm,環境:陸域 【繁殖】寄生する植物によって産卵数は変わる. キクでは300-400個程度,トマトでは50個程度 【国内侵入】-: 1994年小笠原 1996年 【県内侵入】-: 【影響】310(トマト,豆類,葉菜類の葉,ナス科等) 【緊急】- 【対策】冬期間のハウス開放,被害株の鋤込み,薬剤防除(やや難あり) 【備考】- 【文献全般】202,147 【文献県内】-

昆虫類	ショウジョウバエ科	影響度	緊急度
1170	キイロショウジョウバエ <i>Drosophila melanogaster</i>	DD	C

【原産】全世界 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL約2mm,卵から成虫まで25℃で約10日,腐食性,住宅性で人家周辺,腐敗した果実など,果物の缶詰工場,ビール工場周辺にも多い,環境:陸域 【繁殖】時期:周年 【国内侵入】-: 【県内侵入】-: 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	ショウジョウバエ科	影響度	緊急度
1171	オナジショウジョウバエ <i>Drosophila simulans</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】1972年以降全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL約2mm,腐敗植物食,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】210:1936年小笠原で発見,1972年以降全国的に見られる 【県内侵入】210:- 【影響】140(交配による遺伝子攪乱) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】346 【文献県内】-

魚類	チョウザメ科	国RDB:EX, CITES:III	影響度	緊急度
1172	チョウザメ科の1種 <i>Acipenseridae</i> sp.		DD	C

【原産】北半球 【国内分布】東北地方以北,北太平洋,日本海等 【県内分布】利根川(神崎町). 2004年に複数個体が捕獲(すべて同様サイズ),未定着と推定 【形態・生態】2004年捕獲個体(TLca.25cm,水深の深い場所)淡水生,海水生も産卵時には川遡上 【繁殖】日本沿岸域の捕獲個体は産卵群ではなく偶発的来遊群 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:2004年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】日本各地で食用養殖,観賞魚販売.野外逸出防止が必要 【備考】在来個体群は絶滅した可能性が高い.標本(2004.11.25捕獲,内水面水産研究所) 【文献全般】益田ら編(1988)日本産魚類大図鑑岡村ら編(2001)日本の海水魚 【文献県内】-

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1173	ツチフキ <i>Abbottina rivularis</i>	国RDB:EN	DD	C

【原産】濃尾平野以南,朝鮮半島,中国東部 【国内分布】濃尾平野以南,関東平野,宮城県 【県内分布】県北部. 北部を中心に,比較的広く分布 【形態・生態】TL10cm,泥っぽい砂泥底を好む.満2年で成熟,ユスリカ幼虫,浮遊動物,付着藻類など雑食性,環境:平野部の浅い池沼・用水路など止流域 【繁殖】播鉢状の巣に,沈性粘着卵を産み,オスが保護する,場所:生息地に同じ,時期:4月~6月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】漁獲された場合,雑魚として扱われる 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1174	イチモンジタナゴ <i>Acheilognathus cyanostigma</i>	国RDB:CR	A	A

【原産】琵琶湖淀川系,和歌山県,濃尾平野 【国内分布】琵琶湖淀川系,和歌山県,濃尾平野 【県内分布】- 【形態・生態】TL8cm,タナゴ類の中ではタナゴに次いで体高が低い.食性:付着藻類,底生小動物.環境:細流や灌漑用水路などの緩流域や池沼 【繁殖】インガイ科の二枚貝に産卵.産卵数は1回につき1~4粒.場所:生息地と同じ.時期:4~8月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】150,163:- 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】- 【備考】聞き取り情報あり(いすみ市), 個体未確認 【文献全般】127,タナゴハンドブック 【文献県内】-

魚類	コイ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
1175	オオタナゴ <i>Acheilognathus macropterus</i>		A	A

【原産】ロシア沿海州~ベトナム北部 【国内分布】霞ヶ浦水系,利根川 【県内分布】栗山川,下手賀川,長門川,旧長門川. 2005~2008年に6個体採捕 【形態・生態】TL10cm,体高が高い.背鰭・尻鰭基底が長く,鰓蓋後方に暗色斑.雑食性.環境:河川下流域の緩流域,湖沼 【繁殖】淡水産二枚貝に産卵.時期:5~6月中旬 【国内侵入】210(真珠養殖用貝?):2001年(霞ヶ浦) 【県内侵入】400:2005年 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】- 【備考】霞ヶ浦水系,利根川経由侵入 【文献全般】127,萩原(2011)魚雑58(1):41-48,萩原(2002)ボテジャコ6:19-22 【文献県内】坂本(2009)千葉水総研報4:41-42.

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1176	カネヒラ <i>Acheilognathus rhombeus</i>		A	C

【原産】西日本 【国内分布】- 【県内分布】印旛沼,手賀沼 【形態・生態】TL12cm.食性:付着藻類,水草.環境:細流や灌漑用水路などの緩流域や池沼 【繁殖】秋産卵,春孵化,イシガイやタテボシなどの殻長約3cmの二枚貝に産卵.場所:生息地と同じ.時期:9～11月 【国内侵入】210,150,163:- 【県内侵入】400,150,163:- 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】移動・放流防止の普及啓発 【備考】霞ヶ浦水系に侵入.その後県内河川へ.近年の人為導入可能性大.西印旛沼(尾崎真澄写真同定) 【文献全般】176,127 【文献県内】佐土(2011),タナゴハンドブック,千葉水総研(2012)H22年度業務年報

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1177	シロヒレタビラ <i>Acheilognathus tabira tabira</i>	国RDB:EN	C	C

【原産】東海地方～琵琶湖以南 【国内分布】東海地方～琵琶湖以南 【県内分布】戸神川,後述文献調査で記録された.未定着 【形態・生態】TL8cm,湖岸の砂泥底・岩礁域,主に付着藻類食,環境:河川下流の緩流域や用水 【繁殖】ドブガイやマツカサガイなどのイシガイ科二枚貝類の鰓葉内に産卵,場所:生息地に同じ,時期:4月～7月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(金魚などの放流時の随伴?):1998年に記録 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),141(在来亜種アカヒレタビラ),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】啓発による移動や飼育個体の放流の防止 【備考】アカヒレタビラと同種異亜種 【文献全般】127,191 【文献県内】115

魚類	コイ科	影響度	緊急度
1178	コクレン <i>Aristichthys nobilis</i>	D	C

【原産】アジア大陸東部 【国内分布】霞ガ浦,北浦,利根川下流域,江戸川.淀川にも放流により生息 【県内分布】利根川とその付属水域 【形態・生態】TL1m,流れの緩やかな場所や止水域に生息.中・上層を群泳,食性:動物プランクトン,環境:大河川下流緩流域,平野部の湖沼・池などの淡水域 【繁殖】流下卵を産み,卵は流下しながら発生を続け,淡水中で孵化,このため利根川以外では繁殖が確認されていない,場所:大河川下流緩流域,時期:6～7月 【国内侵入】110:明治時代～1943年に,複数回 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】無 【対策】- 【備考】霞ヶ浦などでは漁業対象 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1179	ゼゼラ <i>Biwia zezera</i>	国RDB:VU	DD	C

【原産】濃尾平野,琵琶湖以南 【国内分布】濃尾平野,琵琶湖以南,関東平野 【県内分布】利根川,江戸川,印旛沼,高崎川.利根川水系を中心に定着していると推定 【形態・生態】TL8cm,底生性で,止流域泥底や砂泥底を好む,満1年で成熟,付着藻類,デトリタスなど雑食性,環境:河川下流域,浅い湖沼,用水,河川敷内ワンド 【繁殖】アシやマコモの根元に沈性粘着卵を産卵,時期:4月～7月 【国内侵入】100,関東地方へは移植:- 【県内侵入】100:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】漁獲されると雑魚として扱われる 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1180	ゲンゴロウブナ <i>Carassius cuvieri</i>	国RDB:EN	DD	C

【原産】琵琶湖,淀川水系 【国内分布】日本各地 【県内分布】県内のほぼ全域の河川,湖沼,溜池など.釣り目的で県内各地で継続的に放流 【形態・生態】TL約40cm,植物プランクトン食.環境:河川下流域の緩流域,池沼,湖,ダム湖等の表・中層 【繁殖】場所:水草や浮遊物に付着卵を産み付ける,時期:4-6月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】防除の必要性について社会的検討が必要 【対策】- 【備考】県内ではその大部分が飼育品種ヘラブナと推定.漁業権魚種「ふな類」として種苗放流あり 【文献全般】127,191 【文献県内】35,37

魚類	コイ科		影響度	緊急度
1181	ソウギョ	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	D	C
	<i>Otenopharhyngodon idellus</i>			

【原産】ユーラシア大陸東部 【国内分布】全国 【県内分布】利根川水系(江戸川、印旛沼)、栗山川など 【形態・生態】TL1m,水生植物食,環境:大河川下流緩流～止水域のやや深い所 【繁殖】流下卵を産み、淡水中で孵化する,大河川以外では卵が孵化しないため、利根川以外では繁殖が確認されていない,場所:大河川下流緩流域,時期:6～7月,止水域での繁殖記録はない 【国内侵入】110(除草目的):1943～45年(利根川水系) 【県内侵入】110(除草目的):1943～45年(利根川水系) 【影響】- 【緊急】なし 【対策】除草目的で導入された個体の逸出防止のための普及啓発が必要 【備考】- 【文献全般】127,191,202,176 【文献県内】246,106,35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1182	コイ	IUCN100	A	C
	<i>Cyprinus carpio</i>			

【原産】ユーラシア大陸(野生種) 【国内分布】全国 【県内分布】県内各地,ほとんどの水域(野生種の自然分布不明) 【形態・生態】TLca.60cm,緩流域.冬は深みで越冬,底生動物を中心に雑食性,環境:河川中・下流域の淡水・汽水域,湖沼,溜池,水田からの水路など 【繁殖】1産卵期中に2～3回,1回に20万～50万粒の沈性粘着卵を水草などに産卵,時期:4月末～7月 【国内侵入】110:不明 【県内侵入】110:不明 【影響】141(養殖個体や人工品種)112(底生動物)230(コイヘルペス症,2003年県内発生),150(底質攪乱) 【緊急】- 【対策】移動・放流は制限必要 【備考】水域によっては漁業対象種,2003年以後放流自粛指導中 【文献全般】127,191 【文献県内】35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1183	ホンモロコ	国RDB:CR	DD	C
	<i>Gnathopogon elongatus</i>			

【原産】琵琶湖(固有種) 【国内分布】琵琶湖のほか、東京都奥多摩湖,山梨県山中湖・河口湖,岡山県湯原湖などに移植 【県内分布】印旛沼,手賀沼で捕獲記録あり,移入による一時的生息と推測される 【形態・生態】TL14cm,湖沼型で、琵琶湖では沖合を群泳する,動物プランクトン食性,環境:湖沼 【繁殖】1尾のメスを数尾のオスが追い、沈性粘着卵を産みつける,場所:湖岸のマコモ帯,内湖,灌漑用水路など,時期:3月～7月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】県内で養殖されているため、逸出防止のための普及啓発が必要 【備考】琵琶湖では高級食用魚 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
1184	タモロコ		DD	C
	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>			

【原産】愛知県以西の本州西部,四国 【国内分布】全国 【県内分布】ほぼ全域 【形態・生態】TL10cm,満1年で成熟,食性:ユスリカ幼虫,動物プランクトン,水草など,環境:中・下流部,用水路や湖沼淡水域 【繁殖】水草や抽水植物などに沈性粘着卵を産卵,時期:4月～7月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】食用になるが千葉県では利用していない 【文献全般】127,191 【文献県内】D田中・新島(2000)35,37,29

魚類	コイ科		影響度	緊急度
1185	ズナガニゴイ		DD	C
	<i>Hemibarbus longirostris</i>			

【原産】近畿以西の本州,朝鮮半島,中国遼河 【国内分布】近畿以西の本州,静岡県藁科川,山陰の一部の川 【県内分布】白狐川で捕獲記録あり 【形態・生態】TL20cm,緩流部の水底付近に生息し、砂にもぐる習性がある.日中、水面近くに浮上していることもある.満2年で全長10～13cmに成長し、成熟,主に止水性食性:カゲロウ類などの水生昆虫,環境:河川中流の緩流部 【繁殖】沈性粘着卵産卵,時期:5月～6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-1980年代前半? 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】千葉県内での分布については調査が必要,漁獲対象魚 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	影響度	緊急度
1186	ハクレン <i>Hypophthalmichthys molitrix</i>	C	C

【原産】アジア大陸東部 【国内分布】利根川水系 【県内分布】利根川,印旛沼,与田浦,栗山川. 繁殖・定着は利根川水系のみ. 放流されたダム湖等では繁殖なし 【形態・生態】TL1m,水面近くを遊泳,時々ジャンプする.4-5歳くらいで成熟,植物プランクトン食.環境:大河川緩流域など,平野部の湖沼・ダム湖などの淡水域 【繁殖】中流域で10数尾が集団で産卵. 卵は流下しながら発生,淡水域で孵化.海に達したものは死滅,場所:大河川の中流域まで遡上し産卵,時期:6月～7月 【国内侵入】110:最終は1943年 【県内侵入】110:最終は1943年 【影響】350(卵による水道水への着臭被害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】漁業権魚種 【文献全般】127,291 【文献県内】29

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1187	ワタカ <i>Ischikauia steenackeri</i>	国RDB:CR	C	C

【原産】琵琶湖淀川水系 【国内分布】琵琶湖,北陸地方など 【県内分布】利根川流域下流部,江戸川,八間川,大須賀川,印旛沼,手賀沼,一宮川. 各地で定着 【形態・生態】TL30cm,止流域アシ場など.満1年でTLca.10cm,満2年15～20cmで成熟,水草を主とした雑食性 【繁殖】水温の高い夏場の主に降雨後の夜間に,沈性粘着卵を産む,場所:水草など,時期:6月～8月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:- 【影響】112(水草) 【緊急】- 【対策】- 【備考】原産地の琵琶湖では減少している 【文献全般】127,191 【文献県内】35,37,29

魚類	コイ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
1188	アオウオ <i>Mylopharyngodon piceus</i>		D	C

【原産】中国大陸 【国内分布】利根川水系. 他に湖沼・溜池などへの放流・生息が推測される 【県内分布】利根川下流部で定着,江戸川,数は少ない 【形態・生態】TL60-100cm,大河川下流部やそれに連なる水域のやや深いところ,食性:主にタニシなどの貝類や底生動物.環境:大河川下流緩流域,平野部の湖沼,掘割などの淡水域 【繁殖】流下卵を産卵し,流下中に淡水域で孵化できたものだけが生存. そのため,大河川以外繁殖できない,場所:大河川の緩流域,時期:6～7月 【国内侵入】110:1942年 【県内侵入】110:1942年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】大物釣りの対象魚として好まれる 【文献全般】127,176 【文献県内】35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1189	カワムツ <i>Nipponocypris temminckii</i>		C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】養老川. 複数年(2007～2011年)で確認,定着を推測 【形態・生態】TL15cm,陰に隠れる性質が強く,開けた場所に少ない.縄張りを形成.雑食性.環境:河川上・中流域,湖沼沿岸 【繁殖】雌雄一対で産卵.雌は数十回の産卵を1日で終わらせる.場所:淵尻から平瀬の砂底泥部,礫底部.時期:5～8月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210?:- 【影響】121,142(在来オイカワ?) 【緊急】- 【対策】- 【備考】内水研漁獲物調査で出現 【文献全般】127 【文献県内】藍(2011)千葉水総研報6:9-16.

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1190	ハス <i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	国RDB:VU	DD	C

【原産】琵琶湖淀川水系,福井県三方湖 【国内分布】北海道を除く全国各地 【県内分布】利根川,江戸川,印旛沼,手賀沼,一宮川,夷隅川,栗山川など. 餌の確保できる比較的大きな水域には広く生息・定着 【形態・生態】TL30cm,魚を捕食.遊泳力は大,魚食性.仔稚魚期は動物プランクトン食.TL7cm位↑,環境:大河川下流緩流域,湖沼 【繁殖】場所:緩流域の砂底または砂礫底で産卵,時期:6～8月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210(琵琶湖産アユ種苗の放流に伴う):- 【影響】- 【緊急】なし 【対策】種苗放流のあり方の再検討 【備考】- 【文献全般】127,191 【文献県内】29,35,37

魚類	コイ科		影響度	緊急度
1191	ムギツク		DD	C
	<i>Pungtungia herzi</i>			

【原産】福井,岐阜,三重の各県以西の本州,四国北東部,九州北部,朝鮮半島 【国内分布】福井,岐阜,三重の各県以西の本州,四国北東部,九州北部 【県内分布】白狐川で記録がある. 未定着と思われる 【形態・生態】TL15cm,流れの緩い淵や淀みで中・低層に住み,岩盤・コンクリートブロック・沈水植物の隙間などに潜む,水生昆虫を中心にした雑食性,環境:河川中流域の淵や淀み 【繁殖】大きな石の下面,岩盤の割れ目,水草,水面の浮遊木などに産み付ける,場所:生息場所に同じ,時期:5月～6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】雑魚として取り扱われ,食用になる 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1192	カゼトゲタナゴ	国RDB:EN	A	A
	<i>Rhodeus atremius atremius</i>			

【原産】- 【国内分布】九州北部,壱岐 【県内分布】手賀沼水系 【形態・生態】TL5cm,砂礫混じりの砂泥域を好む.食性:小型水生昆虫.環境:水路や細流でやや流れのある水域 【繁殖】小型二枚貝に産卵.場所:生息域に同じ.時期:5～6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】150,163:- 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】在来タナゴ生息地以外は緊急度DD 【対策】移動,放流防止の啓発 【備考】手賀沼水系河川で報告有り(浦部川) 【文献全般】127タナゴハンドブック 【文献県内】-

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1193	タイリクバラタナゴ	要注意外来生物(適否検討), 生態学会100	A	A
	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>			

【原産】アジア大陸東部,台湾 【国内分布】全国(在来個体群は西日本のみ) 【県内分布】南部の一部以外,河川改修・圃場整備などに伴う環境変化により,急激に減少中 【形態・生態】TL8cm,緩流～止水域.寿命1-2年,稚魚動物プランクトン食,成魚植物食,環境:平野部の池沼,細流,溜池水路など 【繁殖】イシガイ科二枚貝鰓葉に産卵,時期:地域によって4月-10月 【国内侵入】210:1940年代 【県内侵入】210:1940年代以降 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】ミヤコタナゴ生息地以外はB～C 【対策】移動放流防止,駆除(特にミヤコタナゴ生息地) 【備考】- 【文献全般】202,114,192,127,233 【文献県内】324,35,37,29,27,88

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1194	ビワヒガイ		C	C
	<i>Sarcocheilichthys variegatus microoculus</i>			

【原産】琵琶湖,瀬田川 【国内分布】琵琶湖,瀬田川,東北地方,関東,北陸,諏訪湖,高知県など 【県内分布】利根川水系など. 定着 【形態・生態】TL20cm,砂底や砂礫底の中・低層.満2年で成熟,食性:水生昆虫幼虫,小型巻貝類,動物プランクトン,付着藻類など,環境:河川下流緩流域,湖沼など 【繁殖】イシガイ科に産卵する. 場所:岸近くの沈性植物が粗生する緩流域,イシガイ科二枚貝類の生息場所,時期:4月～7月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:- 【影響】121(タナゴ類産卵母貝) 【緊急】なし 【対策】- 【備考】漁業対象種? 【文献全般】127,191 【文献県内】29,35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1195	カワヒガイ	国RDB:NT	DD	C
	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>			

【原産】濃尾平野,琵琶湖以南 【国内分布】濃尾平野,琵琶湖以南 【県内分布】亀成川. 他に記録なく,未定着と考えられる 【形態・生態】TL12cm,石や沈性植物の隙間などに潜む,雑食性(小型水生昆虫,巻貝,付着藻類など),環境:河川中・下流の緩流域とそれに続く用水などの砂礫底.水深1-3m程度の砂礫底 【繁殖】イシガイ科二枚貝類に産卵,時期:5月～8月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】不明:不明 【影響】- 【緊急】なし 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127,191 【文献県内】115

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1196	スゴモロコ	国RDB:VU	DD	C
<i>Squalidus chankaensis biwae</i>				

【原産】琵琶湖(固有種) 【国内分布】琵琶湖,関東 【県内分布】県内各地に広く生息 【形態・生態】TL12cm,琵琶湖の水深10m付近の砂泥底から砂底の水底近くを群泳.冬は深みに移動.満1-2年で成熟,食性:水生昆虫,ヨコエビ,小型巻貝,浮遊動物,環境:琵琶湖では水深10m前後の砂礫底 【繁殖】卵は弱い粘性を持つ沈性卵で,直接水底にばら撒かれると推測,場所:生息域に同じ,時期:5月~6月 【国内侵入】210:不明 【県内侵入】210:不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】琵琶湖では漁業対象種 【文献全般】127,191 【文献県内】35,H20千葉水総研業務報

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1197	コウライモロコ		DD	C
<i>Squalidus chankaensis subsp.</i>				

【原産】- 【国内分布】濃尾平野,和歌山県-広島県本州瀬戸内側,四国北東部 【県内分布】利根川水系 【形態・生態】TL15cm,緩流の砂底・砂礫底を群泳.雑食性.環境:河川の中・下流 【繁殖】産卵形態と発育過程はスゴモロコと同様.時期:5~7月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】H9河川水辺の国勢調査(国交省),スゴモロコと非常に近縁であるため,同定が困難 【文献全般】127 【文献県内】-

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1198	ヤリタナゴ	国RDB:NT, 県RDB:C	A	A
<i>Tanakia lanceolata</i>				

【原産】北海道と南九州を除く日本各地,朝鮮半島西部 【国内分布】北海道と南九州を除く日本各地 【県内分布】県北部(在来),利根川水系,養老川水系,一宮川水系,小櫃川水系. 県北部以外は在来か外来か不明 【形態・生態】TL10cm,やや流れのあるところを好む.雑食性.環境:水田地帯の細流,河川,湖沼 【繁殖】マツカサガイなどの淡水二枚貝に産卵.時期:4~6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】121(産卵母貝),142(県北部個体群)在来タナゴ生息地以外はD 【緊急】- 【対策】- 【備考】他のタナゴ類との競合 【文献全般】176,タナゴハンドブック,127 【文献県内】27

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1199	ミヤコタナゴ	天然記念物, 種の保存法, 国RDB:CR, 県RDB:	A	A
<i>Tanakia tanago</i>				

【原産】関東 【国内分布】千葉県,栃木県 【県内分布】- 【形態・生態】TL4.5~6cm,水流のある水域を好む.雑食性.環境:湧水のある細流や溜池など 【繁殖】マツカサガイやドブガイなどの淡水二枚貝の鰓葉内に産卵.時期:4~7月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】140(在来ミヤコタナゴ個体群),121(在来タナゴ類生息地) 【緊急】- 【対策】- 【備考】非生息地における密放流の事例あり,文化財保護法および種の保存法により,採集や飼育等の行為は禁止されている 【文献全般】127 【文献県内】-

魚類	ドジョウ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1200	カラドジョウ	要注意外来生物(情報不足)	DD	C
<i>Paramisgurnus dabryanus</i>				

【原産】中国,朝鮮半島 【国内分布】宮城県,栃木県,茨城県,埼玉県,静岡県,長野県,香川県 【県内分布】成田市 【形態・生態】TL10~20cm.腸呼吸ができる.雑食性.場所:水田や農業用水路,河川緩流域 【繁殖】時期:6~7月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】北総域中心に確認事例有り 【文献全般】127,303,176 【文献県内】写真同定(尾崎真澄)

魚類	ギギ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1201	ギギ <i>Pseudobagrus nudiceps</i> Sauvage		DD	C

【原産】日本,韓国,中国 【国内分布】近畿地方以西の本州,四国,九州北東部.以下移入:秋田県,新潟県,福井県,山梨県,愛知県,岐阜県,三重県,熊本県 【県内分布】利根川(野田市). 2001年5月(利根川,野田市)捕獲個体標本あり 【形態・生態】TL30cm,夜行性で昼間は石下や水草に潜む.雑食性だが,肉食傾向.環境:河川中流域や湖沼 【繁殖】場所:石下やその隙間時期:5〜8月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】400?:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127 【文献県内】-

魚類	アメリカナマズ科	特定外来生物	影響度	緊急度
1202	チャネルキャットフィッシュ <i>Ictalurus punctatus</i>		B	B

【原産】北米 【国内分布】利根川下流域,霞ヶ浦など 【県内分布】利根川,江戸川,栗山川,印旛沼,手賀沼. 河川やその付随水域を中心に生息 【形態・生態】降雨時には陸上を移動する,幅広い雑食性,環境:平野部の規模の大きい池沼や河川下流域,それに連なる水路など 【繁殖】時期:6〜8月 【国内侵入】110:1971年頃? 【県内侵入】400:1980年代前半 【影響】112(生態的地位が高い),340(ウナギ延縄漁や刺網漁業での混獲) 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】別名アメリカナマズ 【文献全般】202,114 【文献県内】247,248,249,118

魚類	ロリカリア科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
1203	マダラロリカリア <i>Liposarcus disjunctives</i>		DD	C

【原産】- 【国内分布】沖縄 【県内分布】印旛沼. 未定着と推測 【形態・生態】TL50cm.15℃以下では稚魚は生存不可.塩分耐性無し.空気呼吸ができるため汚濁に強い.食性:付着藻類,デトリタス,底生動物,場所:河川中流域や湖沼 【繁殖】川岸や川床に窪みを掘り産卵.体内卵数は2000〜4000粒.時期:5〜10月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】163(観賞魚):- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】別名:プレコ,沖縄で外来個体群が定着 【文献全般】127,176,291 【文献県内】-

魚類	キュウリウオ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1204	ワカサギ <i>Hypomesus transpacificus nipponensis</i>		C	C

【原産】利根川および島根県以北 【国内分布】沖縄を除く全国各地 【県内分布】利根川水系(在来),亀山湖・高滝湖(外来). 県内でも放流事業が継続されている 【形態・生態】ca.10cm,沿岸汽水域〜淡水域,広い水温適応性.孵化仔魚は流下し,沿岸生活.満1年で成熟,北海道では2年以上の個体も,食性:動物プランクトン,環境:内湾,湖沼・人工湖とそれらにつながる河川下流域 【繁殖】岸辺や枯木,水草,水没した植物片などに産卵,時期:1月〜5月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】141(在来個体群) 【緊急】- 【対策】種苗放流のあり方検討 【備考】漁業権魚種 【文献全般】127,191 【文献県内】29,35,37,3

魚類	サケ科	影響度	緊急度
1205	ギンザケ <i>Oncorhynchus kisutch</i>	DD	C

【原産】北米大陸,北太平洋 【国内分布】北海道,東北地方 【県内分布】利根川下流域. 定着はしていないと考えられる 【形態・生態】TLca.60cm,BW4kg,成熟年齢は通常3-4年,河川で孵化後,1年を淡水域で過ごした後,海に下り,北太平洋を回遊.孵化後3-4年で母川に回帰する,動物食,環境:若魚は北太平洋の外洋域.成熟すると河川にはいり上流で産卵.孵化後一年間は淡水域で過ごし,後に降海 【繁殖】河底に巣を掘り,産卵. 場所:河川上流域の浅くて流れの速い場所,時期:10月〜1月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】400(養殖個体の迷い込み?):- 【影響】- 【緊急】なし 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127,191 【文献県内】38

魚類	サケ科		影響度	緊急度
1206	ニジマス	要注意外来生物(適否検討), IUCN100, 生態学	D	C
	<i>Oncorhynchus mykiss</i>			

【原産】北米太平洋岸～カムチャツカ半島 【国内分布】九州以北 【県内分布】高滝ダム, 亀山ダム, 養老川, 小櫃川, 夷隅川. 放流による生息. 定着はしていないと推定 【形態・生態】TL40cm, 陸生・水生昆虫食. 環境: 淡水域: 河川上・中流域に生息し、流れのあるところを好むが、. 湖やダム等でも水が清澄な場合生息可能 【繁殖】番を作り、♂が産卵床を掘り、同時に産卵・放精する. 卵は1ヶ月～1ヵ月半で浮出する, 時期: 本州で11～3月 北海道で1～5月 【国内侵入】150, 110: 1877年以降複数回の放流 【県内侵入】150:- 【影響】112, 120(競争・捕食による他生物の衰退) 【緊急】- 【対策】- 【備考】放流地では漁業権魚種 【文献全般】202, 127, 191 【文献県内】2, 35

魚類	メクラウナギ科		影響度	緊急度
1207	タウナギ		DD	C
	<i>Monopterus albus</i>			

【原産】中国, 朝鮮半島, インド, 沖縄など 【国内分布】関東地方以南の本州, 九州 【県内分布】印旛沼水系, 水路工事や圃場整備時に泥中より発見される例がある 【形態・生態】TL80cm, 淀んだ泥底を好む. 雌から雄への性転換を行う. 空気呼吸可. 夜行性. 食性: 小魚や水生昆虫. 環境: 河川下流域や水路の緩流域, 溜池など 【繁殖】田や水路に掘ったトンネル内で泡巣を作り、雄が保護し、稚魚は口内保育. 時期: 6～7月 【国内侵入】163?:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127, 176 【文献県内】-

魚類	トウゴロウイワシ科		影響度	緊急度
1208	ペヘレイ		DD	C
	<i>Odonthestes bonariensis</i>			

【原産】南アメリカ 【国内分布】霞ヶ浦, 利根川下流部 【県内分布】印旛沼, 利根川水系. 県内では未定着と考えられる. 利根川下流でまれに出現 【形態・生態】TL50cm, 通常群れをつくり、表層を遊泳, 浮遊動物. 主に昆虫類やエビ類なども食べる. 環境: 湖沼やダム湖で放流例多数 【繁殖】浅場の水生植物などに付着糸で産卵, 場所: 湖岸の水生植物の生えるような場所, 時期: 3月～6月, 秋にも産卵することがある 【国内侵入】110: 1966年 【県内侵入】400:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】原産地では高級魚, 各地の水産試験研究機関で増殖・放流 【文献全般】127 【文献県内】35

魚類	カダヤシ科		影響度	緊急度
1209	カダヤシ	特定外来生物, IUCN100, 生態学会100	A	C
	<i>Gambusia affinis</i>			

【原産】北米～メキシコ中部 【国内分布】本州から琉球列島 【県内分布】県西部. 都市部に多く、メダカのすむような土水路には少ない 【形態・生態】TL♀5cm, ♂3cm, 一年中、早成熟, 5月に産まれたものは同年内に成熟, 雑食性. 環境: 淡水～汽水域. 水質汚染や高塩分に強く、市街地を流れる都市河川や、溜池から河口汽水域まで生息 【繁殖】体内受精による卵胎生魚で、TLca.9mmの仔魚を産む, 場所: 生息場所に同じ, 時期: 晩春～初秋 【国内侵入】110: 1916年 【県内侵入】110: 不明 【影響】在来メダカ生息地以外はB, 121(メダカ), 112 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】127, 191, 202 【文献県内】28, 324, 35, 37

魚類	カダヤシ科		影響度	緊急度
1210	グッピー	要注意外来生物(適否検討)	C	C
	<i>Poecilia reticulata</i>			

【原産】ベネズエラからガイアナ 【国内分布】本州から琉球列島 【県内分布】都川, 支川都川, 葦川. 都市部河川の一部でスポット的に生息 【形態・生態】TL♀5cm, ♂3cm, 低温には比較的弱い, 食性: 藻類, デトライタス, 小型水生動物など, 環境: 平野部の緩流域, 池沼, 水田など. 汚染や塩分耐性強い, 都市の下水溝や汽水域などでも生息 【繁殖】卵胎生. ♂臀鰭が交尾器, 体内受精, TL9mm位の稚魚を数尾～100尾程度産む, 水温25℃以上であれば一年中 【国内侵入】163: 1960年代以降に拡大 【県内侵入】163:- 【影響】120(メダカ?) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127, 191 【文献県内】37

魚類	メダカ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1211	ミナミメダカ	県RDB:B	A	C
<i>Oryzias latipes</i>				

【原産】本州以南の日本,朝鮮半島,中国,台湾 【国内分布】北海道を除く各地 【県内分布】在来個体:県内各地,国内外来の野生メダカ・ヒメダカ:県内各地で散発的,安定した生息地はなし? 【形態・生態】TL4cm,止水域,緩流域の表層,雑食性,動植物プランクトンや小さな昆虫類など.環境:淡水域 【繁殖】主に6月～9月水草などに産卵 【国内侵入】163:- 【県内侵入】163(ヒメダカ):- 【影響】在来メダカ生息地以外はDD,141(在来メダカ) 【緊急】- 【対策】移動や放流防止 【備考】ヒメダカはメダカの人工品種.野生メダカは各地で異なる地方群が放流.旧称メダカ 【文献全般】127,191,小山・北川(2009)竹花・北川(2010)小山ら(2011) 【文献県内】竹花・酒泉(2003)

魚類	モロネ科	特定外来生物	影響度	緊急度
1212	ストライプトバス		DD	C
<i>Morone saxatilis</i>				

【原産】北米大陸 【国内分布】江戸川(写真確認),東京湾,霞ヶ浦(聞き取り) 【県内分布】江戸川(写真確認),東京湾(聞き取り),定着している可能性は小さい 【形態・生態】TL約50cm♀,魚食性,環境:沿岸域～汽水域,産卵時淡水域に入る 【繁殖】繁殖場所:河川淡水域 【国内侵入】不明:1990年代後半? 【県内侵入】不明:1990年代後半? 【影響】- 【緊急】不明 【対策】外来生物法の遵守 【備考】写真確認,聞き取り:東京湾ではまれに捕獲される(望月私信) 【文献全般】- 【文献県内】-

魚類	スズキ科	要注意外来生物(情報不足)	影響度	緊急度
1213	タイリクスズキ		DD	C
<i>Lateolabrax sp.</i>				

【原産】黄海,渤海,中国沿岸 【国内分布】西日本から関東地方沿岸域 【県内分布】東京湾,外房海域. 外房海域では釣りにより比較的容易に捕獲されている 【形態・生態】TL70cmを超える,沿岸域に住む.河口内でもよくつれる.生活史の詳細は不明,動物食性と推測される,環境:沿岸域,河口汽水域 【繁殖】- 【国内侵入】110:1980年代後半以降 【県内侵入】110,400:1990年代には確認されている 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127,202 【文献県内】-

魚類	サンフィッシュ科	特定外来生物, 生態学会100	影響度	緊急度
1214	ブルーギル		A	A
<i>Lepomis macrochirus</i>				

【原産】北米大陸 【国内分布】ほぼ全国 【県内分布】ほぼ全域. 大河川から孤立した溜池まで広く生息 【形態・生態】TL20cm,環境:緩流～止水域人工護岸や魚礁などにも,冬:深場で越冬.寿命:10～20年.幅広い雑食性 【繁殖】初夏に営巣繁殖. ♀4-5年♂3-4年で成熟 【国内侵入】150,110:1960年 【県内侵入】150:1960年 【影響】110(在来生物群集),340(在来漁業対象種,入網による作業効率低下),またはB～C 【緊急】またはB～C 【対策】外来生物法遵守,影響について水域ごとの調査 【備考】- 【文献全般】127,191,167,113,202 【文献県内】245,35,37

魚類	サンフィッシュ科	特定外来生物, 生態学会100	影響度	緊急度
1215	コクチバス		B	C
<i>Micropterus dolomieu</i>				

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】利根川(確認は数例のみ). 未定着と推定. 県内には生息適地が少ない? 【形態・生態】1年15cm,2年22cmを超えて成魚となる,肉食性で魚類や甲殻類が主食,環境:河川上・中流域の淡水域.オオクチバスより冷水性で,流れのあるところに生息する 【繁殖】オスがすり鉢状の巣をつくり,メスに産卵させ,卵から稚魚までを保護する,時期:5～7月 【国内侵入】150:1925年(芦ノ湖) 【県内侵入】150:- 【影響】110(在来生物群集),340(有用魚種食害) 【緊急】- 【対策】外来生物法・内水面漁業調整規則の遵守 【備考】- 【文献全般】202,207 【文献県内】写真(利根川 尾崎真澄同定)

魚類	サンフィッシュ科		影響度	緊急度
1216	オオクチバス	特定外来生物, IUCN100, 生態学会100	A	A
	<i>Micropterus salmoides</i>			

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL50cm, 春～秋: 止水域～緩流域浅所, 初夏: 営巣, 繁殖. 冬季: 深場で越冬. 寿命: 10数年～20年. ♀4～5年, ♂3～4年で成熟, 動物プランクトン(幼)～魚食性, 環境: 淡水域. 汽水域? 【繁殖】湖沼等の止水域・緩流域の水深1.5m位までの水底に営巣, 時期: 5～7月 【国内侵入】150(複数回移植放流?), 110: 1925年 【県内侵入】150: 1965年頃(手賀沼) 【影響】112(魚類を中心. 特に溜池や小規模水域において影響大), 340(在来漁業対象種) 【緊急】またはB 【対策】外来生物法・内水面漁業調整規則の遵守 【備考】- 【文献全般】113, 202, 127, 191, 167 【文献県内】189, 105, 324, 35, 37

魚類	ゴクラクギョ科		影響度	緊急度
1217	チョウセンブナ		DD	C
	<i>Macrophodus chinensis</i>			

【原産】中国～朝鮮半島 【国内分布】新潟県, 愛知県, 岡山県など 【県内分布】旧葛飾郡, 手賀沼, 印旛沼など. 近年, 出現記録なく, 現在生息状況不明 【形態・生態】TL7cm, 水草の多い止水の浅い淡水域で生活, 深みで越冬. 酸素欠乏に強い, 食性: 水生昆虫, 底生動物, 環境: 平野部の浅い池沼, 用水路 【繁殖】♂水面に浮き巣を作り, ♀を誘い産卵させ, ♂が卵・稚魚を守る, 場所: 生息地に同じ, 時期: 6月～7月 【国内侵入】110: 1914年頃 【県内侵入】110: - 【影響】- 【緊急】- 【対策】啓発による移動や飼育個体の放流の防止 【備考】- 【文献全般】127, 191, 北川・細谷(2011)日本生物地理学会会報66: 49-55 【文献県内】35

魚類	タイワンドジョウ科		影響度	緊急度
1218	カムルチー	要注意外来生物(情報不足)	C	C
	<i>Channa argus</i>			

【原産】中国北・中部, 朝鮮半島 【国内分布】北海道を除く各地 【県内分布】各地に散在. 手賀沼(1945異常繁殖記録). 現在は各地にいるが多くない 【形態・生態】TL1m, 単独生活, 冬季: 泥の中でほぼ冬眠状態. 春: 水温上昇とともに活発, 酸素の少ない場所でも生活可能, 食性: エビ類, 魚類, カエル類など動物食. 環境: 淡水域. 湖沼や緩流域-止水域, 水草の繁茂場所 【繁殖】♂♀で浮き巣を作り, 産卵, 卵・稚魚を保護する, 場所: 水草の繁茂場所, 時期: 5月～8月 【国内侵入】110: 1923～24年 【県内侵入】110: 不明 【影響】112(動物食) 【緊急】- 【対策】- 【備考】大物釣りの対象魚として好まれる 【文献全般】127, 191, 202 【文献県内】29, 35, 37

魚類	タイワンドジョウ科		影響度	緊急度
1219	コウタイ	要注意外来生物(情報不足)	DD	C
	<i>Channa asiatica</i>			

【原産】長江以南の中国, 台湾, 海南島 【国内分布】石垣島, 大阪府に移植 【県内分布】利根川. 大利根博物館収蔵資料. 未定着と推定 【形態・生態】TL30cm, 上鰓器官による空気呼吸が出来る. 夜行性で, 昼間は水草の間などに潜む, 魚類やカエル類などの動物食, 環境: 山間の流水域, 水田地帯 【繁殖】営巣はせず, 水草に粘着卵を産み付け, 親魚が卵・稚魚を保護する習性がある, 場所: 生息域に同じ, 時期: 原産地では4月～6月 【国内侵入】日本の記録は全て移入による推測: 不明 【県内侵入】-: 1980年代前半? 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】原産地では食用および漢方薬原料 【文献全般】127, 191 【文献県内】35

魚類	タイワンドジョウ科		影響度	緊急度
1220	タイワンドジョウ	要注意外来生物(情報不足)	C	C
	<i>Channa maculata</i>			

【原産】東南アジア 【国内分布】石垣島, 和歌山県, 兵庫県, 香川県など 【県内分布】手賀沼で記録がある. 一時的記録で未定着 【形態・生態】TL50cm, 水草の多いところを好む. 他はカムルチーと同じ, 食性: エビ類, 魚類, カエル類など, ある程度の大きさのある動物食, 環境: 平野部の池沼 【繁殖】雌雄が共同で浮き巣を作り, 産卵し, 雌雄で卵・稚魚を保護する, 場所: 生活場所と同じ水草の茂るような場所, 時期: 5月～8月 【国内侵入】1906年に台湾から大阪府堺への移入が最初: 不明 【県内侵入】不明: 不明 【影響】112(動物食) 【緊急】- 【対策】- 【備考】大物釣りの対象魚, 原産地では食用 【文献全般】127, 191 【文献県内】35

両生類	ピパ科		影響度	緊急度
1221	アフリカツメガエル	要注意外来生物(情報不足)	A	A
	<i>Xenopus laevis</i>			

【原産】アフリカ大陸南部 【国内分布】和歌山県,静岡県,千葉県で定着 【県内分布】利根川,印旛沼水系,袖ヶ浦市,成田市(定着) 【形態・生態】TL50-130mm,ほとんど水中生活,河川,湖沼から塩性湿地まで、あらゆる水域に生息.環境:淡水域 【繁殖】卵生,繁殖力が高く、定着個体が長生き 【国内侵入】110:1954年以降 【県内侵入】110:1990年代 【影響】130(ツボカビ),112(在来カエル類など水生生物) 【緊急】- 【対策】早急な駆除,効果的な捕獲方法開発,野外放逐防止,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除 【備考】野外越冬が可能(千葉大学構内) 【文献全般】202 【文献県内】141

両生類	アカガエル科		影響度	緊急度
1222	ウシガエル	特定外来生物, IUCN100, 生態学会100	A	B
	<i>Rana (Aquarana) catesbeiana</i>			

【原産】北アメリカのロッキー山脈以東 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,小笠原諸島,南西諸島 【県内分布】全域. 池,ため池,湖沼,緩流河川に生息 【形態・生態】TL110-185mm,オタマジャクシ期:植物中心の雑食.変態後:動物食,環境:淡水域:沼,用水路,河川 【繁殖】卵は一週間で孵化.普通はそのまま越冬し、翌年の5〜10月に変態,場所:湖沼,池,河川の下流等,広い水面かつ水深ある静水域,時期:5-9月 【国内侵入】110:1918年 【県内侵入】110:昭和初期 【影響】112,250(騒音被害) 【緊急】個体群制御手段として、商業的利用を促進 【対策】外来生物法の遵守,野生化集団の基礎的研究,駆除方法の検討 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

両生類	アカガエル科	国内外来生物	影響度	緊急度
1223	ヌマガエル		B	B
	<i>Rana (Limnonectes) limnocharis</i>			

【原産】日本 【国内分布】関東地方,対馬(移入) 【県内分布】東京湾岸地域,利根川,江戸川下流域,高崎川流域(2004年),県内各地で定着 【形態・生態】TL25-55mm,幼生は夏期の高水温耐性あり.乾田にも高密度で生息,在来種が激減した環境に侵入,食性:昆虫などの無脊椎動物,他種カエル幼体,環境:淡水 【繁殖】卵生,場所:水田や水たまり等の浅い止水,時期:4〜7月 【国内侵入】-: 【県内侵入】-:1998年 【影響】- 【緊急】駆除は不可能. 新たな地域への侵入を防ぐ手だてを確立させる 【対策】個体の移動防止,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除の実施 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】70,220

両生類	アカガエル科	国内外来生物	影響度	緊急度
1224	トノサマガエル	国RDB:NT	C	A
	<i>Rana (Pelophylax) nigromaculata</i>			

【原産】日本,朝鮮半島,中国 【国内分布】本州(関東地方から仙台平野,信濃川流域を除く),四国,九州,北海道(移入) 【県内分布】習志野市のみ. 谷津干潟ビジターセンター内の淡水池に定着 【形態・生態】TL40-90mm,主に水田と用水路に生息,昆虫類に加え小型の両生類も捕食,環境:淡水域 【繁殖】場所:水田,池,時期:4-6月 【国内侵入】-: 【県内侵入】-:1990年代 【影響】112(水生生物) 【緊急】小規模な集団であるので、早急に駆除を実現するべき 【対策】現在定着している地域からの根絶 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

爬虫類	ヌマガメ科		影響度	緊急度
1225	ミシシippアカミミガメ	要注意外来生物(適否検討), IUCN100, 生態学	A	B
	<i>Trachemys scripta elegans</i>			

【原産】北アメリカ東部 【国内分布】沖縄〜北海道まで全国に定着 【県内分布】溪流を除くほぼ全ての水域,ため池,湖沼,緩流河川に生息.都市部に多 【形態・生態】CL♂20cm ♀28cm,オスよりもメスの方が大型になり、メスはCL28cm,WT2.5kgに達する,雑食性,淡水棲 【繁殖】繁殖能力強く、産卵数1回20個以上,年数回,場所:池や沼,河川周辺の地面に穴を掘って産卵,時期:6-7月 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】またはB,C,110(雑食性),121(在来カメ類),220(大型個体の咬傷被害) 【緊急】生息範囲の把握と駆除方法の確立が先決 【対策】飼育用の販売時の配慮,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除の実施 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

爬虫類	ヌマガメ科		影響度	緊急度
1226	キバラガメ	要注意外来生物	B	B
	<i>Trachemys scripta scripta</i>			

【原産】アメリカ南東部 【国内分布】全国各地で確認,定着は不明 【県内分布】印旛沼水系など 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】110(雑食性),121(在来カメ類),220(大型個体の咬傷被害) 【緊急】- 【対策】情報収集,適宜発見個体回収,飼育用販売時の配慮と遺棄防止,駆除方法の検討を目指した試験的駆除の実施 【備考】今後新たに定着する可能性があり 【文献全般】359 【文献県内】-

爬虫類	イシガメ科		影響度	緊急度
1227	ミナミイシガメ	CITES:II	B	B
	<i>Mauremys mutica</i>			

【原産】台湾,中国東部,インドシナ半島北部,八重山諸島 【国内分布】八重山諸島,京都府,大阪府,滋賀県,千葉県,沖縄諸島(移入) 【県内分布】印旛沼周辺. 高崎川中流域に定着している可能性は極めて高い 【形態・生態】CL♂♀15-18cm,雑食性,環境:淡水域 【繁殖】6個産卵(2000年捕獲個体),場所:池や沼,河川周辺に穴を掘って産卵,時期:6~7月? 【国内侵入】162:昭和初期 【県内侵入】162:1990年代? 【影響】121(在来カメ類),142(ニホンイシガメ) 【緊急】生息範囲の把握と駆除方法の確立が先決 【対策】飼育用販売時の配慮,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除 【備考】- 【文献全般】202,358 【文献県内】140

爬虫類	イシガメ科		影響度	緊急度
1228	クサガメ	県RDB:情報不足, CITES:III	A	A
	<i>Mauremys reevesii</i>			

【原産】中国南部,朝鮮半島 【国内分布】本州,四国,九州とその周辺の属島 【県内分布】全域. 各地の池沼,河川 【形態・生態】CL18-23cm,冬期は河川や池沼で冬眠,水生昆虫,甲殻類,水生植物など雑食性 【繁殖】池沼,河川,水田周辺,5-7月,卵生,産卵数は4~10個/回,1シーズンで1~3回 【国内侵入】162:江戸時代後期 【県内侵入】162(中国及び関西から):- 【影響】120(ニホンイシガメ),142(ニホンイシガメ) 【緊急】ニホンイシガメ生息地以外はB 【対策】ニホンイシガメ生息地からの排除は早急に行うべき,飼育用の販売時の配慮と遺棄防止の普及 【備考】- 【文献全般】77,306,348 【文献県内】-

爬虫類	イシガメ科		影響度	緊急度
1229	ハナガメ	要注意外来生物, CITES:III	B	B
	<i>Mauremys sinensis</i>			

【原産】中国南部,台湾,ベトナム北部 【国内分布】全国各地で確認 【県内分布】県北部の数カ所. 社寺や公園の池で確認されているが定着は不明 【形態・生態】CL18-25cm,池沼や流れの緩やかな河川に生息,雑食性 【繁殖】陸地,卵生,1回に5~20個,4~6月の記録有り 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来ガメ),142(ニホンイシガメ),113(水生植物) 【緊急】- 【対策】飼育用の販売時の配慮と遺棄防止の普及,野生化した集団の生態に関する基礎的研究と、駆除方法の検討を目指した試験的駆除の実施 【備考】今後新たに定着する可能性があり 【文献全般】359 【文献県内】-

爬虫類	カミツキガメ科		影響度	緊急度
1230	カミツキガメ	特定外来生物, 生態学会100	A	A
	<i>Chelydra serpentina</i>			

【原産】カナダ南部~アメリカ合衆国,中部アメリカを経てエクアドル 【国内分布】千葉県で定着 【県内分布】高崎川,鹿島川,印旛沼. 繁殖・定着している 【形態・生態】CL45cm↑,BW30kg↑,長寿命で飢餓耐性強,肉食性(水生植物も).環境:淡水域 【繁殖】卵生,産卵数:20-50個,場所:河川堤防や水田畔,時期:6月 【国内侵入】162:1970年代? 【県内侵入】162:1978年(最古) 【影響】112(水生生物),220(農作業中に咬傷被害) 【緊急】定着個体群の総個体数・分布が限られているうちに駆除 【対策】外来生物法の遵守 【備考】捕食者が存在しない場合、個体群増加率が原産地よりも高くなる可能性有 【文献全般】202 【文献県内】-

爬虫類	カミツキガメ科		影響度	緊急度
1231	ワニガメ	要注意外来生物(情報不足), CITES:III	B	B
	<i>Macrochelys temminckii</i>			

【原産】アメリカ南部 【国内分布】各地で確認,繁殖は不明 【県内分布】佐倉市,印西市など. 公園の池以外に河川でも生息確認,繁殖不明 【形態・生態】CL50-70cm,BWmax113kg,寿命58才(飼育記録),肉食性,ルアーリングを行い魚・甲殻類食 【繁殖】河川,湖沼周辺の陸地,4~6月(フロリダ),卵生,一腹卵数は8~52個 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】112(水生生物),340(魚類,甲殻類捕食,漁具破壊?),220 【緊急】- 【対策】遺棄防止の普及,野生化した集団の生態に関する基礎的研究と,駆除方法の検討を目指した試験的駆除の実施,情報収集と適宜回収 【備考】今後新たに定着する可能性有 【文献全般】359 【文献県内】-

鳥類	ペリカン科		影響度	緊急度
1232	モモイロペリカン		D	C
	<i>Pelecanus onocrotalus</i>			

【原産】アフリカ,アジア 【国内分布】全国各地 【県内分布】印旛沼 【形態・生態】TL148-175cm,WS226-360cm,BW♂9-15kg ♀5.4-9kg,環境:湿地,河川,湖沼 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	フラミンゴ科		影響度	緊急度
1233	オオフラミンゴ	CITES:II	DD	C
	<i>Phoenicopterus ruber</i>			

【原産】アフリカ,南ヨーロッパ,アジア,南アメリカ 【国内分布】- 【県内分布】銚子市(1例) 【形態・生態】TL120-145cm,食性:甲殻類,軟体類,水生昆虫,藻類,種子 【繁殖】群性が強い,泥沼の浅瀬などで,コロニーを形成し繁殖する 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】254,371 【文献県内】

鳥類	カモ科		影響度	緊急度
1234	エジプトガン		DD	C
	<i>Alopochen aegyptiacus</i>			

【原産】アフリカ東部,アフリカ中部,アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】本埜村(現 印西市) 印旛沼北部. 調整池堤防内側水面1例のみ,2009年10月 1羽 上記の場所でカルガモ,アオサギなどと共に休息 【形態・生態】TL63-73cm,留鳥,環境:湿地,池,湖沼,植物食(種子,穀類,水草) 【繁殖】水辺の草地 【国内侵入】162:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164,370 【文献県内】

鳥類	カモ科		影響度	緊急度
1235	アヒル		B	B
	<i>Anas platyrhynchos</i> var. <i>domesticus</i>			

【原産】中国北東部-ロシア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地. 湿地で少数が見られる 【形態・生態】TL50-60cm,WS81-95cm,BW0.8-1.6kg(マガモ),環境:公園,湿地,池,湖沼 【繁殖】繁殖場所:地上営巣,生息域の湿地帯,繁殖場所:地上営巣,生息域の湿地帯 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】マガモ *Anas platyrhynchos* が家禽化された 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1236	シナガチョウ <i>Anser cygnoides var. orientalis</i>	DD	C

【原産】東アジア,モンゴル,中国北東部,シベリア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地. 越冬期,国内には、ごく稀に飛来する(原種) 【形態・生態】TL81-94cm,WS165-185cm,BW2.85-3.5kg,環境:越冬期:湿地に生息(原種),公園,湖沼,河川 【繁殖】繁殖場所:湿原,草原で繁殖 【国内侵入】162:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】サカツラガン *Anser cygnoides* が家禽化された 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1237	インドガン <i>Anser indicus</i>	DD	C

【原産】中央アジア,中国北東部,チベット,モンゴル 【国内分布】千葉,長野,父島,多良間島 【県内分布】新浜 【形態・生態】TL71-76cm,WS140-160cm,BW2-3kg,環境:淡水湖,湖沼,河川 【繁殖】場所:中央アジアの高地で繁殖する. 繁殖終了後、ヒマラヤから北インドを渡り、ミャンマーなどへ移動する 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】290

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1238	シジュウカラガン <i>Branta canadensis</i>	要注意外来生物(情報不足), 国RDB:CR, D	C

【原産】北アメリカ(ロッキー山脈以西) 【国内分布】本州,北海道 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL55-110cm,環境:湿地,沼地,湖沼,草むら,凍原,公園 【繁殖】大型の亜種の1巣卵数は約6卵 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】*Branta canadensis moffitti* オオカナダガンが各地で野外飼育されている 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1239	バリケン <i>Cairina moschata</i>	DD	C

【原産】中央アメリカ,南アメリカ(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL66-84cm,WS120cm(原種) BW2.2-4.5kg,環境:池,雑食性 【繁殖】一夫多妻制,樹洞などに営巣 【国内侵入】110(食用):- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】ノバリケン *Cairina moschata*,Muscovy Duck が家禽化された 【文献全般】370 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1240	コクチョウ <i>Cygnus atratus</i>	DD	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】北海道,岩手,宮城,福島,茨城,栃木,群馬,千葉,東京,神奈川,宮崎 【県内分布】銚子市,幕張,手賀沼 【形態・生態】TL110-140 cm,WS160-200cm,BW3.7-8.75kg,環境:湖沼,河川 【繁殖】- 【国内侵入】110(食用),162:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1241	コブハクチョウ <i>Cygnus olor</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ北部,中央アジア,北アメリカなど 【国内分布】全国各地 【県内分布】利根川水系. 全体から見て北海道、本州の中央と西に個体数が定期的に移動 【形態・生態】TL125-160cm,WS200-240cm,BW6.6-16kg,季節移動する,環境:湖沼,河川 【繁殖】繁殖場所:湿地,水辺 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】季節移動する 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	タカ科	影響度	緊急度
1242	ミミヒダハゲワシ <i>Torgos tracheliotos</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】八千代市(1例) 【形態・生態】TL103cm,WS258-266cm,環境:乾いた草地,灌木,原野,砂漠,腐肉食 【繁殖】繁殖期:地域により異なる(原産地).地上3-15mの木の頂きで営巣.,1巣1卵.雌雄が抱卵する 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164,251,17 【文献県内】

鳥類	ハヤブサ科	影響度	緊急度
1243	カラカラ <i>Polyborus plancus</i>	DD	C

【原産】北アメリカ,中央アメリカ,南アメリカ 【国内分布】- 【県内分布】銚子市(1例) 【形態・生態】TL58cm,環境:草原,草地,腐肉食,動物の死体,昆虫,小動物 【繁殖】繁殖期:1-2月.1巣2-3卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371,364 【文献県内】

鳥類	キジ科	影響度	緊急度
1244	コジュケイ <i>Bambusicola thoracica</i>	D	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,佐渡,四国,九州,伊豆諸島,硫黄島 【県内分布】千葉市,銚子市,船橋市,一宮川河口,印旛沼,勝浦市,九十九里湿地,幕張,小櫃川河口,新浜,手賀沼. 広範囲に生息 【形態・生態】留鳥,環境:平地から低山の林,林縁,藪 【繁殖】繁殖期に一夫多妻制で小群を形成,時期:4-6月,一度に7-8個の卵を産卵 【国内侵入】150:- 【県内侵入】150:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62,153 【文献県内】37

鳥類	キジ科	影響度	緊急度
1245	コリンウズラ <i>Colinus virginianus</i>	DD	C

要注意外来生物(情報不足)

【原産】アメリカ中東部,メキシコ 【国内分布】神奈川県,大阪府 【県内分布】手賀沼,長生村. 飼育や実験用,狩猟目的に輸入 【形態・生態】TL20-25cm,BW130-170g,昆虫類(繁殖期)種子,穀類 【繁殖】繁殖期:4-6月,繁殖場所:地上営巣,一腹卵数10-15個,繁殖場所:地面の窪みに枯れ草を敷いて巣をつくる 【国内侵入】150(猟犬の訓練用):- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】過去の放鳥の情報収集,および現在の分布・個体数を把握,輸入・繁殖・放鳥を慎む 【備考】- 【文献全般】291,153 【文献県内】

鳥類	キジ科	影響度	緊急度
1246	ニワトリ	DD	C
<i>Gallus gallus var. domesticus</i>			

【原産】東南アジア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地 【形態・生態】TL20-90cm,環境:農村,里山,灌木林,社寺林 【繁殖】- 【国内侵入】162(食用):- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】原種:セキショクヤケイ 【文献全般】254 【文献県内】

鳥類	キジ科		影響度	緊急度
1247	コウライキジ	生態学会100	B	B
Phasianus colchicus karpowi				

【原産】中国東北部,朝鮮半島 【国内分布】北海道,長崎県対馬 【県内分布】千葉市 【形態・生態】TL♂80cm,♀50cm,環境:灌木林,農耕地,草原,雑食性 【繁殖】繁殖期:5-6月,6-10個産卵 【国内侵入】163:江戸時代後期(対馬) 【県内侵入】163:- 【影響】142(キジ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371,153,147 【文献県内】

鳥類	ホロホロチョウ科	影響度	緊急度
1248	ホロホロチョウ	DD	C
<i>Numida meleagris</i>			

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部(サハラ以南) 【国内分布】- 【県内分布】栄町酒直印旛沼北部水田,2010年8月31日1羽 【形態・生態】- 【繁殖】繁殖期:雨期(原産地),地上営巣性,1巣8-12卵 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】

鳥類	ツル科	影響度	緊急度
1249	カンムリヅル	DD	C
<i>Balearica pavonina</i>			

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部(サハラ以南) 【国内分布】- 【県内分布】栄町酒直印旛沼北部水田2010年8月31日1羽 【形態・生態】- 【繁殖】繁殖期:雨期(原産地).地上営巣性,1巣8-12卵 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】

鳥類	ツル科	影響度	緊急度
1250	ホオジロカンムリヅル	DD	C
<i>Balearica regulorum</i>			

【原産】アフリカ中部 【国内分布】- 【県内分布】手賀沼1980年8月12日,我孫子市利根耕地1980年8月13日 【形態・生態】TL約96cm,繁殖期である雨季以外は50~100羽の群れを形成,環境:草原,湿原,雑食性 【繁殖】一腹卵数:2~3個(主に3個),場所:地上営巣,湿地に営巣,繁殖期:7-9月(ナイジェリア),9-11月(スーダン) 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】1,371,185,153 【文献県内】

鳥類	クイナ科	影響度	緊急度
1251	セイケイ <i>Porphyrio porphyrio</i>	DD	C

【原産】ウガンダ,ケニア,モザンビーク北部 【国内分布】全国各地 【県内分布】手賀沼,九十九里 【形態・生態】TL約96cm,地方によっては樹上で眠る,環境:草原,湿原,雑食性 【繁殖】場所:低い樹上に営巣した例もある,時期:繁殖期は12月-5月(南アフリカ) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】185,153 【文献県内】

鳥類	ハト科	影響度	緊急度
1252	カワラバト <i>Columba livia</i> var. <i>domestica</i>	C	B

【原産】南ヨーロッパ,アフリカ,東南アジア,インド,オーストラリア,ニュージーランド 【国内分布】- 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL38-50cm,WS90-100cm,環境:淡水湖,汽水湖,沼,湿地,湖沼,雑食性だが、主に植物食 【繁殖】繁殖場所:1年中繁殖記録が有る,繁殖期は生息地により多様 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,153 【文献県内】

鳥類	ハト科	影響度	緊急度
1253	ウスユキバト <i>Geopelia cuneata</i>	DD	C

【原産】アフリカ北部,地中海沿岸,中近東,中央アジア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地広範囲に生息 【形態・生態】TL29-35cm,WS60-71cm,BW180-355g,公園,寺社等各地で餌付けされている,環境:山の岩場,断崖,沿岸の崖地(原種),街中,公園,農村地域など人間が生活している環境 【繁殖】繁殖期:2-10月,温暖な地域では冬期でも卵・雛が観察される,1巢2卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】別名:ドバト 【文献全般】166,69 【文献県内】

鳥類	ハト科	影響度	緊急度
1254	ジュズカケバト <i>Streptopelia risoria</i>	DD	C

【原産】オーストラリア北部,内陸部 【国内分布】- 【県内分布】幕張 【形態・生態】TL19-20cm,環境:森林,低木林,開けた地域,種子,穀物など主に植物食 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】41,251 【文献県内】

鳥類	オウム科	影響度	緊急度
1255	アカオクロオウム <i>Calyptorhynchus magnificus</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】松戸市1994年1羽,千葉市1996年1羽 【形態・生態】TL25-30cm 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-1994年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】バライロシラコバト*Streptopelia roseogrisea* が家禽化された種と考えられている 【文献全般】327 【文献県内】

鳥類	オウム科	影響度	緊急度
1256	オカメインコ <i>Nymphicus hollandicus</i>	DD	C

【原産】オーストラリア北部,オーストラリア西部 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(千葉県立中央博物館周辺) 【形態・生態】TL59-66cm,環境:森林,草地,灌木林 【繁殖】樹洞に営巣し、1卵を産む 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】17 【文献県内】

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1257	コザクラインコ <i>Agapornis roseicollis</i>	DD	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(千葉県立中央博物館周辺) 【形態・生態】TL32cm,環境:開けた地域,低木林,水場がある地域に多い 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371 【文献県内】

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1258	アオボウシインコ <i>Amazona aestiva</i>	DD	C

【原産】アフリカ南西部 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(千葉県立中央博物館周辺) 【形態・生態】WS♂101-107mm,♀99-106mm,BW♂♀46-63g,環境:乾燥地帯の開けた地域,食性:アカシアの種やアルビジアなどマメ科の種子,小さな穀類,作物,ヒマワリ,トウダイグサ属の花の芽や葉 【繁殖】コロニーで営巣 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164,251 【文献県内】

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1259	セキセイインコ <i>Melopsittacus undulatus</i>	DD	C

【原産】ブラジル,パラグアイ,アルゼンチン 【国内分布】- 【県内分布】富津市富津岬 【形態・生態】TL37cm,環境:森林,河辺林,ヤシ林その他の疎林 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】17 【文献県内】

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1260	ホンセイインコ <i>Psittacula krameri</i>	B	A

【原産】オーストラリア 【国内分布】全国各地 【県内分布】千葉市(県立中央博周辺),銚子市,船橋市,印旛沼,幕張,三番瀬,新浜,手賀沼。 一般的に飼鳥として生息 【形態・生態】TL18cm,WS30cm,BW26-29g,環境:草地,灌木林,農耕地,草原(原産地),農村,河川敷,里山 【繁殖】年2回繁殖.小さな樹洞に営巣 【国内侵入】広範囲にわたって飼鳥として取引された:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,251 【文献県内】

鳥類	ヒヨドリ科	影響度	緊急度
1261	コウラウン <i>Pycnonotus jocosus</i>	DD	C

【原産】アフリカ,インド 【国内分布】東京 【県内分布】千葉県(県立中央博周辺),銚子市 【形態・生態】TL♂39-42cm,♀27-36cm,WS42-48cm,BW95-143g,冬期群れを形成,環境:落葉樹林,農耕地,プランテーション(原産地),公園,住宅地など,食性:穀物,果実,子房など 【繁殖】樹洞に営巣する 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,251 【文献県内】

鳥類	チメドリ科	影響度	緊急度
1262	ガビチョウ <i>Garrulax canorus</i>	特定外来生物, 生態学会100 B	A

【原産】インド,東南アジア 【国内分布】本州 【県内分布】手賀沼. 脱走し,野生化したものが日本の中央部に生息 【形態・生態】TL18-20.5cm,BW25-31g,環境:農村地域,郊外の公園,庭,二次林,雑食性 【繁殖】時期:1-8月(原産地),1回につき2-4個産卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	チメドリ科	影響度	緊急度
1263	カオジロガビチョウ <i>Garrulax perspicillatus</i>	特定外来生物 B	A

【原産】中国,台湾,東南アジア 【国内分布】本州(関東,中部)~九州 【県内分布】成田市,富里市,市原市 【形態・生態】TL21-25cm,環境:低地から低山の森林,竹林,草木が密集した場所,山腹 【繁殖】繁殖期:5-7月,藪や木に葉や草でお椀型の巣を作り2-5個産卵 【国内侵入】162:- 【県内侵入】-:2006年 【影響】- 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】2006.10.17-18成田市~富里市 【文献全般】166,291 【文献県内】

鳥類	ヒタキ科	影響度	緊急度
1264	ソウシチョウ <i>Leiothrix lutea</i>	特定外来生物, 生態学会100 B	A

【原産】中国南部,インド 【国内分布】群馬県,栃木県,茨城県 【県内分布】利根川沿い. 野田市 【形態・生態】TL22-24cm,環境:街の公園,農村地域,草や竹の密集している場所,庭先,広葉樹林,雑食性 【繁殖】繁殖期:2-8月.藪や下生えに営巣し1巣3-4卵 【国内侵入】162:- 【県内侵入】400:2012年 【影響】- 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】166,291 【文献県内】

鳥類	ホオジロ科	影響度	緊急度
1265	コウカンチョウ <i>Paroaria coronata</i>	DD	C

【原産】中国中部-南部,ベトナム北部 【国内分布】本州中部,九州,四国 【県内分布】銚子市,船橋市 【形態・生態】TL13-16cm,非繁殖期は小群を形成,環境:森林,低木林 【繁殖】時期:5-9月 【国内侵入】164:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】166,291 【文献県内】

鳥類	アトリ科	影響度	緊急度
1266	カナリア <i>Serinus canaria</i>	DD	C

【原産】ブラジル－アルゼンチン 【国内分布】本州中部 【県内分布】手賀沼,船橋 【形態・生態】TL18-19cm,環境:低木林,藪,灌木林,公園,食性:種子,昆虫 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147,251 【文献県内】

鳥類	アトリ科	影響度	緊急度
1267	キマユカナリア <i>Serinus mozambicus</i>	DD	C

【原産】カナリア諸島(北大西洋上の島嶼) 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(県立中央博周辺) 【形態・生態】TL13cm 【繁殖】- 【国内侵入】-:江戸時代中頃 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1268	ベニスズメ <i>Amandava amandava</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部－アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】銚子市,富津市 【形態・生態】TL11-13cm,環境:サバンナ,農地,人家周辺,森縁 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1269	カエデチョウ <i>Estrilda troglodytes</i>	DD	C

【原産】サハラ砂漠南縁,セネガル,ガンビア,エチオピア,マリ,ガーナ 【国内分布】本州中部 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL10cm,BW7-8g,環境:湿地,河川敷,灌木林,草原 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1270	キンバラ <i>Lonchura atricapilla</i>	DD	C

【原産】インド北東部,東南アジア,中国南部,スマトラ,ボルネオ 【国内分布】- 【県内分布】一宮川河口,印旛沼,幕張 【形態・生態】TL11-12.5cm,環境:ヨシ原,農耕地,草地 【繁殖】- 【国内侵入】-:江戸時代 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】頭部・上胸・腹中央・下尾筒は黒,体上面は赤褐色,胸・腹・脇が茶色 【文献全般】62,147 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1271	ヘキチョウ <i>Lonchura maja</i>	DD	C

【原産】東南アジア,ジャワ,バリ 【国内分布】本州,四国 【県内分布】印旛沼 【形態・生態】TL12cm留鳥,環境:休耕田,ヨシ原
【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1272	ギンバラ <i>Lonchura malacca</i>	DD	C

【原産】インド南部,スリランカ 【国内分布】沖縄 【県内分布】印旛沼,新浜,手賀沼 【形態・生態】TL11-12.5cm,環境:藪,草地,水田,ヨシ原 【繁殖】- 【国内侵入】-: 昭和時代初め 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】頭部・上胸・腹中央・下尾筒は黒,体上面は赤褐色,胸・腹・脇が白い 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1273	シマキンバラ <i>Lonchura punctulata</i>	DD	C

【原産】東南アジア,中国南東部,台湾,インド 【国内分布】南西諸島 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL10-12cm,環境:農耕地,草地 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1274	ジュウシマツ <i>Lonchura striata</i> var. <i>domestica</i>	DD	C

【原産】南・東南アジア,中国南部,中国東部,台湾(原産地) 【国内分布】南西諸島 【県内分布】- 【形態・生態】TL10-11cm,留鳥,環境:乾燥した草地,林縁,プランテーション,庭,藪,森のはずれ 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】コシジロキンバラ *Lonchura striata* が家禽化された 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチョウ科	影響度	緊急度
1275	ブンチョウ <i>Padda oryzivora</i>	DD	C

【原産】ジャワ島,バリ島 【国内分布】本州,九州 【県内分布】銚子市,印旛沼,新浜,手賀沼 【形態・生態】TL約17cm,雌雄同色,環境:草原,農耕地,灌木林.非繁殖期には群を作る.食性:種子 【繁殖】繁殖期:6-7月,12月(原産地).1巣3-5卵 【国内侵入】162:江戸時代初期から輸入 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】1,371,147 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1276	オウゴンチョウ <i>Euplectes afer</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部および南部 【国内分布】愛知県田原町(1999年8月14日)など 【県内分布】富津市富津岬 【形態・生態】TL13cm,環境:草地,農耕地,灌木林 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1277	アカエリホウオウ <i>Euplectes ardens</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部,アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL♂生殖羽28-38cm,♀12-13cm,BW♂20-26g,♀16-22g,環境:サバンナ,高地の草原,種子,果実,果汁,昆虫など 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1278	キンランチョウ <i>Euplectes orix</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】一宮川河口(1例),幕張,小櫃川河口,新浜 【形態・生態】TL13-14cm,環境:ヨシ原,農耕地,草原 【繁殖】繁殖期:生息範囲が広いためほぼ通年繁殖記録がある(原産地).1巣3卵 【国内侵入】飼育個体が逸出し野生下で繁殖:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】かつては、キタキンランチョウ*Euplectes franciscanus*との区別がされていなかった 【文献全般】62,147 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1279	アラビアコガネスズメ <i>Passer euclor</i>	D	C

【原産】サウジアラビア,イエメン,エチオピア 【国内分布】- 【県内分布】千葉大学構内(1989) 【形態・生態】TL13cm,環境:乾燥した地域,サバンナ 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】コガネスズメ(*Passer luteus*)の亜種に分類されることもある 【文献全般】- 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1280	テンニンチョウ <i>Vidua macroura</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部(サバンナ) 【国内分布】東京,神奈川,奈良,京都,大阪,兵庫 【県内分布】千葉市(県立中央博周辺),銚子市,一宮川河口,新浜,手賀沼 【形態・生態】TL11-12cm,♂繁殖期30-32cm,環境:草地,河原,埋立地,農耕地,小群で行動するが、非繁殖期には大群になることがある 【繁殖】時期:雨期(原産地).1回につき3-4卵.カエデチョウ科などの近縁の種に托卵する,ヒナは仮親に育てられる 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62,371 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1281	ホウオウジャク <i>Vidua paradisaea</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部ーアフリカ南部(エチオピア,スーダン,ソマリア,ケニア) 【国内分布】本州中部 【県内分布】長生村2005年11月14日 【形態・生態】TL13-14cm,繁殖期♂36-39cm,BW18-24g,環境:水田,埋立地,小群で行動することが多いが、非繁殖期には他種とともに大群を形成することがある.食性:種子,昆虫 【繁殖】繁殖期:通年,宿種の繁殖期(原産地).1回につき1-4個産卵.一夫多妻で托卵性 【国内侵入】162:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	ムクドリ科	影響度	緊急度
1282	ハッカチョウ <i>Acridotheres cristatellus</i>	DD	C

【原産】中国南部,台湾,東南アジア 【国内分布】本州中部,四国 【県内分布】小櫃川河口周辺 【形態・生態】TL26-28cm,BW113g,.群れで行動し集団ねぐらをとる.環境:草地,河原,埋立地,農耕地,河川敷,住宅地.食性:昆虫,果実,種子など 【繁殖】樹木の樹洞,壁,屋根などの隙間に営巣 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62 【文献県内】

鳥類	ムクドリ科	影響度	緊急度
1283	セイキムクドリ <i>Lamprolornis chalybaeus</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部・南東部 【国内分布】- 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL♂21-23cm,昆虫など 【繁殖】卵は4-8個,抱卵期間:14日間 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164 【文献県内】

鳥類	カラス科	影響度	緊急度
1284	ヤマムスメ <i>Urocissa caerulea</i>	DD	C

【原産】台湾 【国内分布】本州南西部 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL64-69cm,環境:二次林,森のはずれ,農耕地,住宅地 【繁殖】樹上に営巣し3-8卵を産む.繁殖の手伝いをするヘルパーが知られている 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カラス科	影響度	緊急度
1285	サンジャク <i>Urocissa erythorhyncha</i>	DD	C

【原産】インド,ネパール,東南アジア,東アジア 【国内分布】- 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL65-68cm,環境:落葉樹林,二次林,竹林,藪,広葉樹林.食性:昆虫,果実,腐肉など雑食性 【繁殖】- 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】アメリカ北東部地方にも移入されている 【文献全般】166,147 【文献県内】

哺乳類	オナガザル科		影響度	緊急度
1286	アカゲザル	特定外来生物	A	A
<i>Macaca mulatta</i>				

【原産】インド、中国、ベトナム、アフガニスタンなど南～南西部アジア 【国内分布】千葉県 【県内分布】館山市、南房総市南部ほか。生息数・分布が増加拡大中。4群以上 【形態・生態】BW5-8kg, HBL47-64cm, TLL19-30cm, 昼行性。数10-100頭以上の群れ形成, 食性: 植物の果実や葉, 環境: 森林 【繁殖】隔年1産1子, 3-7月頃出産, ♀性成熟3.5-5.5歳↑, BW4kg↑で出産可能 【国内侵入】140:- 【県内侵入】140: 1995年以前 【影響】142(ニホンザル), 310 【緊急】ニホンザルとの交雑が進行中のため、危機的状況 【対策】全頭捕獲, 食害の技術的防除, 外来生物法の遵守, 外来生物問題の普及啓発, 実態調査 【備考】- 【文献全般】45 【文献県内】18, 22, 66, 65, 123

哺乳類	ウサギ科		影響度	緊急度
1287	カイウサギ	IUCN100, 生態学会100	C	C
<i>Oryctolagus cuniculus</i>				

【原産】- 【国内分布】日本各地(主に島嶼) 【県内分布】鋸南町浮島。調査未実施 【形態・生態】BW1.4-2.3kg, HBL38-50cm, TL4-7cm, 森林や草地に生息する。巣穴を掘って群れて暮らす, 植食性(植物の葉, 枝, 樹皮など), 環境: 陸域: 森林, 草地 【繁殖】地面に穴を掘り、出産数: 4-6, 場所: 森林, 草地, 時期: 年に数回 【国内侵入】162: 19世紀ころ 【県内侵入】162: 1980年代 【影響】113(在来植物) 【緊急】- 【対策】島外への持出防止, 飼育管理の強化, 外来生物問題の普及啓発, 実態調査 【備考】ヨーロッパアナウサギの家畜種 【文献全般】202, 307 【文献県内】307, 37

哺乳類	リス科		影響度	緊急度
1288	オグロプレーリードッグ		C	C
<i>Cynomys ludovicianus</i>				

【原産】北アメリカ 【国内分布】繁殖・定着は確認されていない 【県内分布】繁殖・定着は未確認。2000～2001年の約1年間、野田市にあるゴルフ場に1頭が生息 【形態・生態】BW0.9-1.5kg, HBL28-35cm, TLL8-11cm, 草地に巣穴を掘り、社会的集団で暮らす, 植食性(主に草), 環境: 陸域: 草地 【繁殖】繁殖場所: 草地の巣穴 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162: 2000年 【影響】230(腺ペスト等の伝播の危険性) 【緊急】- 【対策】飼育管理の強化, 外来生物問題の普及啓発 【備考】これまで1頭の生息が確認されたのみ, 繁殖・定着情報は得られていない 【文献全般】307 【文献県内】329

哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1289	ハツカネズミ	IUCN100	B	B
<i>Mus musculus</i>				

【原産】不明 【国内分布】日本各地 【県内分布】全域 【形態・生態】BW9-23g, HBL57-91mm, TLL42-80mm, 雑食性(種実類が多い), 環境: 陸域: 住宅地, 農耕地, 草地, 家屋 【繁殖】出産数: 平均5～6, 場所: 人家内, 草地など, 時期: 年に数回 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:- 【影響】112(在来生物), 200(食品食害, 様々なものを齧る) 250(糞尿被害) 【緊急】- 【対策】捕獲駆除 【備考】史前帰化の可能性もあり 【文献全般】宇田川(1974), 347 【文献県内】35, 37

哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1290	マスカラット	特定外来生物	C	C
<i>Ondatra zibethicus</i>				

【原産】北アメリカ 【国内分布】千葉県, 東京都, 埼玉県 【県内分布】千葉県行徳野鳥観察舎(市川市)周辺。不明 【形態・生態】BW0.5-1.5kg, HBL23-32cm, TLL18-29cm, 土手に巣穴を形, 主に水生植物, 環境: 陸域: 湖沼, 湿地, 河川 【繁殖】出産数: 4～8, 場所: 水辺の土手の巣穴, 時期: 不明 【国内侵入】110: 太平洋戦争終戦前後頃 【県内侵入】110: 太平洋戦争終戦前後頃 【影響】112(在来生物), 310(かつてはハスの食害) 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守, 外来生物問題の普及啓発, 実態調査 【備考】- 【文献全般】259, 307 【文献県内】219, 307, 35, 37

哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1291	ドブネズミ		B	B
	<i>Rattus norvegicus</i>			

【原産】中央アジア? 【国内分布】日本各地 【県内分布】全域 【形態・生態】BW150-500g, HBL18-26cm, TLL15-22cm, 雑食性(動物質が多い), 環境: 陸域: 都市部, 住宅地など(下水道, 地下街等比較的湿った場所) 【繁殖】出産数1~18(平均8~9), 場所: 土中(植え込みなど), 建築物内, 時期: 年に数回 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:- 【影響】112(在来生物), 200(食品食害, 様々なものを齧る)250(糞尿被害) 【緊急】- 【対策】捕獲駆除 【備考】史前帰化の可能性もあり 【文献全般】335, 347 【文献県内】35, 37

哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1292	クマネズミ	IUCN100	B	B
	<i>Rattus rattus</i>			

【原産】東南アジア? 【国内分布】日本各地 【県内分布】全域 【形態・生態】BW150-200g, HBL15-24cm, TLL15-26cm, ビルや天井裏など比較的乾燥した高所. 木登りが得意, 雑食性(種実類が多い), 環境: 陸域: 都市部, 住宅地など 【繁殖】出産数2~10(平均5~6), 場所: 人家・ビル内, 時期: 年に数回 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:- 【影響】112(在来生物), 200(食品食害, 様々なものを齧る)250(糞尿被害), 230(広東住血線虫などの主要宿主) 【緊急】- 【対策】捕獲駆除 【備考】史前帰化の可能性もあり 【文献全般】347, 矢部(1988), 202 【文献県内】35, 37

哺乳類	アライグマ科		影響度	緊急度
1293	アライグマ	特定外来生物, 生態学会100	A	A
	<i>Procyon lotor</i>			

【原産】北米 【国内分布】日本各地 【県内分布】ほぼ全域. 生息数・分布が増加拡大中 【形態・生態】BW4-10kg, 夜行性. 木登りが得意, 雑食性, 環境: 陸域: 森林, 農村地域, 住宅地, 水辺等 【繁殖】出産数: 3~6, 場所: 樹洞, 人家の屋根裏等, 時期: 主に春 【国内侵入】162: 1960年代 【県内侵入】162: 1990年代 【影響】112, 122, 121(フクロウ類), 310, 250(糞尿騒音), 340(飼育魚), 200(文化財損傷), 230(アライグマ回虫), 260(イヌディステンパー) 【緊急】被害の増大が予測, 定着初期の早急対策が必須 【対策】外来生物法の遵守, 実態調査, 捕獲, 防護柵設置 【備考】繁殖初記録は1996年頃 【文献全般】202, 307 【文献県内】218, 12

哺乳類	イヌ科		影響度	緊急度
1294	イヌ		C	B
	<i>Canis familiaris</i>			

【原産】家畜種 【国内分布】日本各地 【県内分布】県内各地 【形態・生態】単独で暮らす場合もあるが、数頭で群れをつくることが多い, 雑食性, 環境: 陸域 【繁殖】出産数: 数頭, 場所: 森林, 農村地域, 住宅地, 時期: 季節を問わず? 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】220(咬傷被害の可能性) 【緊急】- 【対策】飼育管理の強化, 外来生物問題の普及啓発, 捕獲 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

哺乳類	イタチ科		影響度	緊急度
1295	フェレット	要注意外来生物(情報不足)	DD	C
	<i>Mustela putorius</i>			

【原産】西ヨーロッパ(原種) 【国内分布】未定着 【県内分布】繁殖・定着は確認なし, 千葉支庁管内1頭(1990年代前半), 佐倉市西御門1頭捕獲(2006)その後生息情報無 【形態・生態】BW0.9-1.1kg, HBL30-36cm, TLL13-15cm, 不明, 雑食性, 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162: 1990年代前半 【影響】- 【緊急】- 【対策】飼育管理の強化, 外来生物問題の普及啓発 【備考】ヨーロッパケナガイタチの家畜種, ヨーロッパではウサギを巣穴から追い出すために飼育 【文献全般】307 【文献県内】-

哺乳類	ジャコウネコ科			
1296	ハクビシン	CITES:III	影響度 A	緊急度 A
	<i>Paguma larvata</i>			

【原産】中国南東部,台湾,東南アジアなど 【国内分布】本州以南 【県内分布】ほぼ全域. 生息数・分布が増加拡大中 【形態・生態】BW3-5kg,HBL48-60cm,TL38-43cm,夜行性.樹上をよく利用,雑食性,環境:陸域:森林,農村地域,住宅地等 【繁殖】出産数:2~4,場所:樹洞,人家(屋根裏),時期:春~秋 【国内侵入】110(毛皮用養殖個体):1940年代前後 【県内侵入】400,162:1980年代(県内1987年死体初記録) 【影響】110,122,310(ミカン,ビワ,ナシなど),250(糞尿騒音) 【緊急】全県的に果樹等食害増大中 【対策】飼育管理強化,外来生物問題の普及啓発,実態調査,駆除 【備考】- 【文献全般】202,307 【文献県内】216,217,35

哺乳類	ネコ科			
1297	ネコ	IUCN100	影響度 C	緊急度 C
	<i>Felis catus</i>			

【原産】家畜種 【国内分布】日本各地 【県内分布】県内各地,不明 【形態・生態】BW2-6kg,単独生活だが一定の仲間グループがみられる.生ゴミに依存,雑食性小動物を活発に捕食,環境:陸域 【繁殖】出産数:数頭,場所:森林,農村地域,住宅地,時期:季節を問わず? 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:不明 【影響】110(在来生物)県内ではコアジサシのヒナに対する捕食が問題になっている,200(庭や家庭菜園での脱糞) 【緊急】影響の大きい地域での集中捕獲が必要 【対策】飼育管理強化,外来生物問題の普及啓発,実態調査,捕獲駆除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

哺乳類	イノシシ科	国内外来生物		
1298	イノシシ	IUCN100	影響度 A	緊急度 A
	<i>Sus scrofa</i>			

【原産】北米~ユーラシア 【国内分布】全国 【県内分布】県南部,印西市,山武市,東金市など. 数・分布が急速に増加拡大中 【形態・生態】雑食性,環境:陸域:森林,農村地域 【繁殖】出産数:平均4-5,場所:耕作放棄地など,時期:7-10月 【国内侵入】:- 【県内侵入】150(野外放獣が繰り返されている),162:1980年代中頃以降 【影響】112(両生ハ虫類等),310(畦掘りおこし),200(道や斜面崩壊),220(出会い頭) 【緊急】地域状況に応じた積極的対策が必要 【対策】飼育管理強化,放獣防止,実態調査,捕獲,防護柵設置,生息地管理 【備考】在来個体群は1970年代に絶滅した可能性高 【文献全般】202 【文献県内】8,10,永田・落合.2009.野生生物保護12:27-31

哺乳類	シカ科			
1299	キョン	特定外来生物	影響度 A	緊急度 A
	<i>Muntiacus reevesi</i>			

【原産】中国南東部,台湾 【国内分布】千葉県,東京都伊豆大島 【県内分布】県南部. 生息数・分布が増加拡大中 【形態・生態】BW10kg,HBLca.70cm,TL7-11cm,昼夜を問わずほぼ単独で行動,植食性(木の葉や果実,草),環境:陸域:森林 【繁殖】1産1子.初産齢0.5~1才程度,場所:森林,時期:年間,5~10月中心 【国内侵入】140:- 【県内侵入】140:1960~1980年代の間 【影響】113,122(ニホンジカ),270(芝,花卉類) 【緊急】効果的な捕獲方法の開発が望まれる 【対策】外来生物法の遵守,実態調査,捕獲駆除,食害の技術的防除 【備考】勝浦市にあった観光施設が移入源と考えられる 【文献全般】202,307 【文献県内】35,11,19,20,21,9

6 注意喚起種リスト 平成 24（2012）年度版

5 の外來生物リストの附属リストの一つ目として、注意喚起種リストを作成しました。これは、隣接する都県にすでに定着している生物であったり、もしくは、これまでに県内での野生個体が排除されたが、将来的に県内に再侵入するおそれがあり、定着した場合侵略性が高い（在来

種の生育・生息や人間活動に顕著な影響がでるもの）と考えられる生物のリストです。今後、野外で発見された場合は、対策の緊急度や侵入の影響度は高くなる可能性が大きく、早期対策のための情報収集が必要な生物といえます。

表 注意喚起種リスト 平成 24（2012）年度版

	分類群	科名	和名	学名
1	軟体動物	コウラナメクジ科	マダラコウラナメクジ	<i>Limax maximus</i>
		茨城県内では分布を広げており、千葉県へも侵入する可能性が高い（長谷川ほか 2009）		
2	魚類	コイ科	タイワンタナゴ	<i>Tanakia himantegus</i>
		市場に流通しており、侵入したら繁殖定着の可能性あり		
3	魚類	ギギ科	コウライギギ	<i>Pseudobagrus fulvidraco</i>
		霞ヶ浦に生息しており、利根川経由で分布拡大の可能性あり（文献 7）		
4	魚類	セルサラムス科	ピラニア	<i>Serrasalminae</i> sp.
		カン目セルサラムス科セルサラムス亜科 (<i>Serrasalminae</i>) の総称。茨城県にて確認情報あり		
5	魚類	ドンコ科	ヨコシマドンコ	<i>Micropercops swinhonis</i> (Gunther, 1873)
		愛知県で定着。茨城県で発見されており、侵入定着の可能性あり		
6	爬虫類	イグアナ科	グリーンアノール	<i>Anolis carolinensis</i>
		神奈川県のある地域に小集団が定着し、すでに数年が経過しているという情報有（神奈川県立生命の星地球博物館）。		
7	哺乳類	リス科	クリハラリス	<i>Callosiurus erythraeus</i>
		別名タイワンリス。茨城県坂東市（目撃情報）、東京都、神奈川県、静岡県などで生息している。		

7 要検討種リスト 平成 24 (2012) 年度版

ふたつめの附属リストとして、要検討種リストを作成しました。このリストは、これまでに野外で確認されているが、現時点では生息の可能性が低いもの、外来か在来かの判断がつかないもの、もしくは、両方の可能性があるもので在来である可能性の方が高いもの

のリストです（外来の可能性が高い場合は、予防原則にのっとり、本リストに掲載されています）。このリストの生物は、将来、野外調査や科学的知見の蓄積などにより、本リストに以降したり、要検討種リストから除外されたりする可能性があるものです。

表 要検討種リスト 平成 24 (2012) 年度版

	分類群	科	和名	学名
1	シダ植物	サンショウモ科	ニシノオオアカウキクサ	<i>Azolla filiculoides</i> Lam.
		柏市(旧沼南町)で採取。オオアカウキクサ大和型。外来生物の可能性が高い(兵庫県博鈴木武氏)		
2	種子植物	イラクサ科	ツルマオ	<i>Gonostegia hirta</i> (Blume) Miq.
		国内外来生物の可能性あり		
3	種子植物	タデ科	ツルソバ	<i>Persicaria chinensis</i>
		国内外来生物の可能性あり		
4	種子植物	アブラナ科	ハマダイコン	<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>raphanistroides</i> Makino
		栽培植物の逸出の可能性あり		
5	種子植物	ユキノシタ科	ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i> Meerb.
		国内外来生物の可能性あり		
6	種子植物	バラ科	マルバシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> Rehd.
		県外系統の可能性あり		
7	種子植物	トウダイグサ科	ヤマアイ	<i>Mercurialis leiocarpa</i> Siebold et Zucc.
		国内外来生物の可能性あり		
8	種子植物	ツリフネソウ科	オオキツリフネ	<i>Impatiens pallida</i> Nutt. aff.
		学名不明確		
9	種子植物	グミ科	ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.
		国内外来生物の可能性あり		
10	種子植物	グミ科	オオナワシログミ	<i>Elaeagnus</i> × <i>submacrophylla</i> Servett. (syn. <i>Elaeagnus nikaii</i> Nakai)
		国内外来生物起源の雑種		
11	種子植物	アカバナ科	ノダアカバナ	<i>Epilobium adenocaulon</i> Hassk.
		学名不明確		
12	種子植物	ヒシ科	オニビシ	<i>Trapa natans</i> L. var. <i>japonica</i> Nakai
		国内外来生物の可能性あり		
13	種子植物	キク科	カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook. f. var. <i>yedoensis</i> (Franch. et Sav.) Ohwi
		国内外来生物の可能性あり		
14	種子植物	キク科	クソニンジン	<i>Artemisia annua</i> L.
		史前帰化の可能性あり		

表 要検討種リスト 平成 24 (2012) 年度版 (つづき)

	分類群	科	和名	学名
15	種子植物	キク科	カワラニンジン	<i>Artemisia apiacea</i> Hance
		国内外来生物の可能性あり		
16	種子植物	キク科	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara
		法面緑化として導入されている外来系統の逸出の懸念		
17	種子植物	イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ	<i>Juncus bufonius</i> L.
		在来生物か外来生物か判定不能		
18	種子植物	ツクサ科	マルバツクサ	<i>Commelina benghalensis</i> L.
		北総の分布は外来の可能性あり		
19	種子植物	ツクサ科	シマツクサ	<i>Commelina diffusa</i> Burm.f.
		国内外来生物の可能性あり		
20	種子植物	イネ科	ホッスガヤ	<i>Calamagrostis pseudophragmites</i> (Haller fil.) Koeler
		緑化植物の種子に混入した国内外来生物の可能性あり		
21	種子植物	イネ科	トキワススキ	<i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb.
		国内外来生物の可能性あり		
22	種子植物	イネ科	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> Herrm.
		在来生物か外来生物か判定不能		
23	蘚苔類	ギボウシゴケ科	ケギボウシゴケ	<i>Grimmia pilifera</i> P. Beauv.
		国内外来生物の可能性あり		
24	蘚苔類	ギボウシゴケ科	チチレゴケ	<i>Ptychomitrium sinense</i> (Mitt.) A.Jaeger
		国内外来生物の可能性あり		
25	蘚苔類	ギボウシゴケ科	ナガバチチレゴケ	<i>Ptychomitrium linearifolium</i> Reim.
		国内外来生物の可能性あり		
26	蘚苔類	ギボウシゴケ科	コメバギボウシゴケ	<i>Schistidium liliputarum</i> (Muell.Hal.) Deguchi
		国内外来生物の可能性あり		
27	蘚苔類	ギボウシゴケ科	ホソバギボウシゴケ	<i>Schistidium strictum</i> (Turn.) O.Maert.
		国内外来生物の可能性あり		
28	軟体動物	ナメクジ科	ナメクジ	<i>Meghimatium bilineatum</i>
		在来生物 (史前帰化) か外来生物か判定不能		
29	軟体動物	イガイ科	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>
		能動分散の可能性も充分考えられる		
30	軟体動物	マテガイ科	エゾマテ	<i>Solen krusensternii</i>
		近年の食用廃棄由来の外来群の可能性あり		
31	軟体動物	キヌマトイガイ科	ナミガイ	<i>Panopea japonica</i>
		近年の食用廃棄由来の外来群の可能性あり		
32	昆虫類	シロチョウ亜科	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>
		史前帰化の可能性あり		
33	昆虫類	シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ	<i>Artopoetes pryori pryori</i> (Murray, 1873)
		国内外来生物の可能性あり . 県 RDB 掲載種 (C).		

表 要検討種リスト 平成 24 (2012) 年度版 (つづき)

	分類群	科	和名	学名
34	昆虫類	ハムシ科	トビハムシ類	<i>Clitea</i> sp.
			レモントビハムシの可能性あり (文献 300).	
35	昆虫類	セイボウ科	クロバネセイボウ	<i>Chrysis angolensis</i> Radoszkowski
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
36	昆虫類	セイボウ科	ミドリセイボウ	<i>Praestochrysis lusca</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
37	昆虫類	アナバチ科	キゴシジガバチ	<i>Sceliphron madraspatanum</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
38	昆虫類	ミツバチ科	エサキムカシハナバチ	<i>Colletes esakii</i> Hirashima
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
39	昆虫類	シリアゲコバチ科	オキナワシリアゲコバチ	<i>Leucospis sinensis</i> Walker
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
40	昆虫類	クモバチ科	ツマアカクモバチ	<i>Tachypompilus analis</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
41	昆虫類	ドロバチ科	フカイオオドロバチ	<i>Rhychium quinquecinctum</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
42	魚類	コイ科	アカヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira erythropterus</i>
			在来生物か外来生物か判定不能.	
43	魚類	カラシン科	コロソマ	<i>Colossoma macropomum</i>
			過去の生息情報が不確か.	
44	魚類	カワスズメ科	ナイルテラピア	<i>Oreochromis niloticus</i>
			観賞魚ではなく、定着の可能性低い.	
45	魚類	タイワンドジョウ科	コウタイ	<i>Channa asiatica</i>
			利根川で発見されたが、未定着. 今後定着の可能性低い.	
46	爬虫類	スッポン科	スッポン	<i>Perodiscus sinensis</i>
			在来か外来か不明.	
47	爬虫類	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>
			在来か外来か不明.	
48	哺乳類	カンガルー科	ワラビー類	<i>Macropodidae</i> sp.
			1990 年代に複数の目撃情報あり. 繁殖定着情報はなし.	

8 引用文献

- 1) 我孫子市野鳥を守る会 編纂委員会 . 1994. 手賀沼の鳥 -20 年の観察記録 -. p.165, 我孫子市野鳥を守る会, 我孫子市 .
- 2) 藍憲一郎・尾崎真澄 . 2007. 夷隅川水系および養老川水系におけるカワウ *Phalacrocorax carbo hanedae* の食性 . 千葉県水産総合研究センター研究報告 (2): 43-51.
- 3) 藍憲一郎・尾崎真澄 . 2008. 千葉水総研報 3:15-20.
- 4) 藍沢亨・水久保隆之・伊藤賢治・中野昭雄 . 2002. 徳島県のレンコンから分離されたネモグリセンチュウ (*Hirschmanniella* sp.) の形態と計測値 . 第 46 回応動昆虫大会講演要旨, p. 32. 日本応用動物昆虫学会, 東京 .
- 5) 雨宮将人 . 2009. 白井市のカメムシ目 (異翅亜目・頸吻亜目). 白井市 . 2009.
- 6) 青木直芳, 2008. 我孫子市で採集した甲虫 6 種について . 房総の昆虫 (40): 34.
- 7) 荒山和則・松崎慎一郎・増子勝男・萩原富司・諸澤崇裕・加納光樹・渡辺勝敏 . 2012. 霞ヶ浦における外来種コウライギギ (ナマズ目ギギ科) の採集記録と定着のおそれ . 魚類学雑誌 ,59(2): 141-146.
- 8) 浅田正彦 . 2011. 千葉県におけるイノシシの分布、捕獲、被害状況 (2009 年度). 千葉県生物多様性センター研究報告 3:49-64.
- 9) 浅田正彦 . 2011. 千葉県におけるキョンの分布域および個体数推定 (2010 年). 千葉県生物多様性センター研究報告 3:36-43.
- 10) 浅田正彦・直井洋司・阿部晴恵・菰沢雄希 . 2001. 房総半島におけるイノシシ (*Sus scrofa* Linnaeus, 1758) の生息状況 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 6: 201-207.
- 11) 浅田正彦・落合啓二・長谷川雅美 . 2000. 房総半島及び伊豆大島におけるキョンの帰化・定着状況 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 6: 87-94.
- 12) 浅田正彦・篠原栄里子 . 2009. 千葉県におけるアライグマの個体数試算 (2009 年). 千葉県生物多様性センター研究報告 1:30-40.
- 13) 朝比奈正二郎 . 1991. 日本産ゴキブリ類 . p.253, 中山書店, 東京 .
- 14) 朝倉彰 . 1992. 東京湾の帰化生物：都市生態系における移入の過程と定着成功の要因に関する考察 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 2: 1-14.
- 15) 浅野貞夫 (1968) 上総丘陵にもアメリカアゼナ帰化す . 植物採集ニュース (38):20.
- 16) 伴浩治 . 1980. アメリカザリガニ：侵略成功の鍵 . In: 川合禎次・川那部浩哉・水野信彦 (編), 日本の淡水生物：侵略と攪乱の生態学, pp. 37-43. 東海大学出版会, 神奈川 .
- 17) バードライフインターナショナル (総監) 山岸哲 (日本語版総監督) . 2009. 世界鳥類大図鑑 . 191 pp. 株式会社ネコ・パブリッシング, 東京 .
- 18) NPO 法人房総の野生生物調査会 (編). 2005. 平成 16 年度房総半島における野生猿管理対策調査研究事業報告書 . 60 pp. 千葉県環境生活部自然保護課 .
- 19) 房総のシカ調査会 (編). 2001. 千葉県イノシシ・キョン管理対策調査報告書 1. 95 pp. 千葉県環境部自然保護課・房総のシカ調査会, 千葉 .
- 20) 房総のシカ調査会 (編). 2002. 千葉県イノシシ・キョン管理対策調査報告書 2. 97 pp. 千葉県環

- 境生活部自然保護課・房総のシカ調査会, 千葉.
- 21) 房総のシカ調査会 (編). 2007. 平成 18 年度外来種緊急特別対策事業(キョンの生息状況等調査). 88 pp. 千葉県環境生活部自然保護課・房総のシカ調査会, 千葉.
 - 22) 房総のサル管理調査会 (編). 1999. 平成 10 年度房総半島における野生猿管理対策調査研究事業報告書. 124 pp. 千葉県環境部自然保護課・房総のサル管理調査会, 千葉.
 - 23) 千葉県. 2008. 平成 20 年度病虫害発生予察特殊報第 3 号 (千葉県). H20.11.28.
 - 24) 千葉県病虫害防除所. 2001. トマトハモグリバエの発生について. 平成 13 年度発生予察特殊報 (3): 2.
 - 25) 千葉県病虫害防除所. 2004. アルファルファタコゾウムシの発生について. 平成 16 年度病虫害発生予察特殊報 (1): 2.
 - 27) 千葉県教育委員会. 1996. 平成 5~7 年天然記念物「ミヤコタナゴ」保護増殖調査事業報告書. 千葉県.
 - 28) 千葉県内水面水産試験場. 2000. 平成 10 年度千葉県内水面水産試験場事業報告. 38 pp. 千葉県, 千葉.
 - 29) 千葉県内水面水産研究センター. 2004. 平成 14 年度千葉県内水面水産研究センター事業報告. 33 pp. 千葉県, 千葉.
 - 30) 千葉県農林総合研究センター. 2012. 平成 24 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号.
 - 31) 千葉県農林総合研究センター. 2010. 平成 22 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号.
 - 32) 千葉県農林総合研究センター. 2010. 平成 22 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号.
 - 33) 千葉県農林水産部担い手支援課専門普及指導室. <http://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/h21-fukyu/gaichuu.html> (2012/3/5 確認).
 - 34) 千葉県生物学会. 1975. 新版千葉県植物誌. 567 pp. 井上書店.
 - 35) 千葉県生物学会 (編). 1999. 千葉県動物誌. 1248 pp. 文一総合出版, 東京.
 - 36) 千葉県史料研究財団 (編). 1998. 千葉県の自然誌本編 4. 千葉県の植物 I- 細菌類・菌類・地衣類・藻類・コケ類 -. 837 pp. 千葉.
 - 37) 千葉県史料研究財団 (編). 2002. 千葉県の自然誌、本編 6、千葉県の動物 1 -陸と淡水の動物-. VII + 988 pp. 千葉.
 - 38) 千葉県史料研究財団 (編). 2003. 千葉県の自然誌資料, 千葉県産動物総目録. XI+379 pp. 千葉.
 - 39) 千葉県史料研究財団. 2003. 千葉県植物誌 (県史シリーズ 51. 千葉県の自然誌別編, 4). 1181 pp. 千葉.
 - 40) 近田文弘・清水建美・浜崎恭美. 2006. 帰化植物を楽しむ. 239 pp. トンボ出版.
 - 41) Goodwin, D. 1970. Pigeons and doves of the world. p.363, Cornell Univ Pr., Hampshire.
 - 42) 江川和文. 1985. シマメノウフネガイの分布とその伝搬状況. ちりばたん 16(2): 37-44.
 - 43) 江崎悌三・一色周知・六浦晃・井上寛・岡垣弘・緒方正美・黒子浩. 1984. 原色蛾類図鑑上. 保育社, 大阪.
 - 44) 江崎悌三・一色周知・六浦晃・井上寛・岡垣弘・緒方正美・黒子浩. 1984. 原色蛾類図鑑下. 保育社, 大阪.
 - 45) Fooden, J. (2000). Systematic review of the rhesus macaque, *Macaca mulatta* (Zimmermann, 1780).

- Fieldiana Zool. (new ser.) . 96:1-180.
- 46) 吹春俊光 . 2004. 植物一菌類 (きのこ) . In 変わりゆく千葉県の自然 (千葉県の自然誌本編 ,8) , pp.417-425. 千葉県史料研究財団 . 千葉 .
- 47) 吹春俊光・服部力・腰野文男・大作晃一・野村麻結実・堀米礼子 . 1995. 千葉県菌類誌 (I) 千葉県産大型担子菌類相 . 中博自報特別号 (2): 125-155.
- 48) 吹春俊光・腰野文男・服部力・大作晃一・小沼良子 . 2002. 千葉県菌類誌 (II) 大型担子菌類追加目録 . 中博自報特別号 (5) : 95-110.
- 49) 福田寛・河名利幸・久保田篤男・早瀬猛 . 1991. ミカンキイロアザミウマの発生と防除 . 関東東山病虫会年報 (38): 231-233.
- 50) 船橋市 . 2002. 昆虫調査 . In: 船橋市の自然 , 環境 , 船橋市内環境調査報告書 [本編] pp. 84-103.
- 52) 風呂田利夫 . 2001. 東京湾における人為的影響による底生動物の変化 . 月刊海洋 33(6): 437-444.
- 53) 風呂田利夫・木下今日子 . 2004. 東京湾における移入種イッカクグモとチチュウカイミドリガニの生活史と有機汚濁による季節的貧酸素環境での適応性 . 日本ベントス学会誌 59: 96-104.
- 54) 古木達郎 . 2000. 日本新産の *Riccia lamellosa* Raddi (ウロコハタケゴケ、新称) . 蘚苔類研究 7: 314-316.
- 55) 古木達郎 . 2000. 佐倉市のコケ植物相 . In: 佐倉市自然環境調査団 (編) , 佐倉市自然環境調査報告書 , 113-120 pp. 佐倉市経済環境部環境保全課 , 千葉 .
- 56) 古木達郎 . 2000. 下総台地における蘚苔類相一各環境における生育状況一 . In 千葉県臨海開発地域等動植物影響調査会 (編) , 開発地域等における自然環境モニタリング手法に係る基礎調査 III, pp.9-14. 千葉県環境部環境調整課 , 千葉 ,
- 57) 古木達郎 2004. ウロコハタケゴケの新産地 . 蘚苔類研究 8: 278-279.
- 58) 古木達郎 2009. 白井市のコケ植物 . 白井市生物多様性調査報告書 , pp. 7-20. 白井市 . 千葉 .
- 59) 古木達郎・高宮宏 2002. 千葉県東金市のコケ植物 , 千葉中央博自然誌研究報告特別号 4: 79-93.
- 60) 外来種影響・対策研究会 . 2001. 河川における外来種対策に向けて [案] . リバーフロント整備センター .
- 61) 五味正志 . 1997. アメリカシロヒトリの日本への侵入と季節対応 . インセクトarium (34): 320-325.
- 62) 五百沢日丸 . 2000. 日本の鳥 550 山野の鳥 . p. 359, 文一総合出版 , 東京 .
- 63) 波部忠重 . 1973. 軟体動物 . In: 上野益三 (編) , 川村多實二 (原著) , 日本淡水生物学 , pp. 309-341. 北隆館 , 東京 .
- 64) 波部忠重 . 1980. 新移入二枚貝イガイダマシ (新称) . ちりばたん 11(3): 41-42.
- 65) 萩原光・相澤敬吾・蒲谷肇・川本芳 . 2003. 房総半島の移入種を含むマカカ属個体群の生息状況と遺伝的特性 . 霊長類研究 (19): 229-241.
- 66) 萩原光・川本芳 . 2001. 房総半島におけるニホンザルと外来種の混血に関する研究 . 霊長類研究所年報 (32): 147.
- 67) 原田豊秋 . 1984. 家屋内で見受けられる食品害虫について (2). In: 日本家屋害虫学会 (編) , 家屋害虫 , pp. 127-137. 井上書院 , 東京 .
- 68) 原田晴康・滝沢春雄 . 2012. 日本における侵入害虫タバコノミハムシの発生 . 日本応用動物昆虫

- 学会誌 56:117-120.
- 69) 原川 隆司・玉内登志雄. 2006. ドバト公害に対する当院の取り組み. 日本農村医学会雑誌 55(3):443.
- 70) 長谷川雅美・小賀野大一. 1998. 房総半島南部で発見されたヌマガエル、その分布範囲と生息状況・爬虫両生類学会報 1998 (1): 193-194. (雑誌の年号 要確認)
- 71) 初島住彦・天野鉄夫. 1994. 増補訂正琉球植物目録. 沖縄生物学会.
- 72) 早瀬猛・福田寛. 1991. ミカンキイロアザミウマの発生と見分け方. 植物防疫 (44): 59-61.
- 73) 林長閑. 1984. 家屋・食品に見られる鞘翅目(甲虫目)の形態と生態. In: 日本家屋害虫学会(編), 家屋害虫. pp. 24-47. 井上書院, 東京.
- 74) 林弥栄・平野隆久. 1989. 野に咲く花. 623pp. 山と溪谷社, 東京.
- 75) 林匡夫・木元新作・森本桂(編著). 1984. 原色日本甲虫図鑑. vii+438 pp. 保育社, 大阪.
- 76) 林川修二. 1999. 鹿児島におけるアルファルファタコゾウムシの発生動. 植物防疫 (53): 419-422.
- 77) 足田努・鈴木大. 2010. 江戸本草書から推定される日本産クサガメの移入. 爬虫両棲類学報 2010(1):41-46.
- 78) 久内清孝. 1950. 帰化植物. 272 pp. 科学図書出版会.
- 79) 北陸の植物 5,8,10,19,20.
- 80) 堀繁久. 2003. 北海道に侵入したオオタコゾウムシ. *Jezoensis* (29): 71-72.
- 81) 五十嵐博. 2000. 北海道帰化植物便覧. 195 pp. 北海道野生植物研究所.
- 82) いがりまさし. 1996. 日本のスミレ. 247 pp. 山と溪谷社.
- 83) 飯島明子. 2004. 市川市の海域及び汽水域における底生動物・魚類目録. In: 市川市自然環境実態調査報告書 2003, pp. 461-504. 市川市・市川自然環境調査会, 千葉.
- 84) 飯島明子・黒住耐二・風呂田利夫. 2002. 東京湾の人工潟湖に形成された絶滅危惧種の干潟産腹足類カワアイ *Cerithidea djadjariensis* (Martin) (軟体動物門, 腹足綱) の個体群. 日本ベントス学会誌 57: 34-37.
- 85) 稲葉亨. 1975. Non-marine mollusks of Chiba prefecture (仮). 12 pp. 自刊.
- 86) 井上寛. 1982. アメリカシロヒトリ. In: 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛. 日本蛾類大図鑑 I, pp. 653-654. 講談社, 東京.
- 87) 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛. 1982. 日本蛾類大図鑑 I. 966 pp. 講談社, 東京.
- 88) 石鍋寿寛・望月賢二. 2005. 観音崎自然博物館のミヤコタナゴ保全の取り組みと成果. たたらはま (18・19):2-11.
- 89) 石島秋彦. 2006. 移入種イスパニアマイマイの駆除と新たな生息地. ちりぼたん 36(4): 119-122.
- 90) 石川千秋・河野幹幸・渡辺勇・藤井正巳・下畑次夫. 1981. カキ及びナシの果実を加害するアオマツムシ. 植物防疫 (35): 73 - 75.
- 91) 石川忠・高井幹夫・安永智秀. 2012. 日本原色カメムシ図鑑第3巻. 全国農村教育協会
- 92) 一色周知. 1969. ナシヒメシンクイ. In: 原色日本蛾類幼虫図鑑 下. 86 p. 保育社, 大阪.
- 93) 伊藤敏仁 (2001) 清和県民の森及びその周辺の昆虫. In: 平成 12 年度自然環境保全地域等変遷調査報告書, pp. 82-99.

- 94) 伊藤洋 1998. 埼玉県植物誌 . 833pp. 埼玉県教育委員会 .
- 95) 伊藤健二 . 2008. 利根川水系におけるカワヒバリガイ *Limnoperna fortunei* の分布状況 . 日本ベントス学会誌 . 63:30-34.
- 96) 伊藤嘉昭 (編). 1972. アメリカシロヒトリ一種の歴史の断面 . 185 pp. 中央公論社 , 東京 .
- 97) 岩崎敬二・木村妙子・木下今日子・山口寿之・西川輝昭・西榮二郎・山西良平・林育夫・大越健嗣・小菅丈治・鈴木孝男・逸見泰久・風呂田利夫・向井宏 . 2004. 日本における海産生物の人為的移入と分散 : 日本ベントス学会自然環境保全委員会によるアンケート調査の結果から . 日本ベントス学会誌 59: 24-44.
- 98) 岩瀬徹 . 1956. 帰化植物数種 . 千葉生物誌 6 (4):96.
- 99) 岩瀬徹・小滝一夫 . 1958. 帰化植物の生態 . In 千葉県植物誌 . pp. 101-119. 千葉県生物学会 .
- 100) 岩月善之助・出口博則・古木達郎 2001. 日本の野生植物コケ . 355pp. 平凡社 , 東京 .
- 101) 角野康郎 1994. 日本水草図鑑 . 文一総合出版 , 東京 .
- 102) 科学朝日 31.
- 103) 香川晴彦・柴田忠裕・吹春俊光・堀江義一 . 1994. 各種薬剤によるタマハジキタケ属菌のグラバ塊飛散抑制効果 . 関東東山病害虫研究会年報 (41):161-162.
- 104) 梶原武 . 1985. ムラサキイガイー浅海域における侵略者の雄 . In : 沖山宗雄・鈴木克美 (編), 日本の海洋生物 . 侵略と攪乱の生態学 , pp. 49-54. 東海大学出版会 , 東京 .
- 105) 梶山誠 . 1996a. 亀山湖におけるオオクチバス *Micropterus salmoides* の食性 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 7-14.
- 106) 梶山誠 . 1996b. 栗山川の魚類・甲殻類目録 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 47-52.
- 107) 亀澤洋 . 2011. 千葉県でゴモクムシダマシを採集 . 房総の昆虫 (48):51-52.
- 108) 上條宰 . 2002. 外来種ハンドブック . p.386, 株式会社 地人書館 , 東京 .
- 109) 神奈川県立生命の星・地球博物館 . 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1580 pp. 神奈川県植物誌調査会 , 神奈川 .
- 110) 神奈川自然誌資料 18,20,21.
- 111) 金丸但馬 . 1935. 貝類の附随並に歸化 . Venus 5(2/3): 145-149.
- 112) 金子久男・金子和子・古木達郎 . 2009. 千葉県習志野市のコケ植物 , 千葉中央博自然誌研究報告 10: 33-44.
- 113) 環境省編 . 2004. ブラックバス・ブルーギルが在来生物群集及び生態系に与える影響と対策 . 226pp., 自然環境研究センター , 東京 .
- 114) 環境省野生生物保護対策検討会移入種問題分科会(移入種検討会)(2002) 移入種(外来種)への対応方針 pdf 文書 (<http://www.env.go.jp/nature/report/h14-01/honpen.pdf>).
- 115) 環境管理センター . 1996a. 千葉県北部地区亀成川他生態系調査報告書 , 環境管理センター , 東京 .
- 116) Kano, Y. 1996. A revision of the species previously known as *Hawaii minuscula* in Japan and the discovery of the *Helicodiscidae*, the family new to Japan. The Yuriyagai (4): 39-59.
- 117) 柏市でアカボシゴマダラを確認 . 房総の昆虫 (48):38-39.
- 118) 片野修・佐久間徹・岩崎順・喜多明・尾崎真澄・坂本浩・山崎裕治・阿部夏丸・新見克也・上

- 垣雅史. 2010. 日本におけるチャネルキャットフィッシュの現状. 保全生態学研究 15:147-152.
- 119) 川辺湛. 1982. *Grapholia molesta* (Busck) ナシヒメシンクイ. In: 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛. 日本産蛾類大図鑑 I. p.146 講談社, 東京.
- 120) 河合章. 1990. 施設野菜における害虫管理: ミナミキイロアザミウマの管理. 植物防疫 (44): 341 - 344.
- 121) 河合省三. 1980. 日本原色カイガラムシ図鑑. viii+455 pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 122) 川上和人. 2012. 外来鳥ハンドブック. 80pp. 文一総合出版.
- 123) 川本芳・萩原光・相澤敬吾. 2004. 房総半島におけるニホンザルとアカゲザルの交雑. 霊長類研究 (20): 89-95.
- 124) 川名 興・天野 誠・大場達之. 2000. ツノミチョウセンアサガオとオオセンナリの帰化. 千葉県植物誌資料 18:129.
- 125) 河名利幸・福田寛. 1992. タバココナジラミ防除薬剤の検討. 関東東山病虫研究会年報 (39): 215-218.
- 126) 河名利幸・福田寛・清水喜一. 1990. タバココナジラミの防除法の検討. 関東東山病虫研究会年報 (37): 209-211.
- 127) 川那部浩哉・水野信彦 (編・監修). 1989. 日本の淡水魚. 720 pp. 山と溪谷社, 東京.
- 128) 河津英子・古木達郎. 2005. 日本新産の *Riccia nigrella* DC. (サビイロハタケゴケ、新称). 蘚苔類研究 9: 6-11.
- 129) 亀澤洋. 2011. 千葉県でゴモクムシダマシを採集. 房総の昆虫 (48):51-52.
- 130) Kimura, T., M. Tabe., and Y. Shikano. 1999. *Limnoperna fortunei kikuchii* Habe, 1981 (Bivalvia: Mytilidae) is a synonym of *Xenostrobus securus* (Lamarck, 1819): introduction into Japan from Australia and/or New Zealand. Venus 58(3): 101-117.
- 131) 木村陽子・勝山輝男. 2000. 千葉県のホオズキ属 (ナス科) について. 千葉県植物誌資料 15:113-116.
- 132) 木村昭一. 2002. 熱田神宮の貝類相. かきつばた (28): 24-25.
- 133) 木村陽子. 1989. 船橋市・海浜公園の帰化植物 3 種. 千葉生物誌 39 (1): 32-33.
- 134) 木村陽子. 2003. イネ科. In: 千葉県植物誌 (県史シリーズ 51. 千葉県の自然誌別編, 4), pp. 711-787 & 789-791. 千葉県.
- 135) 木下覚・小山博滋・小川誠・太田道人. 2000. 帰化植物ナルトサワギクの学名. 植物分類・地理 50(2):243-246.
- 136) 岸洋一. 1988. マツ材線虫病 (松くい虫) 精説. 292 pp. トーマスカンパニー, 東京.
- 137) 岸田泰則 (編). 2011. 日本産蛾類標準図鑑 I. 333pp. 学研, 東京.
- 138) 北村四郎. 1962. ペラペラヨメナ. 植物分類・地理 20(1).119.
- 139) 北村四郎. 1962. コゴメギクとハキダメギク. 植物分類・地理 20(1).179.
- 140) 小林頼太・長谷川雅美. 2005a. 千葉県印旛沼流域における外来種ミナミイシガメの定着について. 爬虫両生類学会報 2005 (2): 150-154.
- 141) 小林頼太・長谷川雅美. 2005b. 関東平野におけるアフリカツメガエルの確認記録と定着可能性.

- 爬虫両生類学会報 2005 (2): 169-172.
- 142) 小島裕子 . 1971. 木更津及びその近郊で採った帰化植物 . 植物採集ニュース (53):57.
- 143) 小島裕子 . 1970. 木更津貝淵埋め立て地の帰化植物 . 千葉生物誌 19 (1) : 1-2
- 144) 小島裕子 . 1970. 木更津市およびその周辺地区の帰化植物 . みちくさ創刊号 (木更津みちくさ会) : 11-16.
- 145) Kojima S, S Ozeki, A Iijima, K Okoshi, T Suzuki, I Hayashi, and T Furota. 2008. Genetic characteristics of three recently discovered populations of the tideland snail *Cerithidea djadjariensis* (Martin) (Mollusca, Gastropoda) from the Pacific coast of the eastern Japan. Plankton and Benthos Research. 3: 96-100.
- 146) 小島 弘昭 . <http://kogane.wem.sfc.keio.ac.jp/jwdb/index.html> (2012/2/23 確認) .
- 147) 国立環境研究所侵入生物データベース . <http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/> (2013/2/18 確認)
- 148) 小松崎一雄 . 1967. 千葉県白井にアメリカアゼナが現れた . 植物採集ニュース (30):43
- 149) 高知県病害虫防除所 . 2003.
- 150) 小山博滋 . 1978. 帰化植物チチコグサモドキとその仲間 . 植物分類・地理 29(1-5): 129-130.
- 151) 倉西良一 . 1996. 千葉市の淡水 (大型) 無脊椎動物 . In: 千葉自然環境調査会 (編) , 千葉市の野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書 , pp. 873-886. 千葉市環境衛生局環境部 , 千葉 .
- 152) 倉西良一・倉西森大 . 2003. 千葉県鴨川市でサツマゴキブリを採集 . 房総の昆虫 (29): 43.
- 153) 黒田長久・森岡弘之 (監修) . 1987. 世界の動物 分類と飼育 10- I [キジ目] . 175 pp. 東京動物園協会 , 東京 .
- 154) 黒田徳米 . 1958. 日本及び隣接地域産陸棲貝類相 (4). Venus 20(1): 132-158.
- 155) 黒田徳米 . 1959. 日本及び隣接地域産陸棲貝類相 (5). Venus 20(4): 363-380.
- 156) 黒田徳米 . 1963. 日本非海産貝類目録 . v+71 pp. 日本貝類学会 , 東京 .
- 157) 黒住耐二 . 1994. 導入植生への陸産貝類の分散について . 千葉中央博自然誌研究報告 , 特別号 (1): 235-244.
- 158) 黒住耐二 (編) . 2003. 多摩川水系の貝類からみた自然環境の現状把握と保全に関する研究 . (財) とうきゅう環境浄化財団 . 研究助成・学術研究 31(226): 1-242. (財) とうきゅう環境浄化財団 , 東京 .
- 159) 黒住耐二 . 2006. 貝類を中心とした小形動物からみた人工海浜の環境の評価と新たな海浜環境の創出 . In: 萩野康則・黒住耐二 (編) , 生物多様性を指標とした人工海浜および護岸の環境影響評価と新たな人工海岸創出の検討 (科研費報告書) , pp. 39-61. 千葉県立中央博物館 , 千葉 .
- 160) 黒住耐二・岡本正豊 . 1996. 千葉市の貝類 2. 湾岸域の貝類相 . In: 千葉自然環境調査会 (編) , 千葉市の野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書 , pp. 623-685. 千葉市環境衛生局環境部 , 千葉 .
- 161) 黒住耐二・岡本正豊 . 2002. 近年、南関東に定着した移入貝類 . Venus 61(1/2): 111. (要旨)
- 162) 黒住耐二・尾崎煙雄・大木淳一 . 2004. 房総丘陵のダム湖における淡水産貝類の種組成と生態分布 . 千葉中央博自然誌研究報告 , 特別号 (6): 33-42.
- 163) 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛 . 1985. 原色日本甲虫図鑑 I ~ III . 保育社 , 大阪 .

- 164) Brown, L. H., E. K. Urban and K. Newman. 1982. The Birds of Africa Volume I . p. 521, Academic Press, ロンドン .
- 165) 牧野富太郎 1989. 改訂増補牧野新日本植物図鑑 . 1453pp. 北隆館 .
- 166) Brazil, M. 2009. Field Guide to the Birds of East Asia. p.528, 1010 Printing International Ltd , 中国 .
- 167) 丸山為蔵・藤井一則・木島利通・前田弘 . 1987. 外国産新魚種の導入経過 . 157 pp. 水産庁研究部資源課・養殖研究所 , 東京 .
- 168) 丸山宗利・斉藤明子・信太利智・佐野正和, 2000. 昆虫目録, 佐倉市の昆虫類. 佐倉市自然環境調査報告書 : 239-310. 佐倉市
- 169) 間瀬欣弥 . 1969. 相模でとれたネコゼフネガイ . ちりばたん 5(6): 156-157.
- 170) 増田修・河野圭典・片山久 . 1998. 西日本におけるタイワンシジミ種群とシジミ属の不明種の産出状況 . 兵庫陸水生物 (49): 22-35.
- 171) 増田修・内山りゅう . 2004. 日本産淡水貝類図鑑② 汽水域を含む全国の淡水貝類 . 240 pp. ピーシーズ , 東京 .
- 172) 松隈明彦 . 2008. オオクビキレガイ関東に侵入 . 九州大学総合博物館ニュース , (11):5.
- 173) 松田征弥・上西実 . 1992. 琵琶湖に侵入したカワヒバリガイ (Mollusca; Mytilidae) . 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要 (10): 45.
- 174) 松本英明 . 1997. 北海道未記録および希少なゴミムシ類 5 種 . 層雲峡博物館研究報告 (17): 25-26.
- 175) 松隈明彦 . 2008. オオクビキレガイ関東に侵入 . 九州大学総合博物館ニュース , (11):5.
- 176) 松沢陽士・瀬能宏 . 2008. 日本の外来魚ガイド . 157 pp. 文一総合出版 . 東京 .
- 177) 三平東作 . 2002. イマムラネモグリセンチュウの寄生によるレンコン黒皮線虫病 (新称) の発生 . 千葉農業総合研究センター研究報告 (1): 121-124. 千葉 .
- 178) 湊宏 . 2005. 双島 (串本町) の陸産貝類, 特にミジンマイマイ類の分類について . 南紀生物 47(1): 37-42.
- 179) 宮内博至, 2005. 下総町でヒメヒラタシデムシ、ホシカムシ類採集. 房総の昆虫 (34) : 72
- 180) 宮内博至・山崎秀雄, 2012. 千葉県市川市域の江戸川河川敷の昆虫. 市史研究いちかわ (3) : 37-58, 4pls. 市川市.
- 181) 宮崎惇 . 1985. ラプラタリンゴガイの呼び名 . ちりばたん 16(1): 28-29.
- 182) 水草研究会会報 46,48,52,55-57,59.
- 183) 森本桂 . 1988. 日本へ侵入したゾウムシ類の見分け方と被害 . 農業研究 35(1): 28-44.
- 184) Morino, H., H. Kusano and J. R. Holsinger. 2004. Description and distribution of *Crangonyx floridanus* (Crustacea: Amphipoda: Crangonyctidae) in Japan, an introduced freshwater amphipod from North America. Contr. biol. Lab. Kyoto Univ., 29: 371-381.
- 185) 森岡弘之・福田道雄・住吉尚・橋崎文隆・平岡英忠 . 1989. 世界の動物 分類と飼育 10 II [ツル目] . p.179, どうぶつ社 , 東京 .
- 186) 森津孫四郎 . 1983. キョウチクトウアブラムシ . In: 森津孫四郎, 日本原色アブラムシ図鑑 , p. 401, p.545 全国農村教育協会 , 東京 .
- 187) 諸喜田茂充 . 1984. 帰化動物 . In: 沖縄の生物編集委員会 (編), 沖縄の生物 , pp. 377-384. 沖縄

生物教育研究会, 沖縄.

- 188) 村山茂樹・倉西良一. 2001. 東京湾埋立地の湿性環境における大型無脊椎動物相—幕張海岸埋立地の軟体動物と昆虫—. 東京湾学会誌 1(5): 156-163.
- 189) 永野歩・梶山誠. 2000. 小櫃川におけるオオクチバス *Micropterus salmoides* の食性. 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (7): 23-28.
- 190) 長野県植物誌編纂委員会. 1997. 長野県植物誌. 1735 pp. 信濃毎日新聞社, 長野.
- 191) 中坊徹次 (編). 1993. 日本産魚類検索. xxxiv+1474 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 192) 中坊徹次(編). 2000. 日本産魚類検索—全種の同定 第二版 (I, II). 1818 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 193) 中原和郎・黒沢良彦. 1964. 原色圖鑑 世界の蝶. p.32, 株式会社 北隆館, 東京.
- 194) 中井克樹・松田征也. 2000. 日本における淡水貝類の外來種—問題点と現状把握の必要性—. 月刊海洋, 号外 (20): 57-65.
- 195) 中根猛彦. 1989. 移入種と思われるアトギリゴミムシの記録. 昆虫と自然 24(8): 33.
- 196) 直海俊一郎・米山勇一 (2009) 千葉県流山市から発見された *Trachymela slaonei* Blackburn (甲虫目: ハムシ科) について. 房総の昆虫 (41):10.
- 197) 成田市, 2005. 昆虫類. In: 動植物生息調査総合解析報告書: 122-144. 成田市.
- 198) 成毛光之. 1985. 貝のなかま. In: 「房総の生物」編集委員会 (編), 房総の生物, pp. 194-203. 河出書房新社, 東京.
- 199) 根本隆夫・杉浦仁治・古丸明. 2003. 利根川・霞ヶ浦北浦における外來シジミの分布について. 茨城県内水面水産試験場調査研究報告 (38): 32-41.
- 200) 日本環境動物昆虫学会, 2009. テントウムシの調べ方, 148pp. 文教出版, 東京.
- 201) 日本家屋害虫学会, 1984. 家屋害虫. 325pp.
- 202) 日本生態学会 (編), 村上興正・鷲谷いずみ (監修). 2002. 外來種ハンドブック. xvi+390 pp. 地人書館, 東京.
- 203) 新島偉行・田中正彦. 2000. 水生無脊椎動物. In: 佐倉市自然環境調査団 (編), 佐倉市自然環境調査報告書, pp. 347-370. 佐倉市経済環境部環境保全課, 千葉.
- 204) 新島偉行・田中正彦. 2004. 市川市の魚類・甲殻類・貝類調査報告書Ⅲ. In: 市川市自然環境実態調査報告書 2003, pp. 403-460. 市川市・市川自然環境調査会, 千葉.
- 205) 西川勝, 2007. スジハサミムシモドキの生態情報 (1) ~ケアンズからのメール~. ぱったりぎす, (140): 54-56
- 206) 西村和久. 2005. 東京湾奥アサリ漁場に生息するホンビノスガイ (移入種) について. ちりぼたん 36(3): 63-66.
- 207) 農林水産技術会議事務局・水産庁沿岸沖合課・水産総合研究センター中央水産研究所. 2003. 外來魚コクチバスの生態学的研究及び繁殖抑制技術の開発. 47 pp. 農林水産技術会議事務局・水産庁沿岸沖合課・水産総合研究センター中央水産研究所発行機関, 東京.
- 208) 農林水産部担い手支援課専門普及指導室. <http://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-h22/kaki1004.html> (2012/2/23 確認).
- 209) 布村昇. 2004a. 育てて、しらべる日本の生き物ずかん (4) ダンゴムシ. 39 pp. 集英社, 東京.

- 210) 布村昇. 2004b. 千葉県産等脚目甲殻類. 富山市科学文化センター研究報告 27: 15-25.
- 211) 布村昇. 1999. フラジムシ目 (等脚目). In: 日本産土壌動物分類のための図解検索, pp. 569-625. 東海大学出版会, 東京.
- 212) 入村信博・細川隆. 1993. 千葉県産ジャンボタニシの2型の形態的、電気泳動的比較. ちりばたん 24(1): 6-8.
- 213) 大場達之・木村陽子. 2002. 船橋市の植物. In: 船橋市内環境調査報告書 (本編), pp. 212-342. 船橋市環境部環境保全課.
- 214) 大場達之・村田威夫. 2000. 佐倉市植物目録. In: 佐倉市自然環境調査報告書, pp. 23-67. 佐倉市経済環境部環境保全課.
- 215) 大林延夫・佐藤正孝・児島圭三. 1992. 日本産カミキリムシ検索図説. 696pp., 東海大学出版会, 東京.
- 216) 落合啓二. 1998. 千葉県におけるハクビシンの分布と移入経路. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 5: 51-54.
- 217) 落合啓二・浅田正彦. 2002. ハクビシンの千葉市への移入. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7: 17-19.
- 218) 落合啓二・石井睦弘・布留川毅. 2002. 千葉県におけるアライグマの移入・定着. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7: 21-27.
- 219) 小田切敬子・小田切則夫・麻布大学動物研究会. 1989. 市川市妙典に生息する帰化動物マスカットの生態調査. 平岡環境科学研究所報告 2: 119-129.
- 220) 小賀野大一・福土融・木村孝康. 2005. 印旛沼水系に侵入したヌマガエルの分布範囲と生息状況. 千葉生物誌 55(1): 1-8.
- 221) 緒方大地・飯田茜・中島美貴・山崎愛柚香・園原哲司・多々良有紀・芳賀拓真. 2010. 外来水棲腹足類コモチカワツボ (新生腹足類: リソツボ上科) における日本初の雄性個体の発見ならびに新産地. Molluscan Diversity 2(2): 60-68.
- 222) 岡国夫. 1972. 山口県植物誌. 607 pp. 山口県植物誌刊行会, 山口.
- 223) 岡本正豊. 1976. 今度は縞のあるモノアラガイ. ちりばたん 9(1): 9-10.
- 224) 岡本正豊. 1992. 房州のコハクオナジマイマイ. ちりばたん 23(1): 13-18.
- 225) 岡本正豊. 1993. 千葉県産貝類 (納付標本リスト). In: 平成4年度標本資料収集動物・植物標本目録, pp. 5-12. 千葉県自然資料調査会, 千葉.
- 226) 岡本正豊. 2002. 自宅庭に放した陸貝、とくにキュウシュウナミコギセルの繁殖について. ひたちおび (81/82): 17-23.
- 227) 岡本正豊・黒住耐二. 1996. 千葉市の貝類. 1. 一人工海浜の貝類一. In: 千葉自然環境調査会 (編), 千葉市野生動植物生息状況及び生態系調査報告書, pp. 581-622. 千葉市環境衛生部, 千葉.
- 228) 岡俊彦. 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 336pp., 学習研究社, 東京.
- 229) 大川秀雄. 2006. スジハサミムシモドキの渡良瀬遊水地附近からの記録. 月刊むし (419): 45-46.
- 230) 岡山大学資源生物科学研究所野生植物学研究室ホームページ日本の帰化植物一覧表. (http://www.rib.okayama-u.ac.jp/wild/kika_table.htm)

- 231) 大越健嗣 . 2003. サキグロタマツメタの生活史とアサリ資源への影響 . 日本ベントス学会誌 58: 98-99.
- 232) 大久保一治 . 1999. 増補改訂岡山県植物目録 .
- 233) 奥田重俊・柴田敏隆・島谷幸宏・水野信彦・矢島稔・山岸哲 (監修). 1996. 川の生物図典 . 663 pp. 山海堂 , 東京 .
- 234) 大野正男 . 1986. アオマツムシの分布調査に寄せて . インセクトarium (23): 304-305.
- 235) 大野啓一 . 2009. 北総にアマゾンチカガミが帰化 . 千葉県植物誌資料 25:238-241.
- 236) 折目庸雄 . 1997. 芝山の植物 (千葉県山武郡芝山町植物誌) . 千葉県植物誌資料特集 1. 60 pp. 千葉県植物誌資料編集同人 .
- 237) 折目庸雄 . 2007. 増補改訂富里の植物 (千葉県富里市植物誌) . 千葉県植物誌資料特集 4. 126 pp. ふるさと房総の植物を記録する会 .
- 238) 長田武正 . 1972. 日本帰化植物図鑑 . 294 pp. 北隆館 .
- 239) 長田武正 . 1976. 原色日本帰化植物図鑑 . 425 pp. 保育社 .
- 240) 長田武正 . 1993. 増補日本イネ科植物図譜 . 777 pp. 平凡社 .
- 241) 太田久次 . 1997. 改訂三重県帰化植物誌 .
- 242) 大滝末男・石戸忠 . 1980. 日本水生植物図鑑 . 318 pp. 北隆館 .
- 243) 大塚保 . 2008. 大阪市立自然史博物館叢書 (4) 「鳴く虫セレクション」 音に聴く虫の世界 . p.331, 東海大学出版会 , 東京 .
- 244) 尾崎煙雄 . 2011. 千葉県初記録のキョウチクトウスズメ . 千葉生物誌 61:29.
- 245) 尾崎真澄 . 1996a. 印旛沼における張網漁獲物組成の変遷 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 15-27.
- 246) 尾崎真澄 . 1996b. 与田浦の魚類・甲殻類目録 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 35-40.
- 247) 尾崎真澄 . 2003. 利根川下流部におけるチャネルキャットフィッシュの生活史に関する研究 . 2003 年度日本魚類学会講演要旨集 , p. 21.
- 248) 尾崎真澄 . 2004. 利根川下流部におけるアメリカナマズの生態および在来魚への影響 . In: 平成 15 年度移入種管理方策検討委託事業報告書 , pp. 21-24.
- 249) 尾崎真澄・宮部多寿 . 2007. 利根川下流域におけるチャネルキャットフィッシュの漁獲実態 . 千葉県水産総合研究センター研究報告 (2): 33-41.
- 250) 尾崎俊文 . 2011. 千葉市中央区におけるアカアシクワガタの採集例 . 房総の昆虫 (48):49.
- 251) クリストファー・M・ペリンズ (監修) 山岸哲 (日本語版監修) . 1996. 世界鳥類辞典 . 92 pp. 同朋舎出版 .
- 252) レポート日本の植物 5-7,9-13,15,20,23,25,30-35,37,38,40.
- 253) リバーフロント整備センター (編) . 奥田重俊・柴田敏隆・島谷幸宏・水野信彦・矢島稔・山岸哲 (監修). 1996. 川の生物 . 674 pp. 山海堂 , 東京 .
- 254) Grimmett, R. and Inskipp, T. 2003. Birds of Northern India . p.304, Christopher Helm Publishers, ロンドン .
- 255) 採集と飼育 11,51.

- 256) 斉藤明子・上山雅規・小川洋. 2010. 千葉県初記録のマツヘリカメムシ. 房総の昆虫 (45):30.
- 257) 斉藤明子・尾崎煙雄・盛口満. 2009. 千葉県におけるクロマダラソテツシジミの初記録と発生初期の生息域. 月刊むし (465): 28-32.
- 258) 斉藤明子・依田琳太郎. 2007. 千葉市で見つかった熱帯種ヘレナキシタアゲハ. 房総の昆虫 (39):122.
- 259) 斎藤正寛. 1989. 日本に於けるマスカラットの野生化の経緯と俗名の考察. 平岡環境科学研究所報告 2: 179-183.
- 260) Saito, K. 1975. A monograph of Japanese Pottiaceae (Musci). J. Hattori Bot. Lab. 39: 373-537.
- 261) 斉藤明子. 2004. 千葉県大多喜町でパラワンヒラクワガタが発見される. 房総の昆虫 (33): 64.
- 262) 斉藤明子. 2005. 千葉県山田町でアトラスオオカブトが発見される. 房総の昆虫 (35): 20 - 21.
- 263) 斉藤吉永. 1970. 千葉県柏市帰化植物目録. 38pp. 自刊.
- 264) 斉藤吉永. 1970. 千葉県採集メモ. 千葉生物誌 (52):25-27.
- 265) 斉藤吉永. 1990. スズメナギナタの帰化. 千葉生物誌 39(2):60-61.
- 266) 斉藤吉永. 1991. 生物観察記: スズメノナギナタの帰化. 千葉生物誌 40(2):41.
- 267) 斉藤吉永. 1977. 千葉県下の帰化植物の近況. 植物採集ニュース (90):66-67.
- 268) 斉藤吉永. 1986. 最近見た北総の帰化植物. 千葉生物誌 36(1):35.
- 269) 斉藤吉永. 1987. 海岸埋立地のフロラ. In (沼田真編) 都市化・工業化が湾岸生態系に及ぼす影響調査 I. ,pp.75-97. 千葉県環境部環境調整課.
- 270) 斉藤吉永. 1988. 海岸埋立地のフロラ. In (沼田真編) 都市化・工業化が湾岸生態系に及ぼす影響調査 II. ,pp.125-175. 千葉県環境部環境調整課.
- 271) 酒井敬一. 2000. 万石浦アサリ漁場におけるサキグロタマツメタガイの食害について. 宮城県水産研究開発センター研究報告 (16): 109-111.
- 272) 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫. 1981-1982. 日本の野生植物 草本 1 - 3. 平凡社.
- 273) 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫. 1989. 日本の野生植物 木本 1-2. 平凡社.
- 274) 佐藤仁彦 (編). 2003. 生活害虫の事典. 139pp. 朝倉書店, 東京.
- 275) 植物研究雑誌 6,10,11,13-21,23,25,26,28-31,34-50,54-57,60-66,70,71,73-77.
- 276) 植物分類・地理 8,9,14-16,19,20,22-33,35,37,39,40,42,43,46,47,49,51.
- 277) 植物地理分類研究 30,35,36,38,40,42,47.
- 278) 植物採集ニュース 30,38,40,42-48,50,53,56,57,59,60,64-66,68,71-75,77-80,83-86,89-91,95,96,98,99.
- 279) 駿遠植物調査資料 1,3,6,8,10.
- 280) 信太利智. 2000. 佐倉市でセイヨウオオマルハナバチを採集したこと. 房総の昆虫 (24): 27.
- 281) 信太利智. 2003. ヨコヅナサシガメ佐倉に発生. 房総の昆虫 (31): 18-19.
- 282) 嶋本智介. 2009. 千葉市美浜区の「幕張の浜」で *Trachymela slaonei* Blackburn の死骸を発見. 房総の昆虫 (43):35.

- 283) 嶋本習介 . 2009. 千葉県初記録のフイリカツオブシムシの採集記録 . 房総の昆虫 (43) : 36
- 284) 嶋本習介 . 2009. 東京湾の埋め立て地 (千葉市美浜区) の昆虫 . 房総の昆虫 (42):1-12.
- 285) 清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 . 2001. 日本帰化植物写真図鑑 . 554pp. 全国農村教育協会 .
- 286) 清水建美 . 2003. 日本の帰化植物 . 337 pp. 平凡社 .
- 287) 清水敏夫 . 2004. 印西市でギラファノコギリクワガタを採集 . 房総の昆虫 (33): 64.
- 288) 品川和久 . 1978. 淀川河口のカワヒバリガイについて . いそこじき (34) :14.
- 289) 品川和久 . 1981. ハブタエモノアラガイ (和名新称) について . かいなかま 15(3): 13-14.
- 290) 新浜倶楽部 . 1988. 新浜の鳥 -1966 年 ~1968 年の記録 -. 257 pp. 新浜倶楽部 , 武蔵野市 .
- 291) 自然環境研究センター (編) . 2008. 日本の外來生物 . p.479, 平凡社 , 東京 .
- 292) 自然誌研究雑誌 5.
- 293) 静岡生物 3.
- 294) 染谷淳・清水喜一 . 1997. 千葉県におけるオオタバコガの発生生態と薬剤感受性 . 関東東山病虫研究会年報 . (44): 241-248.
- 295) 染谷淳・清水喜一 . 1998. 千葉県におけるオオタバコガ越冬の可能性 . 関東東山病虫研究会年報 (45): 207 - 210.
- 296) 須田博久 . 1999. 野生のセイヨウオオマルハナバチが千葉・東京で . 千葉生物誌 49(2): 96.
- 297) 須山知香 . 2001. 日本新帰化植物ミズヒマワリ *Gymnocoronis spilanthoides* DC. 植物地理・分類研究 49(2).183-184
- 298) 須賀はる子・中村俊彦・古木達郎 1996. 千葉市のコケ植物 . In: 千葉市自然環境調査団 (編), 千葉市野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書 , pp. 343-364. 千葉市環境衛生局環境部 , 千葉 .
- 299) すげの会会報 2,5,6.
- 300) 杉本順一 . 1972. 新日本新樹木総検索誌 . 井上書店 .
- 301) 杉本順一 . 1982. 日本草本植物総検索誌Ⅱ 単子葉編 . 630 pp. 井上書店 .
- 302) 杉本順一 . 1983. 改訂増補日本草本植物総検索誌Ⅰ 双子葉編 . 871 pp. 井上書店 .
- 303) 杉谷安彦 . 1968. ミドリイガイの生棲について . かいなかま 2(3): 27-29.
- 304) 水産部園芸農産課 . 2005.
- 305) 鈴木勝 . 2010. 1977 年 ~ 1986 年に西印旛沼周辺地域で採集した甲虫類 (その 1). 房総の昆虫 (45):1-4.
- 306) Suzuki,D., H. Ota, T. Hikida. 2011. Origin of Japanese population of Reeves' pond turtle, *Mauremys reevesii*(Reptilia:Geoemydidae), as inferred by a molecular approach. *Chelonian Conservation and Biology* 10:237-249.
- 307) 鈴木欣司 . 2005. 日本外來哺乳類フィールド図鑑 . 271 pp. 旺文社 , 東京 .
- 308) 鈴木武 2010. 特定外來生物アメリカオオアカウキクサを含む外來アザラの現状 . In 外來生物の生態学 . pp.181-194. 文一総合出版 , 東京 .
- 309) 鈴木武 2007. 千葉県のオオアカウキクサ類について . In: 平成 1 9 年度佐倉市植物調査業務 (畔田沢流域 春・夏) 報告書 . pp. 19-24. 佐倉市環境政策課 .
- 310) 鈴木武 . 2007. 千葉県のオオアカウキクサ類について . 坂月川だより (坂月川愛好会) (16):4-5.

- 311) 太刀掛優. 1998. 帰化植物便覧. 比婆科学教育振興会.
- 312) 太刀掛優・中村慎吾. 2007. 改訂増補帰化植物便覧. 684 pp. 比婆科学教育振興会.
- 313) 田悟敏弘. 2006. 2005 年に埼玉県・千葉県で記録した気化昆虫 (アワダチソウグンバイ・ミスジキイロテントウ). 寄せ蛾記 (119):38-39.
- 314) 田悟敏弘. 2011. 埼玉県三郷市でのスジハサミムシモドキの記録. 寄せ蛾記 (143): 19 - 20.
- 315) Takehashi, S. and T. Kasuya. 2009. *Pluteus magnus* and *Pluteus podospileus* f. *podspileus*, two agaric species new to Japan. *Mycoscience* 50: 74-77.
- 316) 高橋四郎. 1964. 原色日本野菜図鑑. 保育社.
- 317) 高橋秀男・勝山輝男・田中徳久. 2003. 横浜の植物. 1325 pp. 横浜植物会.
- 318) 武田・清水・大嵩. 2012. 千葉県におけるケブカトラカミキリ *Hirticlytus comosus* (Matsushita) (コクチュウ目: カミキリムシ科) のイヌマキからの脱出消長と脱出開始時期の推定. 応用動物昆虫学会誌 56(2):68-71.
- 319) 竹松哲夫・一前宣正. 1987 ~ 1997. 世界の雑草 I 合弁花類・II 離弁花類・III 単子葉類. 全国農村教育協会.
- 320) 嶽本弘之. 1993. レンゲの播種時期とアルファルファタコゾウムシ. 今月の農業 (37): 99-102.
- 321) 滝田謙讓. 2001. 北海道植物図譜. 1452. 自刊.
- 322) 滝沢春雄・斉藤明子・佐藤光一・平野幸彦・大野正男. 1999. 侵入昆虫ブタクサハムシー関東地方での分布拡大と生活史ー. 月刊むし (338): 26-31.
- 323) 田中敏博. 2007. 千葉県にてクロメンガタスズメを採集. 房総の昆虫 (39):36.
- 324) 田中正彦・新島偉行. 2000. 魚類. In: 佐倉市自然環境調査団 (編), 佐倉市自然環境調査報告書, pp. 221-238. 佐倉市経済環境部環境保全課, 千葉.
- 325) 多留聖典. 2010. 関東地方で初めて確認されたウスイロオカチグサ (新生腹足上目: カワザンショウ科) の野外個体群. *Molluscan diversity* 2(1):7-10.
- 326) 多和田真淳・石原直樹. 1979. 沖縄植物野外活用図鑑Ⅲ 帰化植物. 新星図書, 沖縄.
- 327) Thomas B. Allen, W. Barret, S. L. Fishbein, P. Kopper, E. Lanouette, D. F. Robinson, R. D. Selim Jonathan and B. Tourtellot. 1983. *Birds of North America*. p.464, National Geographic Society, ワシントン.
- 328) Toft, D. J., J. R. Cordell and W. C. Fields. 2002. New records of Crustaceans (Amphipoda, Isopoda) in the Sacramento/San Joaquin Delta, California, and application of criteria for introduced species. *J. Crustacean Biology* 22: 190-200.
- 329) 東京新聞, 2001 年 5 月 2 日付け, 特報ちば.
- 330) 富山市科学文化センター報告 20.
- 331) 塚本洋太郎 1977 ~ 1978. 原色日本園芸植物図鑑 I ~ V. 保育社.
- 332) 塚本洋太郎 1994. 園芸植物大事典 1 ~ 6 小学館.
- 333) 築地 琢郎. 2011. フィールドで役立つ 1103 種の生態写真 昆虫観察図鑑. 255p., 誠文堂新光社, 東京.
- 334) 内野憲. 2001. 複合交信かく乱剤の特徴とニホンナシ園における上手な利用法. 平成 12 年度試

- 験研究成果発表会資料（果樹），pp. 1-6. 千葉県・千葉県農林技術会議，千葉．
- 335) 宇田川竜男．1974. ネズミの話 よみもの動物記．229 pp. 北隆館，東京．
- 336) 上原敬二．1959～1961. 樹木大図説．有明書房．
- 337) 上宮健吉・笠井敦．2011. チャを加害する新害虫「チャトゲコナジラミ」．植物防疫 (65): 521-524.
- 338) 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝(編著)．1985. 原色日本甲虫図鑑 I．viii+514 pp. 保育社，大阪府．
- 339) 上島励・長谷川和範・齋藤寛．2000. 皇居の陸産および淡水産貝類．国立科学博物館専報 (35): 197-210.
- 340) 上島励・岡本正豊・斉藤洋一．2004. 新たな移入種，イスパニアマイマイ *Eobania vermiculata*. ちりばたん 35(3): 71-73.
- 341) 梅谷献二・岡田利承 (編)．2003. 日本農業害虫大事典．1203 pp. 全国農村教育協会，東京．
- 342) 浦安市役所．<http://www.city.urayasu.chiba.jp/menu3742.html> (2012/2/23 確認)．
- 343) 和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島哲・山西良平・西川輝昭・五嶋聖治・鈴木孝男・加藤真・島村賢正・福田宏．1996. 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状．WWF Japan Science Report 3: 1-182.
- 344) 鷺谷いづみ・森本信生．1993. 日本の帰化生物．191 pp. 保育社．
- 345) 鷺谷いづみ・鈴木和雄・加藤真・小野正人．1997. マルハナバチ・ハンドブック．49 pp. 文一総合出版，東京．
- 346) Watabe, H., E. Momma and M. T. Kimura. 1980. Changes in drosophilid fauna at the University Botanical Garden in Sapporo, Japan. *Drosophila Information Service* (55): 141-142.
- 347) 矢部辰男．1988. 昔のねずみと今のねずみ．175 pp. どうぶつ社，東京．
- 348) 矢部隆．2002. 爬虫綱 Reptilia; 1) カメ目 Testudines. p. 723-727. 千葉県史料研究財団 (編) 千葉県の自然誌 (6). 千葉県，千葉．
- 349) 山口裕文．1997. 雑草の自然史 [たくましさを生態学]．294pp. 北海道大学図書刊行会．
- 350) 山口昇・波部忠重．1965. 日本産ナメクジ類の研究 (1). *Venus* 18(4): 234-240.
- 351) 山崎秀雄．2002. 八千代市の昆虫，八千代市水辺の自然環境調査報告書: 259－292，八千代市．
- 352) 山崎秀雄．2004. プラタナスグンバイムシ市川市に侵入．房総の昆虫 (33): 31-33.
- 353) 山崎秀雄．2011. 千葉縣市川市でクモガタ TENTOU を発見．千葉生物誌 61(2): 10
- 354) 山崎秀雄・宮内博至．2004. 市川市のコウチュウ目 (Ⅱ). In: 市川市自然環境実態調査報告書 2003, pp. 751-854. 市川市・市川市自然環境調査会，千葉．
- 355) 山崎秀雄・宮内博至．2009. 白井市のコウチュウ目．白井市生物多様性調査報告書: 391-448. 白井市．
- 356) 柳研介・浅田正彦・北澤哲弥．2011. 千葉県における野生生物の現状．千葉県生物多様性センター研究報告．(4): 53-69.
- 357) 野草 2, 4-8, 10, 11, 14, 17, 18, 20, 22-30, 41, 43
- 358) 安川雄一郎．1995. ミナミイシガメ・日本の稀少な野生水生生物に関する基礎資料 (Ⅱ) : 443-448. 日本水産資源保護協会，東京．
- 359) 安川．2005. 今後日本国内に定着する可能性の高い淡水性カメ類について．爬虫両棲類学会報

2005 (2)

- 360) 安松京三・朝比奈正二郎・石原保. 1965. 原色昆虫大圖鑑Ⅲ. 76+358 pp. 北隆館, 東京.
- 361) 安永智秀・高井幹夫・山下泉・川村満・川澤哲夫. 1993. 日本原色カメムシ図鑑. 380p., 全国農村教育協会, 東京.
- 362) 横田隆夫. 2004. 佐倉市, 市川市でミナミトゲヘリカメムシを確認. 房総の昆虫 (33):18.
- 363) 米田洋斗. 2003. 東京葛飾区のハチ I. 房総の昆虫 (30): 10-12.
- 364) 吉井正 (監修). 2005. 世界鳥名辞典. 137pp. 株式会社三省堂
- 365) 吉川代之助. 1968. 「千葉県植物目録」に帰化植物 11 種を追加. 植物採集ニュース (40):32.
- 366) 吉川代之助. 1969. 千葉県船橋市に現れた帰化植物 3 種. 植物採集ニュース (45):66-67.
- 367) 吉川代之助. 1971. 千葉県船橋市に現れた帰化植物 4 種. 植物採集ニュース (53):58.
- 368) 吉川代之助. 1974. 千葉県の帰化植物 6 種. 植物採集ニュース (71):4-5.
- 369) 吉松慎一・宮本泰行・広渡俊哉・安田耕司. 2004. クロテンオオメンコガ (新称) (*Opogona sacchari* (Bojer)) の日本における発生状況. 日本応用動物昆虫学会誌 (48): 135-139.
- 370) 吉野俊之. 2000. 日本の鳥 550 水辺の鳥. p.351, (株) 文一総合出版, 東京.
- 371) 財団法人 日本鳥類保護連盟. 1988. A GUIDE FOR BIRD LOVERS 鳥 630 図鑑. 394p., 日新印刷株式会社, 日本.
- 372) 全国森林病虫獣害防除協会 (編). 1997. 松くい虫 (マツノザイセンチュウ) 沿革と最近の研究. 274 pp. 全国森林病虫獣害防除協会, 東京.

9 索引

ア

アイオオアカウキクサ	42	アコウゲンバイ	78
アイセイタカハハコグサ	166	アサ	48
アイノコアカミタンポポ	176	アサガオ	128
アイノコセイヨウタンポポ	177	アサツキ	179
アイフウリンホオズキ	139	アサリ	242
アオイゴケ	126	アズキガイ	231
アオイツナソ	109	アズキマメゾウムシ	269
アオウオ	278	アスナロ	43
アオギリ	112	アツバキミガヨラン	183
アオゲイトウ	65	アツミゲシ	74
アオスズメノカタビラ	214	アトグロホソアリモドキ	267
アオボウシインコ	292	アトラスオオカブト	259
アオマツムシ	247	アヒル	287
アオモジ	68	アブラギリ	104
アカアシクワガタ	258	アブラナ	77
アカアシホシカムシ	263	アフリカタヌキマメ	91
アカウキクサゾウムシ	271	アフリカツメガエル	285
アカエリホウオウ	296	アフリカナガバモウセンゴケ	72
アカオクロオウム	291	アフリカヒゲシバ	198
アカクビホシカムシ	262	アフリカフウチョウソウ	75
アカゲザル	298	アベマキ	46
アカザカズラ	56	アマ	101
アカバナセイヨウノコギリソウ	153	アマゾンチカガミ	179
アカバナリハコベ	121	アマナズナ	77
アカヒレタビラ	276	アメリカアサガオ	127
アカボシゴマダラ名義タイプ亜種	257	アメリカアゼナ	146
アカボシツリフネ	108	アメリカアリタソウ	61
アカマダラカツオブシムシ	260	アメリカイヌホオズキ	142
アカミタンポポ	176	アメリカオオアカウキクサ	42
アカミノイヌホオズキ	143	アメリカオニアザミ	161
アキニレ	47	アメリカキカシグサ	115
アキマルニワゼキショウ	188	アメリカキササゲ	149
アケビガキ	67	アメリカキンゴジカ	112
		アメリカザリガニ	246
		アメリカジガバチ	273

アメリカシロヒトリ	256	アレチムラサキ	130
アメリカスズカケノキ	84	アワダチソウゲンバイ	247
アメリカスズメノヒエ	210	アワモリハッカ	137
アメリカスミレサイシン	113	イ	
アメリカセンダングサ	157		
アメリカタカサブロウ	164	イガイダマシ	240
アメリカツノクサネム	95	イガオナモミ	177
アメリカナマズ	281	イガホビユ	65
アメリカネナシカズラ	126	イガヤグルマギク	160
アメリカハッカ	135	イクシア	187
アメリカハマニンニク	193	イケノミズハコベ	133
アメリカハリフタバ	125	イスノキ	85
アメリカビユ	61	イスパニアマイマイ	238
アメリカフウロ	100	イセリアカイガラムシ	251
アメリカフジツボ	244	イソギク	161
アメリカホドイモ	90	イタチハギ	90
アメリカミズアブ	274	イチジク	47
アメリカミズユキノシタ	116	イチジクモンサビダニ	243
アメリカヤガミスゲ	222	イチビ	109
アライグマ	299	イチモンジタナゴ	275
アライトツメクサ	57	イチョウ	43
アラゲハンゴンソウ	172	イッカククモガニ	246
アラゲムラサキ	129	イトコヌカグサ	192
アラビアコガネスズメ	296	イトラン	184
アリタソウ	61	イヌ	299
アルファルファタコゾウムシ	270	イヌエノコロ	217
アレチウリ	114	イヌカキネガラシ	84
アレチエゾノギンギシ	52	イヌカタヒバ	41
アレチカミツレ	154	イヌカミツレ	171
アレチギンギシ	52	イヌケホシダ	41
アレチクサヨシ	212	イヌゴシュユ	105
アレチナガバギンギシ	53	イヌコハコベ	60
アレチナズナ	75	イヌコモチナデシコ	57
アレチニシキソウ	102	イヌシバ	218
アレチヌスビトハギ	91	イヌハッカ	136
アレチノギク	162	イヌヒメコズチ	137
アレチノチャヒキ	197	イヌムギ	198
アレチハナガサ	132		

イヌムラサキ	130	ウネナシトマヤガイ	240
イヌメヒシバ	201	ウマゴヤシ	93
イネミズゾウムシ	271	ウマノチャヒキ	197
イノシシ	300	ウメノハナガイモドキ	239
イブキノエンドウ	97	ウラジロアカザ	62
イベリアヌカボ	192	ウラジロチチコグサ	167
イボウキクサ	221	ウラジロハコヤナギ	44
イボミキンポウゲ	69	ウルシ	107
イモカタバミ	98	ウロコナズナ	80
イモネノホシアサガオ	128	ウロコハタケゴケ	228
イラガセイボウ	273	ウンシュウミカン	105
イワカラクサ	144	ウンリュウヤナギ	45
イワムシロ	86	エ	
イワヨモギ	155		
インドガン	288	エゴマ	136
インドハマユウ	184	エジプトガン	287
インドヒラマキガイ	234	エゾスズシロ	80
ウ		エゾヌカボ	191
		エゾノギシギシ	52
ウイキョウ	120	エゾノキツネアザミ	158
ウサギアオイ	111	エノコログサ	217
ウサギノオ	206	エンドウゾウムシ	268
ウシオハナツメクサ	60	エンドウマメゾウムシ	268
ウシガエル	285	オ	
ウシノケグサ	204		
ウスイロオカチグサ	232	オウゴンチョウ	296
ウスカラシオツガイ	242	オオアカウキクサ	42
ウスゲホオズキ	140	オオアザミ	174
ウスシジミ	240	オオアブラギリ	104
ウスバイシバイイワノリ	229	オオアマナ	183
ウスバキスイ	265	オオアラセイトウ	82
ウスベニチチコグサ	167	オオアレチノギク	162
ウスベニツメクサ	60	オオアワガエリ	212
ウスユキバト	291	オオアワダチソウ	174
ウチダザリガニ	246	オオイヌノフグリ	148
ウチワサボテン	66	オオイヌホオズキ	142
ウチワゼニクサ	120	オオウシノケグサ	204

オオエノコロ	218	オオフラミンゴ	287
オオオナモミ	177	オオベニタデ	50
オオカナダモ	178	オオヘビイチゴ	88
オオカナメモチ	87	オオホウキギク	156
オオカニツリ	194	オオホナガアオゲイトウ	65
オオカラスノエンドウ	97	オオマツヨイグサ	116
オオカワデシャ	147	オオミツバタヌキマメ	91
オオキバナカタバミ	99	オオムギクサ	206
オオキンケイギク	162	オオムラサキ	121
オオクサキビ	209	オオムラサキツユクサ	190
オオクチバス	284	オオモンツキガヤ	195
オオクビキレガイ	236	オガサワラコミカンソウ	103
オオグルマ	170	オガサワラスズメノヒエ	210
オオケタデ	50	オカタイトゴメ	86
オオシラタマソウ	58	オカダンゴムシ	244
オオスズメノカタビラ	215	オカメインコ	292
オオスズメノテッポウ	193	オカメザサ	218
オオセンナリ	139	オキジムシロ	88
オオタコゾウムシ	270	オキナアサガオ	129
オオタナゴ	275	オクヤマザサ	216
オオタバコガ	256	オグロプレーリードッグ	298
オオトキワツユクサ	190	オシロイバナ	54
オートムギ	194	オッタチカタバミ	99
オオナガシンクイ	260	オトメイヌゴマ	137
オオナギナタガヤ	219	オトメフウロ	100
オオニシキソウ	102	オナジショウジョウバエ	275
オオニワゼキショウ	187	オナジマイマイ	238
オオハキダメギク	164	オニウシノケグサ	204
オオハタガヤ	222	オニクサヨシ	211
オオバナイトタヌキモ	150	オニクロイチゴ	89
オオバノキハダ	105	オニゲシ	74
オオバベニガシワ	101	オニナベナ	151
オオハマガヤ	193	オニノゲシ	175
オオハルタデ	52	オニハマダイコン	77
オオハンゴンソウ	172	オニユリ	182
オオフサモ	118	オノマンネングサ	85
オオブタクサ	154	オハツキガラシ	79
オオフタバムグラ	124	オヒゲシバ	199

オビワラジムシ	245	ガビチョウ	293
オランダアヤメ	186	カベイラクサ	48
オランダカイウ	221	カミツキガメ	286
オランダガラシ	81	カミツレ	171
オランダキジカクシ	180	カミツレモドキ	155
オランダゼリ	120	カミヤツデ	118
オランダハッカ	135	カムルチー	284
オランダフウロ	99	カモガヤ	200
オランダミツバ	119	カラカラ	289
オランダミミナグサ	56	カラクサケマン	74
オリヅルラン	181	カラクサナズナ	79
オンシツコナジラミ	251	カラシナ	76
オンシツツヤコバチ	272	カラタチ	106

カ

		カラドジョウ	280
		カラフトハナビゼキショウ	188
カイウサギ	298	カラムシ	48
ガイマイゴミムシダマシ	266	カロリナアオイゴケ	126
カエデチョウ	294	カロリナポプラ	44
カオジロガビチョウ	293	カワアイ	231
カキクダアザミウマ	252	カワシンジュガイ	239
カキノキ	121	カワデシャ	149
カクトラノオ	136	カワニナ属の一種	231
カザンデマリ	89	カワヒガイ	279
カジノキ	47	カワヒバリガイ	238
カシノシマメイガ	255	カワムツ	278
カスミソウ	57	カワラバト	291
カゼトゲタナゴ	279	カワリヌマエビ属の一種	245
カダヤシ	282	カワリバマキエハギ	91
カッコウアザミ	154	カンザシイヌホオズキ	141
カドマルカツオブシムシ	260	カンザンチク	214
カナメモチ	87	カンチク	198
カナリア	294	カンムリヅル	290
カナリーキヅタ	118		
カナリークサヨシ	212		
カネツケシジミ	240		
カネヒラ	276		
カバイロヒョウホンムシ	262		

キ

キイロショウジョウバエ	274
キイロナメクジ	236
ギギ	281

キキョウソウ	152	ギラファノコギリクワガタ	258
キク	161	キリ	146
キクイモ	169	キレハイヌガラシ	82
キクタニギク	160	ギンギツネ	211
キクニガナ	161	キンギンナスビ	141
キクノハアオイ	111	キンギンボク	151
キクバオウレン	68	キンケイギク	162
キササゲ	149	キンゴジカ	112
キシウスズメノヒエ	210	ギンザケ	281
キシウブ	187	キンシバイ	72
キダチアロエ	180	キンセンカ	159
キダチコマツナギ (仮称)	92	ギンセンカ	110
キダチコンギク	156	キンバイタウコギ	157
キチョウジ	138	キンパラ	294
キヌヤナギ	45	ギンパラ	295
キノカワハゴロモ	249	キンモクセイ	122
キバナオドリコソウ	133	ギンモクセイ	122
キバナコスモス	163	キンランチョウ	296
キバナスズシロ	79		
キバナタカサブロウ	167	ク	
キバナニワゼキショウ	188	クサガメ	286
キバナノコギリソウ	152	クサトケイソウ	114
キバナノマツバニンジン	101	クシヒゲシバ	198
キバナヒメフウチョウ	75	クジラグサ	79
キバナムギナデシコ	177	クスダマツメクサ	95
キバナムラサキ	131	クスノキ	67
キハマスゲ	224	クチナシ	124
キバラガメ	286	グッピー	282
キビ	209	クマザサ	216
キボシカミキリ	268	クマネズミ	299
キマユカナリア	294	クモガタテントウ	265
キミガヨラン	184	グラジオラスアザミウマ	253
キュウシュウナミコギセル	235	グラディオルス・トリスティス	186
キョウチクトウ	123	クリイロデオキシイ	263
キョウチクトウアブラムシ	249	クリタマバチ	272
キョウチクトウスズメ	256	クリヤケシキスイ	263
ギョウトクイヌゴマ	137	クルマバザクロソウ	54
キョン	300		

クルマバヒメクグ	226	コアカザ	62
クルマバヒメハギ	107	コイ	277
クレソン	81	コイチゴツナギ	214
クロアザミ	160	コウオウソウ	175
クロイワツクツク	249	コウカンチョウ	293
クロガラシ	77	コウキクサ	221
クロゴキブリ	246	ゴウシュウアリタソウ	62
クロコヌカグサ	191	コウシュンシバ	219
クロチク	213	コウゾ	47
クロチビエンマムシ	258	コウタイ	284
クロテンオオメンコガ	253	ゴウダソウ	81
クロトンアザミウマ	252	コウマゴヤシ	93
クロマダラソテツシジミ	257	コウライキジ	290
クロメンガタスズメ	256	コウライシバ	220
クロヤナギ	45	コウライモロコ	280
ゲンバイナズナ	84	コウラウン	293
ケ		コウラナメクジ	236
ケアリタソウ	61	コウリンタンポポ	169
ケイトウ	66	コウロエンカワヒバリガイ	239
ケイヌホオズキ	143	コエンドロ	120
ケイノコヅチモドキ (仮称)	63	コカナダモ	178
ケカキネガラシ	84	コガネガヤツリ	224
ケセンナリ	140	コガネギシギシ	52
ケチビコフキゾウムシ	271	コガネスズメ	296
ケチョウセンアサガオ	138	ゴキブリヤセバチ	274
ゲッケイジュ	67	コクゾウムシ	272
ケナガハグサ	215	コクチバス	283
ケナシヒメムカシヨモギ	165	コクチョウ	288
ケナフ	109	コクヌスト	262
ケニクキビ	195	コクヌストモドキ	267
ケブカシバンムシ	261	コクレン	276
ケブカトラカミキリ	268	コケガラス	238
ゲンゲ	90	コクゾウムシ	271
ゲンゴロウブナ	276	ココポーマアカフジツボ	244
コ		コゴメイ	189
		コゴメイヌノフグリ	148
		コゴメギク	166
		コゴメバオトギリ	71

コザクラインコ	292	ゴマフダマ	232
コササガヤ	211	コメツブウマゴヤシ	93
コシカギク	171	コメツブツメクサ	96
コシダカヒメモノアラガイ	233	コメノゴミムシダマシ	267
コシナガワハギ	94	コメバミソハギ	115
コシミノナズナ	80	ゴモクムシダマシ	266
コジュケイ	289	コモチカワツボ	232
ゴシュユ	105	コヤシタヌキマメ	91
コショウハッカ	135	コリヤナギ	45
コスズメガヤ	202	コリンウズラ	289
コスズメノチャヒキ	196	コルリアトキリゴミムシ	258
コスモス	163	コンテリクラマゴケ	41
コセンダングサ	157	サ	
コタネツケバナ	78		
コテングクワガタ	148	サカマキガイ	233
コナナガシンクイ	261	サキグロタマツメタ	232
コニクキビ	195	ザクロ	115
コニシキソウ	102	サツマイモ	126
コヌカグサ	191	サツマゴキブリ	247
コネズミガヤ	208	サトイソギク	161
コハクオナジマイマイ	237	サトイモ	220
コハクガイ	237	サビイロハタケゴケ	228
コハコベ	60	サビカクムネチビヒラタムシ	265
コバナキジムシロ	87	サフランモドキ	185
コバノスナゴケ	227	ザラツキエノコログサ	217
コバノセンダングサ	157	ザラツキコメヒシバ（仮称）	201
コバノニシキソウ	102	サルスベリ	115
コバホウライシダ	41	サワラ	42
コバレングク	172	サンゴジュ	151
コバンソウ	196	サンシキスミレ	113
コバンソウモドキ	203	サンシチソウ	168
コビトノボウシザラ	234	サンジャク	297
コヒメビエ	201	サンジャクバーベナ	132
コブハクチョウ	289	シ	
ゴボウ	155		
コマツナギ	92	シオザキソウ	175
コマツヨイグサ	116	シキンサイ	82
ゴマフガヤツリ	225		

シグレヤナギ	46	ジュズダマ	199
シジミ属の一種	241	シュロ	220
シジュウカラガン	288	シュロガヤツリ	223
シソ	136	シュンギク	160
シダレヤナギ	44	ショウジョウソウモドキ	103
シチトウイ	225	ショウロ	229
シナガチョウ	288	ショカツサイ	82
シナガワハギ	94	ショクヨウガヤツリ	224
シナサルナシ	70	ショクヨウホオズキ	140
シナサワグルミ	43	シラゲガヤ	205
シナダレスズメガヤ	202	シラタマソウ	59
シナダレスズメガヤモドキ (仮称)	203	シラホシヒメカツオブシムシ	259
シナハマグリ	241	シラホシムグラ	124
シバオサゾウムシ	272	シラユキゲシ	73
シバツトガ	255	シルバーリーフコナジラミ	250
シバツメクサ	57	シロイチモジヨトウ	256
シバムギ	202	シロイヌナズナ	75
シバヤマハリイ	225	シロオビカッコウムシ	263
シバンムシアリガタムシ	261	シロオビマルカツオブシムシ	259
シベナガムラサキ	130	シロガネチカラシバ	211
シホウチク	219	シロガラシ	83
シマキンバラ	295	シロタエヒマワリ	168
シマスズメノヒエ	210	シロツメクサ	97
シマミソハギ	114	シロヌメリイグチ	229
シマメノウフネガイ	232	シロバナシナガワハギ	94
シモフリゴケ	227	シロバナセンダングサ	158
シャガ	187	シロバナタンポポ	176
シャクチリソバ	49	シロバナチョウセンアサガオ	138
シャグマハギ	95	シロバナマンテマ	59
ジャコウオランダフウロ	100	シロバナモウズイカ	147
シャゼンムラサキ	129	シロヒレタビラ	276
シャリンバイ	89	シロミノカンザシイヌホオズキ	141
シュウカイドウ	114	シロヤマブキ	89
ジュウシマツ	295	シンクリノイガ	198
シュウメイギク	68	ジンサンシバンムシ	262
シュクコンアマ	101	ジンチョウゲヒゲナガアブラムシ	249
シュクコンバーベナ	132	シンテッポウユリ	182
ジュズカケバト	291		

ス

スイセン	185
スギモリゲイトウ	64
スクミリンゴガイ	231
スゴモロコ	280
スジハサミムシモドキ	247
スジマダラメイガ	255
スズカケノキ	84
スズメガヤ	202
スズメノコビエ	211
スズメノナギナタ	209
スズラン	181
スズランスイセン	181
ストライプトバス	283
スナガイ	234
スナガイの一種	235
ズナガニゴイ	277

セ

セイキムクドリ	297
セイケイ	291
セイコヤナギ	44
セイトカアワダチソウ	174
セイトカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	250
セイトカクサイ	189
セイトカハハコグサ	167
セイトカハマスゲ	225
セイバンモロコシ	218
セイヨウアブラナ	76
セイヨウイラクサ	49
セイヨウウツボグサ	136
セイヨウオオバコ	150
セイヨウオオマルハナバチ	273
セイヨウオトギリ	72
セイヨウキヅタ	118
セイヨウジュウニヒトエ	133

セイヨウタンポポ	177
セイヨウチャヒキ	194
セイヨウトゲアザミ	158
セイヨウニガナ	164
セイヨウノコギリソウ	153
セイヨウノダイコン	82
セイヨウヒキヨモギ	146
セイヨウヒルガオ	126
セイヨウフウチョウソウ	75
セイヨウミツバチ	273
セイヨウミヤコグサ	92
セイヨウヤブイチゴ	90
セイヨウワサビ	76
セキセイインコ	292
ゼゼラ	276
ゼニアオイ	111
ゼニバアオイ	110
セフリアブラガヤ	226
セリバヒエンソウ	68
センダン	106
センダングサ	157
センナリホオズキ	140

ソ

ソウギョ	277
ソウシチョウ	293
ソウジマミジンマイマイ	235
ソテツ	43
ソバ	49
ソバカズラ	49
ソメイヨシノ	87
ソラメゾウムシ	269

タ

ダイサンチク	195
タイトウクグ	225
タイミンチク	213

タイリクスズキ	283	タモロコ	277
タイリクバラタナゴ	279	ダンゴギク	168
タイワンアイアシ	206	ダンドク	179
タイワンシジミ	240	ダンドボロギク	165
タイワンツナソ	109	チ	
タイワンドジョウ	284		
タイワンハマグリ	242	チクゴスズメノヒエ	210
タイワンホトトギス	183	チゴフウロ	100
タイワンマダケ	213	チシマオドリコソウ	133
タウナギ	282	チチコグサモドキ	167
タカサゴユリ	182	チチュウカイミドリガニ	246
タカナベイ	189	チマキザサ	216
ダキバアレチハナガサ	132	チャイロコキノコムシ	266
タケトアゼナ	146	チャイロコメノゴミムシダマシ	266
タケノホソクロバ	254	チャコウラナメクジ	236
タスキガケサカマキガイ	234	チャゴマフカミキリ	268
タチイヌノフグリ	148	チャトゲコナジラミ	250
タチオランダゲンゲ	96	チャネルキャットフィッシュ	281
タチスズメノヒエ	211	チャノキ	71
タチスベリヒユ	55	チャバネゴキブリ	247
タチチチコグサ	166	チャボウシノシッペイ	203
タチテンモンドウ	180	チャボタイゲキ	103
タチバナモドキ	88	チャボヒゲシバ	199
タツノツメガヤ	200	チャボメヒシバ	200
タテジマフジツボ	243	チャンチン	106
タバココナジラミ	250	チュウゴクオナガコバチ	272
タバコシバンムシ	261	チュウゴクネジクチゴケ	227
タバコノミハムシ	269	チューリップネアブラムシ	250
タブノキ	68	チョウザメ科の1種	275
タホウタウコギ	158	チョウセンスナゴケ	227
タマオオスズメノカタビラ	215	チョウセンブナ	284
タマガラシ	81	チョウセンレンギョウ	121
タマザキクサフジ	95	チョロギガヤ	194
タマザキフタバムグラ	125	ツ	
タマサンゴ	142		
タマシダ	42	ツキミセンノウ	59
タマスダレ	185	ツキミソウ	117
タマハジキタケ属種	229		

ツクシメナモミ	173	トウテイラン	146
ツタギク	173	トウネズミモチ	122
ツタノハヒルガオ	129	トウビシ	117
ツタバウンラン	144	トガリバツメクサ	95
ツチフキ	275	トキワサンザシ	89
ツヅリガ	255	トキワツユクサ	190
ツナソ	109	トクサオカチョウジガイ	235
ツノミオランダフウロ	99	ドクゼリモドキ	119
ツノミチョウセンアサガオ	138	ドクニンジン	119
ツノミナズナ	78	ドクムギ	208
ツブエノシメジ	230	トゲウラベニガサ	230
ツボミオオバコ	150	トゲオナモミ	178
ツマグロカミキリモドキ	267	トゲチシャ	170
ツマグロヒョウモン	257	トゲハリナスビ	143
ツメクサタコゾウムシ	270	トゲミゲシ	74
ツメクサタネコバンゾウムシ	271	トゲミノキツネノボタン	69
ツメクサダマシ	96	トゲムネデオネスイ	264
ツヤミジンマイマイ	235	トゲムラサキ	129
ツルタデ	49	トチュウ	47
ツルドクダミ	50	トネリコ	122
ツルニチニチソウ	123	トノサマガエル	285
ツルノゲイトウ	63	ドバト	291
ツルマンネングサ	86	トビイロデオネスイ	264
ツルムラサキ	56	トビカツオブシムシ	259
ツレザキヒルガオ	126	ドブネズミ	299
テ		トマトサビダニ	243
テツイロヒメカミキリ	267	トマトダマシ	143
テッポウユリ	182	トマトハモグリバエ	274
テリミノイヌホオズキ (垂れ実型)	141	トミサトオトギリ	71
テンニンギク	166	トミサトクサイ	189
テンニンチョウ	296	ナ	
ト		ナガイモ	186
ドイツスズラン	181	ナガエコミカンソウ	103
トウカエデ	107	ナガエツルノゲイトウ	63
トウゴマ	103	ナガエモウセンゴケ	72
		ナガキンカン	105

ナガサキアゲハ	257	ニコゲヌカキビ	209
ナガトミソハギ	114	ニシキアオイ	109
ナガバアメリカミコシガヤ	223	ニシノオオアカウキクサ	42
ナガバオモダカ	178	ニジマス	282
ナガバギシギシ	52	ニセアゼガヤ	207
ナガハグサ	215	ニセキボシヒラタケシキスイ	264
ナガバハッカ	134	ニセコウガイゼキショウ	189
ナガヒョウホンムシ	262	ニセコムギダマシ	191
ナガミイッスンガヤツリ	223	ニセシラゲガヤ	205
ナガミヒナゲシ	73	ニセマメグンバイナズナ	80
ナガワラジウムシ	244	ニッケイ	67
ナギイカダ	183	ニッポンモンキジガバチ	273
ナギナタガヤ	219	ニブイロアゼガヤ	207
ナシアザミウマ	252	ニラ	180
ナシヒメシンクイ	253	ニワウルシ	106
ナタネタビラコ	170	ニワコウラナメクジ	237
ナタネハタザオ	79	ニワゼキショウ	188
ナツシロギク	176	ニワトリ	290
ナツズイセン	184	ニワナズナ	81
ナツダイダイ	104	ニワフジ	92
ナツツバキ	71	ヌ	
ナハカノコソウ	53		
ナミキドロ	44		
ナヨクサフジ	97		
ナリヒラダケ	217	ヌカイトナデシコ	57
ナルトサワギク	173	ヌカカゼクサ	203
ナンカイウスベニニガナ	164	ヌカススキ	192
ナンカイヌカボ	191	ヌマガエル	285
ナンキンハゼ	104	ヌマツルギク	153
ナンゴクヒメミソハギ	114	ネ	
ナンテン	70		
ナンバンカラムシ	48		
ニ			
ニオイスミレ	113	ネギアザミウマ	253
ニオイタデ	50	ネコ	300
ニクキビ	196	ネコヤナギ	45
		ネズミウシノケグサ (仮称)	220
		ネズミボウキ	180
		ネズミホソムギ	208
		ネズミムギ	207
		ネバリノボロギク	173

ネバリノミノツヅリ	56	ハイビユ	64
ネビキミヤコグサ	92	ハイマキエハギ	92
ノ		ハイミチヤナギ	51
		バイモ	181
ノアサガオ	127	ハカマオニゲシ	73
ノウゼンカズラ	149	ハキダメガヤ	201
ノースポールギク	171	ハキダメギク	166
ノゲイトウ	66	バクガ	254
ノゲシバムギ	201	ハクチョウゲ	125
ノコギリソウモドキ	153	ハクビシン	300
ノシメマダラメイガ	255	バクヤギク	55
ノスズメノテッポウ	193	ハクレン	278
ノヂシャ	151	バケヌカボ	192
ノハカタカラクサ	190	ハコベホオズキ	141
ノハライシノシタ	236	ハシカグサモドキ	125
ノハラカゼクサ	202	バショウ	226
ノハラガラシ	83	ハス	70
ノハラジャク	119	ハス	278
ノハラダイオウ	53	ハゼラン	55
ノハラツメクサ	59	パセリ	120
ノハラナデシコ	56	ハタケニラ	182
ノハラナメクジ	237	ハタザオガラシ	83
ノハラムラサキ	130	ハタザオギキョウ	152
ノバリケン	288	ハチク	213
ノボロギク	173	ハッカチョウ	297
ノミノコブスマ	60	ハツカネズミ	298
ノムラサキ	130	パツラマイマイ	236
ノラニンジン	120	ハトノチャヒキ	197
ハ		ハトムギ	199
		ハナアザミウマ	252
ハイアオイ	111	ハナイソギク	161
ハイイロヨモギ	155	ハナガサギク	172
ハイオオバコ	150	ハナカタバミ	98
ハイキジムシロ	88	ハナガメ	286
ハイキンポウゲ	69	ハナカンナ	179
ハイコヌカグサ	192	ハナクサキビ	208
ハイニシキソウ	102	ハナダイコン	82
		ハナツクバネウツギ	151

ハナヅルソウ	54	ヒイラギモクセイ	122
ハナナ	77	ヒガンバナ	184
ハナニラ	183	ヒゲガヤ	200
ハナヌカススキ	192	ヒゲギネアキビ (仮称)	209
ハナハマセンブリ	123	ヒゲナガスズメノチャヒキ	197
ハナビザクロソウ	54	ヒゴスミレ	113
ハナビシソウ	73	ヒサウチソウ	144
ハナヤエムグラ	125	ヒジキゴケ	228
ハハコグサ	166	ビゼンナリヒラ	217
ハブタエモノアラガイ	233	ヒタチマイマイ	238
ハマカキネガラシ	83	ヒトフサニワゼキショウ	188
ハマガヤ	207	ヒナウキクサ	221
ハマグリ	241	ヒナウンラン	144
ハマシメジ	229	ヒナキキョウソウ	152
ハマチャヒキ	197	ヒナゲシ	74
ハマニンニク	207	ヒナツメクサ	97
ハマヒサカキ	71	ヒノキ	42
ハマワスレナグサ	131	ヒマワリ	168
ハラジロカツオブシムシ	260	ヒメアオゲイトウ	64
パラワンオオヒラタクワガタ	258	ヒメアマ	101
ハラン	181	ヒメアマナズナ	78
ハリエンジュ	94	ヒメアメリカアゼナ	145
ハリゲナタネ	77	ヒメウキクサ	222
ハリゲヤグルマハッカ	135	ヒメウコギ	118
バリケン	288	ヒメオドリコソウ	134
ハリナスビ	143	ヒメカツオブシムシ	259
ハリノホ	205	ヒメカナリークサヨシ	212
ハリヒメハギ	106	ヒメキンセンカ	158
ハリビユ	66	ヒメクマツヅラ	132
ハルガヤ	194	ヒメケイヌホオズキ	142
ハルザキヤマガラシ	76	ヒメコハクガイ	237
ハルジオン	165	ヒメコバンソウ	196
ハルシャギク	163	ヒメジョオン	165
パンパスグラス	199	ヒメシロビユ	64
ヒ		ヒメスイバ	51
		ヒメセトガヤモドキ	212
ヒイラギナンテン	70	ヒメダカ	283
		ヒメタツノツメガヤ	200

ヒメツルウンラン	145	ビワヒガイ	279
ヒメツルソバ	50	フ	
ヒメナンヨウガヤツリ	226		
ヒメヌカススキ	192	フィリカツオブシムシ	260
ヒメハマアカザ	62	フィリゲンジスミレ	113
ヒメハルガヤ	193	フウセンカズラ	107
ヒメヒオウギズイセン	186	フェレット	299
ヒメビジョザクラ	133	フサジュンサイ	70
ヒメヒマワリ	169	フサフジウツギ	144
ヒメヒレアザミ	159	フジアザミ	161
ヒメフウロ	100	フシネキンエノコロ	217
ヒメフタトゲホソヒラタムシ	264	フタオビツヤゴミムシダマン	266
ヒメブタナ	169	ブタクサ	154
ヒメボクトウ	253	ブタクサハムシ	269
ヒメマツバボタン	55	ブタクサモドキ	154
ヒメムカシヨモギ	162	フタトゲホソヒラタムシ	264
ヒメムツオレガヤツリ	224	ブタナ	169
ヒメムラサキフウチョウ	75	フッキソウ	108
ヒメモロコシ	218	ブドウホオズキ	140
ヒメヤシャブシ	46	フナバシソウ	170
ヒメリュウキンカ	69	フユアオイ	111
ヒユ	65	フヨウ	110
ビヨウヤナギ	72	フヨウカタバミ	99
ヒラタキクイムシ	261	ブライダルベール	189
ヒラマキミズマイマイ類	234	フラサバソウ	148
ヒルザキツキミソウ	117	ブラジルコミカンソウ	105
ヒレタゴボウ	116	プラタナスグンバイ	248
ヒレハリギク	160	フランスギク	171
ヒレハリソウ	131	フリソデヤナギ	46
ビロードクサフジ	98	ブルーギル	283
ビロードホオズキ	140	プレコ	281
ビロードモウズイカ	147	フロリダマミズヨコエビ	245
ヒロハウシノケグサ	204	ブンチョウ	295
ヒロハシャゼンオモダカ	178	ヘ	
ヒロハフウリンホオズキ	139		
ヒロハホウキギク	156	ペカン	43
ヒロヘリアオイラガ	254	ヘキチョウ	295
ビワ	87		

ヘクソカズラゲンバイ	248	ホソバウンラン	145
ベダリアテントウ	265	ホソバオオアマナ	182
ベニカタバミ	98	ホソバキンゴジカ	112
ベニスズメ	294	ホソバツルノゲイトウ	63
ベニスズメガヤ	203	ホソバナガハグサ	214
ベニバナ	159	ホソバヒイラギナンテン	69
ベニバナセンブリ	123	ホソバヒメミソハギ	115
ベニバナツメクサ	96	ホソバフウリンホオズキ	139
ベニバナボロギク	163	ホソバモンパミミナグサ	54
ペヘレイ	282	ホソヒメマキムシ	265
ヘラオオバコ	150	ホソミキンガヤツリ	224
ヘラバヒメジョオン	175	ホソムギ	207
ペラペラヨメナ	165	ホソワラジムシ	245
ヘリグロヒラタケシキスイ	263	ボタンウキクサ	221
ヘレナキシタアゲハ	257	ボタンクサギ	131
ホ		ボタンゲシ	73
		ホテイアオイ	186
		ホテイチク	212
		ホナガイヌビユ	66
ハウオウジャク	297	ホナガカワデシャ	149
ハウキガヤツリ	223	ホロホロチョウ	290
ハウキギ	63	ホンセイインコ	292
ハウキギク	156	ホンビノスガイ	241
ボウムギ	208	ホンモロコ	277
ハウライシダ	41	マ	
ハウライチク	195		
ホオジロカンムリヅル	290		
ホオズキ	139		
ホコガタアカザ	61	マグワ	48
ホザキニワヤナギ	51	マサキ	108
ホザキマンテマ	58	マスクラット	298
ホザキモウズイカ	147	マダラロリカリア	281
ホシアサガオ	128	マツカサコウガイゼキショウ	189
ホソアオゲイトウ	65	マツノザイセンチュウ	230
ホソウミニナ	231	マツバウンラン	145
ホソエガラシ	83	マツバギク	55
ホソノゲムギ	206	マツバゼリ	119
ホソバアカザ	61	マツヘリカメムシ	248
ホソバイヌビユ	64	マツヨイグサ	117

マツヨイセンノウ	58	ミナミキイロアザミウマ	252
マデイラコナカイガラムシ	251	ミナミトゲヘリカメムシ	248
マテバシイ	46	ミナミメダカ	283
マメアサガオ	127	ミノボロモドキ	216
マメガキ	121	ミミイヌガラシ	82
マメカミツレ	163	ミミヒダハゲワシ	289
マメグンバイナズナ	81	ミヤガラシ	82
マメハモグリバエ	274	ミヤコグサモドキ	94
マルバアサガオ	128	ミヤコゼニゴケ	228
マルバアメリカアサガオ	127	ミヤコタナゴ	280
マルバツユクサ	189	ミヤコワスレ	156
マルバトゲチシャ	170	ミヤマハタザオ	76
マルバハッカ	134	ミヤマヨメナ	156
マルバフジバカマ	153	ミョウガ	226
マルバマンネングサ	85		
マルバルコウ	127	ム	
マンゴーツメハダニ	243	ムカゴオオウシノケグサ	205
マンテマ	59	ムギクサ	206
ミ		ムギツク	279
ミカヅキゼニゴケ	228	ムクゲ	110
ミカンキイロアザミウマ	251	ムクゲチャヒキ	196
ミシシippアカミミガメ	285	ムクロジ	108
ミジンコウキクサ	222	ムサシアブミ	220
ミジンマイマイ	235	ムシトリナデシコ	58
ミズカンナ	227	ムシトリマンテマ	58
ミスジナガハグサ	215	ムラサキイガイ	239
ミズヒマワリ	168	ムラサキイガヤグルマギク	159
ミチタネツケバナ	78	ムラサキウマゴヤシ	93
ミチヤナギ	51	ムラサキウンラン	145
ミツバオオハンゴンソウ	172	ムラサキオオエノコロ	218
ミツモトソウ	88	ムラサキカタバミ	98
ミナトアカザ	62	ムラサキツメクサ	96
ミナトタムラソウ	137	ムラサキツユクサ	190
ミナトムグラ	124	ムラサキナギナタガヤ	219
ミナミアオカメムシ	249	ムラサキノキビ	204
ミナミイシガメ	286	ムラサキハナナ	85
		×	

メキシコマンネングサ	85	ヤナギバヒメジョオン	175
メグサハッカ	134	ヤネタビラコ	164
メダカ	283	ヤノネカイガラムシ	251
メノマンネングサ	86	ヤノネボンテンカ	112
メマツヨイグサ	116	ヤバネムギ	205
メリケンガヤツリ	224	ヤブチョロギ	137
メリケンカルカヤ	193	ヤマクルマ	230
メリケントキンソウ	174	ヤマゴボウ	53
メリケンムグラ	124	ヤマトシジミ種群	241

モ

モウコガマ	222	ヤマムスメ	297
モウズイカ	147	ヤミヨキセワタ	233
モウソウチク	213	ヤリタナゴ	280
モクゲンジ	108	ヤンバルミチヤナギ	51
モクセイマルハダニ	243		
モノアラガイ類	233		
モミジアオイ	110		
モミジバスズカケノキ	85		
モミジバルコウソウ	128		
モモイロペリカン	287		
モロヘイヤ	109		
モンキジガバチ	273		
モンキジガバチ台湾亜種	273		
モンツキナガミヒナゲシ（仮称）	73		

ヤ

ヤーコン	174		
ヤギムギ	190		
ヤグルマギク	159		
ヤグルマハッカ	135		
ヤサイゾウムシ	270		
ヤシャダケ	217		
ヤセウツボ	149		
ヤダケ	216		
ヤナギトウワタ	123		
ヤナギハナガサ	132		
		ユーカリハムシ	269
		ユウゲショウ	117
		ユキヤナギ	90
		ユズ	104
		ユメノシマガヤツリ	223
		ユリズイセン	185
		ユリノキ	67

ユ

ヨ

ヨウシュチョウセンアサガオ	138
ヨウシュハッカ	134
ヨウシュヤマゴボウ	53
ヨーロッパアナウサギ	298
ヨーロッパケナガイタチ	299
ヨーロッパフジツボ	244
ヨコヅナサシガメ	248
ヨコハママンネングサ	86
ヨモギギク	176

ラ

ラッキョウ	179
ラッパズイセン	185

ラミーカミキリ	268
ランヒメハダニ	242

リ

リュウキュウチク	214
リュウキュウハゼ	107
リンゴスガ	254

ル

ルイスアケハダニ	242
ルリニワゼキショウ	187
ルリムスカリ	182

レ

レンコンネモグリセンチュウ	230
---------------	-----

ロ

ロベリアソウ	152
--------	-----

ワ

ワカサギ	281
ワサビ	80
ワスレイソシジミ	239
ワスレナグサ	131
ワタカ	278
ワタゲツルハナグルマ	155
ワタヘリクロノメイガ	254
ワタミヒゲナガゾウムシ	270
ワタリミヤコグサ	93
ワニガメ	287
ワラジムシ	245
ワルナスビ	142

千葉県の外来生物 初版（平成 24（2012）年度）

編集・発行 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会

発行日 平成 25（2013）年 3 月 31 日（初版第 1 刷）

事務局 千葉県 環境生活部自然保護課 生物多様性センター

〒 260-0852 千葉市中央区青葉町 955-2 千葉県立中央博物館内

電話 043-265-3601 ファックス 043-265-3615

web サイト <http://www.bdcchiba.jp/>